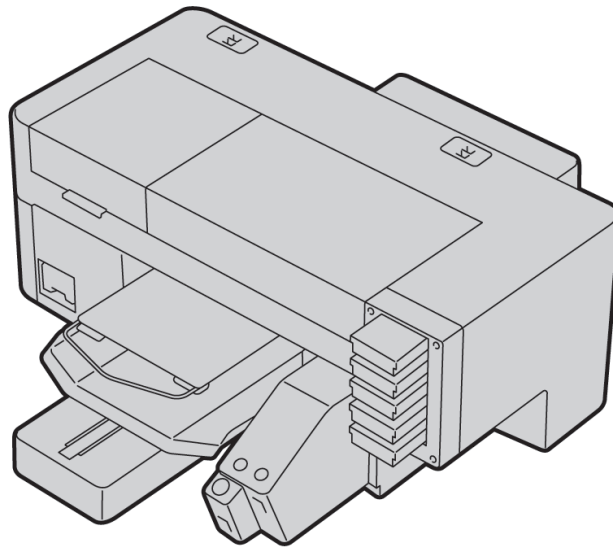


brother

GTX300NC

Professional Use

ゲームプリンター
取扱説明書 Ver.1.0



製品のご使用前に必ず本書をお読みください。

本書は、必要なときにいつでも使用できるように、大切に保管してください。

本機は、安全に操作するための訓練を受けた人のみが使用してください。

目次

| | |
|--|----|
| Chapter 1 安全にお使いいただくために..... | 8 |
| 1.1 安全についての表示とその意味..... | 8 |
| 1.2 安全上のご注意..... | 9 |
| 1.3 警告ラベル..... | 15 |
| Chapter 2 ご使用の前に..... | 17 |
| 2.1 必ずお読みください..... | 17 |
| 2.2 同梱部品..... | 21 |
| 2.3 他にご用意いただくもの..... | 22 |
| 2.4 各部の名称と機能..... | 24 |
| 2.4.1 前面..... | 24 |
| 2.4.2 右側面..... | 25 |
| 2.4.3 左側面／背面..... | 26 |
| 2.4.4 本体カバー内部..... | 27 |
| 2.4.5 プラテン下部..... | 28 |
| 2.4.6 操作パネル..... | 29 |
| Chapter 3 メニュー一覧..... | 32 |
| Chapter 4 設置と準備..... | 36 |
| 4.1 プリンターの設置..... | 36 |
| 4.1.1 廃インクタンクの設置..... | 38 |
| 4.1.2 水平度調整..... | 39 |
| 4.2 プリンターの電源について..... | 44 |
| 4.2.1 電源を入れる..... | 44 |
| 4.2.2 電源を切る..... | 45 |
| 4.2.3 停電などでしばらく復旧の目途が立たない場合..... | 46 |
| 4.3 プリンターとPCの接続（Windowsの場合）..... | 47 |
| 4.3.1 プリンタードライバーをインストールする..... | 48 |
| 4.3.2 USB2.0ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加..... | 49 |
| 4.3.3 LANケーブルで接続する場合：IPアドレスの設定..... | 51 |
| 4.3.4 LANケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加..... | 55 |
| 4.4 プリンターとPCの接続（Macintoshの場合）..... | 61 |
| 4.4.1 プリンタードライバーをインストールする..... | 62 |
| 4.4.2 USB2.0ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加..... | 63 |
| 4.4.3 LANケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加..... | 67 |
| 4.5 調整..... | 72 |

| | | |
|-----------|---|-----|
| 4.5.1 | ヘッド交換後の初期設定..... | 73 |
| 4.5.2 | 吐出タイミング調整..... | 75 |
| 4.5.3 | プラテン送りの調整..... | 76 |
| 4.5.4 | 白とカラーの位置合わせ..... | 77 |
| 4.5.5 | ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定..... | 78 |
| 4.5.6 | 白インク循環予約時間の設定..... | 80 |
| 4.6 | プリンターの移動..... | 83 |
| Chapter 5 | 印刷データの作成..... | 84 |
| 5.1 | アプリケーションの種類..... | 84 |
| 5.2 | Brother GTX300 FileOutputを用いて印刷データを送信する（Macintoshのみ）..... | 87 |
| 5.3 | その他のアプリケーションを使用する..... | 88 |
| 5.3.1 | Adobe Photoshopを使用する場合..... | 88 |
| 5.3.2 | Adobe Illustratorを使用する場合..... | 95 |
| 5.4 | 白インクを使用した印刷データのドライバー設定..... | 101 |
| 5.4.1 | プリンタードライバーを設定する..... | 101 |
| 5.4.2 | プラテンサイズを選択する..... | 103 |
| 5.4.3 | 印刷方法を選択する..... | 105 |
| 5.4.4 | インクの種類を選択する..... | 106 |
| 5.4.5 | モードを選択する..... | 107 |
| 5.4.6 | 解像度を選択する..... | 108 |
| 5.4.7 | 白インクを設定する..... | 110 |
| 5.4.8 | 下地の黒を利用するかを設定する..... | 114 |
| 5.4.9 | 複合パス印刷にするかを設定する..... | 115 |
| 5.4.10 | 白インクを設定する..... | 116 |
| 5.4.11 | 画質を設定する..... | 119 |
| 5.4.12 | カラーバランスを設定する..... | 120 |
| 5.4.13 | 印刷方向を指定する..... | 121 |
| 5.5 | カラー・黒インクのみを使用した印刷データのドライバー設定..... | 122 |
| 5.5.1 | プリンタードライバーを設定する..... | 122 |
| 5.5.2 | プラテンサイズを選択する..... | 124 |
| 5.5.3 | インクの種類を選択する..... | 126 |
| 5.5.4 | 複合パス印刷にするかを設定する..... | 127 |
| 5.5.5 | カラーインクを設定する..... | 128 |
| 5.5.6 | 画質を設定する..... | 130 |
| 5.5.7 | カラーバランスを設定する..... | 131 |

| | |
|---|-----|
| 5.5.8 印刷方向を指定する..... | 132 |
| 5.6 お役立ちツールを使用する..... | 133 |
| 5.6.1 カラーパレットを使用する..... | 133 |
| 5.6.2 「RGB=255」を「RGB=254」に置き換える（Photoshopのみ）..... | 133 |
| 5.6.3 色見本を確認する..... | 134 |
| 5.6.4 プラテンシートにグリッド線を印刷する..... | 136 |
| 5.6.5 インク量を調整する..... | 137 |
| 5.6.6 ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷..... | 138 |
| 5.6.7 吐出タイミングを確認する..... | 140 |
| 5.6.8 プラテン送りの設定を確認する..... | 141 |
| 5.6.9 印刷位置を確認する..... | 142 |
| Chapter 6 基本の印刷..... | 143 |
| 6.1 基本的な印刷の流れ..... | 143 |
| 6.2 印刷開始前に行うこと..... | 144 |
| 6.2.1 廃インクの確認・処理..... | 144 |
| 6.2.2 洗浄液の確認・補充..... | 145 |
| 6.2.3 白インクの毎日の攪拌..... | 146 |
| 6.2.4 ヘッドの吐出確認..... | 151 |
| 6.3 印刷物の前処理..... | 152 |
| 6.3.1 前処理剤の準備..... | 152 |
| 6.3.2 前処理剤の希釈..... | 155 |
| 6.3.3 前処理剤の塗布..... | 157 |
| 6.3.4 前処理剤の定着..... | 164 |
| 6.4 プラテンの調整..... | 166 |
| 6.4.1 プラテンの交換..... | 166 |
| 6.4.2 プラテン高さの調整..... | 168 |
| 6.5 印刷物の装着..... | 179 |
| 6.6 印刷データの送信／読み込み..... | 185 |
| 6.6.1 ARX3ファイルのプレビュー画面から印刷データを送信する..... | 185 |
| 6.6.2 アプリケーションから印刷データを送信する..... | 191 |
| 6.6.3 USBメモリーから印刷データ（ARX3ファイル）を読み込み..... | 193 |
| 6.7 印刷..... | 197 |
| 6.7.1 一枚印刷する..... | 197 |
| 6.7.2 複数枚印刷する..... | 198 |
| 6.7.3 受信履歴から印刷する..... | 199 |

| | |
|---|-----|
| 6.7.4 プラテンの高さをチェックしてから印刷する..... | 200 |
| 6.8 印刷予約..... | 201 |
| 6.8.1 印刷予約ができるタイミング..... | 201 |
| 6.8.2 印刷が開始されるタイミング..... | 201 |
| 6.8.3 印刷が開始されないケース..... | 202 |
| 6.8.4 印刷予約のキャンセル..... | 202 |
| 6.9 プラテンからの取り外し..... | 203 |
| 6.10 インクの定着..... | 204 |
| 6.10.1 ヒートプレスによるインクの定着..... | 206 |
| 6.10.2 コンベア式オープンによるインクの定着..... | 207 |
| 6.11 パウダーの定着..... | 208 |
| 6.12 印刷物へ転写..... | 209 |
| Chapter 7 印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために..... | 210 |
| 7.1 定期的に行うこと..... | 210 |
| 7.1.1 インクパウチの交換..... | 210 |
| 7.1.2 洗浄液の補充..... | 215 |
| 7.1.3 メンテナンス部品の清掃と交換..... | 217 |
| 7.1.4 ノズルガード、吸引キャップの清掃..... | 218 |
| 7.1.5 ワイパーの交換..... | 226 |
| 7.1.6 キャップチップ、キャップフォームの交換..... | 230 |
| 7.1.7 フラッシングフォームの交換..... | 234 |
| 7.1.8 ミストファンフィルターの交換..... | 237 |
| 7.2 必要なときに行うこと..... | 240 |
| 7.2.1 キャリッジスピードの調整..... | 240 |
| 7.2.2 ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認）..... | 241 |
| 7.2.3 エアー抜きクリーニング..... | 244 |
| 7.2.4 ヘッドクリーニング..... | 245 |
| 7.2.5 白インク循環..... | 247 |
| 7.2.6 キャリッジプレートの清掃..... | 248 |
| 7.2.7 廃インクの処理..... | 251 |
| 7.3 長期間使用しない場合..... | 252 |
| 7.3.1 長期間使用しない場合：2週間以内..... | 252 |
| 7.3.2 長期間使用しない場合：2週間以上..... | 253 |
| Chapter 8 その他の設定..... | 254 |
| 8.1 印刷方向の設定..... | 258 |

| | |
|------------------------------|-----|
| 8.2 プラテン障害物センサーの設定..... | 259 |
| 8.3 プラテン下げすぎセンサーの設定..... | 260 |
| 8.4 低温下限印刷モードの設定 (DTF) | 261 |
| 8.5 低温印刷モードの設定..... | 262 |
| 8.6 高温印刷モードの設定..... | 263 |
| 8.7 印刷データの自動消去..... | 264 |
| 8.8 カートリッジ脱着チェック..... | 265 |
| 8.9 オートクリーニングの設定..... | 266 |
| 8.10 ワイプ頻度の設定..... | 268 |
| 8.11 フラッシング間隔の設定..... | 269 |
| 8.12 フラッシング量の設定..... | 270 |
| 8.13 パネル背景モードの設定..... | 271 |
| 8.14 画面バックライトの調整..... | 272 |
| 8.15 自動画面消去時間の設定..... | 273 |
| 8.16 メニュータイムアウト時間の設定..... | 274 |
| 8.17 温度表示の設定..... | 275 |
| 8.18 プレビュー表示設定..... | 276 |
| 8.19 ファイル名表示設定..... | 277 |
| 8.20 日付フォーマットの設定..... | 278 |
| 8.21 スピーカー音量の調節..... | 279 |
| 8.22 USBメモリーのフォーマット..... | 280 |
| 8.23 IPアドレス設定..... | 281 |
| 8.24 ネットワークフィルタリングの設定..... | 283 |
| 8.25 ショートカットボタンの設定..... | 284 |
| 8.26 消耗品の使用状況の表示..... | 286 |
| 8.27 インク消費期限の表示..... | 286 |
| 8.28 累積印刷枚数の表示..... | 287 |
| 8.29 カートリッジ脱着履歴..... | 288 |
| 8.30 循環スケジュール確認..... | 289 |
| 8.31 温度湿度情報の表示..... | 290 |
| 8.32 通信設定の確認..... | 291 |
| 8.33 言語設定..... | 292 |
| 8.34 バージョン表示..... | 293 |

| | | |
|------------|------------------------|-----|
| 8.34.1 | ファームウェアのアップデート..... | 294 |
| Chapter 9 | トラブルシューティング..... | 295 |
| 9.1 | こんなときは..... | 295 |
| 9.2 | 印刷品質問題を解決する..... | 298 |
| 9.2.1 | 不吐出ノズルを回復させるためには..... | 306 |
| 9.2.2 | ノズル面まわりの清掃..... | 311 |
| 9.2.3 | ヘッドノズルの清掃..... | 314 |
| 9.2.4 | プリントヘッドの交換..... | 317 |
| 9.2.5 | インクの再導入..... | 327 |
| 9.3 | プロフェッショナルメニューについて..... | 328 |
| 9.3.1 | キャップ洗浄..... | 328 |
| 9.3.2 | プリンター輸送準備..... | 328 |
| 9.3.3 | 詳細バージョン情報..... | 328 |
| 9.4 | ログファイルの取得..... | 329 |
| Chapter 10 | エラーメッセージ..... | 331 |
| Chapter 11 | 仕様..... | 353 |
| 11.1 | 装置..... | 353 |
| 11.2 | ソフトウェア..... | 354 |
| 11.3 | インク、洗浄液、前処理剤..... | 355 |
| 11.3.1 | インク..... | 355 |
| 11.3.2 | 洗浄液..... | 355 |
| 11.3.3 | 前処理剤..... | 356 |
| 11.4 | 消耗品、オプション品、交換部品..... | 357 |

Chapter 1

安全にお使いいただくために




このたびはブラザー製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」および取扱いの説明をよくお読みください。

1.1 安全についての表示とその意味








この取扱説明書および製品に使われている表示と図記号は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

その表示と意味は次のとおりです。

表示

| | |
|---|---|
|  危険 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う内容を示しています。 |
|  警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| 重要 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。 |
| お願い | ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示します。 |

図記号

| | |
|---|-------------------------|
|  | 「してはいけないこと」を示しています。 |
|  | 「水濡れ禁止」を示しています。 |
|  | 「分解してはいけないこと」を示しています。 |
|  | 「さわってはいけないこと」を示しています。 |
|  | 「しなければならないこと」を示しています。 |
|  | 「必ずアース線を接続すること」を示しています。 |
|  | 「すぐに電源プラグを抜くこと」を示しています。 |

1.2 安全上のご注意

基本事項

危険



高電圧部にふれて大けがをすることがあります。電源を切り、5分たってからカバーを外してください。

警告



本機の使用は、安全に操作するための訓練を受けた人のみが行ってください。



本機は、子供がいる可能性のある場所での使用に適していません。



事故・故障防止のため、機械を改造しないでください。改造によって生じた事故・故障に対しては当社は責任を負いません。



濡れた手で、電源プラグにふれないでください。感電の原因となります。



本機を液体でぬらさないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本機の上に液体が入った容器を置かないでください。





以下の場合、速やかに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。

- 異物や液体が本機の内部に浸入した場合
- 本機を落とした場合
- 本機から煙が出ている、異臭がしている
などの異常を発見した場合









そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

注意

- 
本機が故障した場合、お買い求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。
- 
換気の良い場所で使用してください。印刷物を熱定着するときに若干の異臭が発生します。

開梱・移動・設置

警告

- 
本機の開梱、移動、設置は、訓練を受けた技術者のみが行ってください。
- 
ほこりの多い場所に置かないでください。ほこりが本機の内部に堆積すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 
本機を持ち上げる際は、本機が傾かないように水平に持ち上げてください。本機落下に伴うけが、製品故障の原因となります。
- 
梱包材から本機を持ち上げる際、移動させる際は、作業前に足元を整理し、安全を確保してから作業してください。転倒や本機落下に伴うけが、製品故障の原因となります。
- 
アース接続をしてください。感電や誤動作の原因となります。
- 
コードを無理に曲げたり、潰したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 
プラテンを手で動かさないでください。駆動部への指の巻き込みなど、けがの原因となります。
- 
プラテンベースを取り外すときは、プラテン天板のみを先に外してください。意図せずプラテンベースと天板が外れて落下し、けがの原因となります。

注意



本機は115 kgの質量があります。移動・設置の際は、本機の正しい保持方法に従ってください。本機落下に伴うけが、製品故障の原因となります。



本機下部にアジャスタがあります。設置する台にアジャスタが引っかからないように注意してください。



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。転倒や落下に伴うけが、製品故障の原因となります。また、本機を載せる台は耐荷重150kg以上で、横幅90cm以上 x 奥行60cm以上のものを使用してください。



他の機械の振動が伝わるような場所に置かないでください。印刷品質の低下、本機落下に伴うけが、製品故障の原因となります。



設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤って電源を入れると、本機が作動してけがの原因となります。



本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。転倒や落下に伴うけがの原因となります。



背面カバー上側取り付け部の爪に触らないように注意してください。けがの原因となります。

重要



本機下部には4つのアジャスタと、転倒防止用のゴム脚が付いています。設置の際は、転倒防止用のゴム脚が台から外れないように設置してください。

印刷

警告



回転しているファンに指や体を近づけないでください。まきこまれて、けがの原因となります。

注意



本機の前には十分な空間を取ってください。プラテンに挟まれてけがの原因となります。



動作中は印刷物に手を触れないでください。手をはさむ等けがの原因となります。



通電中は各カバー内に手を入れないでください。可動部に手がふれてけがの原因となります。



前処理液をスプレーや前処理剤塗布装置で塗布するとミストが飛散しますので、作業時はビニール手袋、マスクおよび液体飛沫対応の保護めがねを着用し、換気を十分に行ってください。

重要



プラテンを手で動かさないでください。故障の原因となります。



本機の前に物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損する場合があります。



バージョン違いのインクが注がれた場合、印刷品質に想定外の影響が出る恐れがあります。

メンテナンス

注意



本機カバーを閉めるときは指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。



ヘッド交換の際は、手や指をぶついたり、こすったり、はさまないように注意してください。けがの原因となります。



インクパウチを取り付ける際は、インクカートリッジ内部の部品のエッジに触れないでください。けがの原因となります。



インク・充填剤・洗浄液・前処理剤・廃液などの液体類、グリースを飲まないでください。下痢・おう吐する可能性があります。子供の手の届かないところに置いてください。



インク・充填剤・洗浄液・前処理剤・廃液などの液体類、グリースは目や皮膚に付くと炎症を起こす可能性があります。インクパウチは分解しないでください。目に入ったときはこすらずに、すぐに水で洗い流してください。



定期メンテナンス時など通電中にカバー内に手を入れる場合は、本説明書の作業内容に従って作業をしてください。



部品交換、オプション部品装着の際は、当社純正部品を使用してください。非純正部品を使用して生じた事故・故障に対しては、当社は責任を負いません。



部品交換、オプション部品装着の際は、取扱説明書の手順通りに行ってください。誤った手順で行うと、けがや故障の原因となります。

その他

お願い



電源ラインノイズや静電気ノイズなどの、強い電気ノイズの影響は受けない環境で使用してください。強い電気ノイズは本機の誤動作の原因となります。



電源電圧の変動は、定格電圧の±10%以内の環境で使用してください。大きな電圧変動は、本機の誤動作の原因となります。

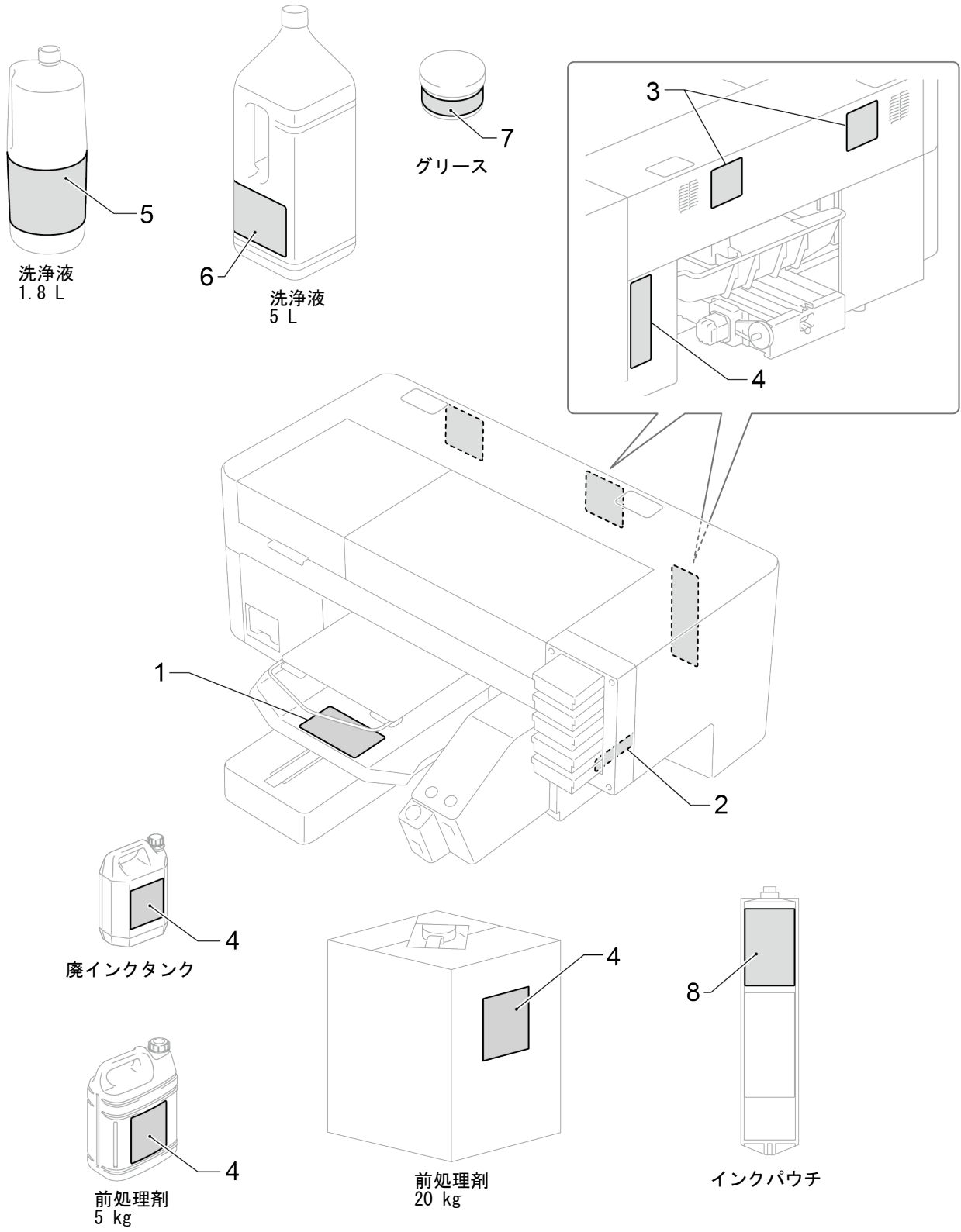


電源容量は装置の電力消費量より余裕のある環境で使用してください。電源容量の不足は本機の誤動作の原因となります。



雷が発生しているときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。雷は本機の誤動作の原因となります。

1.3 警告ラベル



Chapter 1

安全にお使いいただくために

プリンターには、下記の警告ラベルが表示されています。

各警告ラベルの注意事項を守って作業を行ってください。

また、ラベルがはがれたり、読み取れなくなった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

最新の情報は消耗品に貼り付けられているラベル、および弊社HPよりSDSを参照してください。

1

| | |
|--|--|
| <p>⚠ CAUTION Moving platen, T-shirt tray and covers can cause bodily injury. Keep body parts away from moving parts.</p> | |
| <p>⚠ VORSICHT Druckplatte, T-Shirt-Ablage und Abdeckungen können körperliche Verletzungen verursachen. Halten Sie Körperteile von beweglichen Teilen fern.</p> | |
| <p>⚠ ATTENTION Déplacement du plateau, chargeur T-shirt et couvercles peut blesser le corps. Gardez les parties du corps éloignées des pièces mobiles.</p> | |
| <p>⚠ ATENCIÓN Moviendo la placa, la bandeja de camiseta y las cubiertas pueden causar una herida personal. Mantenga las partes del cuerpo alejadas de las partes móviles.</p> | |
| <p>⚠ ATTENZIONE Tavola della mobil, il ripiano per la T-shirt ed il coperchio potrebbero causare infortuni. Teneva le parti del corpo lontane dalle parti in movimento.</p> | |
| <p>⚠ 注意 プラテンやTシャツトレイとカバーとの間に手をさかみ、けがをする。運動部から身体を覆すこと。</p> | |
| <p>⚠ 注意 手先は圧板、Tシャツ托盤と蓋の間に手や指を挟み、身体切勿靠近正在运行的机器部位。</p> | |
| <p>⚠ CUIDADO Movimiento de cilindro, prato de impressão e tampas podem causar lesões corporais.</p> | |

5

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>⚠ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.</p> | | <p>⚠ VORSICHT Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.</p> | |
| <p>⚠ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.</p> | | <p>⚠ ATENCIÓN No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vómitos y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.</p> | |
| <p>⚠ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |
| <p>⚠ CUIDADO Nico beba os líquidos sob nenhuma circunstância, pois eles podem causar vômito e diarreia. Tome cuidado para não deixar que os líquidos toquem os olhos ou a pele, caso contrário, poderá ocorrer inflamação. Mantenha os líquidos fora do alcance das crianças.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |

2

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|
| <p>⚠ DANGER Hazardous voltage will cause injury. Turn off main switch and wait 5 minutes before opening this cover.</p> | | <p>⚠ GEFAHR Hochspannung wird gefährlich. Schalten Sie den Hauptschalter aus und warten Sie 5 Minuten, bevor Sie diese Abdeckung öffnen.</p> | | <p>⚠ DANGER On voltage non adatta provoca lesioni. Disinserire l'interruttore principale e aspettare 5 minuti prima di aprir la cassa.</p> | | <p>⚠ PELIGRO Un voltaje inadecuado puede provocar las heridas. Alagar el interruptor principal y esperar 5 minutos antes de abrir esta cubierta.</p> | |
| <p>⚠ 警告 印刷部危険。手や体を近づけないこと。</p> | | <p>⚠ 警告 印刷部危険。手や身体を近づけないこと。</p> | | <p>⚠ 警告 Partes móviles peligrosas. Mantenga los dedos y otras partes del cuerpo alejadas.</p> | | <p>⚠ 警告 Partes móviles peligrosas. Mantenga los dedos y otras partes del cuerpo alejadas.</p> | |
| <p>⚠ WARNING Hazardous moving parts. Keep fingers and other body parts away.</p> | | <p>⚠ ADVERTENCIA Partes móviles peligrosas. Mantenga los dedos y otras partes del cuerpo alejadas.</p> | | <p>⚠ ADVERTENCIA Partes móviles peligrosas. Mantenga los dedos y otras partes del cuerpo alejadas.</p> | | <p>⚠ ADVERTENCIA Partes móviles peligrosas. Mantenga los dedos y otras partes del cuerpo alejadas.</p> | |

6

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>⚠ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.</p> | | <p>⚠ VORSICHT Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.</p> | |
| <p>⚠ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.</p> | | <p>⚠ ATENCIÓN No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vómito y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.</p> | |
| <p>⚠ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |
| <p>⚠ CUIDADO Nico beba os líquidos sob nenhuma circunstância, pois eles podem causar vômito e diarreia. Tome cuidado para não deixar que os líquidos toquem os olhos ou a pele, caso contrário, poderá ocorrer inflamação. Mantenha os líquidos fora do alcance das crianças.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |

7

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|
| <p>⚠ 注意 潤滑油は高温になり、火傷の原因になります。取り扱いには十分注意してください。</p> | | <p>⚠ 注意 Lubricating grease may become hot and cause burns. Handle with care.</p> | | <p>⚠ CAUTION Lubricating grease may cause inflammation to eyes and skin. Wear protective glasses and gloves. Swallowing grease can cause diarrhea and vomiting. Do not swallow.</p> | |
|---|--|---|--|--|--|

4

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>⚠ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.</p> | | <p>⚠ VORSICHT Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.</p> | |
| <p>⚠ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.</p> | | <p>⚠ ATENCIÓN No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vómito y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.</p> | |
| <p>⚠ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |
| <p>⚠ CUIDADO Nico beba os líquidos sob nenhuma circunstância, pois eles podem causar vômito e diarreia. Tome cuidado para não deixar que os líquidos toquem os olhos ou a pele, caso contrário, poderá ocorrer inflamação. Mantenha os líquidos fora do alcance das crianças.</p> | | <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |

8

| | |
|---|--|
| <p>⚠ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.</p> | |
| <p>⚠ VORSICHT Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.</p> | |
| <p>⚠ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.</p> | |
| <p>⚠ ATENCIÓN No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vómito y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.</p> | |
| <p>⚠ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.</p> | |
| <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |
| <p>⚠ 注意 下痢・おう吐する可能性がある。インクなどの液体類を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体類が目にや皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。</p> | |
| <p>⚠ 注意 有可燃物誘発性、嘔吐。请勿饮用油墨等液体类。有可燃物诱发性。注意油墨等液体类不要飞溅到眼中或皮肤上。请勿放置在儿童无法触及的地方。</p> | |

Chapter 2

ご使用の前に

2.1 必ずお読みください

プリンターをお使いになる前に、下記の点にご留意ください。

使用時のご注意

- **電源は24時間常時入れておいてください。**
白インクの沈降等を防止するため、待機中も本体内部の白インク循環などのメンテナンスを自動で実行します。
- **印刷保証範囲内（Tシャツ印刷の場合：温度18～30℃・湿度35～85%、フィルム印刷の場合：温度19～30℃・湿度35～65%）でお使いください。**
プリントヘッドがインクで目詰まりしたり、インクがしぶく恐れがあります。
- **印刷物に応じてプラテンを適切な高さに調節してください。**
Tシャツ印刷の場合、障害物センサーに検出されないよう、障害物センサーに検出される限界の高さから一段階下げた高さに調節してください。
フィルム印刷の場合、プラテン高さは「A-」に調節してください。
- **プラテンの高さを下げすぎないでください。**
インクミストがプリンター内部に飛散し、印刷面の汚れ、印刷がぼやけ、センサーや本体の故障原因となります。プラテン下げすぎセンサーが反応した場合はプラテンの高さを上げてください。
[プラテン高さの調整 \(p.168\)](#)
- **プリンターの動作中に電源を切ったり、カバーを開けないでください。**
プリンターの故障や印刷が失敗する原因になります。
- **インクを定着させるまでは、印刷した部分に触れないでください。**
未定着のインクが付着すると洗濯してもきれいに落ちません。

インクカートリッジについて

- **カートリッジはプリンターのシールと同じ色の穴に挿入してください。**
- **白インクカートリッジは、1日1回、使用の直前に100回程度振ってください。**
攪拌不足は、白インクの顔料が沈降して印刷品質低下の原因になります。
- **プリンターの動作中にカートリッジを抜かないでください。**
印刷品質が悪くなったり、プリンターの故障の原因になります。
- **消耗品は、直射日光を避けて保管してください。**
- **インクパウチや前処理剤、洗浄液は表示してある消費期限以前に使い切ってください。**
また、インクパウチは開封後6ヶ月以内に使い切ってください。
期間切れのインクパウチを使用した場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
- **インクパウチへの補充、分解はしないでください。**
インクパウチはプリンターを長くお使いいただくため、プリンター本体の性能を活かすため、弊社指定のインクパウチを使用することをお勧めします。弊社以外のインクパウチを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償となる場合があります。

- **インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。**
インクカートリッジ挿入口を空の状態に放置すると、中の針がインクの乾燥により詰まったり、プリンターが故障する原因になります。
- **インクパウチを折り曲げたり、鋭利な物に引っ掛けたり、落としたりしないでください。**
破れる恐れがあります。

前処理剤について

- **白インクを使わない場合は、前処理剤を塗布しないでください。**
前処理剤を塗布したTシャツにカラーインクのみで印刷すると、洗濯に弱くなる場合があります。
- **前処理剤を塗布した後のTシャツを保管する場合は、直射日光を避けて保管してください。**
- **初めて印刷する場合は、汚れが目立たないところで前処理剤をお試してください。**
Tシャツによっては前処理剤で変色してしまい、洗っても色が元に戻らない場合があります。
- **印刷後、前処理剤の跡が残った場合は、早めに水洗いしてください。**
白または淡色のTシャツに前処理剤を塗布すると、塗布面が変色し、洗っても色が元に戻らない場合があります。
- **色移りした場合は、家庭用洗剤またはアルコールをやわらかい布か歯ブラシにつけて汚れを落としてください。**
印刷物を白色や淡色の塩化ビニル系の合成皮革上でこすると、色移りする場合があります。
また、カラーインクのみ印刷面と白インクのみ印刷面を強くこすり合わせると、同様に色移りする場合があります。

メンテナンスについて

- **印刷品質を保つために、定期的にメンテナンスを行ってください。**
[印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために \(p.210\)](#)
- **ノズルガード、キャップを清掃するときは、弊社指定の純正洗浄液を使用してください。**
プリンター本来の性能を維持し長くお使いいただけます。
市販のアルコールや洗浄液を使用すると、プリントヘッドが故障する恐れがあります。
- **プリントヘッドは、交換するとき以外は取り外さないでください。**
精密部品のため、プリントヘッドが故障する恐れがあります。

使用しないときは

- **プリンターを長期間使用しないときは、使用しない期間や状況に応じて対応してください。**
[長期間使用しない場合 \(p.252\)](#)

廃棄物の取り扱いについて

- **残余廃棄物および廃インクは、水系廃液として法令に従い適正に処理してください。**

その他

- ・ レイアウト変更等でプリンター本体を移動させたときは、プラテン上面に水平器を当て、プリンター本体が水平になるように調整してください。
- ・ 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

お願い

- ・ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標について

本文中では、OS名称を略記しています。また、本文中では、®マークまたはTMマークを略記しています。

Brotherのロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、iOS、OS X、macOS、Safari、iPad、iPhone、iPod、およびiPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Windows® 11の正式名称は、Microsoft® Windows® 11 operating systemです。（本文中ではWindows 11と表記しています。）

Microsoft®、Windows® 11は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、Photoshop、Illustratorは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステム社）の商標です。

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

CE宣言書について

ダウンロード先 <https://www.brother.com>

ソフトウェアについて

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様がこのソフトウェア使用許諾契約書に定める各条項に従うことに同意いただいた場合、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。もし同意いただけないときは、お客様はこのソフトウェアをご使用いただくことはできません。

1. 所有権

本ソフトウェアおよびその複製物に関する権利はブラザー工業株式会社（以下「当社」といいます）またはその供給者に帰属します。なお当社は、この契約により、お客様に対し本ソフトウェアに関する著作権を譲渡するものではありません。

2. 実施権の許諾

2.1 当社はお客様に対し本ソフトウェアをご使用いただく非独占的使用権を許諾します。

2.2 お客様は、次のことを行ってはならないものとします。

- (1) 本ソフトウェアの全部または一部の改変、
- (2) リバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、
- (3) 本ソフトウェアを賃貸またはリースすること、
- (4) 公の場で本ソフトウェアをダウンロード可能な状態におくこと。

3. 無保証

当社は本ソフトウェアに関し、明示または黙示であることを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合しないこと、本ソフトウェアの使用が第三者の権利を侵害しないこと、その他いかなる保証もいたしません。

4. 責任の制限

当社は、本ソフトウェアに起因または関連して発生した直接的または間接的損害について、いかなる責任も負わないものとします。

5. 許諾の終了

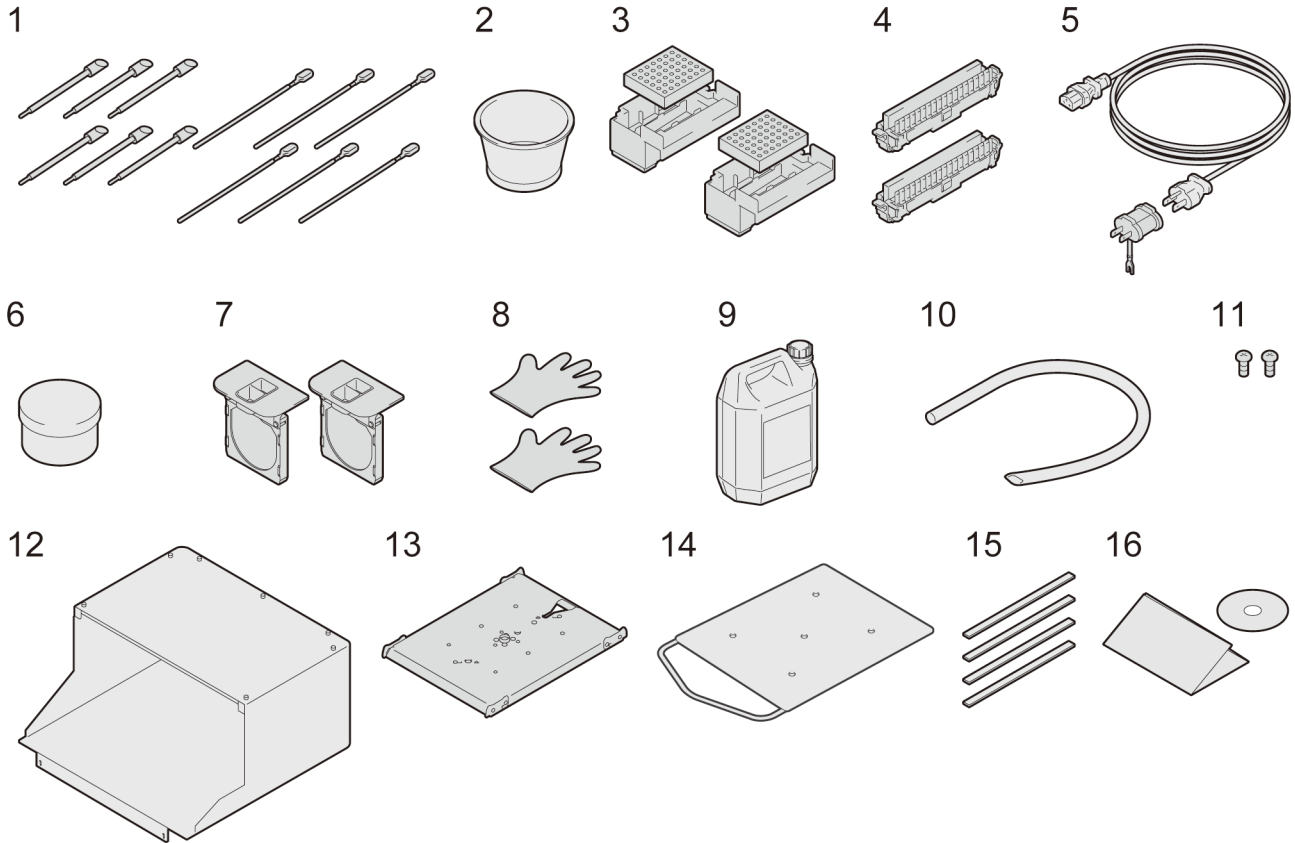
お客様がこの契約に定める条件に違反した場合は、当社は予告なしにこの契約を終了させることができるものとします。

6. 準拠法

この契約は日本国法に準拠し解釈されるものとします。

2.2 同梱部品

同梱部品は以下の内容となります。足りないものがありましたら、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



| NO. | 名称 | 個数 | NO. | 名称 | 個数 |
|-----|-----------------------|----|-----|----------------------------|----|
| 1 | クリーンスティックR/クリーンスティックT | 各6 | 9 | 廃インクタンク | 1 |
| 2 | 洗浄カップ | 1 | 10 | 廃液チューブ | 1 |
| 3 | フラッシング受け/フラッシングフォーム | 各2 | 11 | 背面カバー取り付け用ねじ ^{*1} | 2 |
| 4 | ワイパー | 2 | 12 | 背面カバー | 1 |
| 5 | AC電源コード | 1 | 13 | プラテンベース | 1 |
| 6 | グリース | 1 | 14 | プラテン天板 (アダルトプラテン) | 1 |
| 7 | フィルターカバー/ファンフィルター | 各2 | 15 | ラバーマグネット | 4 |
| 8 | 手袋 (メンテナンスユニット掃除用) | 2 | 16 | セットアップマニュアル一式 | 1 |

※プリントヘッドは、出荷時から本体に取り付いた状態になっています。



参考

^{*1}: 本体に取り付けた状態になっています。

2.3 他にご用意いただくもの

弊社販売店から購入するもの

- インクパウチ
- 洗浄液
- 前処理剤

その他

- USB 2.0ケーブル（ABタイプ）

お願い

- 上記以外のケーブルをご使用になると、動作不良の恐れがあります。また、延長ケーブルは使用しないでください。

- LANケーブル（100BASE-TX/1000BASE-T）
- USBメモリー

総容量が2 GB～32 GB以下で、FAT32でフォーマットされたものをご使用ください。パスワードロック機能などのセキュリティ機能付や32 GBを超えるUSBメモリーは使用できません。

- 純水（Tシャツ印刷のみ）

蒸留水、精製水などの水で、前処理剤の希釈に使用します。

お願い

- 水道水などの不純物が入った水は使用しないでください。

- 前処理ローラー（オプション部品）

前処理剤をTシャツに塗布する際に使用します。ローラーの柄の部分は錆びにくい物をお勧めします。

お願い

- トレイ（希釈用容器）、ハンドル（ローラーの柄）、塗布台、塗布量測定用はかりは別途用意してください。

- スプレー（市販品）

前処理剤をTシャツに塗布する際に使用します。細かい霧状に噴出されるもの（電動式推奨）を用意してください。ローラーに比べ均一に塗布しやすくムラが生じにくいですが、スプレーを使用するための専用スペースの確保が必要です。

また、スプレーの他に、自動で前処理剤をTシャツに塗布する前処理剤塗布装置（市販品）などもあります。必要に応じて、別途用意してください。

- ヒートプレス

使用するプラテンサイズの印刷範囲がカバーでき、かつ180°C（356°F）を35秒以上保持できる性能が必要です。前処理剤の定着時には、表面をなだらかにするために必ずオープンではなくヒートプレスをご使用ください。

- 剥離シート

ヒートプレスで前処理剤やインクを定着する際に定着面を平らにし、かつ剥離性を上げるため必ずお使いください。[前処理剤の準備 \(p.152\)](#)

- シリコンフォーム（シリコン連続気泡構造）

耐熱性の気泡マットです。ヒートプレスを使用して定着する際に使用します。

- 粘着ローラー（Tシャツ印刷のみ）

Tシャツの糸くずや表面に付着しているゴミなどの除去に使用します。

- 転写フィルム（フィルム印刷のみ）

お願い

- 使用するフィルムの保管条件に従い、高温多湿を避けて保管してください。印刷品質に想定外の影響が出る恐れがあります。

- パウダー（フィルム印刷のみ）

お願い

- 使用するパウダーの保管条件に従い、高温多湿を避けて保管してください。印刷品質に想定外の影響が出る恐れがあります。

- パウダー定着装置（フィルム印刷のみ）

- Tシャツ（印刷媒体）

- 綿100%
- ポリエステル混紡

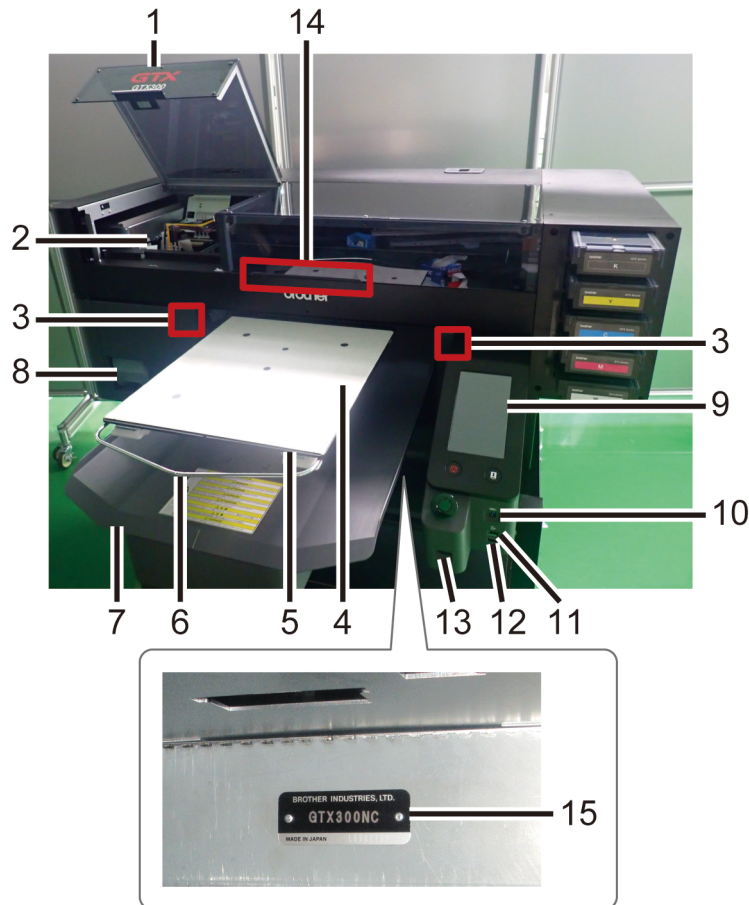


参考

- 綿100%生地を推奨品としますが、綿100%、混紡に関わらず、印刷品質を必ずしも保てない布帛もあります。特に新しい素材の場合は、事前に印刷テストを行ってください。
- フィルムやパウダーの状態を確認するために、事前に印刷テストを行ってください。
- 布帛によっては前処理剤の定着後跡残りが目立つことがあります。その場合は水洗いしてください。
- 事前に印刷テストを行ってください。以下の現象が発生する場合があります。
 - 前処理剤で布生地の変色が発生し、洗っても色が元に戻らない場合があります。
 - 濃色のポリエステル混紡では染料が溶け出し、白インクに色みがつく場合があります。
 - 前処理定着後、黄色く変色する可能性があります。

2.4 各部の名称と機能

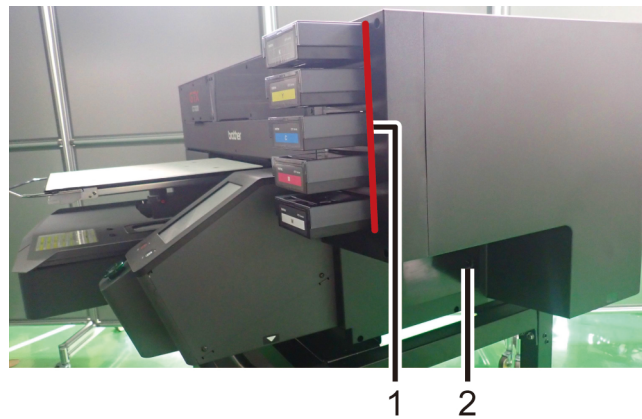
2.4.1 前面



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|--------------|---|
| 1 | 本体カバー | 内部の掃除をする際に開きます。 |
| 2 | キャリッジ | プリントヘッドを保持します。 |
| 3 | 障害物センサー | 印刷時にヘッドにぶつかる高さのもの（Tシャツのしわなど）がないかを確認します。 |
| | プラテン下げすぎセンサー | ヘッドとプラテンのすき間が意図せず大きくなっていないか確認します。 |
| 4 | プラテンシート | 画像が鮮明に印刷されるように、印刷中にTシャツが動かないよう保持します。 |
| 5 | プラテン | 印刷するTシャツをセットします。 |
| 6 | ショルダーバー | Tシャツの位置を合わせます。 |
| 7 | Tシャツトレイ | 袖など下に垂れる部分をTシャツトレイに乗せて搬送します。 |
| 8 | 洗浄液タンク | メンテナンスで使用する洗浄液を入れるタンクです。 |
| 9 | 操作パネル | プリンターを操作します。 |
| 10 | USBメモリー挿入口 | USBメモリーを挿入します。 |

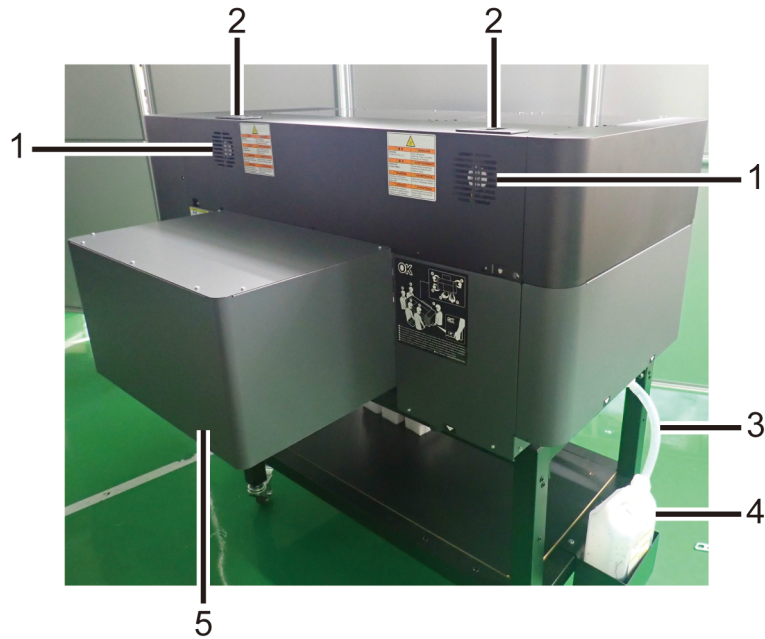
| No. | 名称 | 機能 |
|-----|--------|--|
| 11 | LANポート | PCと接続するLANケーブルを挿入します。 |
| 12 | USBポート | PCと接続するUSBケーブルを挿入します。 |
| 13 | 電源ボタン | 電源のオン／オフ操作で使します。 電源オフは、必要な動作の実行終了後に実施されます。 待機電源はオフできません。 |
| 14 | 吸気口 | 換気用の穴になります。 塞がないようにしてください。 |
| 15 | 形式板 | 製品のシリアルナンバーが記載されています。 |

2.4.2 右側面



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|-----------|--|
| 1 | カートリッジ挿入口 | 上からブラック(K)、イエロー(Y)、シアン(C)、マゼンタ(M)、ホワイト(W)です。 正しい色のカートリッジを挿入します。 |
| 2 | 電源コード挿入口 | 電源コードを挿入します。 |

2.4.3 左側面／背面

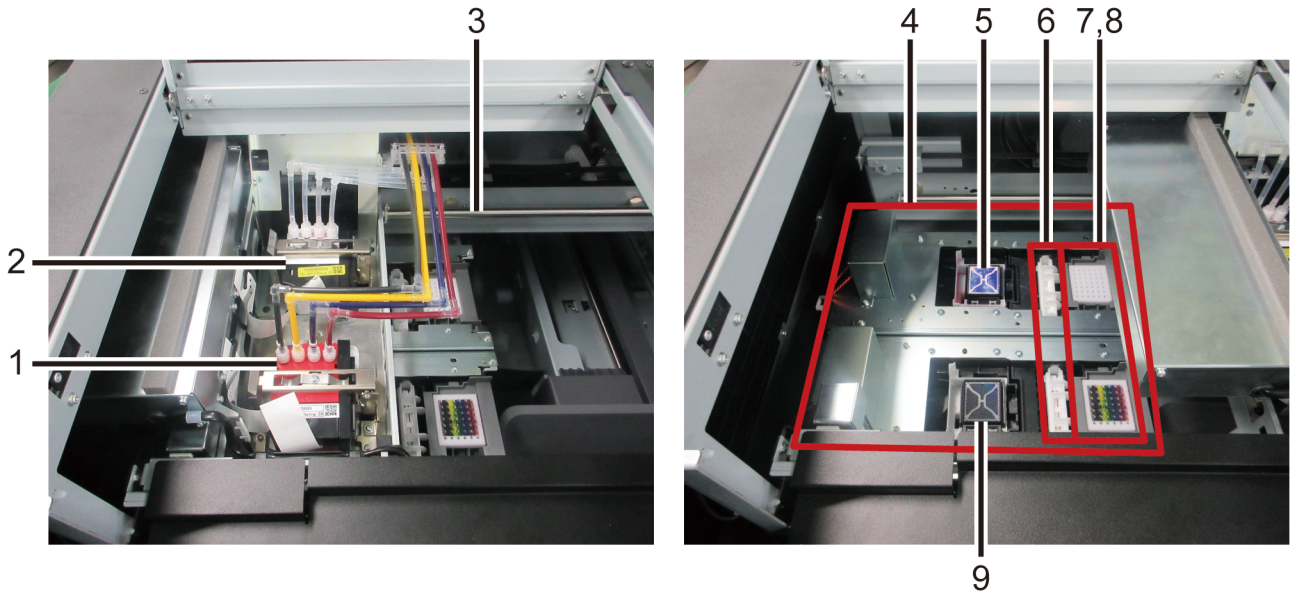


| No. | 名称 | 機能 |
|-----|----------|--|
| 1 | 排気口 | ファン排気の吹き出し口です。20 cm以上スペースを開けてご使用ください。 |
| 2 | ファンフィルター | 内部に発生するインクミストを吸着します。 |
| 3 | 廃液チューブ | 廃インクを流すチューブです。 折れ曲がって廃液の流れを妨げないように注意してください。 |
| 4 | 廃インクタンク | 廃インクを受けるタンクです。 |
| 5 | 背面カバー | プラテンの動作範囲を保護します。 |

2.4.4 本体カバー内部

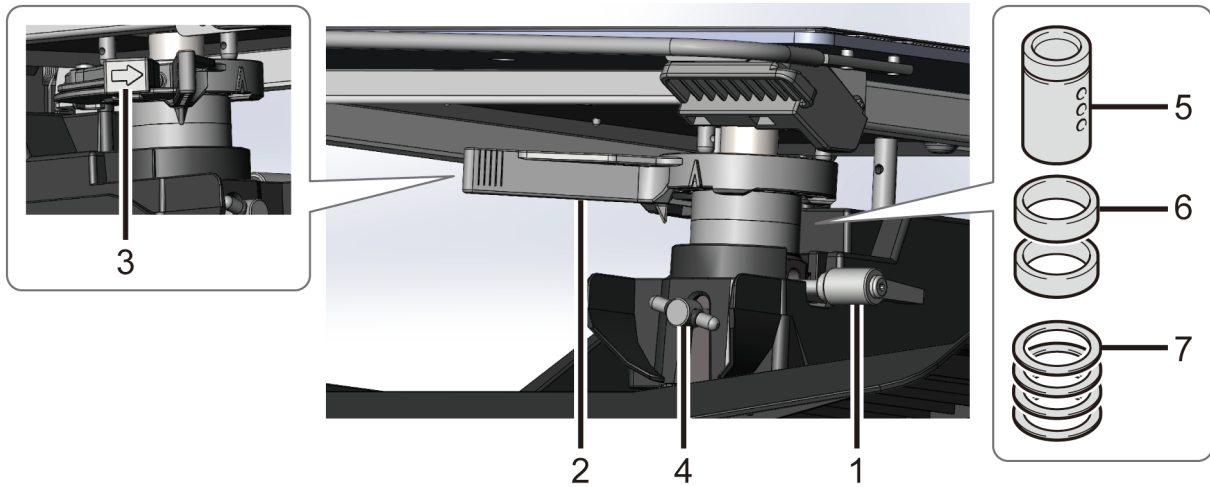
重要

- 定期メンテナンス時に通電中にカバー内に手を入れる場合は、本説明書の作業内容に従って作業をしてください。



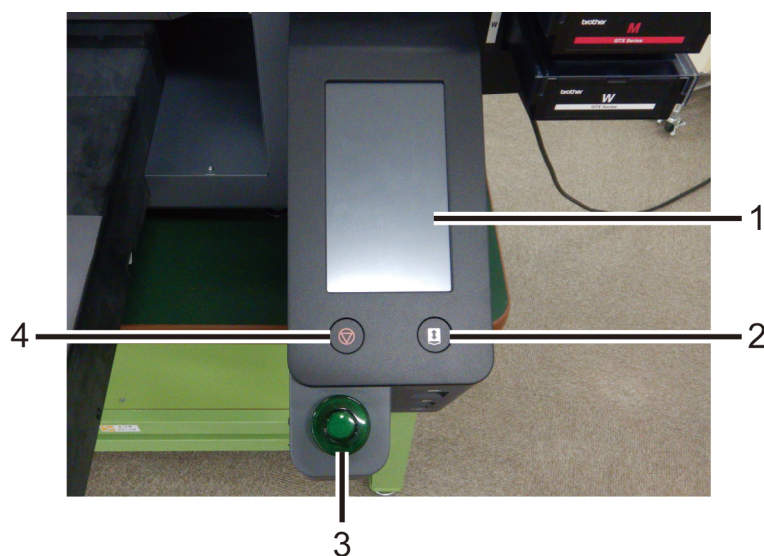
| No. | 名称 | 機能 |
|-----|-----------------|---|
| 1 | プリントヘッド（前：カラー側） | カラーインクを吐出します。 |
| 2 | プリントヘッド（後：白側） | 白インクを吐出します。 |
| 3 | キャリッジガイドシャフト | キャリッジを支えるシャフトです。 |
| 4 | メンテナンスユニット | 印刷品質を保つためにプリントヘッドを定期的にメンテナンスします。 (例：オートクリーニング機能) |
| 5 | キャップ（後：白側） | 白側のヘッド表面を保護し、ヘッドクリーニング時にインクを吸引します。 |
| 6 | ワイパー（カラー、白） | ヘッド表面のインクをふき取ります。 |
| 7 | フラッシングフォーム | 印字品質を保つためにヘッドから吐出したインクをフォームで吸収します。 |
| 8 | フラッシング受け | フラッシングフォームをセットします。 |
| 9 | キャップ（前：カラー側） | カラー側のヘッド表面を保護し、ヘッドクリーニング時にインクを吸引します。 |



2.4.5 プラテン下部



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|-----------------|--|
| 1 | プラテン固定レバー | プラテンを固定します。緩んでいると画質乱れの可能性があります。 プラテンの装着／脱着のとき、高さを調節するときに、締めたりゆるめたりしてください。印刷時は締めた状態にします。 |
| 2 | プラテン高さ調節レバー | プラテンの高さを調節します。 |
| 3 | プラテン高さ調節レバーのつまみ | プラテンの高さ目盛りを「A-」に切り替えます。 |
| 4 | ノブ | プラテン軸受けを固定します。プラテンの高さを変更するときに使用します。 印刷時は締めた状態にします。緩んでいると画質乱れの可能性があります。 |
| 5 | プラテン軸受け | プラテンを固定し、保持します。 |
| 6 | カラー | プラテンの高さを変更するときに枚数を変えます。 |
| 7 | スペーサー | 機械ごとにプラテンの高さを枚数で微調整してあります。カラーを調整しても、スペーサーは触ったり取り除いたりしないでください。印刷結果に影響を及ぼす可能性があります。 |

2.4.6 操作パネル



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|--------------|---|
| 1 | 液晶パネル/タッチパネル | 印刷データの情報、プリンターのステータス、環境情報、エラー情報の表示、画面右下のメニューボタンから各種機能を選択し、実行することができます。 |
| 2 | プラテンボタン |  プラテンを本体奥側、または本体手前側に向けて移動するために用います。プラテンの高さを調節した際に、適切かどうかを確認するために使います。 |
| 3 | プリントボタン | 消灯時は印刷データなし。印刷データ受信中は点滅し、受信が完了すると点灯します。点灯時に押すと印刷を開始します。 |
| 4 | ストップボタン |  印刷、プラテン移動などの動作をキャンセルします。 ヘッドの退避やキャッピングなどの、プリンターの品質維持に必要な動作を完了させてから停止します。 メニュー画面表示中は、メニューから抜けて待機画面へ戻ります。 |

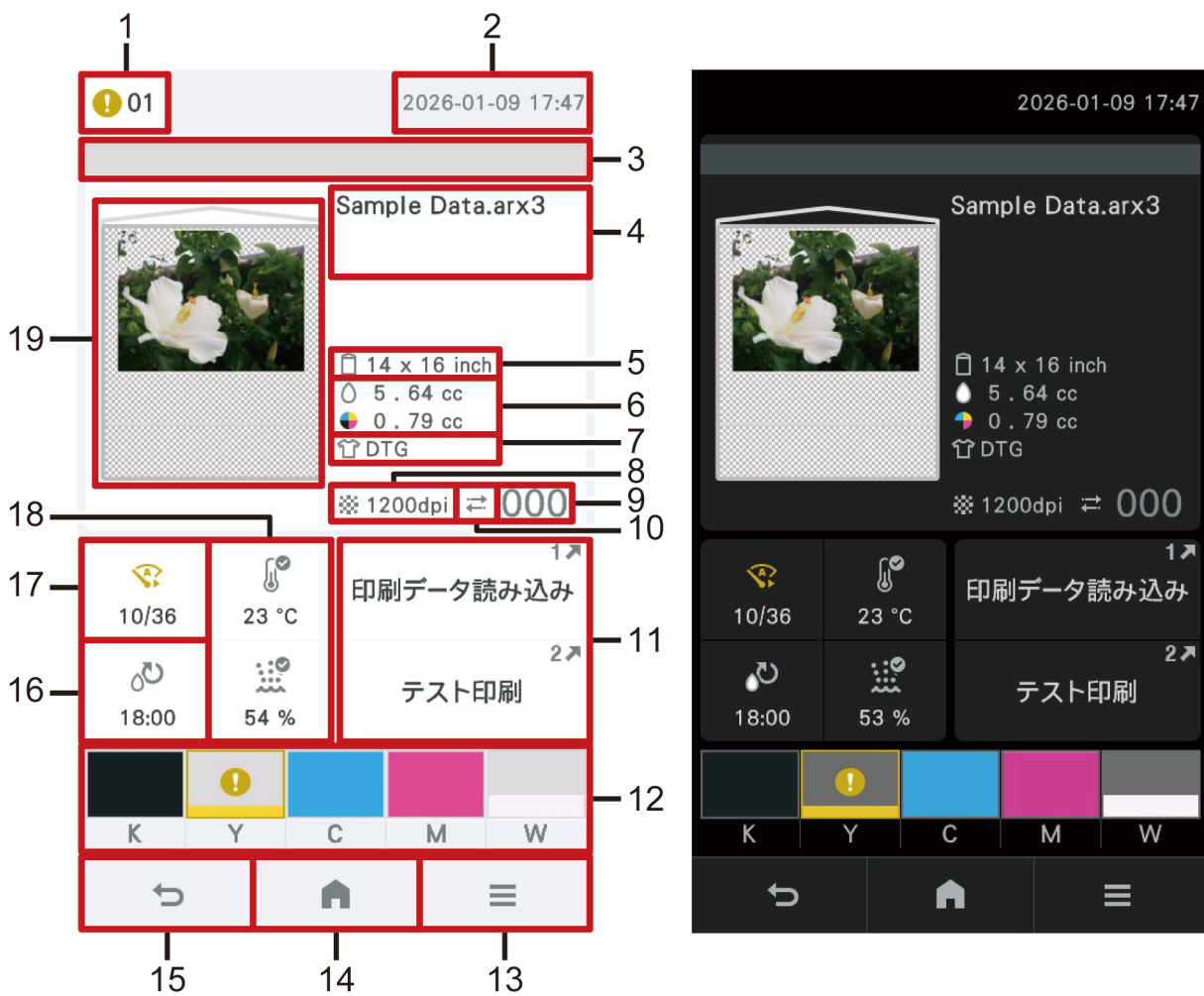
液晶パネル

下図はプリンターが印刷データを受信した状態です。プリンターの状況および印刷に必要な情報を表示します。





参考

- 液晶パネルの背景モードを変更することができます。
[パネル背景モードの設定 \(p.271\)](#)



| No. | 表示 | 機能 |
|-----|---------------|--|
| 1 | ワーニングマーク | ワーニングが発生していると表示されます。▶を押すとワーニング画面に移り、ワーニングメッセージが表示されます。 |
| 2 | 時刻表示 | 現在の日時が表示されます。 日付の書式はメニューで変更することができます。 |
| 3 | プログレスバー表示エリア | 印刷中、受信中に進捗状況を表示します。 |
| 4 | 基本画面の文字列表示エリア | ジョブネームまたはファイル名、オートクリーニング、受信中、スタンバイ等の表示を行います。 |

| No. | 表示 | 機能 |
|-----|-------------|--|
| 5 | プラテンサイズ | ファイル作成時にプリンタードライバーで指定されたプラテンサイズが表示されます。 |
| 6 | 使用するインク量 | 受信データ1枚印刷するのに必要なインク量 (cc) が表示されます。 (カラー、白それぞれ) |
| 7 | 印刷メディアアイコン | パソコンで印刷データを作成した際に、Tシャツへ直接印刷すると指定したか (DTG)、フィルムに印刷すると指定したか (DTF) を表します。 |
| 8 | 解像度アイコン | 受信データの印刷解像度が表示されます。 |
| 9 | 印刷枚数 | 受信データを印刷完了した合計枚数が表示されます。(0~999) |
| 10 | 印刷方向アイコン | 印刷方向が双方向、片方向のアイコンで表示されます。 |
| 11 | ショートカットボタン | ショートカットボタン設定メニューで指定されているメニューへ遷移します。 |
| 12 | インク残量表示 | それぞれのカートリッジ内のインク残量の目安が表示されます。 左からブラック (K)、イエロー (Y)、シアン (C)、マゼンタ (M)、白 (W) です。  : インクの残りが少ないです。次のインクをご用意ください。*1  : インクが切れました。 |
| 13 | メニューボタン | ユーザメニューの先頭に遷移します。 画面状態はキャンセルされます。*2 |
| 14 | ホームボタン | 待機画面へ遷移します。 画面状態の場合はキャンセルされます。*2 |
| 15 | 戻るボタン | 1つ前の画面へ遷移します。 |
| 16 | 白インク循環時刻表示 | 次回の白インク循環開始時刻が表示されます。 [マーク表示]ボタンを押すと、パソコンから設定した白インク循環の予約時間を確認できます。 |
| 17 | オートクリーニング表示 | 前回オートクリーニングを実施してからの印刷枚数が表示されます。印刷枚数に限らず、次回の印刷時にオートクリーニングが実施される可能性がある場合には、アイコンが黄色で表示されます。 |
| 18 | 温度/湿度表示アイコン | プリンタ内部の現在の温度、湿度が表示されます。 |
| 19 | プレビュー画像 | 受信データのプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面は印刷の向きとは上下が逆 (プレビュー画像の上側がプリンター本体の手前側) になります。 また、プレビュー画面の方向を変更することができます。 |

重要






*1: インクの残りが少ない状態で、インクの使用量が多い印刷を行うと、印刷中にインクが切れることがあります。目安として20cc以上の印刷を行う場合は、インクパウチを交換してから行ってください。

*2: キャンセルが無効な画面はメニューボタン/ホームボタンも無効となります。

Chapter 3

メニュー一覧

ディスプレイのメニュー操作

| 操作 | 操作方法 |
|---------|---|
| 開始 | 待機状態においてタッチパネルの  をタッチすると、メニュー選択画面へ移行します。 |
| 選択 / 決定 | タッチパネルをスクロール・タッチして項目を選択します。 |
| 戻る | タッチパネルの  をタッチすると、一階層上のメニュー表示に戻ります。 |
| 終了 | <ul style="list-style-type: none">• 最上位メニューの表示中において  を押すと、メニューが終了して待機状態に戻ります。• 任意のメニュー表示中においてタッチパネルの  ・  を押すと、メニューが終了して待機状態に戻ります。 |

メニュー一覧

| 第1階層 | 第2階層 | 第3階層 | 内容 |
|-------------|--------------|-----------|--|
| [ヘッドクリーニング] | [ノーマルクリーニング] | [カラー] | 不吐出が発生した場合に、カラーヘッドのすべてのノズルのクリーニングを実行します。 |
| | | [白] | 不吐出が発生した場合に、白ヘッドのすべてのノズルのクリーニングを実行します。 |
| | | [すべてのヘッド] | 不吐出が発生した場合に、すべてのヘッドのノズルのクリーニングを実行します。 |
| | [パワフルクリーニング] | [カラー] | ノーマルクリーニングで不吐出が改善しない場合に使用します。 |
| | | [白] | |
| | | [すべてのヘッド] | |
| | [スーパークリーニング] | [カラー] | パワフルクリーニングで不吐出が改善しない場合に使用します。 |
| | | [白] | |
| | | [すべてのヘッド] | |
| | [フラッシング] | [カラー] | 吐出が不安定な場合に使用します。 |
| | | [白] | |

Chapter 3

メニュー一覧

| 第1階層 | 第2階層 | 内容 |
|----------------|------------------|---|
| [テスト印刷] | [ノズルチェック カラー] | カラーヘッドの不吐出の有無を確認するためのテストパターンです。 |
| | [ノズルチェック 白] | 白ヘッドの不吐出の有無を確認するためのテストパターンです。 |
| [印刷データ読み込み] | | USBメモリーに格納された印刷データ（ARX3ファイルまたはARXPファイル）を読み込みます。 |
| [受信履歴] | | 受信した印刷データを新しい順に表示し、選択ができます。 |
| [メンテナンス] | [メンテナンス部品の清掃と交換] | プリンターをメンテナンスする場合に使用します。 |
| | [白インク循環] | |
| | [ヘッド交換] | |
| | [ヘッド交換後インク導入] | |
| | [初期インク導入] | |
| | [エアー抜きクリーニング] | |
| | [ワイパーの取り付け] | |
| | [ワイパー洗浄槽の操作] | |
| [ログファイル取得] | | サービスマンから指示があった場合に使用します。 |
| [プリンター設定] | [印刷設定] | プリンターを設定する場合に使用します。 |
| | [クリーニング設定] | |
| | [表示設定] | |
| | [IPアドレス設定] | |
| | [ネットワークフィルタリング] | |
| | [ショートカットボタン設定] | |
| [プリンター稼働情報の表示] | [消耗品の使用状況] | 必要なときに使用します。 |
| | [インク消費期限] | |
| | [累積印刷枚数] | |
| | [カートリッジ脱着履歴] | |
| | [循環スケジュール確認] | |
| | [温度と湿度] | |
| [通信設定の確認] | [IPアドレス] | 必要なときに使用します。 |
| | [サブネットマスク] | |
| | [デフォルトゲートウェイ] | |
| | [ホスト名] | |
| | [MACアドレス] | |
| [言語設定] | | |

| 第1階層 | 第2階層 | 内容 |
|-----------|-----------------|--------------|
| [バージョン情報] | [ファームバージョン] | 必要なときに使用します。 |
| | [データ情報] | |
| | [シリアル番号] | |
| | [ヘッド情報] | |
| | [オープンソースライセンス] | |
| | [プロフェッショナルメニュー] | |

Chapter 4

設置と準備

本章の指示通りに正しくセットアップしてからお使いください。

作業前に巻頭の[安全にお使いいただくために \(p.8\)](#)をよくお読みください。

4.1 プリンターの設置

開梱作業、および下記付属品の取り付けは、本体同梱のセットアップマニュアルを参照してください。

- 背面カバー
- フィルターカバー/ファンフィルター
- 廃液チューブ
- ワイパー
- フラッシング受け/フラッシングフォーム
- プラテン

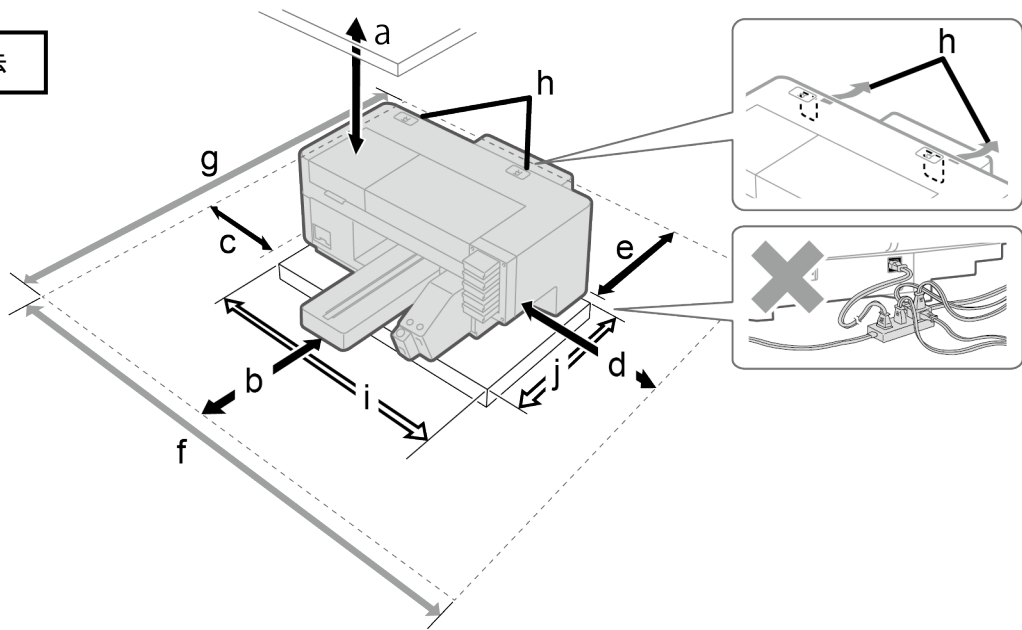
プリンターの設置場所は、以下の点に考慮してください。

- 直射日光、ほこりを避けてください。
- 本体サイズは130 cm（幅）×150 cm（奥行）×57.5 cm（高さ）です。本体の質量は115 kgです。
- 脚のサイズは54.6 cm（横幅）×35 cm（奥行）です。脚の径は4 cmです。
プリンターの前面に転倒防止用のゴム脚があります。ゴム脚を含めると45 cm（奥行）です。
- 台からプラテン上面までの高さは約35 cmです。
- 延長ケーブルを使用しないでください。
- 作業スペースとして、プリンターの前面と右側面に100 cm以上、背面と左側面に40 cm以上のスペースを空けてください。
天井方向に50 cm以上のスペースを空けてください。排気は後方に出るため、排気口から、20 cm以上のスペースを空けてください。この空間が確保されていないと、修理対応時に周辺の設置物やプリンター本体を移動させるなどの作業が必要になる場合があります。
- プリンターを載せる台は耐荷重150 kg以上、横幅90 cm以上×奥行60 cm以上、さらに天板が水平でプリンター稼働中にながたつかないものを使用してください。
- プリンター設置時にプラテン上面に水平器を当て、本体が水平になるように調整してください。
- 大きな地震などの災害時に備え、本体が台から落下しないように台と本体を固定バンド等で固定してください。
- プリンター本体の電源コードをつなげる際は、たこ足配線にしないでください。

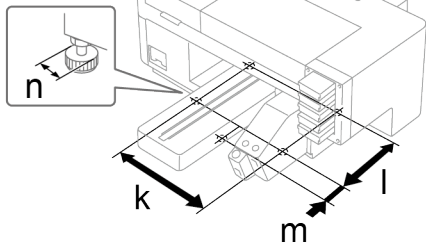
Chapter 4

設置と準備

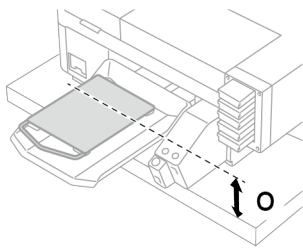
プリンター設置寸法



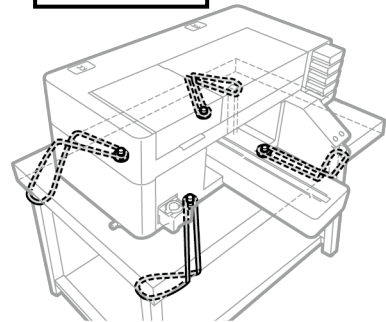
脚の寸法



プラテン高さ寸法



耐震固定例



| | 対象箇所 | 説明 | 必要なスペース |
|---|------------|--------------|-----------|
| a | 上部 | 天井からの距離 | 50 cm 以上 |
| b | 前面 | 正面からの距離 | 100 cm 以上 |
| c | 左側面 | 左側からの距離 | 40 cm 以上 |
| d | 右側面 | 右側からの距離 | 100 cm 以上 |
| e | 背面 | 背面からの距離 | 40 cm 以上 |
| f | 作業スペース | 横幅 | 340 cm 以上 |
| g | | 奥行 | 250 cm 以上 |
| h | 排気口 | 排気口からの距離 | 20 cm 以上 |
| i | プリンターを載せる台 | 横幅 | 90 cm 以上 |
| j | | 奥行 | 60 cm 以上 |
| k | 脚のサイズ | 横幅 | 54.6 cm |
| l | | 奥行 | 35 cm |
| m | | 奥行 (ゴム脚を含める) | 45 cm |

| | 対象箇所 | 説明 | 必要なスペース |
|---|--------|----------------|---------|
| n | 脚の径 | | 4 cm |
| o | プラテン高さ | 台からプラテン上面までの高さ | 約35 cm |

4.1.1 廃インクタンクの設置

本体に付いているY字チューブに付属品の廃液チューブを差し込み、廃インクタンクをテーブルの脚等に2本のひも等で固定し、廃液チューブを廃インクタンクに差し込みます。

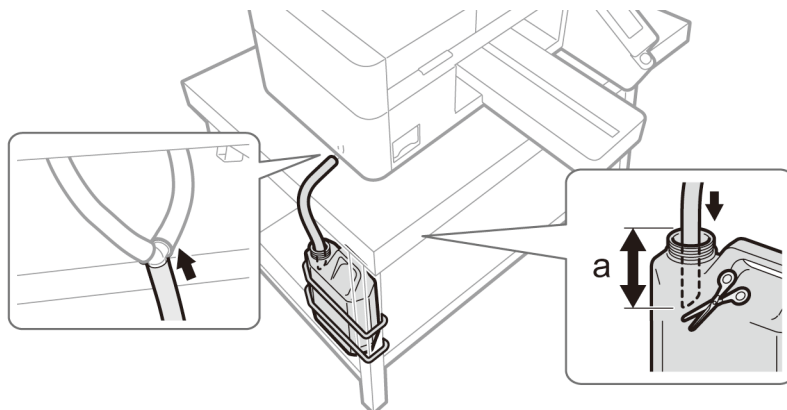
重要

- 廃液チューブ先端が接液していると、廃液がスムーズに流れず、ヘッドクリーニングでインクが吸引できません。廃インクタンク固定後、廃液チューブ差込口から15 cm (a) の長さになるよう切断してください。廃液チューブを切断するときは斜めに切ってください。
- 廃液チューブはできるだけ台の上で水平にせず、折れ曲がらないように注意してください。廃液が流れにくくなる恐れがあります。



参考

- 廃インクタンクは溜まった量が見えるよう、手前側に設置してください。




4.1.2 水平度調整

水平器（精度±1 mm/1 m以上のもの）と幅17 mmのスパナを用意してください。

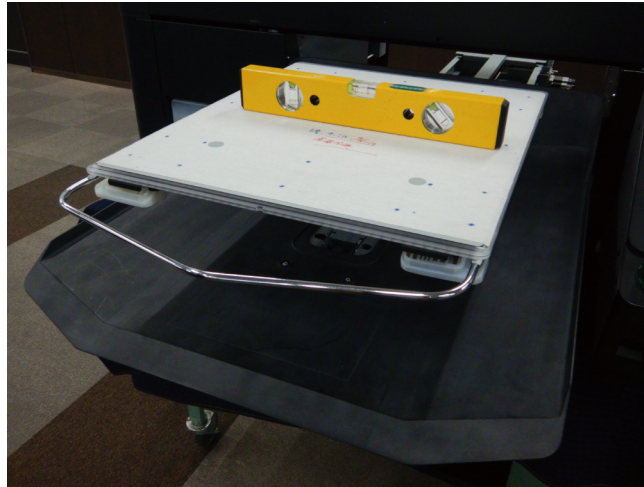
- 1 プラテンが手前にあることを確認してください。



参考

- プラテンが奥にある場合は操作パネルのを押し、プラテンを手前に移動させてください。

- 2 プラテン上面に水平器を当ててください。



| 気泡 (a) が右寄りの場合 | 気泡が左寄りの場合 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <p>左のアジャスタ（2箇所）を回転させ、水平を調整してください。</p> | <p>右のアジャスタ（2箇所）を回転させ、水平を調整してください。</p> |
| | |

- 3 アジャスタ（4箇所）を固定しているナット（2個）を回転させ緩めてください。
下側のナットを回転させ、水平を調整してください。

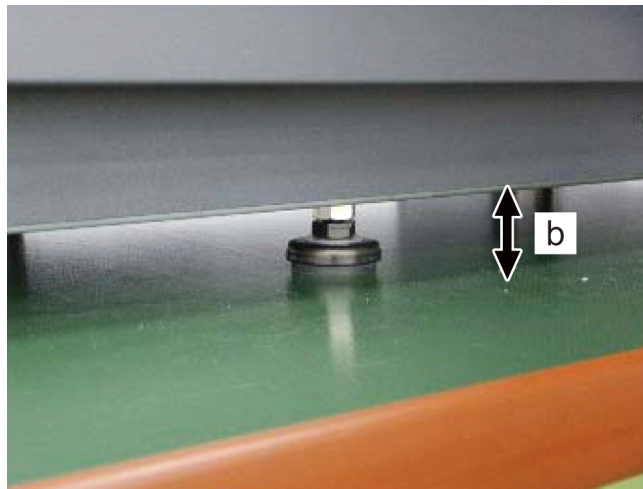
重要

- 設置台から本体底面の高さが3.6 cm以下（b）になるようにしてください。



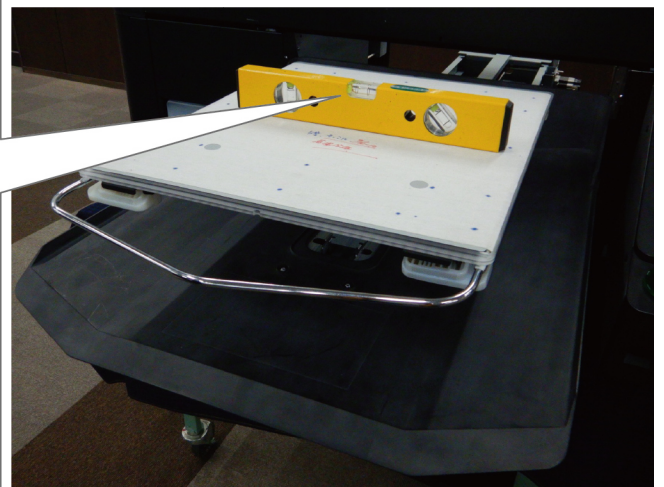
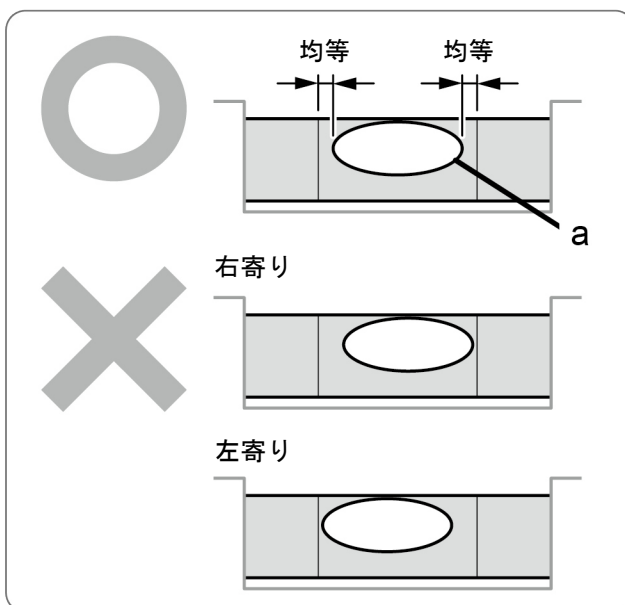
参考

- 本体を上げる場合は、ナットを時計回りに回し、下げる場合は、反時計回りに回してください。



重要

- 水平器の気泡（a）が、目盛線の中央にくるようにナットを調整してください。

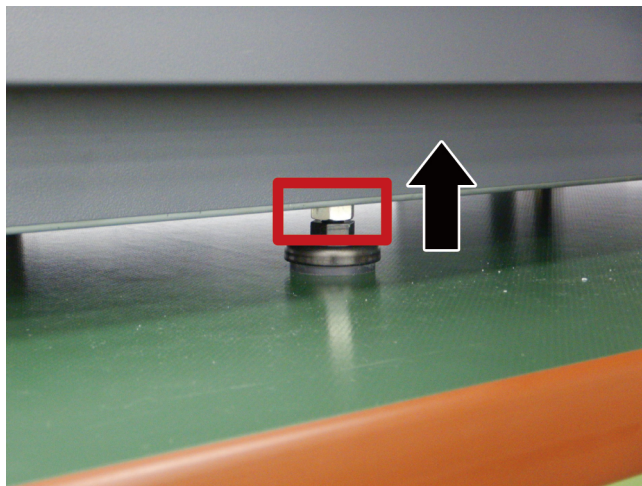


- 4 前後方向も同様に調整を実施してください。



| 製品左側から見て、気泡 (a) が右寄りの場合 | 製品左側から見て、気泡が左寄りの場合 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <p>後のアジャスタ（2箇所）を回転させ、水平を調整してください。</p> | <p>前のアジャスタ（2箇所）を回転させ、水平を調整してください。</p> |
| | |

- 5 水平が調整できたら上側のナットを上に向かって締めてください。



重要

- すべて固定したら、再度水平器で前後左右の水平を確認してください。



参考

- 製品の設置場所を変更した場合は、再度水平器で前後左右の水平を確認してください。

4.2 プリンターの電源について

プリンターは待機中も白インク循環等のメンテナンスが自動で実施されています。**プリンターの電源は24時間常時入れておいてください。**



参考

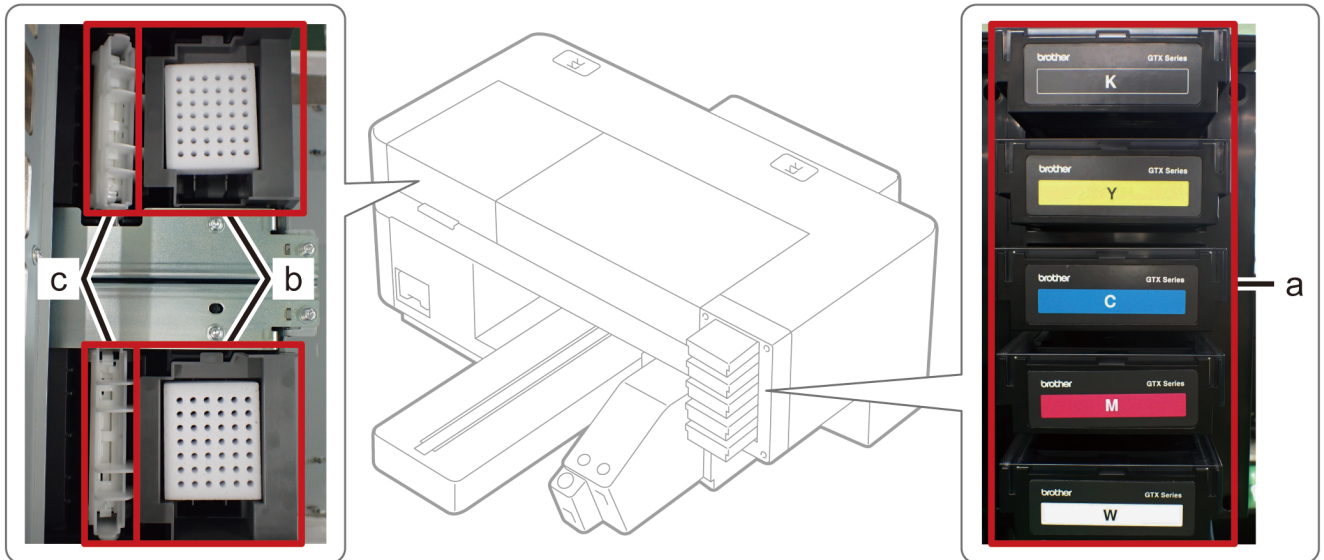
- 本機は電源を入れるときと切るときに、プリントヘッドを良好な状態に保つためのメンテナンスを行います。電源を頻繁に入れたり切ったりすると、メンテナンス動作によりインク消費量が増加します。インクの消費を抑えるためにも電源を入れたままの使用をお勧めします。

4.2.1 電源を入れる

開梱、設置後はセットアップマニュアルを参照してください。

電源コードをつなぐ前に、以下の点を確認してください。

- カートリッジが正しく取り付けられているか。(a)
- フラッシング受けが正しく取り付けられているか。(b)
- ワイパーが正しく取り付けられているか。(c)
- インクチューブがプリントヘッドに正しく接続されているか。



- 廃液チューブが、用意された廃インクタンクに正しく挿入されているか。
- 背面カバーが取り付けられているか。
- 洗浄液タンクは液量が十分で、正しく取り付けられているか。
- プラテンが前方に搬出される際に必要なスペース、最低約30 cm、背面にファン排気口として最低20 cmが確保されているか。

1 同梱の電源コードを本機の電源コード挿入口に奥までしっかりと挿し込んでください。

2 電源プラグをコンセントに挿し込んでください。

3 プリンターが適切にアース接続されていることを確認してください。

4 本体カバーを閉じた状態で、プリンターの電源を入れてください。

重要

- プリンター動作中に電源を切らないでください。プリンターが故障する恐れがあります。
- 電源が切られていると必要なメンテナンスが実行されないためマシンが故障する恐れがありますので電源は切らないでください。



参考

- 電源が長時間切られていた後に起動した場合、白インク循環等のメンテナンス動作が最長で60分ほど実施されます。

4.2.2 電源を切る

電源を切る必要があるとき

以下の様な場合は、電源を切ってください。

- プリンターのメンテナンス等で指示があった場合
- プリンターを移動させる場合
- 計画停電など、あらかじめ電源が切れることが予想される時

重要

- 輸送に起因する故障の修理費は、お客様のご負担になります。プリンターを移動・輸送する際はBrother販売店までご連絡ください。

電源の切り方

1 電源ボタンを短押ししてください。(ピッと音がしたら指をはなす)

プリンターが動作中の場合は、その動作が終わるまで待機してください。

2 終業クリーニングが開始されます。

電源が切れます。

重要

- 電源を切る前にAC電源ケーブルを抜いた場合など強制的に電源を切った場合、プリントヘッドを良好な状態に保つための終業クリーニングが行われないため不吐出になる場合があります。必ずプリンターを再起動し、起動後にヘッドクリーニングを実行してください。

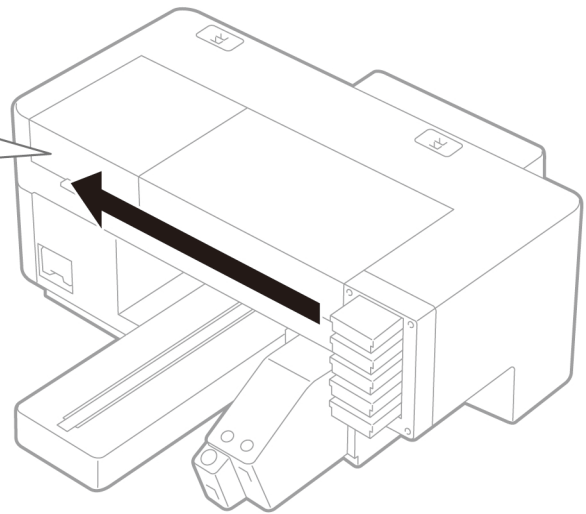
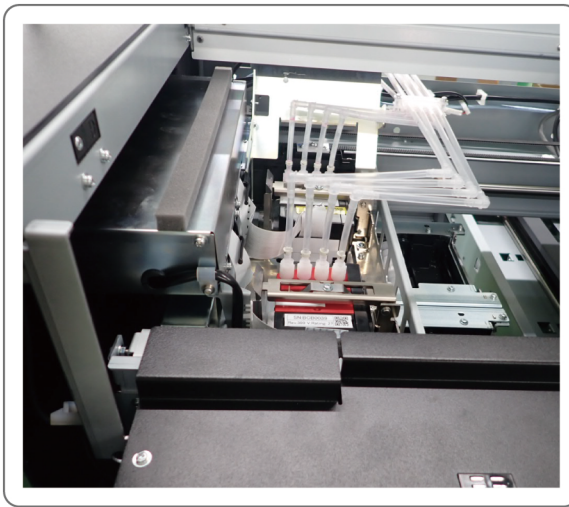
4.2.3 停電などでしばらく復旧の目途が立たない場合

- 1 本体カバーを開けて、手動でキャリッジを左に移動し、左端に当たるまで移動させてください。
- 2 左端まで移動させると、キャリッジが自然にロックされて動かなくなります。



参考

- 左端（キャップ位置）にキャリッジを戻すことで、プリントヘッドの乾燥を防止します。



- 3 電源が入る状態になったら、速やかにプリンターを再起動してください。

重要

- 必ずプリンターを再起動し、起動後にヘッドクリーニングを実行してください。

4.3 プリンターとPCの接続 (Windowsの場合)

この章では、GTX300 プリンタードライバーのインストール方法と、プリンターとPCの接続方法を説明します。各ステップを確認しながら実行してください。

- 1 プリンタードライバーをインストールする
プリンタードライバーをインストールする (p.48)
- 2 プリンターとPCを接続する

| USB接続する場合 | LAN接続する場合 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">• PCへのプリンター追加 USB2.0ケーブルで接続する場合:PCへのプリンター追加 (p.49) | <ul style="list-style-type: none">• PCでIPアドレスを設定<ol style="list-style-type: none">(1) プリンターのIPアドレス設定 LANケーブルで接続する場合:IPアドレスの設定 (p.51)(2) PCへのプリンター追加 LANケーブルで接続する場合:PCへのプリンター追加 (p.55)• プリンター本体でIPアドレスを設定<ol style="list-style-type: none">(1) プリンターのIPアドレス設定 IPアドレス設定 (p.281)(2) PCへのプリンター追加 LANケーブルで接続する場合:PCへのプリンター追加 (p.55) |

- 3 プリンターの調整を行う

4.3.1 プリンタードライバーをインストールする

まず、PCにファイル出力用プリンタードライバー「Brother GTX300 FileOutput」をインストールします。

この段階では、まだプリンターをPCにつながないでください。



参考

- PCにはAdministrators権限でログインしてください。

- 1 PCを起動してください。
- 2 すべての作業を終了してください。
- 3 「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。
- 4 インストールが始まります。画面の指示に従って操作してください。
- 5 下記のダイアログが表示されたら[インストール]をクリックしてください。



- 6 インストールが終了したら、PCを再起動してください。

4.3.2 USB2.0ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加

- 1 プリンタードライバーのインストール後、プリンターの電源がオンの状態でPCとプリンターをUSB 2.0 ケーブルで接続してください。



参考

- 延長ケーブルは使用しないでください。
- 使用するプリンタードライバーを自動的に選択できた場合は、手順(2)を省くことができます。自動的に選択できなかった場合は、手順通りに作業を行ってください。
- プリンタードライバーをインストールしてから、PCとプリンターをUSB 2.0 ケーブルで接続してください。プリンタードライバーをインストールする前にUSB 2.0 ケーブルで接続すると、インストールがうまくいかないことがあります。その場合は、一度プリンタードライバーをアンインストールしてください。

- 2 画面の指示に従って操作してください。
- 3 インストールが終了したら、[設定]から[Bluetoothとデバイス] > [プリンターとスキャナー]を開いてください。



- 4 「Brother GTX300」またはファイル出力用の「Brother GTX300 FileOutput」のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定]を選択してください。
- 5 LAN接続する場合、プリンターのIPアドレス設定およびPCへのプリンター追加を実施してください。USB接続のみでLAN接続は行わない場合、PC側の設定はこれで終了です。

6 「GTX Maintenance #」を使用し、プリンターの調整を行ってください。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

| | 実施するメニュー名 | プリンター側で選択した動作モード | | GTX Maintenance #での 作業方法参照 |
|---|-----------------------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| | | 白・カラーインクモード | カラーインクモード | |
| 1 | [吐出タイミングの調整] | 実施 | カラーヘッドのみ実施 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| 2 | [プラテン送りの調整] | 実施 | 実施 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| 3 | [白とカラーの位置合わせ] | 実施 | 不要 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| 4 | [ノズルチェックパターン に表示する時刻の設定] | 実施 | 実施 | ノズルチェックパターンに 表示する時刻の設定 (p.78) |
| 5 | [白インク循環 予約時間 の設定] | 実施 | 不要 | 白インク循環予約時間の設 定 (p.80) |

4.3.3 LAN ケーブルで接続する場合：IPアドレスの設定

LAN接続する場合は、プリンターのIPアドレスをあらかじめ取得しておく必要があります。プリンターのIPアドレスを設定する方法は、PCから設定する方法とプリンターから設定する方法の2通りがあります。プリンターから設定を行う場合は8章を参照してください。[IPアドレス設定 \(p.281\)](#)

参考

- PCがプリンターを認識しない場合は、正しくIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。[LANケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加 \(p.55\)](#)
お客様の情報管理者にお尋ねください。

- 1 プリンターの電源がオンの状態で、PCとプリンターをUSB 2.0 ケーブルで接続してください。
- 2 スタートメニューから「Brother GTX Maintenance Tools」の「GTX Maintenance #」を選択します。

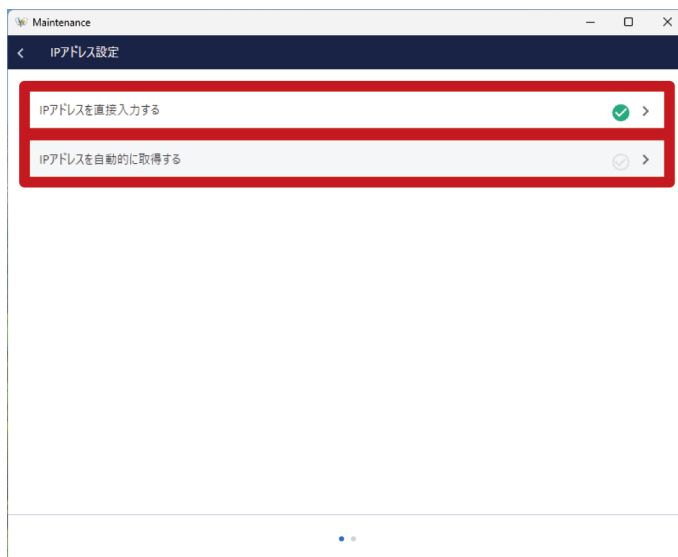
参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 3 次の画面が表示されたら、[IPアドレス設定]を選択します。



4 IPアドレスの設定方法を選択します。



「IPアドレスを直接入力する」を選択した場合

- 5 あらかじめ決定しておいたプリンターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の値を入力し、[完了]をクリックします。(画面の値は一例)

Maintenance

< IPアドレス設定

プリンターに設定するIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

IPアドレス
192 . 168 . 0 . 0

サブネットマスク
255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ
0 . 0 . 0 . 0

< 前へ 完了

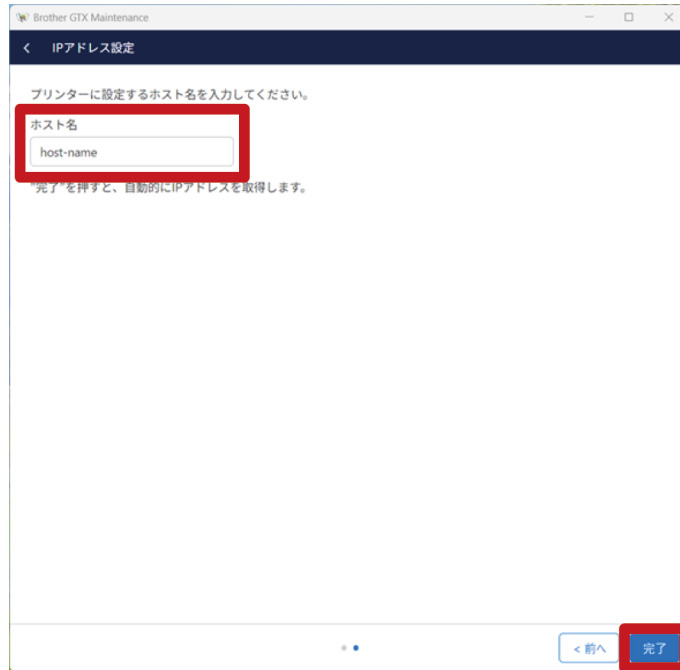
「IPアドレスを自動的に取得する」を選択した場合

- 5 プリンターに設定するホスト名を入力し、[完了]をクリックします。



参考

- ホスト名は最大31文字まで入力することができます。



- 6 [プリンターにIPアドレスが正しく設定されました。]と表示されたら、終了です。

入力したIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにエラーがある場合はその旨が表示されます。エラーのある箇所を訂正して設定し直してください。



4.3.4 LAN ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加

LANで接続する前にプリンターのIPアドレス設定を行ってください。

そのあと、次の手順でPCへのプリンター追加を実施してください。

[IPアドレス設定 \(p.281\)](#)

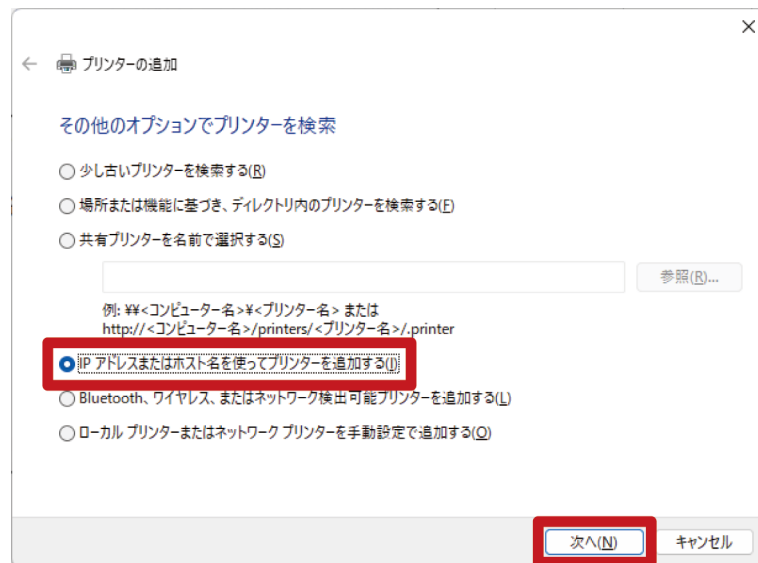
- 1 PCとプリンターをLANケーブルでネットワークに接続し、プリンターの電源を入れます。
- 2 [設定]から[Bluetoothとデバイス]>[プリンターとスキャナー]を選択します。
- 3 [デバイスの追加]をクリックします。



4 [新しいデバイスの追加]を選択します。



5 [IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンターを追加する]を選択して、[次へ]をクリックします。



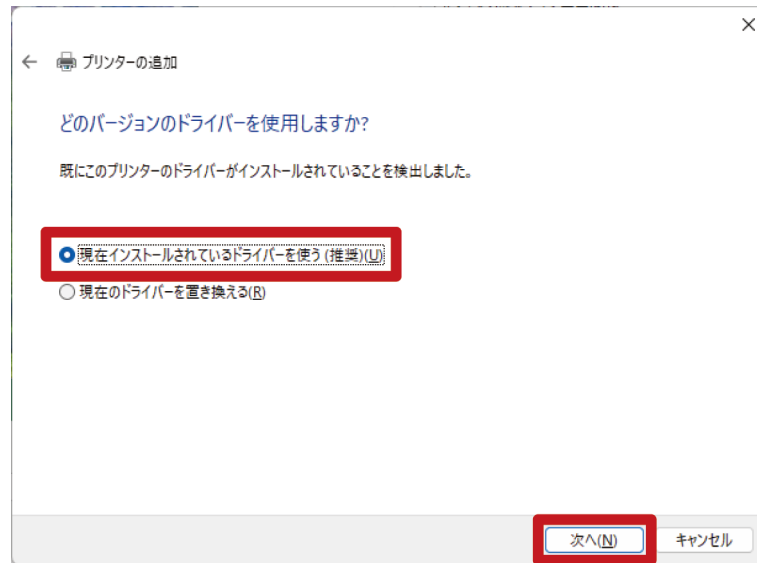
- 6 [デバイスの種類]の[TCP/IPデバイス]を選択し、[ホスト名またはIPアドレス]に、設定したプリンターのIPアドレスを入力します。[プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。(画面の値は一例)

参考

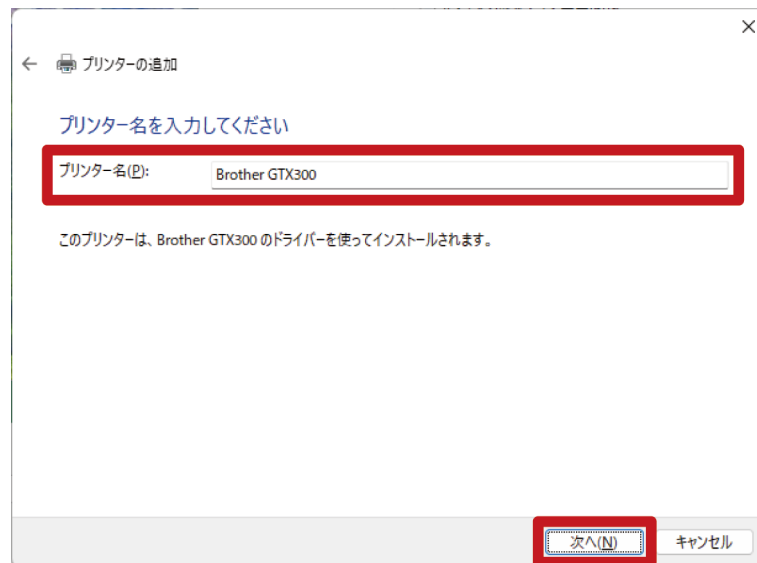
- 使用するプリンタードライバーを自動的に選択できた場合は、手順(7)~(9)を省くことができます。自動的に選択できなかった場合は、手順通り作業を行ってください。
- プリンターのIPアドレスを自動取得で設定した場合は、事前に本体のIPアドレスを確認しておく必要があります。本体のメニューから[通信設定の確認]>[IPアドレス]を選択することで確認できます。[通信設定の確認 \(p.291\)](#)
- DNSサーバーをご利用の場合は、IPアドレスの代わりにホスト名とドメイン名を入力することができます。ホスト名は、ご自身で設定したホスト名を入力してください。[LANケーブルで接続する場合：IPアドレスの設定 \(p.51\)](#) ドメイン名は、お客様の情報管理者にお尋ねください。
- IPアドレス入力時、プリンターに「00X」と表示していたら「X」と入力してください。

- 7 TCP/IPポートの検出画面が表示され、検出が終了すると、自動的に追加のポート情報画面に進みます。

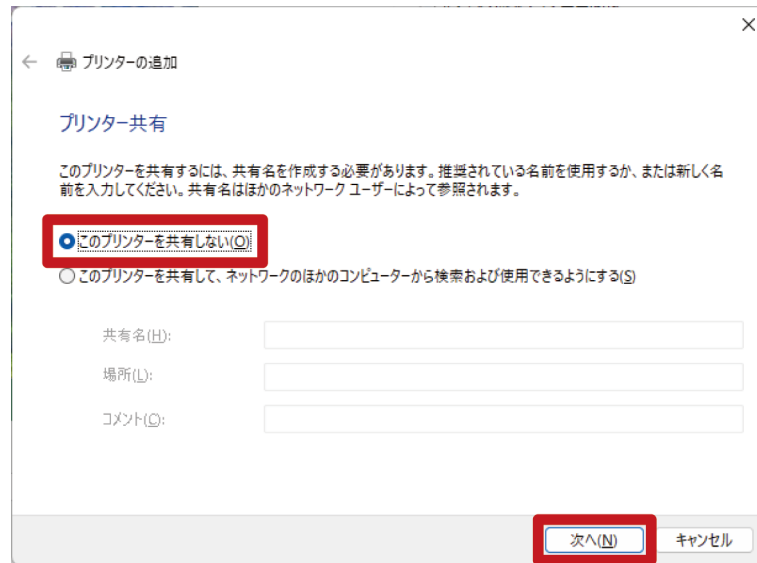
- 8 次の画面が表示されたら、[現在インストールされているドライバーを使う (推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 9 [プリンター名]を入力し、[次へ]をクリックします。



- 10 プリンターが追加され、次の画面が表示されたら、[このプリンターを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 11 [完了]をクリックします。PC側の設定はこれで終了です。

 参考

- PCがプリンターを認識しない場合は、正しくIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。お客様の情報管理者にお尋ねください。



12 「GTX Maintenance #」を使用し、プリンターの調整を行ってください。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

| | 実施するメニュー名 | プリンター側で選択した動作モード | | GTX Maintenance #での 作業方法参照 |
|---|-----------------------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| | | 白・カラーインクモード | カラーインクモード | |
| 1 | [吐出タイミングの調整] | 実施 | カラーヘッドのみ実施 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| 2 | [プラテン送りの調整] | 実施 | 実施 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| 3 | [白とカラーの位置合わせ] | 実施 | 不要 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| 4 | [ノズルチェックパターン に表示する時刻の設定] | 実施 | 実施 | ノズルチェックパターンに 表示する時刻の設定 (p.78) |
| 5 | [白インク循環 予約時間 の設定] | 実施 | 不要 | 白インク循環予約時間の設 定 (p.80) |

4.4 プリンターとPCの接続（Macintoshの場合）

この章では、GTX300 プリンタードライバーのインストール方法と、プリンターとPCの接続方法を説明します。プリンターとPCの接続方法には、USBケーブルを使用する方法と、LANケーブルを使用する方法の2種類があります。

各ステップを確認しながら実行してください。

- 1 プリンタードライバーをインストールする
[プリンタードライバーをインストールする \(p.62\)](#)

- 2 プリンターとPCを接続する

| USB接続する場合 | LAN接続する場合 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • PCへのプリンター追加 USB2.0ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加 (p.63) | <ul style="list-style-type: none"> • PCでIPアドレスを設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) プリンターのIPアドレス設定 LANケーブルで接続する場合：IPアドレスの設定 (p.51) (2) PCへのプリンター追加 LANケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加 (p.67) • プリンター本体でIPアドレスを設定 <ol style="list-style-type: none"> (1) プリンターのIPアドレス設定 IPアドレス設定 (p.281) (2) PCへのプリンター追加 LANケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加 (p.67) |

- 3 プリンターの調整を行う

4.4.1 プリンタードライバーをインストールする

まず、PCにファイル出力用プリンタードライバー「Brother GTX300 FileOutput」をインストールします。
この段階では、まだプリンターをPCにつながないでください。



参考

- PCにはAdministrators権限でログインしてください。

- 1 PCを起動してください。
- 2 すべての作業を終了してください。
- 3 「GTX300-Ver***.pkg」をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。
- 4 インストールが始まります。画面の指示に従って操作してください。
- 5 インストールが終了したら、PCを再起動してください。

4.4.2 USB2.0ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加

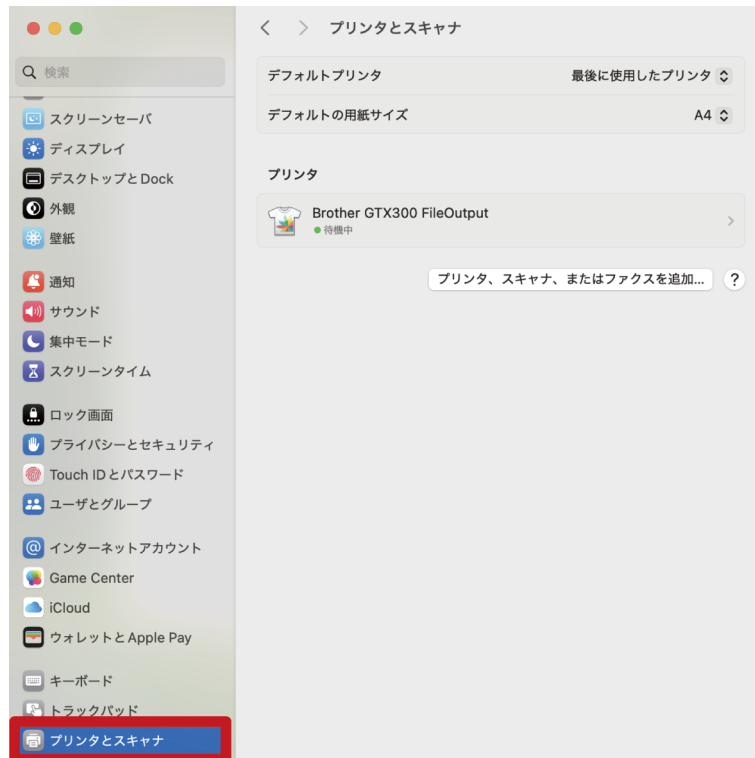
- 1 プリンターの電源がオンの状態で、PCとプリンターをUSB 2.0 ケーブルで接続してください。



参考

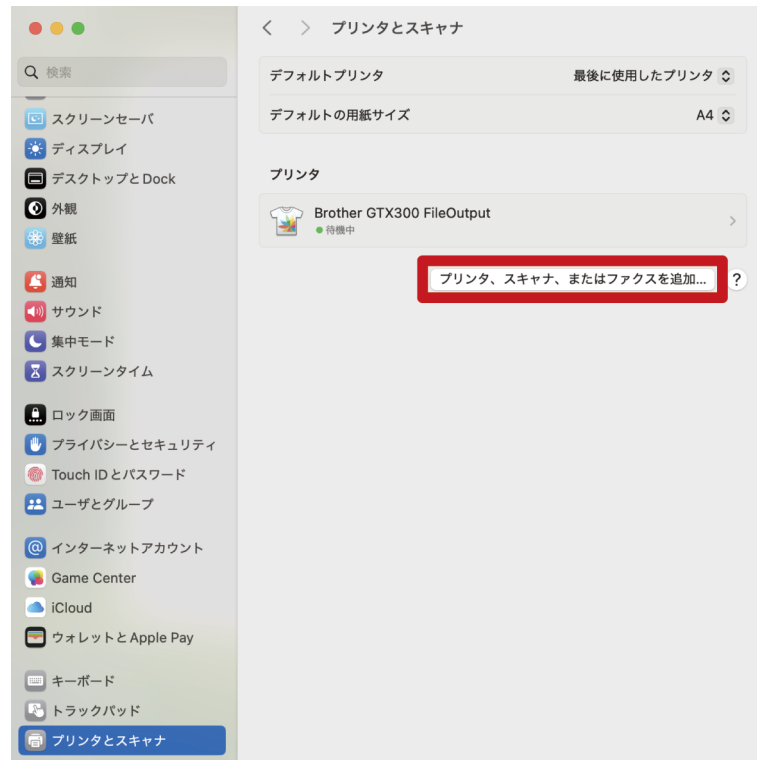
- 延長ケーブルは使用しないでください。
- 使用するプリンタードライバーを自動的に選択できた場合は、手順(2)～(6)を省くことができます。自動的に選択できなかった場合は、手順通りに作業を行ってください。
- プリンタードライバーをインストールしてから、PCとプリンターをUSB 2.0 ケーブルで接続してください。プリンタードライバーをインストールする前にUSB 2.0 ケーブルで接続すると、インストールがうまくいかないことがあります。その場合は、一度プリンタードライバーをアンインストールしてください。

- 2 アップルメニューから[システム設定]を開き、[プリンタとスキャナ]をクリックします。

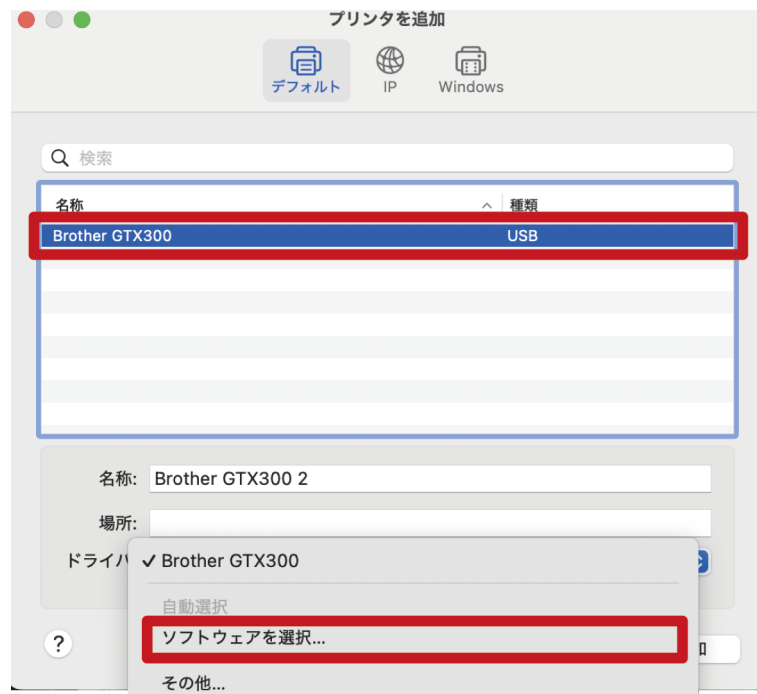


Chapter 4 設置と準備

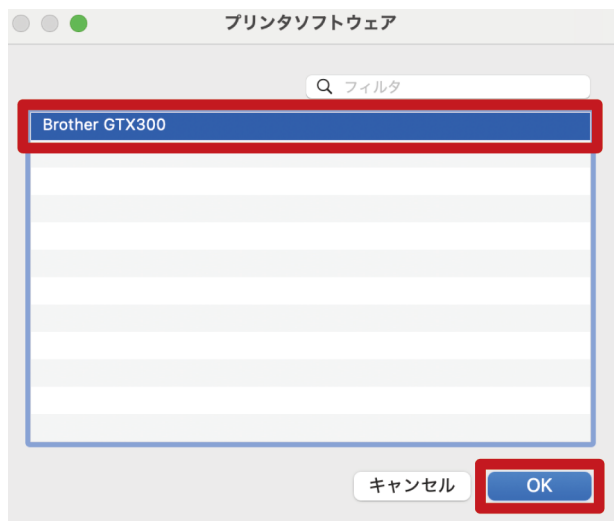
3 右下の[プリンタ、スキャナ、またはファックスを追加...]をクリックします。



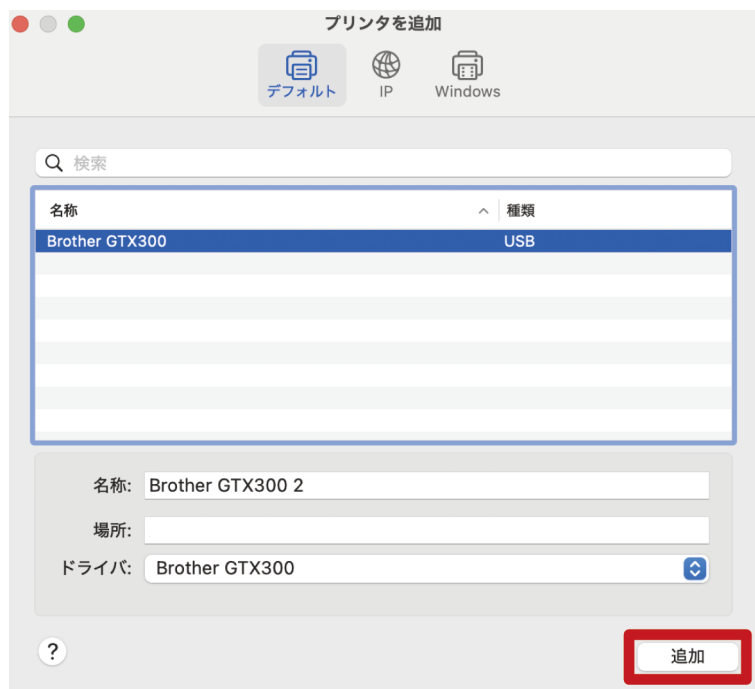
4 [Brother GTX300 xxx]を選択し、[ドライバ]の[ソフトウェアを選択]をクリックします。



- 5 [Brother GTX300]を選択し、[OK]をクリックします。

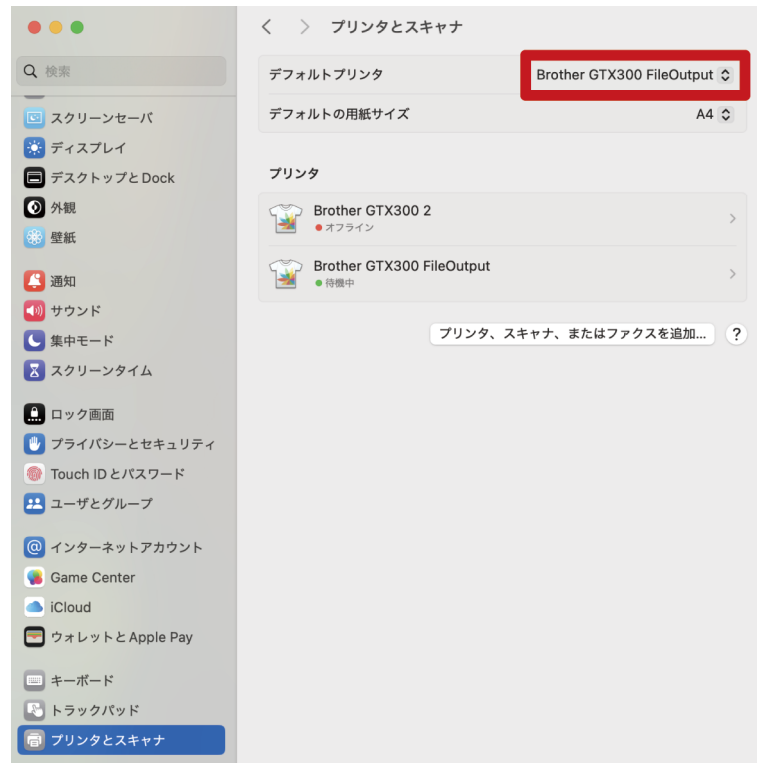


- 6 [追加]をクリックします。



7 [デフォルトプリンタ]で、[GTX300]または[GTX300 FileOutput]を選択します。

USB接続の設定はこれで終了です。



8 「GTX Maintenance #」を使用し、プリンターの調整を行ってください。



参考

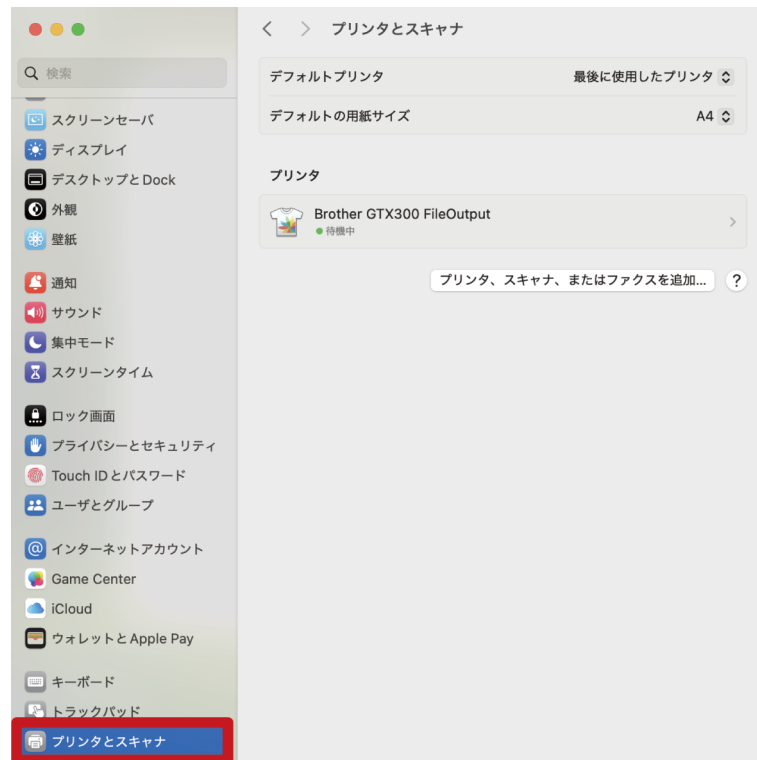
- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

| | 実施するメニュー名 | プリンター側で選択した動作モード | | GTX Maintenance #での作業方法参照 |
|---|-------------------------|------------------|------------|--|
| | | 白・カラーインクモード | カラーインクモード | |
| 1 | [吐出タイミングの調整] | 実施 | カラーヘッドのみ実施 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| 2 | [プラテン送りの調整] | 実施 | 実施 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| 3 | [白とカラーの位置合わせ] | 実施 | 不要 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| 4 | [ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定] | 実施 | 実施 | ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定 (p.78) |
| 5 | [白インク循環 予約時間の設定] | 実施 | 不要 | 白インク循環予約時間の設定 (p.80) |

4.4.3 LAN ケーブルで接続する場合：PCへのプリンター追加

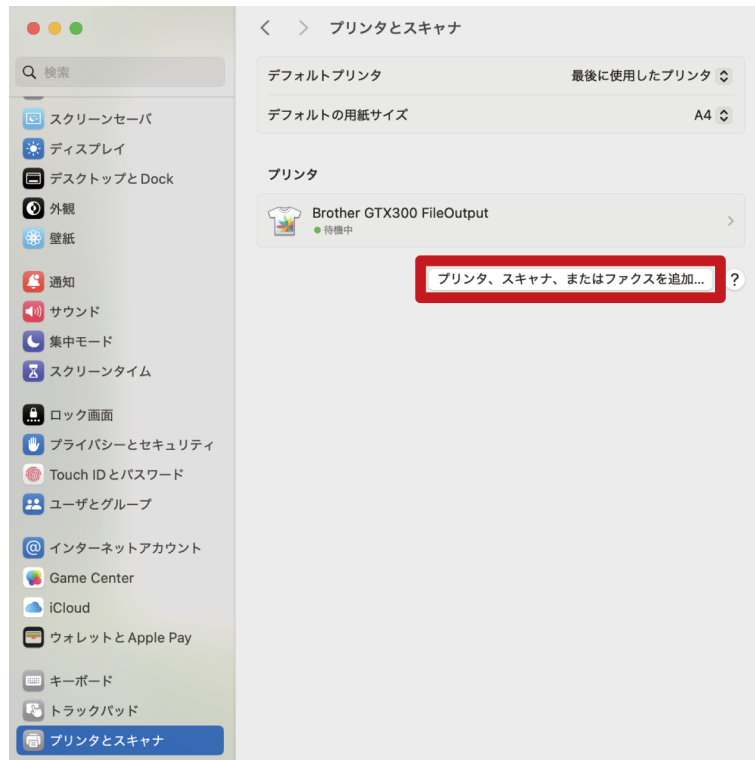
LANで接続する場合は、取扱説明書を参照してプリンターのIPアドレス設定を行ってください。
その後、次の手順でPCへのプリンター追加を実施してください。

- 1 PCとプリンターをLANケーブルでネットワークに接続し、プリンターの電源を入れます。
- 2 アップルメニューから[システム設定]を開き、[プリンタとスキャナ]をクリックします。



Chapter 4 設置と準備

3 右下の[プリンタ、スキャナ、またはファックスを追加...]をクリックします。

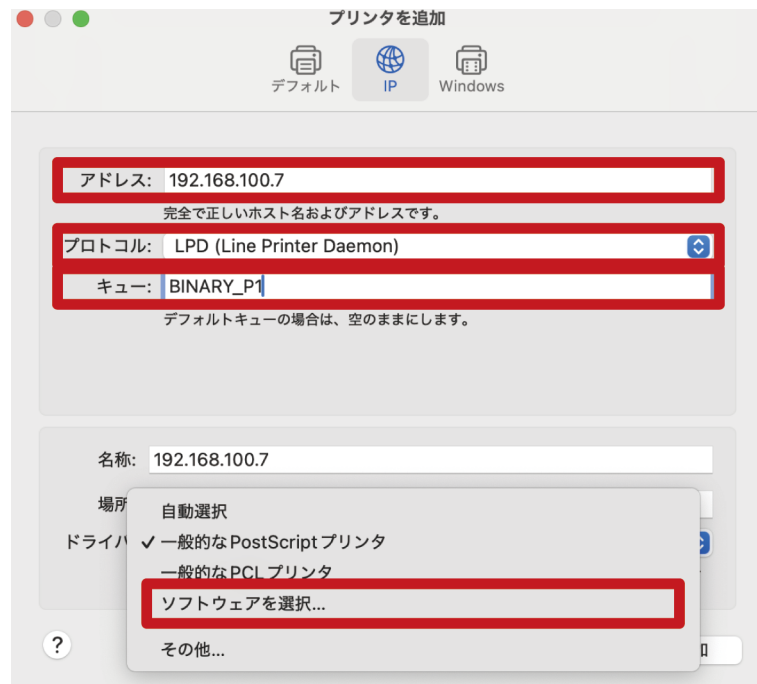


4 [IP]を選択します。

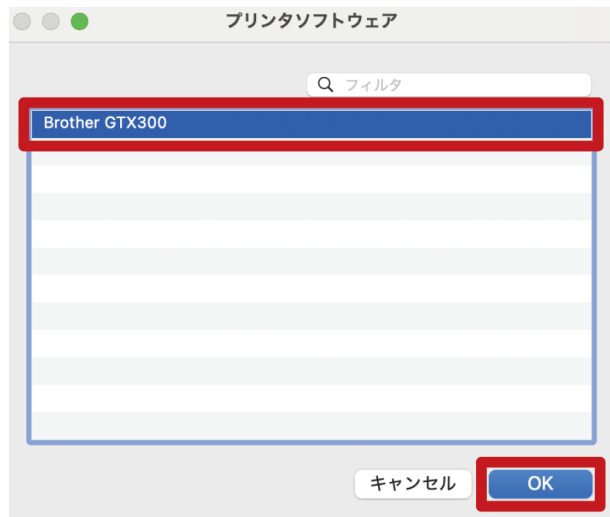


Chapter 4 設置と準備

- 5 [アドレス]に、設定したプリンターのIPアドレスを入力します。
[プロトコル]の[LPD (Line Printer Daemon)]を選択します。
[キュー]に、「BINARY_P1」と入力します。
[名称]に、プリンター名を入力します。
[ドライバ]の[ソフトウェアを選択]をクリックします。



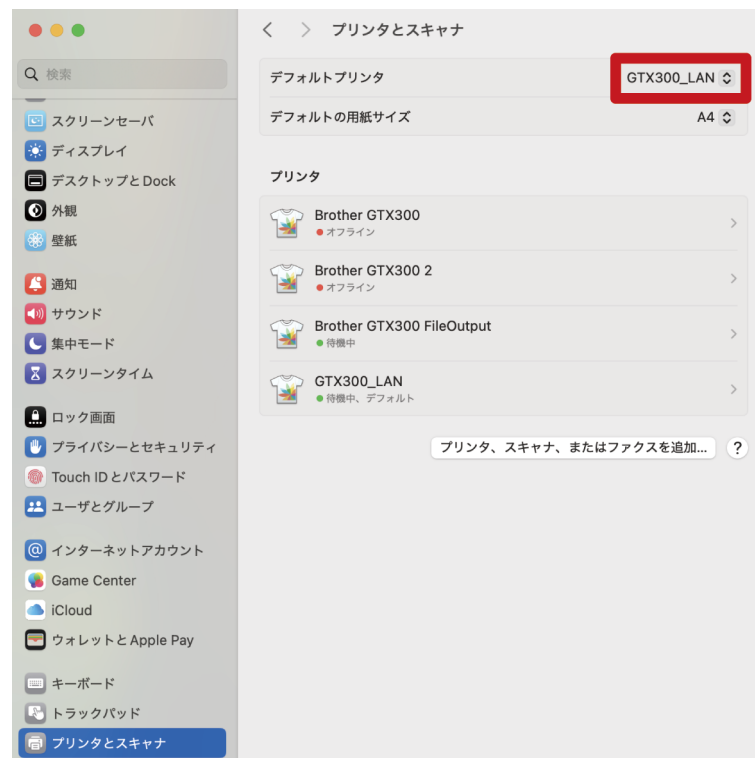
- 6 [Brother GTX300]を選択し、[OK]をクリックします。



7 [追加]をクリックします。



8 [プリンタとスキャナ]の画面に戻り、GTX300 プリンター(LAN) が追加されます。必要に応じて[デフォルトプリンタ]で、GTX300 プリンターを選択してください。LAN接続の設定はこれで終了です。



9 「GTX Maintenance #」を使用し、プリンターの調整を行ってください。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

| | 実施するメニュー名 | プリンター側で選択した動作モード | | GTX Maintenance #での 作業方法参照 |
|---|-----------------------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| | | 白・カラーインクモード | カラーインクモード | |
| 1 | [吐出タイミングの調整] | 実施 | カラーヘッドのみ実施 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| 2 | [プラテン送りの調整] | 実施 | 実施 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| 3 | [白とカラーの位置合わせ] | 実施 | 不要 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| 4 | [ノズルチェックパターン に表示する時刻の設定] | 実施 | 実施 | ノズルチェックパターンに 表示する時刻の設定 (p.78) |
| 5 | [白インク循環 予約時間 の設定] | 実施 | 不要 | 白インク循環予約時間の設 定 (p.80) |

4.5 調整

「GTX Maintenance #」を使用し、プリンターの調整を行ってください。



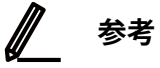
参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

| メニュー名 | 説明 | 用意するもの | GTX Maintenance #での作業方法参照 |
|-------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|--|
| [ヘッド交換後の初期設定] | ヘッドを交換した際に設定してください。 | — | ヘッド交換後の初期設定 (p.73) |
| [吐出タイミングの調整] | 印刷がぼやけたり粒状感が目立つ時、ヘッドを交換した際に調整してください。 | 黒い紙あるいは透明のシート (OHPシートなど) 白い紙 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| [プラテン送りの調整] | 印刷後、絵の横筋 (バンディング) が目立つ場合に調整してください。 | 白い紙 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| [白とカラーの位置合わせ] | 白とカラーの画像の位置がずれている場合に調整してください。 | 黒い紙 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| [ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定] | 白インク循環の予約時間の設定を行っている場合は不要です。 | — | ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定 (p.78) |
| [白インク循環 予約時間の設定] | 白インク循環が入る時間を予約する時、または予約を解除するときに設定します。 | — | 白インク循環予約時間の設定 (p.80) |

4.5.1 ヘッド交換後の初期設定

プリントヘッドの交換をした後に設定してください。



参考

- プリンター出荷時は実施済のため、設定は不要です。

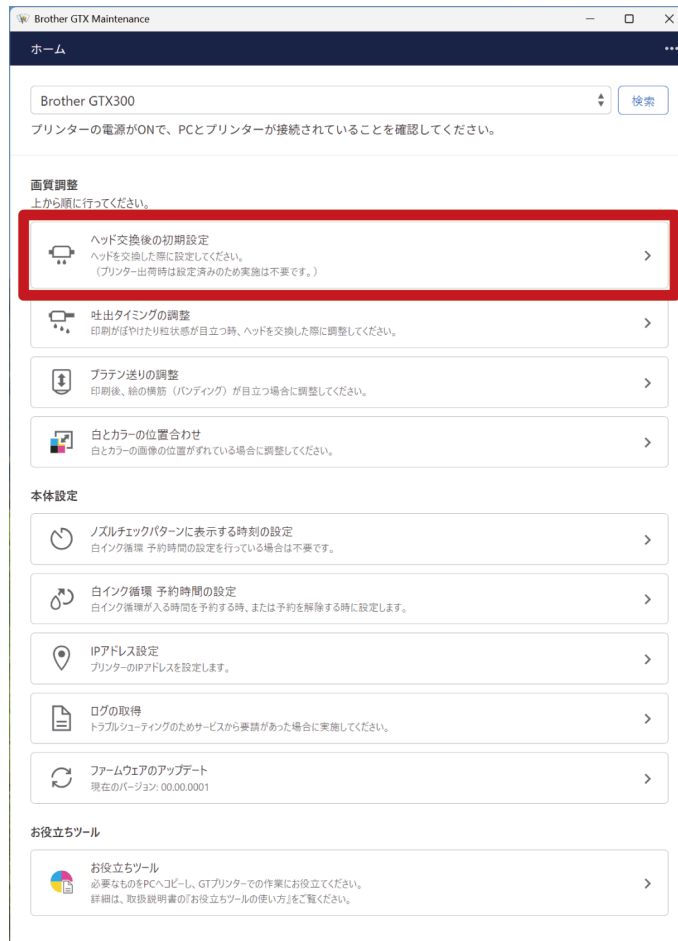
- 1 プリンターとPCがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。
- 2 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 3 次の画面が表示されたら、[ヘッド交換後の初期設定]を選択します。



- 4 画面に表示されるダイアログボックスの指示に従って実行してください。
調整完了後、上記の画面に戻ります。

参考

- 設定時に必要なプリントヘッドのシリアル番号 (SN)、またはV-Ratingの情報は下記写真の位置で確認できます。



4.5.2 吐出タイミング調整

プラテンの高さやプリントヘッドの特性によって吐出タイミングが異なるため、プリントヘッドの交換をした後やセットアップ完了後などに吐出タイミングをヘッドごとに合わせる調整機能です。ヘッド交換後の調整を行う場合は、ヘッド交換後の初期設定をしたあとに作業を行ってください。

- 1 A4またはレターサイズの紙（黒い紙またはOHPシートなどの透明なシート、および白い紙）を数枚用意します。
- 2 プリンターとPCがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。
- 3 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 4 次の画面が表示されたら、[吐出タイミングの調整]を選択します。



- 5 画面に表示されるダイアログボックスの指示に従って実行してください。
調整完了後、上記の画面に戻ります。

4.5.3 プラテン送りの調整

プリントヘッドの交換をした後やセットアップ完了後、または印刷に横筋が出る場合に調整してください。

ヘッド交換後の調整を行う場合は、ヘッド交換後の初期設定と吐出タイミング調整をしたあとに作業を行ってください。

- 1 A4またはレターサイズの白い紙を数枚用意します。
- 2 プリンターとPCがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。
- 3 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 4 次の画面が表示されたら、[プラテン送りの調整]を選択します。



- 5 画面に表示されるダイアログボックスの指示に従って実行してください。
調整完了後、上記の画面に戻ります。

4.5.4 白とカラーの位置合わせ

白側ヘッドの印刷位置とカラー側ヘッドの印刷位置を合わせるための調整機能です。プリントヘッドの交換をした後やセットアップ完了後に調整してください。

ヘッド交換後の調整を行う場合は、ヘッド交換後の初期設定と吐出タイミング調整、プラテン送りの調整をしたあとに作業を行ってください。

- 1 A4またはレターサイズの黒い紙を数枚用意します。
- 2 プリンターとPCがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。
- 3 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 4 次の画面が表示されたら、[白とカラーの位置合わせ]を選択します。



- 5 画面に表示されるダイアログボックスの指示に従って実行してください。調整完了後、上記の画面に戻ります。

4.5.5 ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定

ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定を行います。

- 1 プリンターとPCがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認します。
- 2 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

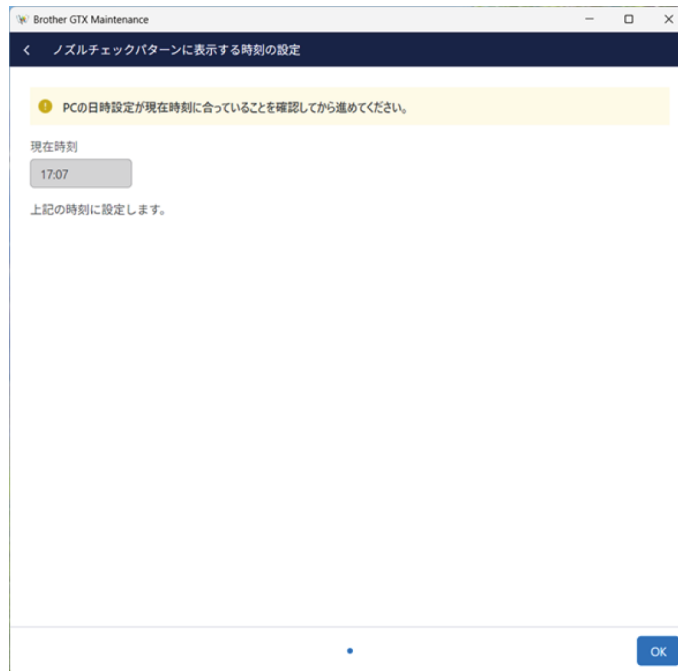
- 3 次の画面が表示されたら、[ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定]を選択します。



4 画面に表示されるダイアログボックスの指示に従って実行してください。

⚠ 注意

- PCの日付と時刻の設定が正しいことを確認してから進めてください。



5 設定完了後、メイン画面に戻ります。



4.5.6 白インク循環予約時間の設定

指定の時間で白インク循環を行うことができます。設定をしていない場合は、4時間毎に自動的に白インク循環が行われます。

- 1 プリンターと PCが USB 2.0 ケーブルまたは LAN ケーブルで接続されていることを確認します。
- 2 PC上でスタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」を選択します。



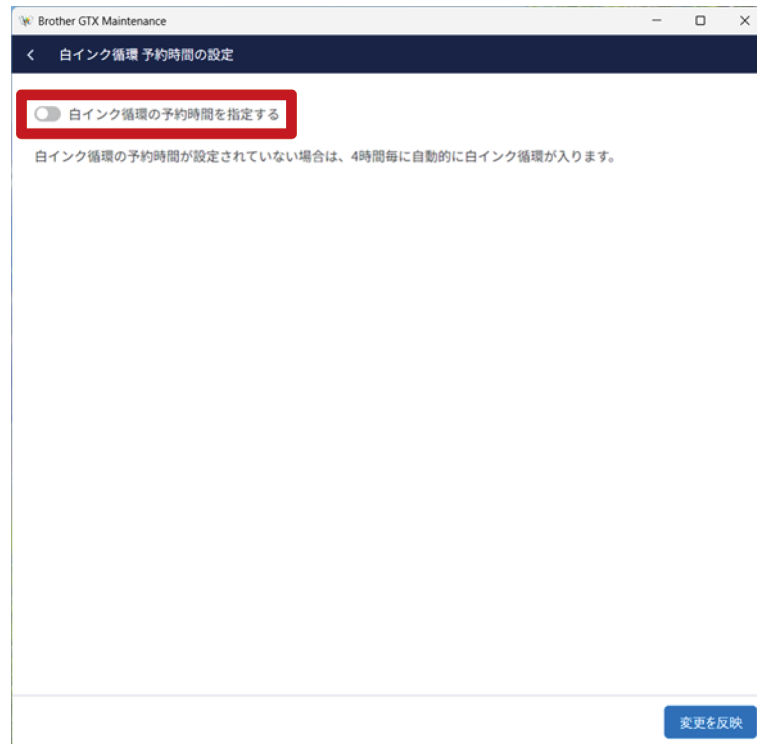
参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 3 次の画面が表示されたら、[白インク循環 予約時間の設定]を選択します。




4 次の画面が表示されたら、[白インク循環の予約時間を指定する]を選択します。



5 白インク循環開始時間を設定し、[変更を反映]をクリックします。

 **注意**

- PCの日付と時刻の設定が正しいことを確認してから進めてください。
- 開始時間は6つ以上入力してください。
- 白インク循環の間隔が1時間から6時間の間となるように設定してください。
- 「0:00」～「23:59」の範囲で入力してください。

 **参考**

- 設定した予約時間は、本体側で確認できます。[循環スケジュール確認 \(p.289\)](#)

4.6 プリンターの移動

プリンターを移動・輸送する際はBrother販売店までご連絡ください。

Chapter 5

印刷データの作成

5.1 アプリケーションの種類

印刷データを作成するには、「ブラザー製品を使用する」方法と「その他のアプリケーションを使用する」方法の2種類があります。使用環境により、アプリケーションを選択してください。

ブラザー製品のアプリケーションを使用することをお勧めしますが、その他のアプリケーションを使用する場合、高品質な印刷結果を得るために、記載している2つのアプリケーションのいずれかを使用することをお勧めします。本章では、その他のアプリケーションを使用する場合の手順を記載しています。

ブラザー製品を使用する場合

| 使用するアプリケーション | 参照先 |
|------------------|-------------------|
| GTX Graphics Lab | Graphics Lab取扱説明書 |

その他のアプリケーションを使用する場合

| 使用するアプリケーション | 参照先 |
|----------------------|---|
| Adobe Photoshop CC | Adobe Photoshopを使用する場合 (p.88) |
| Adobe Illustrator CC | Adobe Illustratorを使用する場合 (p.95) |



参考

- 各アプリケーションの設定に従って、アプリケーションのカラー設定や印刷条件を適切に設定してください。
- 本章ではRGB=(254,254,254)を「RGB=254」と記述し、RGB=(255,255,255)を「RGB=255」と記述します。

カラーモード（カラースペース）について

GTX300プリンターはRGB形式のプリンターです。

画像データは必ずRGBモードで作成し、その際に使用するカラースペース（インプット）は必ずsRGB（sRGB IEC61966-2.1）に設定してください。



- Adobeのアプリケーションを使用した場合に、CMYKモードの画像は期待通りの色再現ができないことがあります。
- RGBモードであっても、Adobe RGB等の指定外のカラースペースを使用すると同様に色再現の不具合が生じます。

印刷レイアウトについて

印刷メニューの中の用紙サイズ指定を使用するプラテンサイズにして印刷レイアウトを確認してください。

さらにファイル出力用の「Brother GTX300 FileOutput」プリンタードライバーを利用して、印刷プレビューを確認してください。



- 常に印刷画像を正しく配置するために、GTX300 プリンターをPCの[通常使うプリンターに設定]にすることをお勧めします。

白データの作り方

[カラー+白インク]または[白インクのみ]で印刷データを作成する場合、RGB=255を「透明色」として扱い、インクを吐出しません。

白インクで真っ白に印刷したい画像は、RGB=254に設定してください。



- アプリケーションによってRGB=255の扱い方が異なります。
適切に設定してください。

ARX3ファイルについて

ファイル出力用の「Brother GTX300 FileOutput」プリンタードライバーを用いてARX3形式で保存します。ARX3形式で保存すると、印刷データの情報やインク使用量を確認できます。



参考

- ファイル出力をする際はプリンタードライバー「Brother GTX300 FileOutput」をお使いください。各アプリケーションが用意している[ファイルへ出力]コマンドでファイル出力すると、ファイルの拡張子が.arx3にならない、さらにファイル出力先の指定が出来ないことがあります。
- GT-541/GT-782/GT-3 /GTX-4/GTX-proRoll/GTX-6シリーズの印刷データは、GTX300で印刷できません。
- PCのコントロールパネルからプリンタードライバーの設定を行うと各アプリケーションで有効にならないことがあります。印刷前にプリンタードライバーの設定を確認してください。

5.2 Brother GTX300 FileOutput を用いて印刷データを送信する (Macintosh のみ)

印刷データをファイルに保存する

「Brother GTX300 FileOutput」プリンターを使用して印刷データをファイルに保存するときは、「GTX300 FileViewer」を起動した状態で行ってください。

「GTX300 FileViewer」を起動していない状態で出力すると、次のエラーが出て保存できません。



参考

- アプリケーションによってはエラー表示が出ない場合があります。再度、「GTX300 FileViewer」を起動した状態で行ってください。

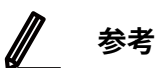


参考

- 「Brother GTX300 FileOutput」からファイル出力を行う手順は、Windows PCと同様です。

印刷データを送信する

「Brother GTX300 FileOutput」プリンターを使用して保存した印刷データは、次の手順でプリンターに送信してください。



参考

- 印刷データを送信する手順は、Windows PCと同様です。

- 1 「Brother GTX300 FileOutput」プリンターを使用して保存した、拡張子が「.arx3」のファイルをダブルクリックします。
- 2 「GTX300 FileViewer」が立ち上がり、[プリンターへ送信]をクリックすると送信されます。

5.3 その他のアプリケーションを使用する

5.3.1 Adobe Photoshopを使用する場合

Photoshopから以下を実施してください。

- カラー設定

必要に応じて以下を実施してください。

- 印刷データ（ARX3ファイル）を作成する
- お役立ちツールにあるカラーパレットを使用する
- RGB=255 を RGB=254 に置き換える



参考

- 画像がCMYKの場合は、メニューバーから[イメージ] > [モード]でRGBカラー(sRGB)に変換してください。画像の編集はメニューバーから[イメージ] > [色調補正]内のメニューで行うか、プリンタードライバーの画質改善で行ってください。
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[画質を設定する \(p.119\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[画質を設定する \(p.130\)](#)
- 本機ではPhotoshop CCの使用を推奨します。表示画面はPhotoshop CCで説明しています。

カラー設定

1 メニューバーから[編集]>[カラー設定]を選択します。

2 [カラー設定]を下記のように設定します。

[作業用スペース]

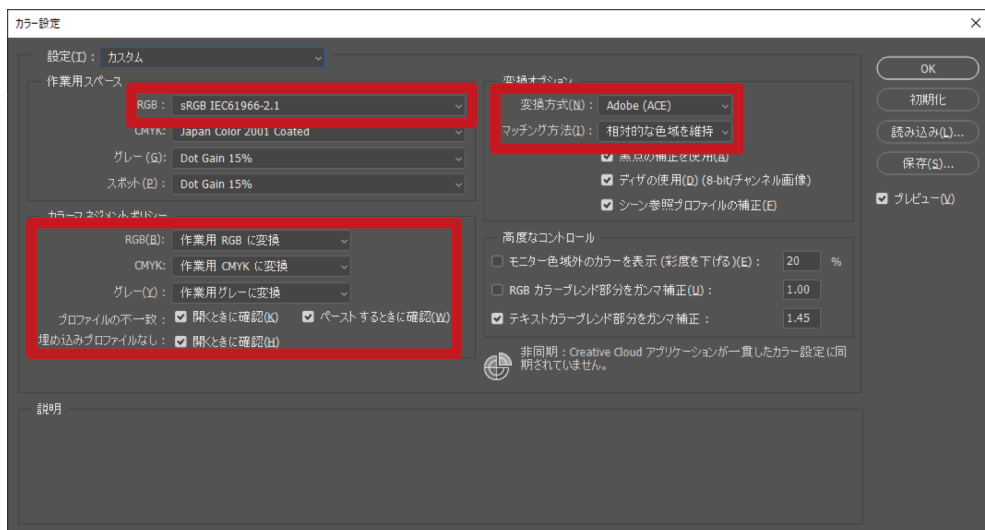
- [RGB]：[sRGB IEC61966-2.1]

[変換オプション]

- [変換方式]：[Adobe(ACE)]
- [マッチング方法]：[相対的な色域を維持]

[カラーマネジメントポリシー]

- [RGB]：[作業用RGBに変換]
- [CMYK]：[作業用CMYKに変換]
- [グレー]：[作業用グレーに変換]
- [プロファイルの不一致]：[開くときに確認]にチェック、[ペーストするときに確認]にチェック
- [埋め込みプロファイルなし]：[開くときに確認]にチェック



印刷データ（ARX3ファイル）を作成する

画像データと印刷設定内容をARX3形式で印刷データとして保存します。

ARX3ファイルにすると以下のことができます。

- 画像データと印刷設定を一つにまとめて保存できます。
- PCを接続せずに、USBメモリーから直接印刷ができます。



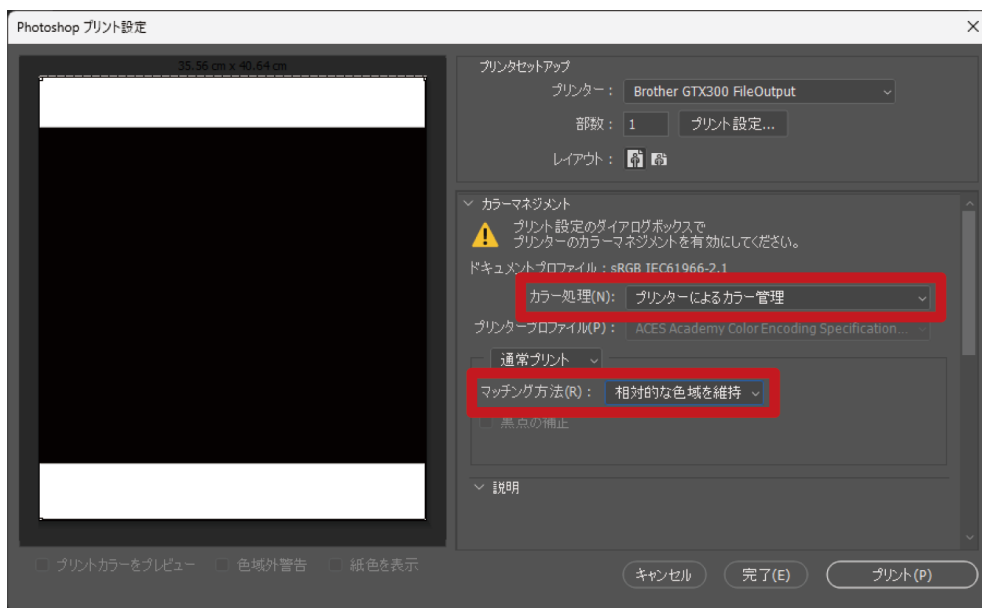
参考

- ARX3ファイルでは画像編集ができません。あらかじめ画像データを編集用に保存しておいてください。
- ファイル出力は各アプリケーションが用意している[ファイルへ出力]コマンドではファイル出力先や拡張子が指定できないことがあります。プリンタードライバー「Brother GTX300 FileOutput」をお使いください。
- アプリケーションから直接プリンターにデータを送信する場合 [アプリケーションから印刷データを送信する \(p.191\)](#)

1 メニューバーから[ファイル]>[プリント]を選択します。PCの通常使うプリンターが「Brother GTX300」か「Brother GTX300 FileOutput」の場合は、レイアウトがプラテンサイズに設定されます。

2 下記のように設定します。

- [カラー処理]: [プリンターによるカラー管理]
- [マッチング方法]: [相対的な色域を維持]



3 [プリンター]でファイル出力用の「Brother GTX300 FileOutput」を選択します。



参考

- [プリンター]を「Brother GTX300」に設定すると、印刷データがプリンターに送信されます。
- [プリンター]を「Brother GTX300 FileOutput」に設定すると、印刷データがARX3ファイルで保存されます。

Chapter 5

印刷データの作成

4 [プリント設定]でプリンタードライバーの設定を行います。

- 白インクを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.101\)](#)
- カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.122\)](#)

5 [プリント]を押すと、次のダイアログボックスが表示されます。[保存]をクリックします。


参考

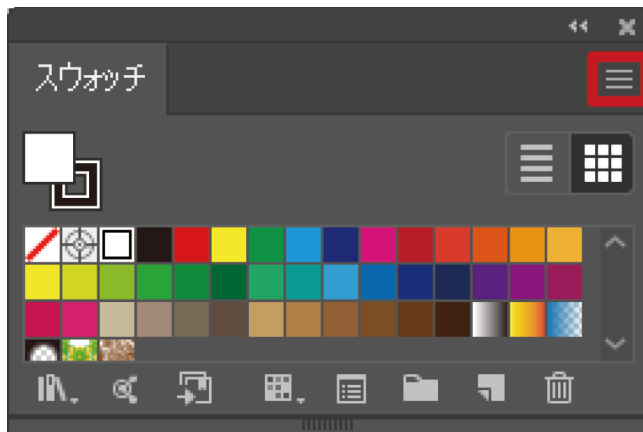
- 数分かかる場合があります。



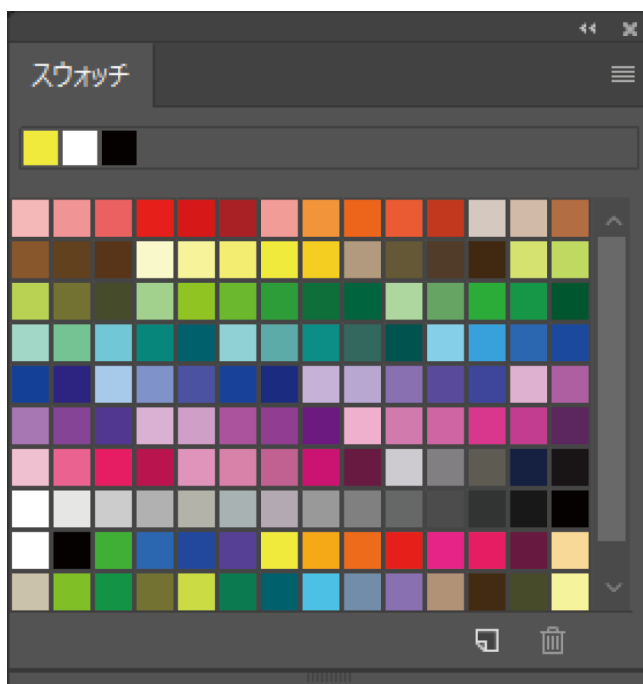
6 [保存する場所]と[ファイル名]を指定して、ARX3 ファイルを[保存]してください。

お役立ちツールにあるカラーパレットを使用する

- 1 Photoshop用のカラーパレットファイル「GT_Colors_T.ase」を画面の指示に従ってPCに保存します。
- 2 メニューバーから[ウィンドウ] > [スウォッチ]を選択します。
- 3 をクリックし、サブメニューを開きます。



- 4 [スウォッチの置き換え]で、ファイルの種類[スウォッチ交換(*.ASE)]を選択し、続いてファイル名[GT_Colors_T.ase]を選択します。



参考

- HKS、Pantoneなどの色見本パレットから色を使用しないでください。画面の色と印刷の色が異なる場合があります。

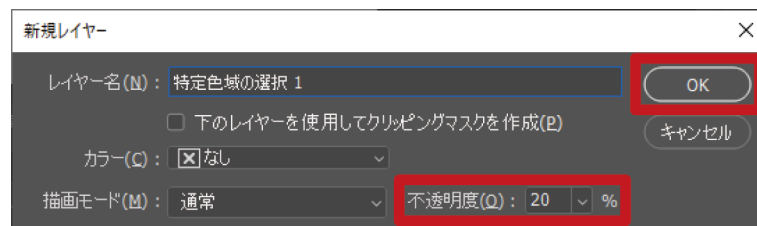
RGB=255 を RGB=254 に置き換えるときは

RGB=255は透明色として認識されます。RGB=255が含まれている部分にはインクが吐出されません。

白を印刷するために、RGB=255の領域を選択してRGB=254に置き換えてください。

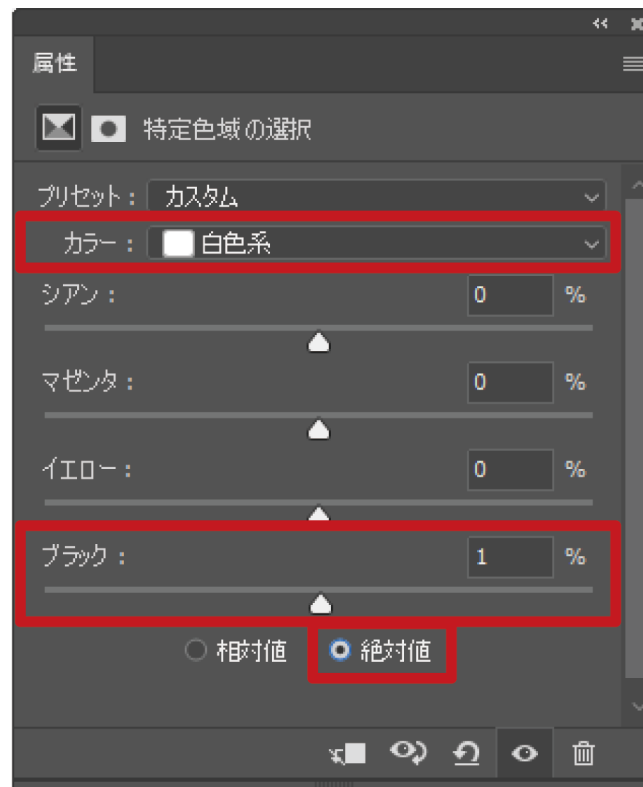
置き換えは、以下の方法をご利用ください。

- 1 メニューバーの[レイヤー]>[新規調整レイヤー]>[特定色域の選択]で新規レイヤーを作成します。
- 2 不透明度は20%に設定して[OK]をクリックします。



- 3 [特定色域の選択]で下記のように設定します。

- [カラー]: [白色系]
- [ブラック]: 1%
- [絶対値]にチェック





参考

- 上記のようにRGB=255をRGB=254に置き換える方法は、[カラーモード]が[RGBカラー]の[8 bit]のときのみ使用できません。
- PhotoshopでRGB=255をRGB=254にするアクションファイル「SolidWhite.atn」がお役立ちツールにあります（「[RGB=255](#)」を「[RGB=254](#)」に置き換える（Photoshopのみ）（p.133））。使い方は、Photoshopのヘルプを参照してください。

5.3.2 Adobe Illustratorを使用する場合

Illustratorから以下を実施してください。

- カラー設定
- 新しいファイルを開く

必要に応じて以下を実施してください。

- 印刷データ（ARX3ファイル）を作成する
- お役立ちツールにあるカラーパレットを使用する



参考

- 印刷範囲内に画像データが入らない、画像データが欠けるなどのトラブルを回避するには下記のいずれかを行ってください。
 - 起動前にPCの通常使うプリンターに「Brother GTX300」または「Brother GTX300 FileOutput」を設定してください。
 - 「Brother GTX300 FileOutput」プリンタードライバーでファイル出力をして、プレビューで確認してください。
- 画像がCMYKの場合は、画像をPhotoshopに読み込み、メニューバーから[イメージ] > [モード]でRGBカラー(sRGB)に変換してください。また、画像の編集はPhotoshopに読み込み、ビットマップデータで行うか、プリンタードライバーの画質改善で行ってください。
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[画質を設定する \(p.119\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[画質を設定する \(p.130\)](#)
- 本機ではIllustrator CCの使用を推奨します。表示画面はIllustrator CCで説明しています。

カラー設定

1 メニューバーから[編集]>[カラー設定]を選択します。

2 [詳細オプション]をクリックします。

3 下記のように設定し、[OK]をクリックしてください。

• [設定]：[カスタム]

[作業用スペース]

• [RGB]：[sRGB IEC61966-2.1]

[カラーマネジメントポリシー]

• [RGB]：[作業用スペースに変換]

• [CMYK]：[作業用スペースに変換]

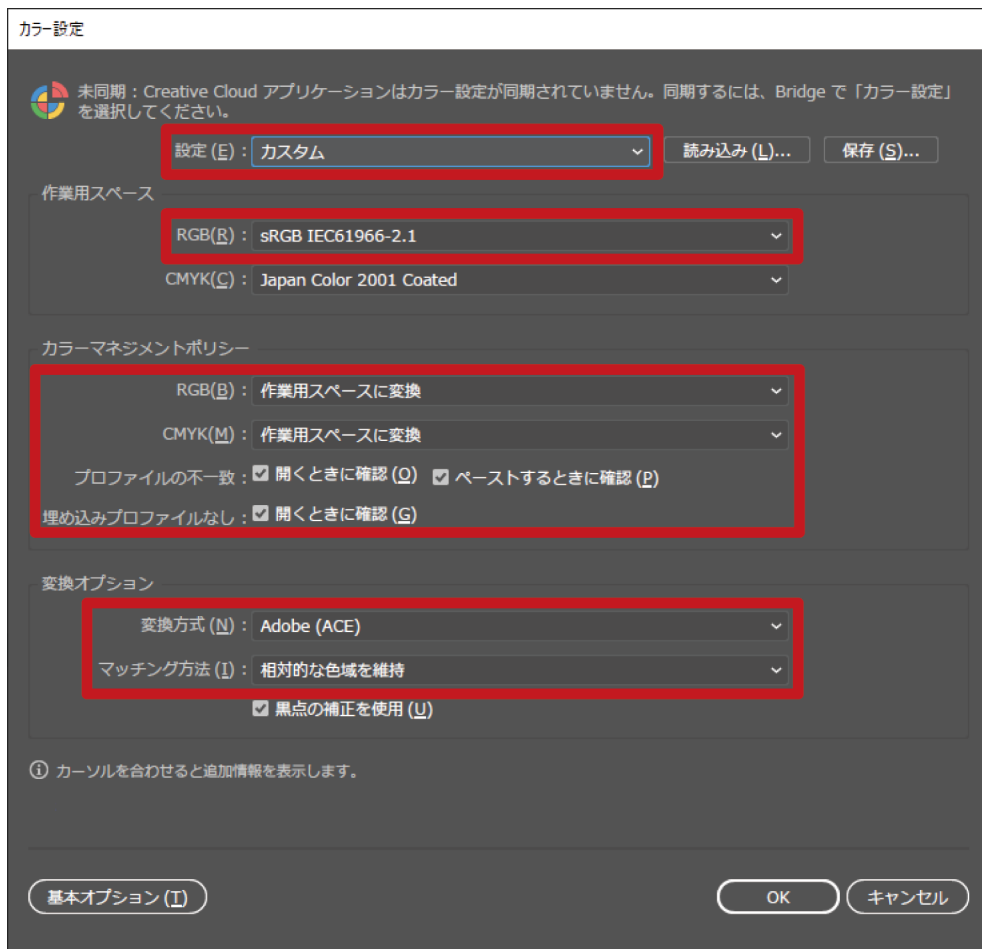
• [プロファイルの不一致]：[開くときに確認]にチェック、[ペーストするときに確認]にチェック

• [埋め込みプロファイルなし]：[開くときに確認]にチェック

[変換オプション]

• [変換方式]：[Adobe(ACE)]

• [マッチング方式]：[相対的な色域を維持]



新しいファイルを開く

1 新規ドキュメントの設定をします。

- [幅] : 355.6 mm
- [高さ] : 420.1 mm
- [方向] : 縦
- [カラーモード] : [RGB]



参考

- 幅と高さは使用するプラテンのサイズに設定してください。上記は標準の14×16.5プラテンのサイズとなります。
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[プラテンサイズを選択する \(p.103\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プラテンサイズを選択する \(p.124\)](#)

詳細設定

名前 (N) : 名称未設定

プロファイル (P) : [カスタム]

アートボードの数 (M) : 1

間隔 (I) : 7.0556 mm 横列数 (O) : 1

サイズ (S) : [カスタム]

幅 (W) : 355.6 mm 単位 (U) : ミリメートル

高さ (H) : 420.1 mm 方向 :

天 地 左 右

裁ち落とし (L) : 0 mm 0 mm 0 mm 0 mm

キャンバスカラー : 透明 (デフォルト)

▼ 詳細

カラーモード (C) : RGB

ラスターライズ効果 (R) : 高解像度 (300 ppi)

プレビューモード (E) : デフォルト

テンプレート (T)...

ドキュメント作成 キャンセル

印刷データ (ARX3 ファイル) を作成する

画像データと印刷設定内容を ARX3 形式で印刷データとして保存します。

ARX3 ファイルにすると以下のことができます。

- 画像データと印刷設定を一つにまとめて保存できます。
- PC を接続せずに、USB メモリーから直接印刷ができます。



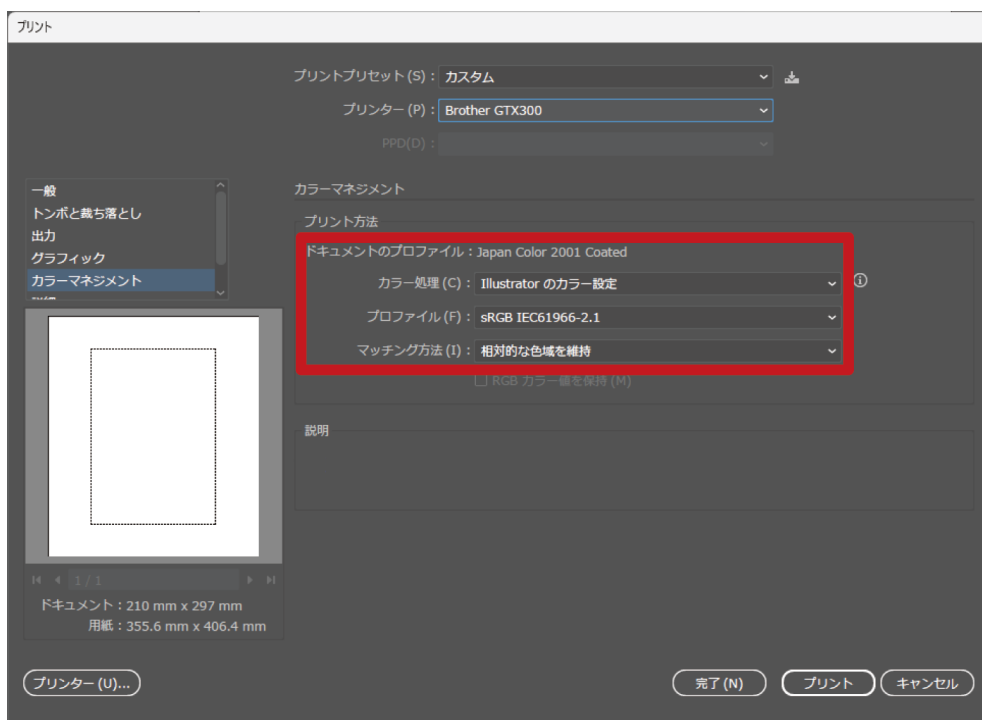
参考

- ARX3 ファイルでは画像編集ができません。あらかじめ画像データを編集用に保存しておいてください。
- ファイル出力は各アプリケーションが用意している[ファイルへ出力]コマンドではファイル出力先や拡張子が指定できないことがあります。プリンタードライバー「Brother GTX300 FileOutput」をお使いください。
- アプリケーションから直接プリンターにデータを送信する場合 [アプリケーションから印刷データを送信する \(p.191\)](#)

1 メニューバーから[ファイル]>[プリント]>[カラーマネージメント]を選択します。

2 下記のように設定します。

- [ドキュメントのプロファイル]：[sRGB IEC61966-2.1]
- [カラー処理]：[Illustrator のカラー設定]
- [プロファイル]：[sRGB IEC61966-2.1]
- [マッチング方法]：[相対的な色域を維持]



- 3 [プリンター]でファイル出力用の「Brother GTX300 FileOutput」を選択します。



参考

- [プリンター]を「Brother GTX300」に設定すると、印刷データがプリンターに送信されます。
[プリンター]を「Brother GTX300 FileOutput」に設定すると、印刷データがARX3ファイルで保存されます。

- 4 [詳細設定]でプリンタードライバーの設定を行います。

- 白インクを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.101\)](#)
- カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.122\)](#)



注意

- Adobe Illustratorの場合、プラテンサイズはアプリケーション側のプリントダイアログボックス内にある用紙サイズで設定してください。
印刷設定ダイアログから設定すると、画像のサイズや配置が正しく設定されないことがあります。

- 5 [プリント]を押すと、次のダイアログボックスが表示されます。[保存]をクリックします。




参考

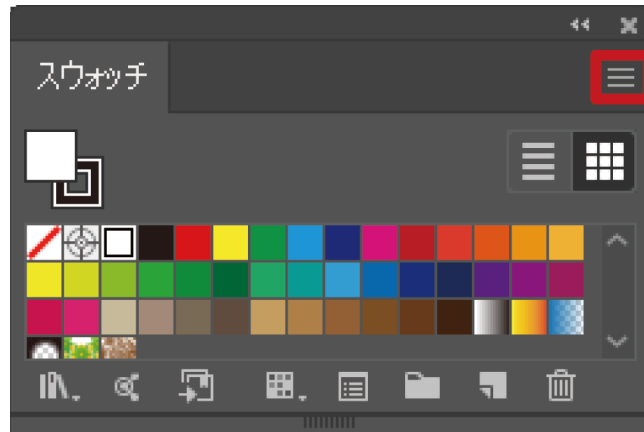
- 数分かかる場合があります。



- 6 [保存する場所]と[ファイル名]を指定して、ARX3 ファイルを[保存]してください。

お役立ちツールにあるカラーパレットを使用する


- 1 Illustrator用のカラーパレットファイル「GT_Colors_T.ase」を画面の指示に従ってPCに保存します。
- 2 メニューバーから[ウィンドウ] > [スウォッチ]を選択します。
- 3 をクリックし、サブメニューの[スウォッチライブラリを開く]を選択します。
- 4 [その他のライブラリ]を選択します。

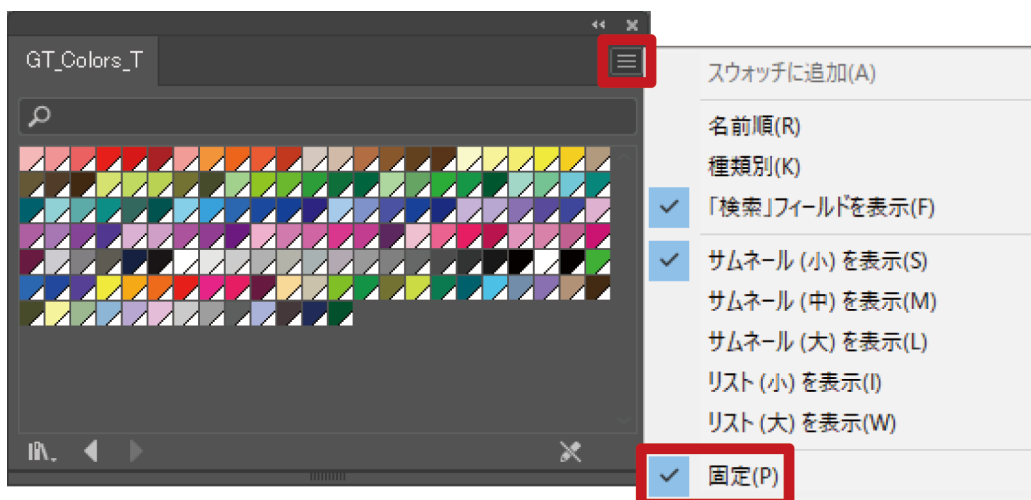


- 5 [開く]画面でファイル名「GT_Colors_T.ase」を選択します。



参考

- このスウォッチはPhotoshopと異なり、ファイルを開くたびに選択する必要があります。ただし、IllustratorCCをご使用の場合は、以下の方法でスウォッチライブラリを固定し、アプリを立ち上げる毎に自動で表示させることができます。
スウォッチライブラリ右上の  をクリックし、サブメニューの[固定]を選択します。



5.4 白インクを使用した印刷データのドライバー設定

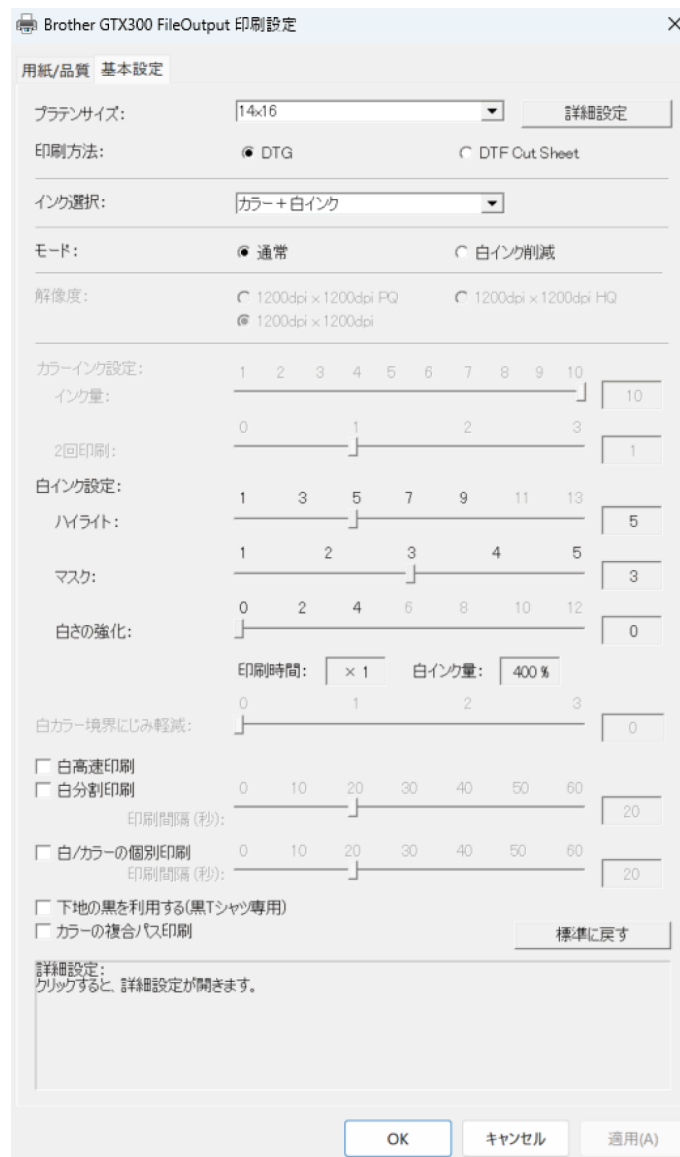
5.4.1 プリンタードライバーを設定する



参考

- GTX300 プリンタードライバーは、RGB=255を「透明色」として扱い、インクを吐出しません。白インクで真っ白に印刷したい画像は、RGB=254に設定してください。
- 色の置き換え方法は、各アプリケーションの該当ページ（[その他のアプリケーションを使用する \(p.88\)](#)）または各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

- 1 各アプリケーションの印刷手順に従ってプリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスを表示します。



2 プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスで必要な設定を行います。

[詳細設定]をクリックすると[白インクの設定][画質設定][片方向印刷]が設定できます。

参考

- [インク選択:]などで設定した内容によって、画面に表示される設定項目が異なります。
- ロールオーバーヘルプがダイアログボックス下側の四角部分に表示されます。マウスポインターを動かしてヘルプをご覧ください。
- 各設定項目の説明は以降の章を参照してください。



3 設定が終わったら[OK]をクリックします。

参考

- ここで設定した値は、「GTX300 File Viewer」でARX3ファイルを開くと参照できます。

5.4.2 プラテンサイズを選択する

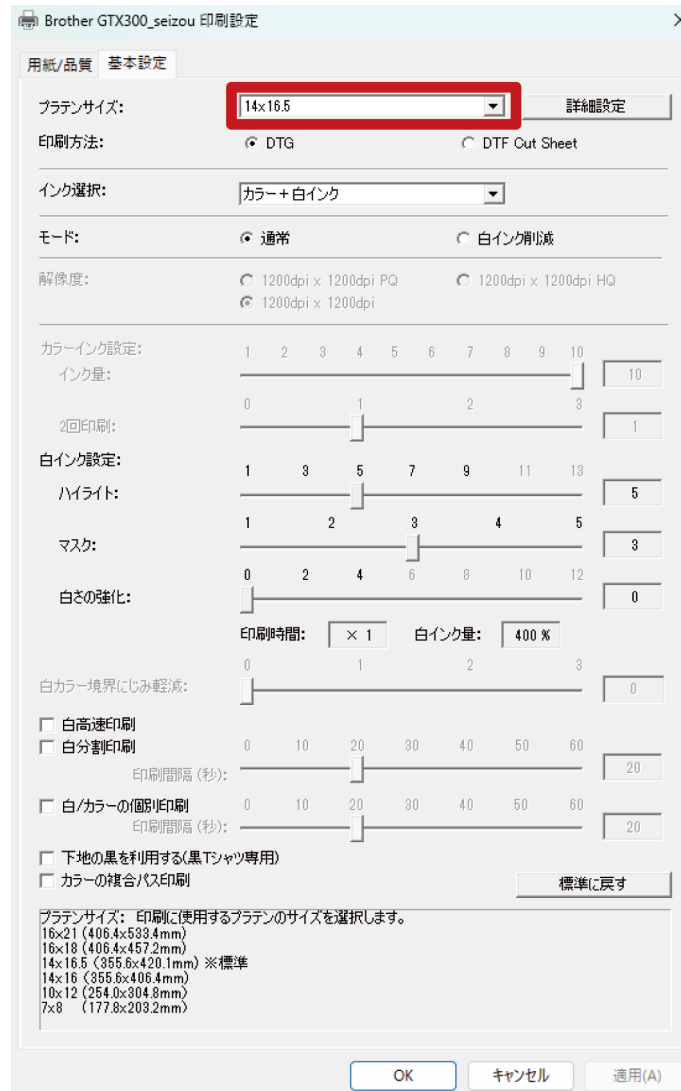
[プラテンサイズ:]のプルダウンメニューで、印刷範囲のプラテンサイズを選択します。



参考

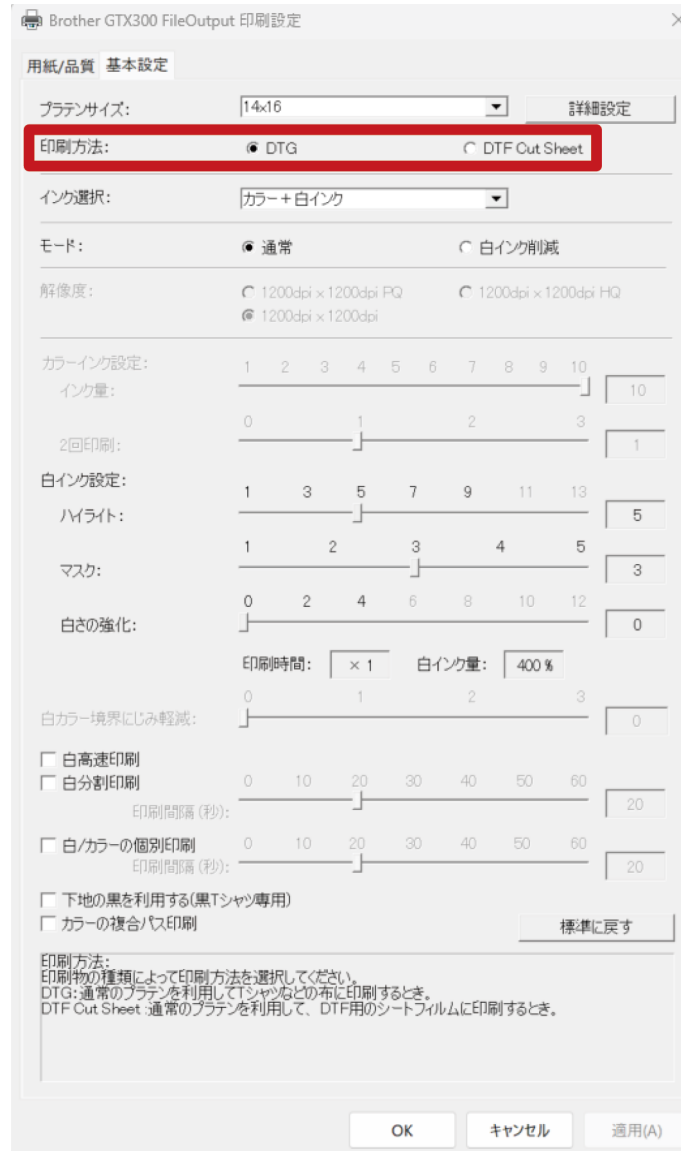
- プラテンサイズは、用紙サイズに相当します。

| 設定項目 | 使用プラテン | サイズ | 印刷方法 | |
|-----------|--------------|----------------|-------|-----------------|
| | | | [DTG] | [DTF Cut Sheet] |
| [16×21] | 16×21 プラテン | 406.4×533.4 mm | ○ | ○ |
| [16×18] | 16×18 プラテン | 406.4×457.2 mm | ○ | |
| [14×16.5] | 14×16.5 プラテン | 355.6×420.1 mm | ○ | ○ |
| [14×16] | 14×16 プラテン | 355.6×406.4 mm | ○ | |
| [10×12] | 10×12 プラテン | 254.0×304.8 mm | ○ | |
| [7×8] | 7×8 プラテン | 177.8×203.2 mm | ○ | |



5.4.3 印刷方法を選択する

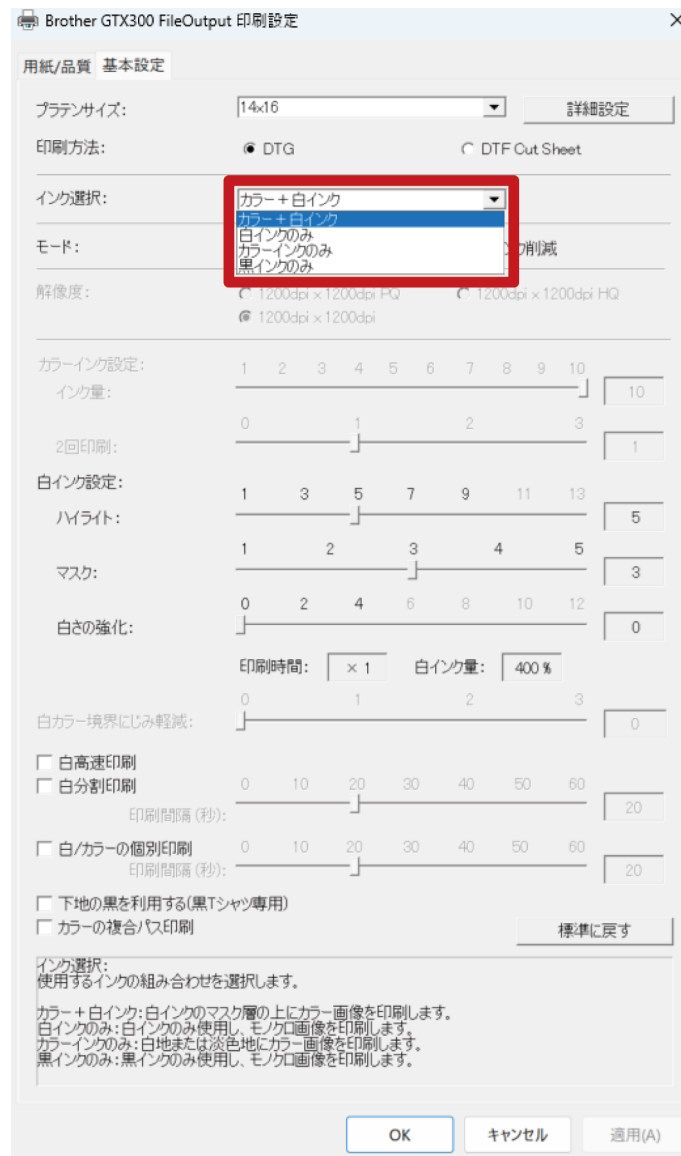
[印刷方法:]から印刷する方法を[DTG] [DTF Cut Sheet]から選択します。



5.4.4 インクの種類を選択する

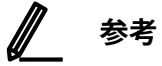
[インク選択:]から使用するインクの組み合わせを選択します。

| 設定項目 | 説明 |
|------------|---------------------------|
| [カラー+白インク] | 白インクのマスク層の上に、カラー画像を印刷します。 |
| [白インクのみ] | 白インクのみ使用し、モノクロ画像を印刷します。 |
| [カラーインクのみ] | 白地または淡色地に、カラー画像を印刷します。 |
| [黒インクのみ] | 黒インクのみ使用し、モノクロ画像を印刷します。 |



5.4.5 モードを選択する

[モード:]を[白インク削減モード]にすると、下地の白インクの量を自動的に調整し全体のインクの消費量を抑えます。



参考

- 色によっては仕上がりの輝度が若干落ちることがあります。

Brother GTX300 FileOutput 印刷設定

用紙/品質 基本設定

プラテンサイズ: 14x16 詳細設定

印刷方法: DTG DTF Cut Sheet

インク選択: カラー+白インク

モード: 通常 白インク削減

解像度: 1200dpi x 1200dpi FQ 1200dpi x 1200dpi HQ
 1200dpi x 1200dpi

カラーインク設定:

インク量: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10

2回印刷: 0 1 2 3 1

白インク設定:

ハイライト: 1 3 5 7 9 11 13 5

マスク: 1 2 3 4 5 3

白さの強化: 0 2 4 6 8 10 12 0

印刷時間: × 1 白インク量: 400 %

白カラー境界にじみ軽減: 0 1 2 3 0

白高速印刷

白分割印刷 印刷間隔 (秒): 0 10 20 30 40 50 60 20

白/カラーの個別印刷 印刷間隔 (秒): 0 10 20 30 40 50 60 20

下地の黒を利用する(黒Tシャツ専用)

カラーの複合パス印刷 標準に戻す

モード:
「白インク削減」を選択すると、カラーの下地の白インクの量を自動的に調整し、全体のインクの消費量を抑えます。
但し、色によっては仕上がりの輝度が若干落ちることがあります。

OK キャンセル 適用(A)

5.4.6 解像度を選択する

[印刷方法:]で[DTF Cut Sheet]を選択した場合、[解像度:]の設定項目が表示されます。

[解像度:]で選択した解像度によって、ハイライトの設定できる可能範囲が変わり、印刷時間も異なります。

Brother GTX300 FileOutput 印刷設定

用紙/品質 基本設定

プラテンサイズ: 14x16.5 [詳細設定]

印刷方法: DTG DTF Cut Sheet

インク選択: カラー+白インク

モード: 通常 白インク削減

解像度: 1200dpi x 1200dpi PQ 1200dpi x 1200dpi HQ
 1200dpi x 1200dpi

カラーインク設定:

インク量: 0 10 20 30 40 50 60 [10]

2回印刷: 0 1 2 3 [1]

白インク設定:

ハイライト: 1 3 5 7 9 11 13 [5]

マスク: 1 2 3 4 5 [3]

白さの強化: 0 2 4 6 8 10 12 [0]

印刷時間: × 1.5 白インク量: 150%

白カラー境界にしみ軽減: 0 1 2 3 [0]

白高速印刷

白分割印刷

印刷間隔(秒): 0 10 20 30 40 50 60 [20]

白/カラーの個別印刷

印刷間隔(秒): 0 10 20 30 40 50 60 [20]

下地の黒を利用する(黒Tシャツ専用)

カラーの複合パス印刷

[標準に戻す]

解像度:
 印刷する画像の解像度を選択します。
 1200dpi x 1200dpi PQ (Premium Quality):
 HQよりさらに時間をかけて高品質な印刷を行います。ハイライトは1~9から選択できます。
 1200dpi x 1200dpi HQ (High Quality):
 時間をかけて高品質な印刷を行います。ハイライトは1~9から選択できます。
 1200dpi x 1200dpi:
 ハイライトは1~9から選択できます。

OK キャンセル 適用(A)

解像度

| 解像度 | 説明 |
|----------------------|--|
| 1200dpi × 1200dpi | 1200dpi × 1200dpi で印刷します。 |
| 1200dpi × 1200dpi HQ | 1200dpi × 1200dpi HQ (High Quality) で印刷します。 |
| 1200dpi × 1200dpi PQ | 1200dpi × 1200dpi PQ (Premium Quality) で印刷します。 |



参考

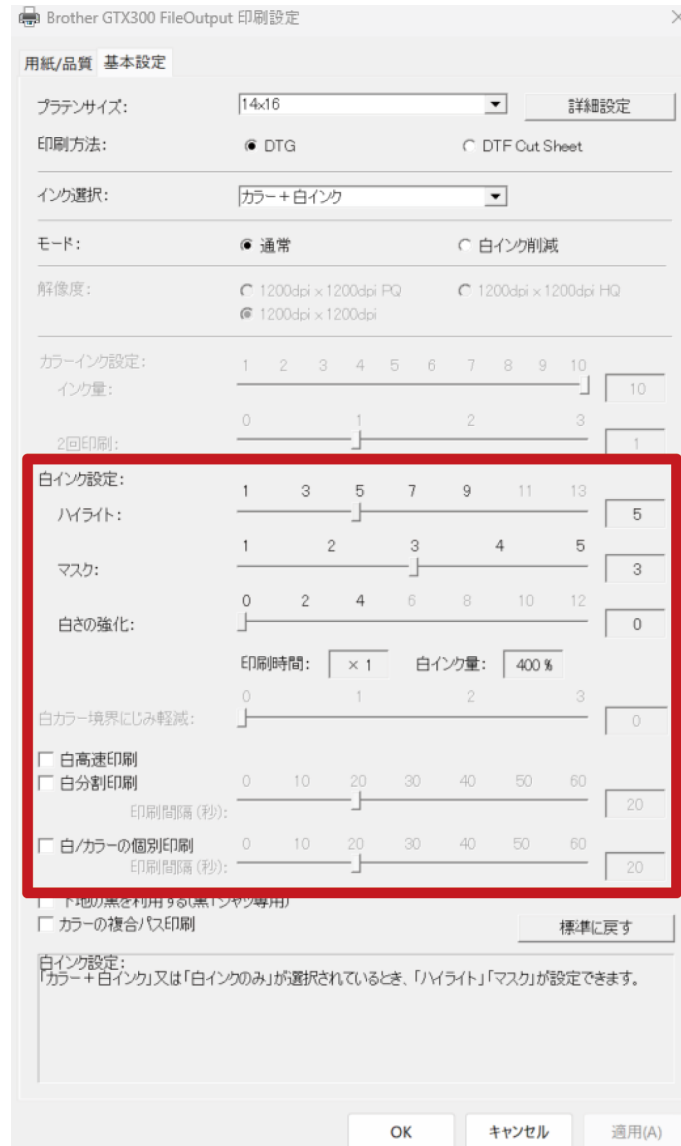
- [解像度:]の設定によって、[印刷時間:]が変わります。
- 実際のインク消費量は、印刷画像内の色に依存します。インク消費量の目安にしてください。

5.4.7 白インクを設定する

[インク選択:]で[カラー+白インク]または[白インクのみ]を選択した場合、[白インク設定:]の設定項目が表示されます。

白インクの量を、[ハイライト:]（目に見える白色のインク量）と[マスク:]（下地の色をカバーするための白インク量）とに分けて調整します。

また、印刷時間は、[白高速印刷]・[白分割印刷]・[白/カラーの個別印刷]の設定によって変わります。



ハイライト

RGB=254の白さ（濃さ）を、[1]～[13]段階で選択します。値を大きくすると、白インク量が増えます。

[10]～[13]は白分割印刷が有効になっている場合のみ、指定できます。

| ハイライト設定値 | インク量 |
|----------|-----------|
| [1] | 白インク量200% |
| [2] | 白インク量250% |
| [3] | 白インク量300% |
| [4] | 白インク量350% |
| [5] | 白インク量400% |
| [6] | 白インク量450% |
| [7] | 白インク量500% |
| [8] | 白インク量550% |
| [9] | 白インク量600% |
| [10] | 白インク量650% |
| [11] | 白インク量700% |
| [12] | 白インク量750% |
| [13] | 白インク量800% |



参考

- Tシャツの色や素材により、ハイライトの適切な設定値は異なります。あらかじめハイライトの適切な設定値を調べてから、印刷データを作成することをお勧めします。ハイライトチェックパターンの印刷を行い、最適な設定値を選択してください。[ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷 \(p.138\)](#)
- [ハイライト：]、[カラーの複合パス印刷]の設定によって、[印刷時間：]および[白インク量：]が変わります。
- [印刷時間：]は、[ハイライト：]の設定値が[5]、[白分割印刷] [白/カラーの個別印刷] [カラーの複合パス印刷]がOFFの場合、[×1]となります。[×1]を基準値とし、印刷時間が何倍になるかを表示します。
- 実際のインク消費量は、印刷画像内の色に依存します。インク消費量の目安にしてください。

マスク

カラーインクの下地となる白インク量を、[1]～[5]段階で選択します。

| 設定値 | 説明 |
|-----------|---|
| [1]または[2] | パールピンクやアッシュ、クリーム色などの淡色地に適しています。 |
| [3] | デフォルト値です。 最も滑らかな白・グレー・黒のグラデーションを再現します。 |
| [4] | 赤、紫、グリーンなどの鮮やかな地色用に適しています。生地の色の影響を抑えます。 |
| [5] | 暗色域を除く全領域で、最大の白インク量で印刷します。 |



参考

- ・ マスクチェックパターンの印刷を行い、最適な設定値を選択してください。[ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷 \(p.138\)](#)

白さの強化

白（RGB=254）の箇所のみ、白インク量を[0]～[12]段階で選択します。値を大きくすると、白インク量が増えます。

[ハイライト:]や[白分割印刷:]の設定値によって白インク量は25%ずつ追加されます。



参考

- ・ Tシャツの色や素材により、白さの強化の適切な設定値は異なります。あらかじめ白さの強化の適切な設定値を調べてから、印刷データを作成することをお勧めします。ハイライトチェックパターンの印刷を行い、最適な設定値を選択してください。
[ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷 \(p.138\)](#)
- ・ [ハイライト:] [白分割印刷:]の設定によって、[印刷時間:]および[白インク量:]が変わります。
- ・ [印刷時間:]は[白さの強化:]の設定値が[1]、[ハイライト:]の設定値が[4]、[白分割印刷:]がOFFのとき、[×1]となります。
[×1]を基準値とし、印刷時間が何倍になるかを表示します。
- ・ 実際のインク消費量は、印刷画像内の色に依存します。インク消費量の目安にしてください。

白カラー境界にじみ軽減

白とカラーの境界の白インク量を減らし、にじみを抑えます。値を大きくすると、にじみを軽減します。



参考

- ・ 設定値によってはカラーと白の境界で白さが若干落ちる場合があります。

白高速印刷

白インク使用モードで高速に印刷します。インク量や濃度は変わりません。
ただし、横筋が目立つ場合はOFFにしてください。



参考

- [印刷方法:]で[DTG]を選択した場合のみ、設定できます。

白分割印刷

白分割印刷が有効になっている場合、ハイライトを[1]~[13]段階で選択します。
一層目の白インクを印刷し始めてから二層目の白インクを印刷し始めるまでの時間を0~60秒に設定します。
一層目の印刷にかかる時間よりも短い時間を設定すると、追加の待機時間は0秒になります。



参考

- [印刷方法:]で[DTG]を選択した場合のみ、設定できます。

白/カラーの個別印刷

直前の白インク層を印刷し始めてからカラーインク層を印刷し始めるまでの時間を0~60秒に設定します。
白インク印刷にかかる時間よりも短い時間を設定すると、追加の待機時間は0秒になります。



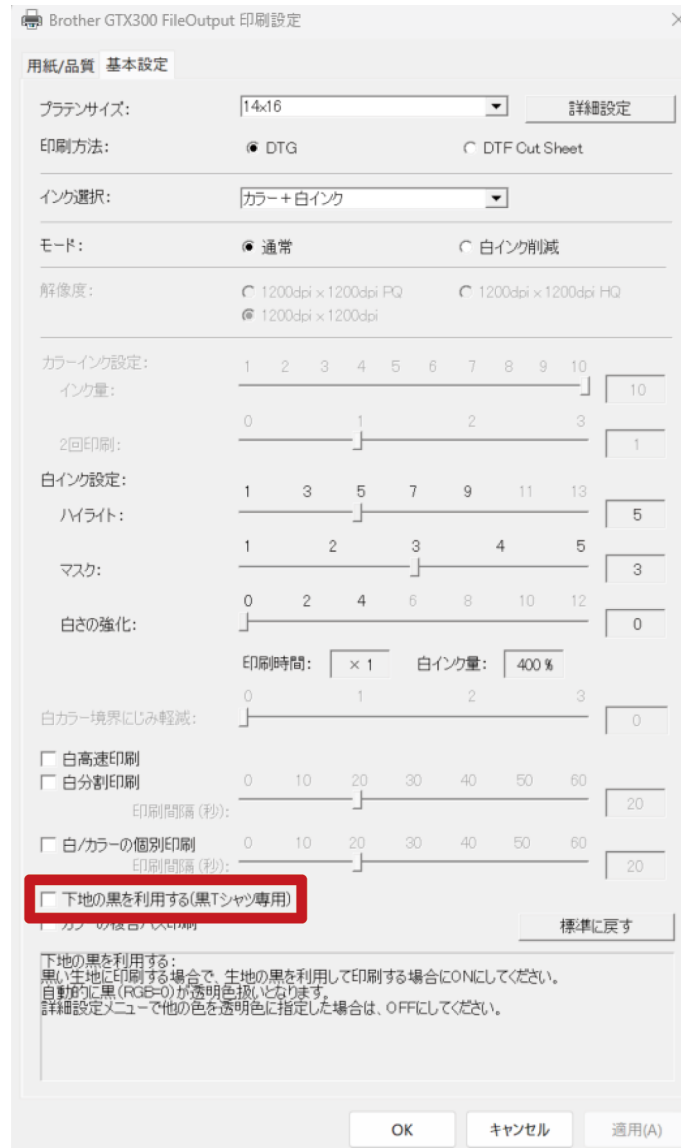
参考

- [印刷方法:]で[DTG]を選択した場合のみ、設定できます。
- [インク選択:]で[カラー+白インク]を選択した場合のみ、設定できます。
- ごく小さな画像を印刷する時に、選択してください。
- 小さな画像を印刷すると黒っぽくなることがあります。そのときは白レイヤーを印刷した後、間隔（待ち時間）を入れてからカラーレイヤーを印刷します。

5.4.8 下地の黒を利用するかを設定する

[インク選択:]で[カラー+白インク]を選択した場合、または、[印刷方法:]で[DTG]を選択した場合、[下地の黒を利用する(黒Tシャツ専用)]の設定項目が表示されます。

黒いTシャツの印刷で下地の黒色を生かして印刷したい場合、[下地の黒を利用する(黒Tシャツ専用)]のチェックボックスをONにします。



5.4.9 複合パス印刷にするかを設定する

[カラーの複合パス印刷]の設定項目は、[インク選択:]で[カラー+白インク]、[カラーインクのみ]、[黒インクのみ]のいずれかを選択した場合に表示されます。

[白の複合パス印刷]の設定項目は、[印刷方法:]で[DTF Cut Sheet]を選択、[インク選択:]で[白インクのみ]を選択した場合に表示されます。

印刷結果の細かい横筋が目立つ場合、[カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]のチェックボックスをONにします。



参考

- [カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]をONにしても、使用するインク量は変わりません。
- [カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]がONの場合、印刷時間が長くなります。時間の目安は[印刷時間:]を参照してください。

Brother GTX300 FileOutput 印刷設定

用紙/品質 基本設定

プラテンサイズ: 14x16 [詳細設定]

印刷方法: DTG DTF Cut Sheet

インク選択: カラー+白インク

モード: 通常 白インク削減

解像度: 1200dpi x 1200dpi PQ 1200dpi x 1200dpi HQ
 1200dpi x 1200dpi

カラーインク設定:

インク量: 0 10 20 30 40 50 60 [10]

2回印刷: 0 1 2 3 [1]

白インク設定:

ハイライト: 1 3 5 7 9 11 13 [5]

マスク: 1 2 3 4 5 [3]

白さの強化: 0 2 4 6 8 10 12 [0]

印刷時間: ×1 白インク量: 400%

白カラー境界にじみ軽減: 0 1 2 3 [0]

白高速印刷

白分割印刷
印刷間隔 (秒): 0 10 20 30 40 50 60 [20]

白/カラーの個別印刷
印刷間隔 (秒): 0 10 20 30 40 50 60 [20]

下地の墨を利用する(黒トーン専用)

カラーの複合パス印刷 [標準に戻す]

カラーの複合パス印刷:
カラーの複合パス印刷はカラーが含まれる画像に対して、プラテンの送り回数(LF)を増やすことで細かくインク液滴を吐出します。印刷時間は長くなりますが、より細かい色再現が可能です。

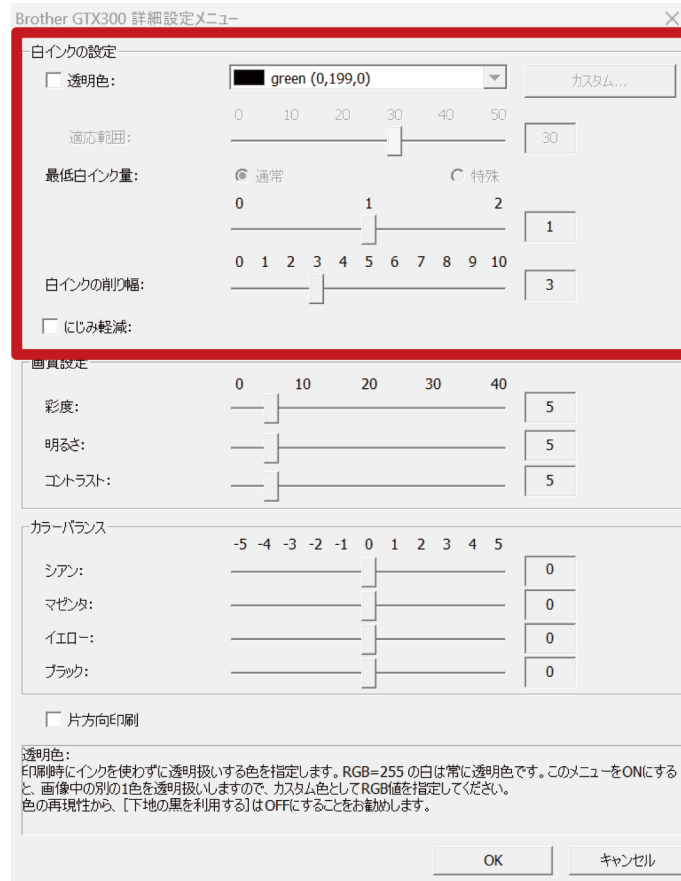
OK キャンセル 適用(A)

5.4.10 白インクを設定する

[インク選択:]で[カラー+白インク]または[白インクのみ]を選択した場合、有効になります。

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[白インクの設定]の設定項目が表示されます。

[白インクの設定]では、[透明色:] [適応範囲:] [最低白インク量:] [白インクの削り幅:] [にじみ軽減:]について設定できます。



透明色

印刷時にインクを使わず、透明扱いする色を指定します。RGB=255以外の色を「透明色」として設定したい場合、以下の手順で設定してください。

 参考

- RGB=255は「透明色」（印刷しない色）として扱われます。
- 色の再現性から、[下地の黒を利用する(黒Tシャツ専用)]をOFFにすることをお勧めします。

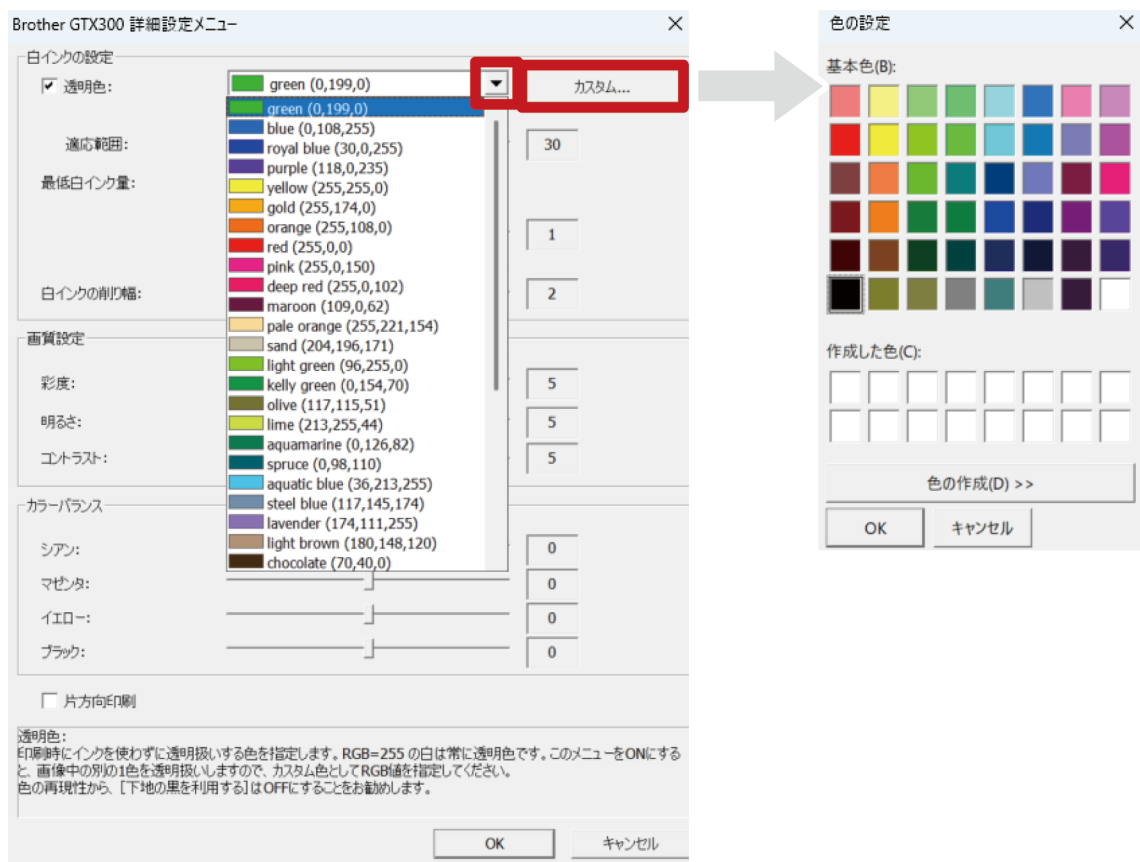
1 [透明色：]のチェックボックスをONにします。

色選択のプルダウンメニューが有効になります。

2 プルダウンメニューからTシャツの下地となる色を選択するか、[カスタム...]をクリックして、RGB値を指定します。

 参考

- このカスタム指定色は直前に指定された1つのみ有効です。リストに保存することはできません。



適応範囲

「印刷されない色」から「印刷される色」の間を、滑らかにつなぐグラデーションの範囲（RGB値の距離）を指定します。



参考

- 値を大きくすると、マスク白がない状態からマスク白を生成するグラデーション領域が広がります。
- グラデーションの画質は、画像データに依存します。事前に試し印刷することをお勧めします。

最低白インク量

[カラー+白インク]で印刷するときの、暗色や黒インクの下地となる白インク量が調整できます。設定値を大きくするほど、[カラー+白インク]で印刷するときの、暗いエリアの下地の白インク量が増えます。[特殊]を選択すると、設定値[3]以上を選択できるようになります。



参考

- [印刷方法:]で[DTF Cut Sheet]を選択した場合のみ、[最低白インク量]は[0]~[2]の設定範囲となります。
- 値を大きくするほど、にじみやすくなります。

白インクの削り幅

白インクの削り幅を、[1]~[10]段階で選択します。値を大きくすると、削り量が増えます。白インクの印刷範囲を削ることで、カラーインクの下から白インクが、はみ出すのを防ぎます。



参考

- 画像の周囲に、白い線や点々が見受けられる場合は、「アンチエイリアス」による可能性が高いため、元画像を確認してください。
- 値が大きくなると細かい線（文字や写真など）が消えてしまうことがあります。事前に試し印刷することをお勧めします。

にじみ軽減

印刷方法が[DTF Cut Sheet]の場合のみ、[にじみ軽減]が選択できます。[にじみ軽減]を選択すると、下地の白インク量を自動的に調整し、にじみを抑えます。



参考

- 色によっては仕上がりでの輝度が若干落ちることがあります。

5.4.11 画質を設定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[画質設定]の設定項目が表示されます。

[画質設定]では、[彩度:] [明るさ:] [コントラスト:]について設定できます。

アプリケーションの機能を使わずに画像の鮮やかさや明るさ、メリハリを強める場合に調整してください。

| 設定項目 | 説明 |
|-----------|----------------------------------|
| [彩度:] | 値が大きいほど、色が鮮やかになります。 |
| [明るさ:] | 値が大きいほど、色が明るくなります。 |
| [コントラスト:] | 値が大きいほど、明るい色はより明るく、暗い色はより暗くなります。 |



参考

- [コントラスト:]の値を大きくすると、細かい線がなくなってしまうことがあります。
- 大きな値を選択する際は、事前に試し印刷することをお勧めします。

Brother GTX300 詳細設定メニュー

白インクの設定

透明色: green (0,199,0) カスタム...

適応範囲: 0 10 20 30 40 50 [30]

最低白インク量: 通常 特殊

1 2 [1]

白インクの削り幅: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 [2]

画質設定

0 10 20 30 40

彩度: [5]

明るさ: [5]

コントラスト: [5]

カラーバランス

-5 -4 -3 -2 -1 0 1 2 3 4 5

シアン: [0]

マゼンダ: [0]

イエロー: [0]

ブラック: [0]

片方向印刷

彩度:
色の鮮やかさを増加させます。うす暗かったり色みの足りない画像や、CMYKカラーモードの画像、スキャナの画像などにお使いください。

OK キャンセル

5.4.12 カラーバランスを設定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[カラーバランス]の設定項目が表示されます。

[カラーバランス]では、[シアン：][マゼンタ：][イエロー：][ブラック：]について設定できます。

-5～+5までの11段階で色味を調整することができます。



参考

- インクを選択を[黒インクのみ]に選択した場合は、[ブラック：]のみ調整することができます。

| 設定項目 | 説明 |
|---------|--|
| [シアン：] | シアンインク量を調整します。 値を増やすと全体的に水色っぽくなり、値を減らすと全体的に赤っぽくなります。 |
| [マゼンタ：] | マゼンタインク量を調整します。 値を増やすと全体的に赤紫っぽくなり、値を減らすと全体的に緑っぽくなります。 |
| [イエロー：] | イエローインク量を調整します。 値を増やすと全体的に黄色っぽくなり、値を減らすと全体的に青っぽくなります。 |
| [ブラック：] | ブラックインク量を調整します。 値を増やすと全体的に黒っぽくなり、値を減らすと全体的に白っぽくなります。 |



5.4.13 印刷方向を指定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[片方向印刷]が設定できます。



参考

- プリンター操作パネルからの指定が優先され、プリンターの印刷方向設定が[自動]の時のみ、有効です。
- 印刷時間は2倍になります。



5.5 カラー・黒インクのみを使用した印刷データのドライバー設定

5.5.1 プリンタードライバーを設定する



参考

- GTX300 プリンタードライバーは、RGB=255 を「透明色」として扱い、インクを吐出しません。
- 色の置き換え方法は、各アプリケーションの該当ページ（[その他のアプリケーションを使用する \(p.88\)](#)）または各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

- 1 各アプリケーションの印刷手順に従ってプリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスを表示します。



- 2 プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスで必要な設定を行います。

[詳細設定]をクリックすると[画質設定][片方向印刷]が設定できます。



参考

- [インク選択:]などで設定した内容によって、画面に表示される設定項目が異なります。
- ロールオーバーヘルプがダイアログボックス下側の四角部分に表示されます。マウスポインターを動かしてヘルプをご覧ください。
- 各設定項目の説明は以降の章を参照してください。



- 3 設定が終わったら[OK]をクリックします。



参考

- ここで設定した値は、「GTX300 File Viewer」でARX3ファイルを開くと参照できます。

5.5.2 プラテンサイズを選択する

[プラテンサイズ:]のプルダウンメニューで、印刷範囲のプラテンサイズを選択します。



参考

- プラテンサイズは、用紙サイズに相当します。

| 設定項目 | 使用プラテン | サイズ | 印刷方法 | |
|-----------|--------------|----------------|-------|-----------------|
| | | | [DTG] | [DTF Cut Sheet] |
| [16×21] | 16×21 プラテン | 406.4×533.4 mm | ○ | ○ |
| [16×18] | 16×18 プラテン | 406.4×457.2 mm | ○ | |
| [14×16.5] | 14×16.5 プラテン | 355.6×420.1 mm | ○ | ○ |
| [14×16] | 14×16 プラテン | 355.6×406.4 mm | ○ | |
| [10×12] | 10×12 プラテン | 254.0×304.8 mm | ○ | |
| [7×8] | 7×8 プラテン | 177.8×203.2 mm | ○ | |

Chapter 5

印刷データの作成



5.5.3 インクの種類を選択する

[インク選択:]から使用するインクの組み合わせを選択します。

| 設定項目 | 説明 |
|------------|---------------------------|
| [カラー+白インク] | 白インクのマスク層の上に、カラー画像を印刷します。 |
| [白インクのみ] | 白インクのみ使用し、モノクロ画像を印刷します。 |
| [カラーインクのみ] | 白地または淡色地に、カラー画像を印刷します。 |
| [黒インクのみ] | 黒インクのみ使用し、モノクロ画像を印刷します。 |



5.5.4 複合パス印刷にするかを設定する

[カラーの複合パス印刷]の設定項目は、[インク選択:]で[カラー+白インク]、[カラーインクのみ]、[黒インクのみ]のいずれかを選択した場合に表示されます。

[白の複合パス印刷]の設定項目は、[印刷方法:]で[DTF Cut Sheet]を選択、[インク選択:]で[白インクのみ]を選択した場合に表示されます。

印刷結果の細かい横筋が目立つ場合、[カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]のチェックボックスをONにします。



参考

- [カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]をONにしても、使用するインク量は変わりません。
- [カラーの複合パス印刷]または[白の複合パス印刷]がONの場合、印刷時間が長くなります。時間の目安は[印刷時間:]を参照してください。

Brother GTX300 FileOutput 印刷設定

用紙/品質 基本設定

プラテンサイズ: 14x16.5 詳細設定

印刷方法: DTG DTF Cut Sheet

インク選択: カラーインクのみ

モード: 通常 白インク削減

解像度: 1200dpi x 1200dpi PQ 1200dpi x 1200dpi HQ
 1200dpi x 1200dpi

カラーインク設定:

インク量: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10

2回印刷: 0 1 2 3 1

カラーの複合パス印刷 標準に戻す

カラーの複合パス印刷:
 カラーの複合パス印刷はカラーが含まれる画像に対して、プラテンの送り回数(LF)を増やすことで細かくインク液滴を吐出します。印刷時間は長くなりますが、より細かい色再現が可能です。

OK キャンセル 適用(A)

5.5.5 カラーインクを設定する

[インク選択:]で[カラーインクのみ]または[黒インクのみ]を選択した場合、[カラーインク設定:]の設定項目が表示されます。

[カラーインク設定:]では[インク量:] [2回印刷:]を設定できます。



インク量

インク量を、[1]～[10]段階で選択します。

| 設定値 | 説明 |
|---------|---|
| [10] | デフォルト値です。 綿100%や麻50%/ポリエステル50%、または綿50%/ポリエステル50%の、混紡メディアに相当するもの。 |
| [9]～[7] | 薄めのTシャツや、厚手のタオル、ツイル地の綿製品に相当するもの。 |
| [6]～[4] | 薄い平織りや綿/ポリエステル/ポリウレタンの混紡に相当するもの。 |
| [3]～[1] | ポリエステルのジャージーや吸水性のない合成繊維に相当するもの。 |



参考

- 厚手のTシャツ以外の衣類に印刷する場合、実際にのじみを確認した後、[インク量:]の値を調整します。

2回印刷

2回に分割して印刷することで、発色をより際立たせます。

| 設定値 | 説明 |
|-----|--|
| [0] | 分割なし |
| [1] | 分割有り（1回目と2回目の間に待ち時間が入ります） |
| [2] | 分割有り（1回目と2回目の間に、[1]を設定したときよりも長めの待ち時間が入ります） |
| [3] | 分割有り（1回目と2回目の間に、[2]を設定したときよりも長めの待ち時間が入ります） |



参考

- [1]～[3]はプラテンが2回出入りします。
- 設定値が大きくなるほど、印刷時間が長くなります。

5.5.6 画質を設定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[画質設定]の設定項目が表示されます。

[画質設定]では、[彩度：][明るさ：][コントラスト：]について設定できます。

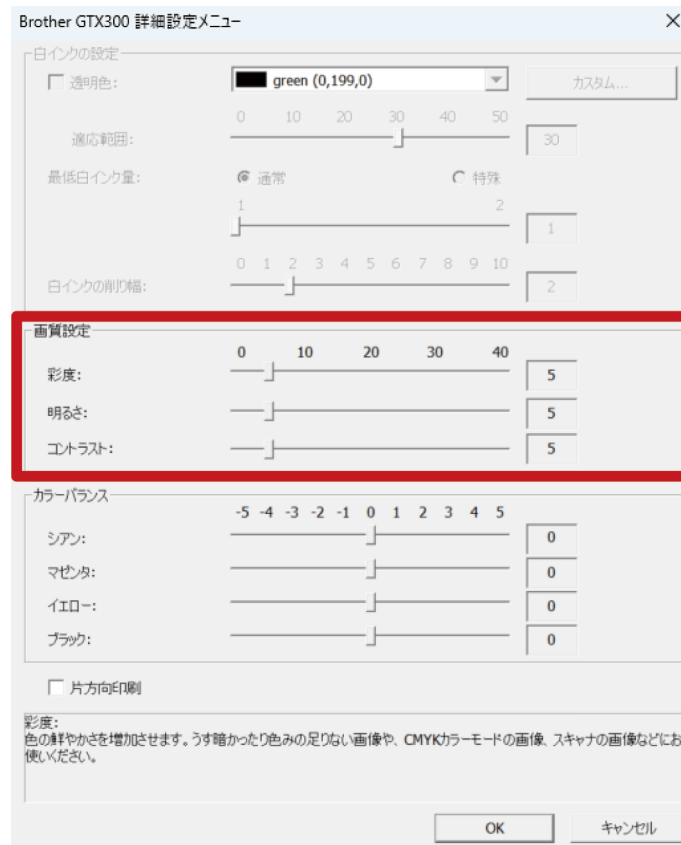
アプリケーションの機能を使わずに画像の鮮やかさや明るさ、メリハリを強める場合に調整してください。

| 設定項目 | 説明 |
|-----------|----------------------------------|
| [彩度：] | 値が大きいほど、色が鮮やかになります。 |
| [明るさ：] | 値が大きいほど、色が明るくなります。 |
| [コントラスト：] | 値が大きいほど、明るい色はより明るく、暗い色はより暗くなります。 |



参考

- [コントラスト：]の値を大きくすると、細かい線がなくなってしまうことがあります。
- 大きな値を選択する際は、事前に試し印刷することをお勧めします。



5.5.7 カラーバランスを設定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[カラーバランス]の設定項目が表示されます。

[カラーバランス]では、[シアン：][マゼンタ：][イエロー：][ブラック：]について設定できます。

-5～+5までの11段階で色味を調整することができます。



参考

- インクの選択を[黒インクのみ]に選択した場合は、[ブラック：]のみ調整することができます。

| 設定項目 | 説明 |
|---------|--|
| [シアン：] | シアンインク量を調整します。 値を増やすと全体的に水色っぽくなり、値を減らすと全体的に赤っぽくなります。 |
| [マゼンタ：] | マゼンタインク量を調整します。 値を増やすと全体的に赤紫っぽくなり、値を減らすと全体的に緑っぽくなります。 |
| [イエロー：] | イエローインク量を調整します。 値を増やすと全体的に黄色っぽくなり、値を減らすと全体的に青っぽくなります。 |
| [ブラック：] | ブラックインク量を調整します。 値を増やすと全体的に黒っぽくなり、値を減らすと全体的に白っぽくなります。 |



5.5.8 印刷方向を指定する

[印刷設定]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックすると、[片方向印刷]が設定できます。



参考

- プリンター操作パネルからの指定が優先され、プリンターの印刷方向設定が[自動]の時のみ、有効です。
- 印刷時間は2倍になります。



5.6 お役立ちツールを使用する

色の調整時や最適な印刷設定を調べる時などに使用できる、お役立ちツールや印刷データがあります。

お役立ちツールは、「Brother GTX Maintenance」の「GTX Maintenance #」のメニューに用意されています。

各ツールの詳細は、以降の章を参照してください。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

5.6.1 カラーパレットを使用する

アプリケーション別に下記のカラーパレットを使用できます。

- Adobe Photoshop/Illustrator : 「GT_Colors_T.ase」

詳細は、各アプリケーションのページか [\(その他のアプリケーションを使用する \(p.88\)\)](#)、アプリケーションのヘルプをご覧ください。




参考

- プリンタードライバーをデフォルトの設定で用いる場合の色再現の確認や画像データを作成・編集する際の色見本としてご利用ください。

5.6.2 「RGB=255」を「RGB=254」に置き換える (Photoshopのみ)

PhotoshopでRGB=255をRGB=254に置き換えるときに使用します。

- 1 「お役立ちツール」から「SolidWhite.atn」をクリックして、画面の指示に従ってファイルをPCに保存してください。
- 2 Photoshopのメニューバーから[ウィンドウ] > [アクションファイル]を選択します。
- 3 をクリックし、サブメニューを開きます。
- 4 [アクションを読み込み]で、PCに保存した「SolidWhite.atn」を選択します。



参考

- アクションファイルの使い方は、Photoshopのヘルプをご覧ください。
- 「SolidWhite.atn」は、[カラーモード]が[RGBカラー]の[8 bit]のときのみ使用できます。

5.6.3 色見本を確認する

色見本として確認する場合に使用します。

お好みのプリンタードライバーの設定で印刷データ (ARX3 ファイル) を作成し、インクメーカーが提示している色見本のようにお使いください。



参考

- プリンタードライバーの設定を変更して印刷する場合にご利用ください。



1 「お役立つツール」から必要なファイル名をクリックしてデータをダウンロードします。色見本として以下のデータがあります。

- GT_Blues.pdf
- GT_Greens.pdf
- GT_Oranges.pdf
- GT_Reds.pdf
- GT_ColorChart.pdf

- 2 プリンタードライバーの設定を行い、印刷データを作成します。



参考

- プリンタードライバーの設定方法
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.101\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.122\)](#)
- 印刷データの作成 [その他のアプリケーションを使用する \(p.88\)](#)

- 3 作成した印刷データをプリンターに送信し、印刷します。[基本の印刷 \(p.143\)](#)

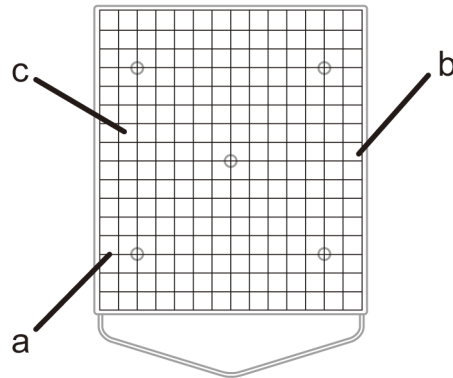


参考

- 印刷結果を確認して、プリンタードライバーの設定を調整してください。

5.6.4 プラテンシートにグリッド線を印刷する

新しいプラテンシートにグリッドを印刷することができます。



- 1 「お役立つツール」からプラテン（a）のサイズに合ったグリッドサイズのARX3ファイル（例えば、Grid14x16.arx3）を開きます。
- 2 グリッド（b）の印刷データをプリンターに送信します。
- 3 Tシャツをセットせずに、グリッドを直接プラテンシート（c）に印刷します。



参考

- 印刷後は乾いた布もしくは紙で軽く押さえてインクを乾かしてください。

5.6.5 インク量を調整する

プリンタードライバーの[インク量:]の設定において、最適な値を設定します。

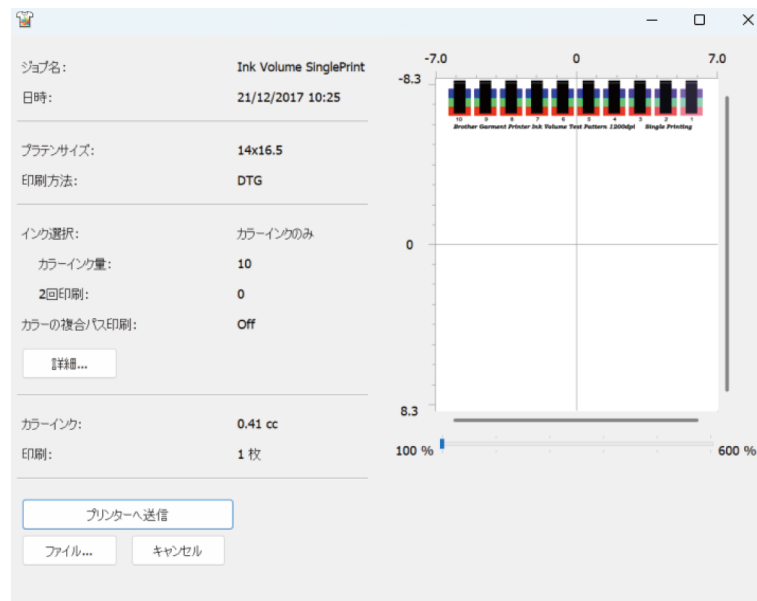
「お役立つツール」からデータをダウンロードし、あらかじめ印刷して（[基本の印刷 \(p.143\)](#)）にじみを確認してください。



参考

- Tシャツの色や素材により、インク量の適切な設定値は異なります。あらかじめインク量の適切な設定値を調べてから印刷データを作成することをお勧めします。
- インクボリューム印刷データは4種類あります。プリンタードライバーの[2回印刷:]の設定に合わせてインクボリューム印刷データを選択してください。

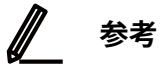
- 1 「お役立つツール」から「Ink Volume SinglePrint.arx3」「Ink Volume DoublePrint1.arx3」「Ink Volume DoublePrint2.arx3」「Ink Volume DoublePrint3.arx3」のいずれかをクリックしてデータをダウンロードします。
- 2 データをプリンターに送信し、印刷します。
- 3 印刷結果を確認して、プリンタードライバーの[インク量:]の値を調整してください。



5.6.6 ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷

プリンタードライバーの[ハイライト:]の設定において、最適な値を設定します。

「お役立ツール」からデータをダウンロードし、あらかじめハイライトチェックパターンを印刷して各設定値での白さ、下地の隠ぺい率、にじみを確認してください。



参考

- 前処理を行ったTシャツで印刷してください。[基本の印刷 \(p.143\)](#)
- Tシャツの色や素材により、ハイライトの適切な設定値は異なります。あらかじめハイライトの適切な設定値を調べてから印刷データを作成することをお勧めします。

- 1 「お役立ツール」から「Highlight-Mask Check at MW1.zip」、「Highlight-Mask Check at MW2.zip」または「Highlight-Mask Check at DTF Cut Sheet.zip」をクリックしてデータをダウンロードします。



参考

- 「最低白インク量」の設定が[1]と[2]で選択するファイルが異なります。
ファイル名末尾の数字を確認し、ダウンロードしてください。

- 2 zipファイルを解凍し、以下の印刷データを表示します。

- 「HighlightCheckPattern」
- 各ハイライトでの「MaskCheckPattern」

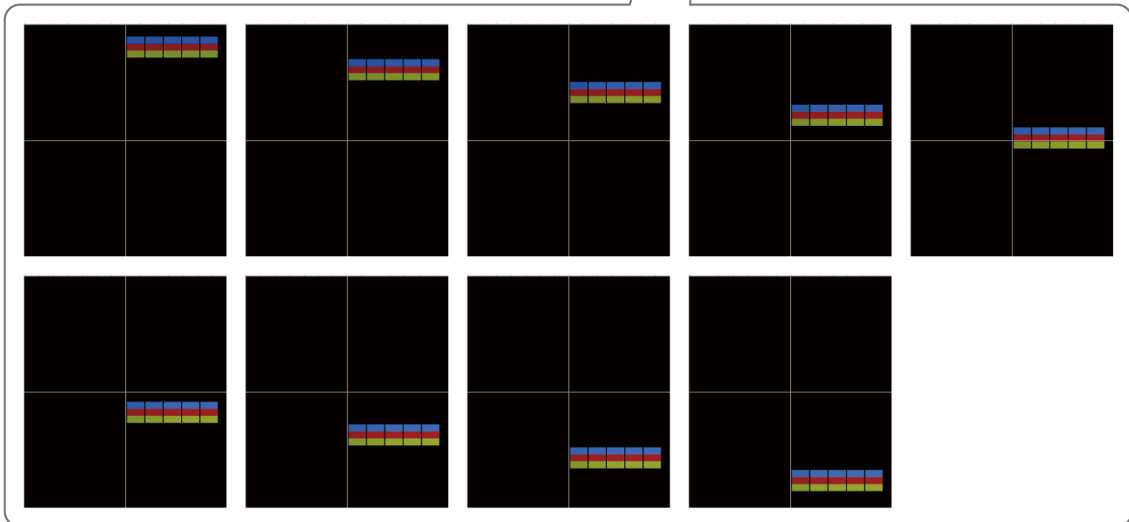
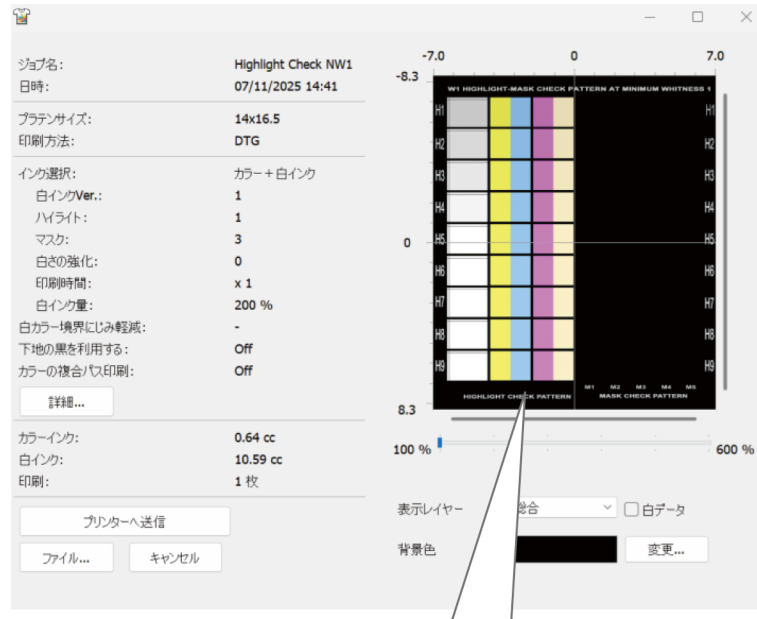
- 1 「HighlightCheckPattern」を印刷し、最適なハイライト設定値を選んでください。

- 2 最適なハイライト設定値用の「MaskCheckPattern」を印刷して、最適なマスク設定値を選択します。

Chapter 5

印刷データの作成

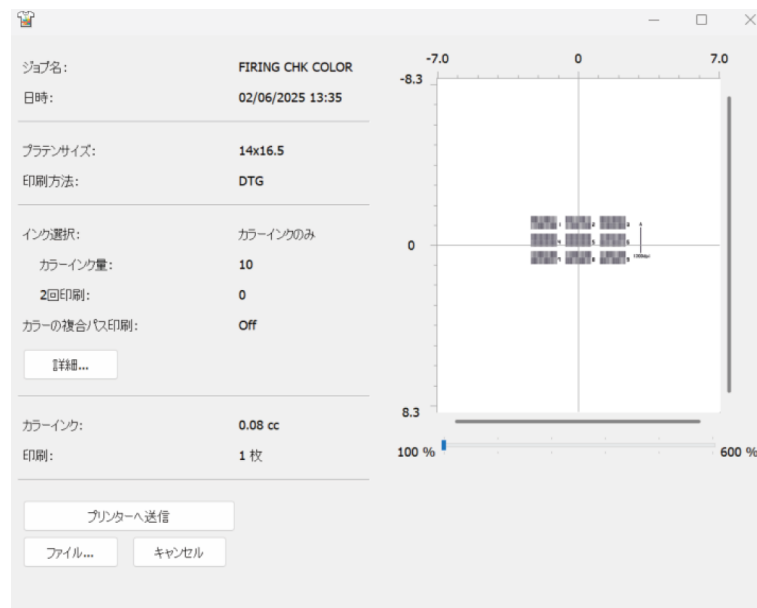
- 3 印刷結果を確認して、プリンタードライバーの[ハイライト:]と[マスク:]の値を調整してください。



5.6.7 吐出タイミングを確認する

吐出タイミングが合っているか確認します。

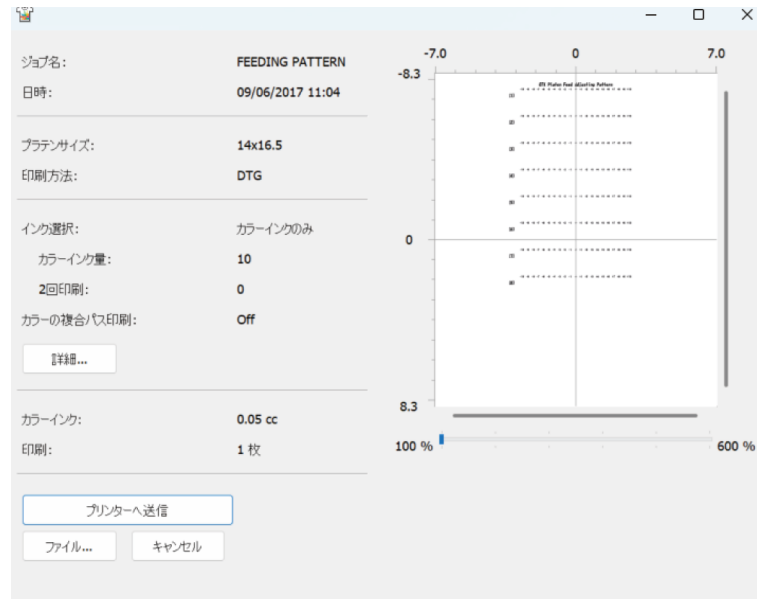
- 1 「お役立ツール」から「FIRING CHK COLOR.arx3」または「FIRING CHK WHITE.arx3」をクリックしてデータをダウンロードします。
- 2 データをプリンターに送信し、印刷します。
- 3 印刷結果を確認して、吐出タイミングが正しく設定されているか、確認してください。



5.6.8 プラテン送りの設定を確認する

プラテン送りの調整が合っているか確認します。

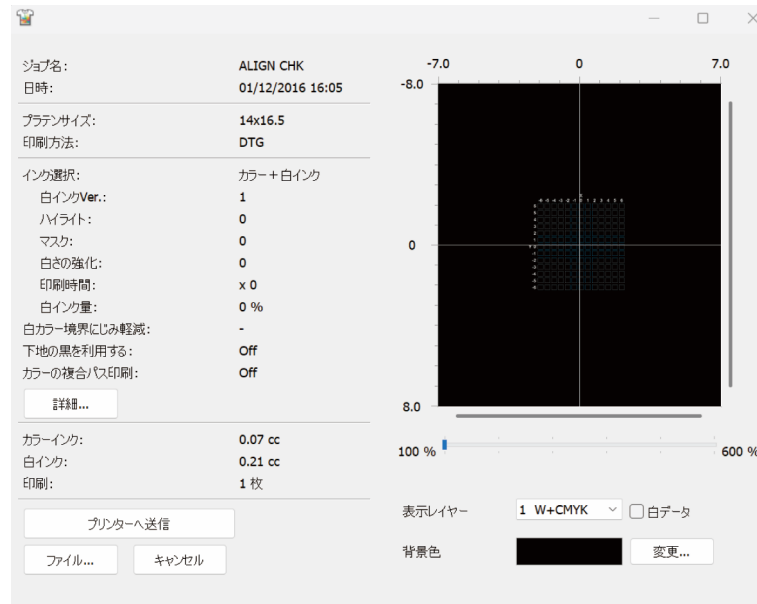
- 1 「お役立ツール」から「FEEDING PATTERN.arx3」をクリックしてデータをダウンロードします。
- 2 データをプリンターに送信し、印刷します。
- 3 印刷結果を確認して、プラテン送り設定が正しく設定されているか、確認してください。



5.6.9 印刷位置を確認する

白側ヘッドの印刷位置とカラー側ヘッドの印刷位置を確認します。

- 1 「お役立ツール」から「ALIGN CHK.arx3」をクリックしてデータをダウンロードします。
- 2 データをプリンターに送信し、印刷します。
- 3 印刷結果を確認して、白とカラーの位置合わせが正しく設定されているか、確認してください。



Chapter 6

基本の印刷

作業前に巻頭の安全にお使いいただくために (p.8)をよくお読みください。

6.1 基本的な印刷の流れ

印刷開始前から印刷終了後の作業までの基本的な流れを説明します。

- 1 印刷を開始する前に、プリンターの確認・準備を行います。
[印刷開始前に行うこと \(p.144\)](#)
- 2 白インクを T シャツ生地に着るために、事前に前処理剤を塗布します。白インクを使用しないときは、印刷物の前処理は必要ありません。
[印刷物の前処理 \(p.152\)](#)
- 3 プラテンを印刷物に合わせて交換します。プラテンを交換したら、高さを調整します。
[プラテンの調整 \(p.166\)](#)
- 4 印刷物をプラテンに装着します。
[印刷物の装着 \(p.179\)](#)
- 5 印刷データをプリンターに送信、または読み込みます。
[印刷データの送信／読み込み \(p.185\)](#)
- 6 印刷を開始します。
[印刷 \(p.197\)](#)
- 7 印刷物をプラテンから取り外します。
[プラテンからの取り外し \(p.203\)](#)
- 8 印刷物にインクの定着、または、フィルムにパウダーを定着させます。

| T シャツ印刷の場合 | フィルム印刷の場合 |
|--|--|
| (1) 印刷物にインクの定着 インクの定着 (p.204) | (1) フィルムにパウダーを定着させます。 パウダーの定着 (p.208) |
| | (2) 印刷物に転写させます。 印刷物へ転写 (p.209) |

6.2 印刷開始前に行うこと

6.2.1 廃インクの確認・処理

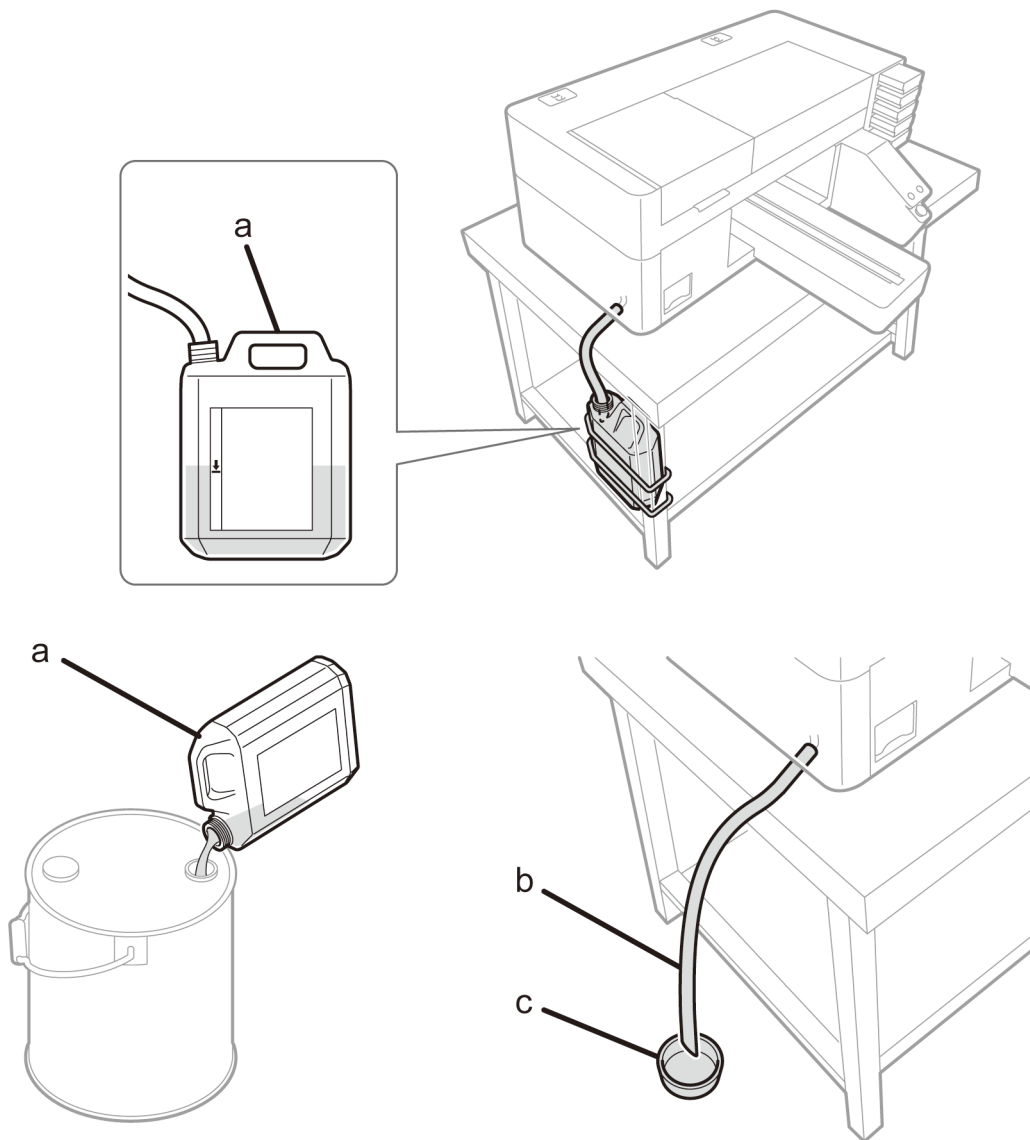
廃インクタンクの廃インク量を確認し、1/2程度以上溜まっている場合は溜まった廃インクを捨てます。

- 1 廃インクタンク (a) を確認し、廃インクを廃棄します。

廃インクタンクから抜いたチューブ (b) の下に受け皿 (c) 等を置き、チューブからの廃インクが床などに垂れないようにします。

お願い

- ・ 水系廃液として法令に従い処理してください。



- 2 廃インクタンクを元の状態に戻してチューブを差し込みます。

重要

- 廃液チューブを切断するときは斜めに切ってください。廃液チューブ先端が接液していると、廃液がスムーズに流れず、ヘッドクリーニングでインクが吸引できません。廃液が逆流し、廃インクがこぼれて床が汚れる恐れがあります。
- 廃液チューブはできるだけ台の上で水平にせず、折れ曲がらないように注意してください。廃液が流れにくくなる恐れがあります。

6.2.2 洗浄液の確認・補充

洗浄液タンクの洗浄液量を確認して、少ないときは補充を行ってください。



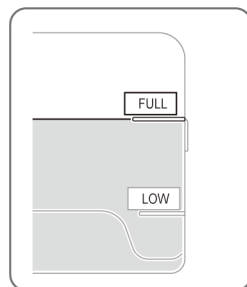
参考

- 洗浄液タンクを引き出していない状態で、操作パネル画面またはワーニング画面にメッセージが表示された場合にも補充を行ってください。

- 1 洗浄液タンクをプリンターの前面から引き出します。
- 2 ふたを開けて、洗浄液を「FULL」の線まで補充します。

重要

- 「FULL」の線を超えないようにしてください。



- 3 ふたを閉じて、洗浄液タンクをプリンターの内部にゆっくり戻します。

6.2.3 白インクの毎日の攪拌

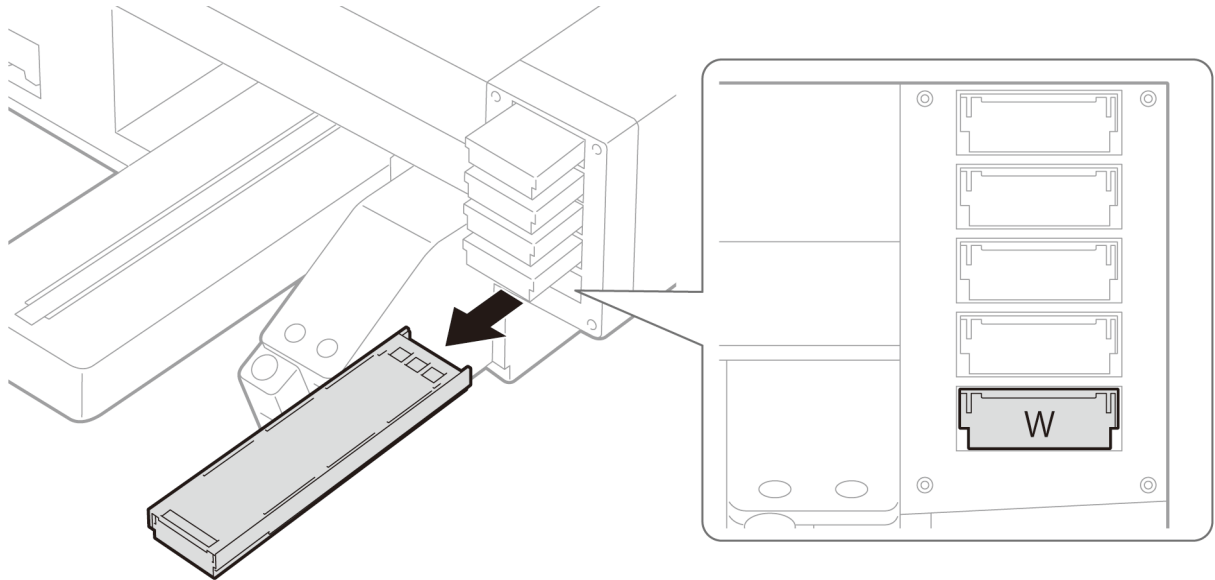
作業開始前に白インクカートリッジ攪拌メッセージが表示されたら、操作パネルに従い、以下の作業を行ってください。



- 1 白インクカートリッジをプリンターから抜き取ります。

重要

- カートリッジの底がインクで汚れている場合があります。定期的に清掃してください。



- 2 左右に100回（約60秒間）振って白インクを攪拌します。

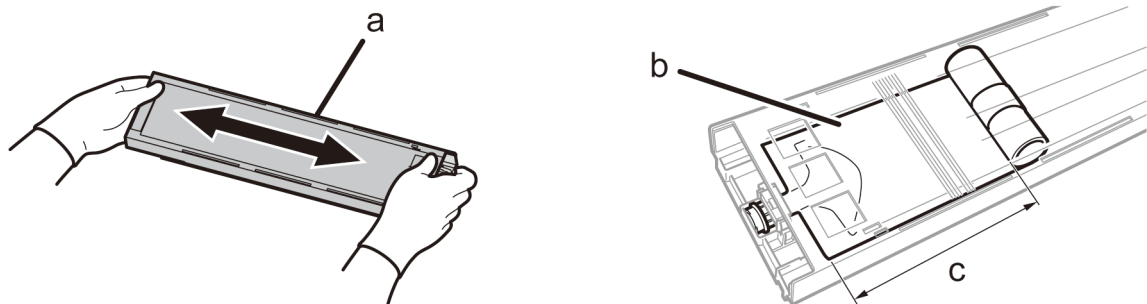
振り幅は、5 cm程度。残量が少なくなったら振り幅を増やしてください。

重要

- 白インクカートリッジ (a) を水平にした状態で振ってください。
- 白インクカートリッジを裏向きに持って振ったり、強く振りすぎるとインクパウチ (b) が破れる恐れがあります。
- インクパウチの先端部分にインクが付着した場合、乾いた布で拭き取ってください。

お願い

- インクパウチに付属の手袋をはめて作業してください。
- インクの残量が残り15cm程度 (c) になったら、攪拌しやすくするためにふたを開けてインクパウチの巻き取り部分を少し戻した状態で振ってください。



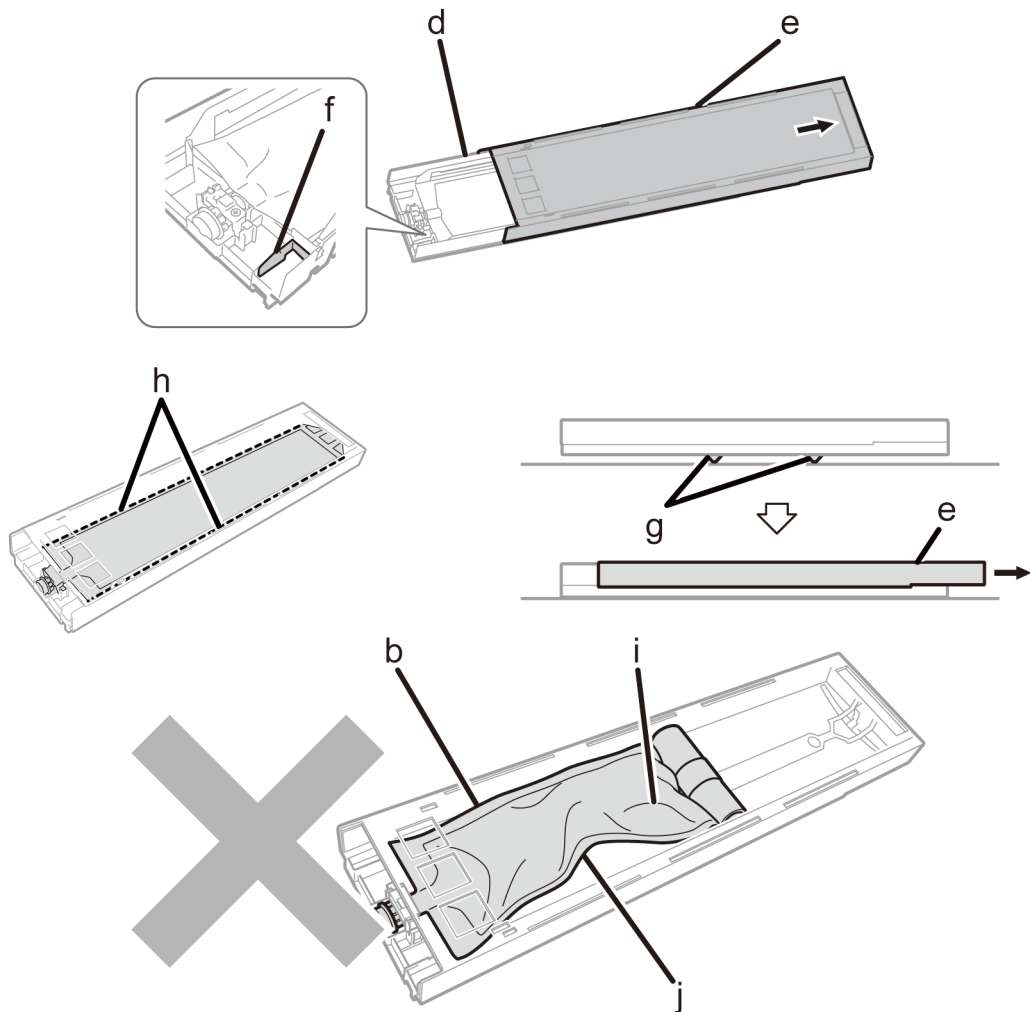
3 カートリッジ (d) のふた (e) を開けてインクパウチ (b) を正しい位置にセットします。

重要

- 必ずカートリッジのふたを開けて、正しくインクパウチを巻き取りなおしてください。ふたを開けずにセットすると、攪拌によって巻き取った部分にインクが流れ込み、正しく巻き取りができない恐れがあります。
- ふたを開けるときは平らなところに置いてカートリッジ下側のツメ (g) を押し込み、ふたを開きます。
- インクパウチに片寄りやシワができないようにセットしてください。
 - まっすぐに揃える (h)
 - シワの無いこと (i)
 - 片寄りの無いこと (j)
- ふたを開ける際に (f) 部には触れないでください。破損する恐れがあります。

お願い

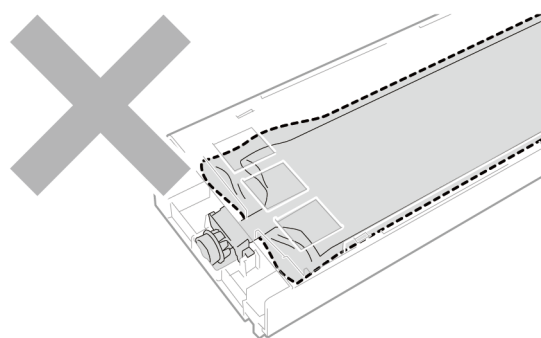
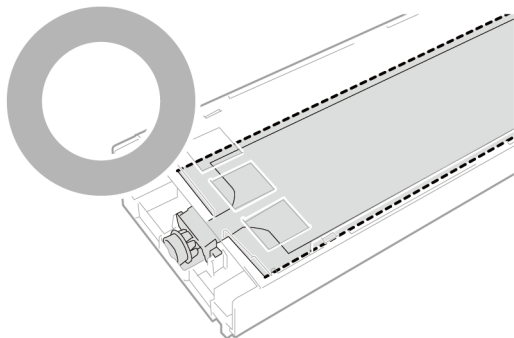
- インクの残量が少ないときは、インクパウチのたるみを手で押さえながらふたを閉じてください。



- 4 ふたを閉じて、白インクカートリッジをプリンターにセットします。

重要

- 攪拌が足りない場合は60秒以上の攪拌画面が表示されますので、パネルの指示に従い攪拌を続けてください。その後、操作パネルの[OK]ボタンを押してください。
- カートリッジのセット時、巻き取り促進のためにインクパウチを下向きにして振らないでください。シワが発生して、インクパウチの巻き取りが正しく行われません。



攪拌が足りない場合



- 5 操作パネルに従い、ノズルチェックパターンの印刷を実施してください。
ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認） (p.241)



6.2.4 ヘッドの吐出確認

作業開始前にヘッドの吐出確認メッセージが表示されたら、ノズルチェックパターンの印刷を実施してください。
ノズルチェックパターンの印刷 (プリントヘッドの確認) (p.241)



6.3 印刷物の前処理

白インクをTシャツ生地表面に留めるために、事前に前処理剤を塗布します。白インクを使用しないときは、印刷物の前処理は必要ありません。

前処理の流れ

| 手順 | 項目 | 詳細 |
|----|-------------|--------------------------------|
| 1 | 前処理剤の希釈 | ポリプロピレンなどの容器に入れ、純水で希釈します。 |
| 2 | 希釈した前処理剤の塗布 | スプレーやローラーを使用して、希釈した前処理剤を塗布します。 |
| 3 | 前処理剤の定着 | ヒートプレスで温度と圧力をかけて定着させます。 |

6.3.1 前処理剤の準備

準備するもの

前処理剤の塗布方法はローラーとスプレーの2種類があります。

事前にそれぞれ下記表を参考に必要なものを用意してください。

| 準備するもの | ローラーの場合 | スプレーの場合 |
|----------------------|---------|---------|
| 前処理剤 | ○ | ○ |
| 純水 | ○ | ○ |
| 前処理ローラー | ○ | — |
| ハンドル（ローラーの柄） | ○ | — |
| トレイ | ○ | — |
| 塗布台 | △ | — |
| はかり | ○ | ○ |
| スプレー | — | ○ |
| ヒートプレス | ○ | ○ |
| 剥離シート | △ | △ |
| シリコンフォーム（シリコン連続気泡構造） | △ | △ |
| 粘着ローラー | △ | △ |

• 前処理剤

白色の液体で、白インクを印刷する際の前処理に必要とします。前処理剤を塗布しておかないと白インクが発色せず、白さが出ません。また、白インクの上に重ねたカラーが発色しません。前処理剤をTシャツに塗布するには、ローラーまたはスプレー、定着するにはヒートプレスを使用してください。

注意

- 作業をする際は、ビニール手袋、マスクおよび保護めがねを着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

• 純水

蒸留水、精製水などで前処理剤の希釈に使用します。

• 前処理ローラー（オプション部品）

前処理剤をTシャツに塗布する際に使用します。ローラーの柄の部分は錆びにくい物をお勧めします。

お願い

- トレイ（希釈用容器）、ハンドル（ローラーの柄）、塗布台、塗布量測定用はかりは、別途用意してください。

• スプレー（市販品）

前処理剤をTシャツに塗布する際に使用します。細かい霧状に噴出されるもの（電動式推奨）を用意してください。ローラーに比べ均一に塗布しやすくムラが生じにくいですが、スプレーを使用するための専用スペースの確保が必要です。

また、スプレーの他に、自動で前処理剤をTシャツに塗布する前処理剤塗布装置（市販品）などもあります。必要に応じて、別途用意してください。

注意

- スプレー塗布などミストが発生する作業をする際は、十分な換気を行ってください。
- 作業をする際は、ビニール手袋、マスクおよび液体飛沫対応の保護めがね（またはゴーグル）を着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

重要

- 電動スプレーで塗布する際は、プリンター本体からなるべく離れた場所で塗布してください。プリントヘッドの故障につながる可能性があります。

• ヒートプレス

プラテンの印刷範囲がカバーでき、かつ180°C（356°F）を35秒以上保持できる性能が必要です。前処理剤の定着時には、表面をなだらかにするために必ずオープンではなくヒートプレスを使用してください。

- 剥離シート

ヒートプレスを使用する際に、インクや前処理剤がヒートプレスのプレス面に付着しないように、Tシャツの上に乗せて使用します。シリコンペーパーやフッ素樹脂シートなどをご使用ください。インク定着時にシリコンペーパーを使うと、マット調に印刷結果が仕上がる傾向があります。フッ素樹脂シートを使うと、光沢調に仕上がる傾向があります。

- シリコンフォーム（シリコン連続気泡構造）

耐熱性のシリコン製気泡マットです。ヒートプレスでインクや前処理剤を定着する際に、蒸気を通気しやすくするために使用します。

- 粘着ローラー

Tシャツの糸くずや表面に付着しているゴミなどの除去に使用します。

- Tシャツ（印刷媒体）

綿100%、ポリエステル混紡（綿50%以上）



参考

- 綿100%生地を推奨品としますが、綿100%、混紡に関わらず、印刷品質を必ずしも保てない布帛もあります。特に新しい素材の場合は、事前に印刷テストを行ってください。
- 布帛によっては前処理剤の定着後跡残りが目立つことがあります。その場合は水洗いしてください。
- 事前に印刷テストを行ってください。以下の現象が発生する場合があります。
 - 前処理剤で、布生地の変色が発生し、洗っても色が元に戻らない場合があります。
 - 濃い色のポリエステル混紡では染料が溶け出し、白インクに色みがつく場合があります。
 - 前処理剤定着後、黄色く変色する可能性があります。

6.3.2 前処理剤の希釈

前処理剤は必ず純水で希釈してから使用してください。

⚠ 注意

- 作業をする際は、ビニール手袋、保護めがねを着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。
<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

希釈率

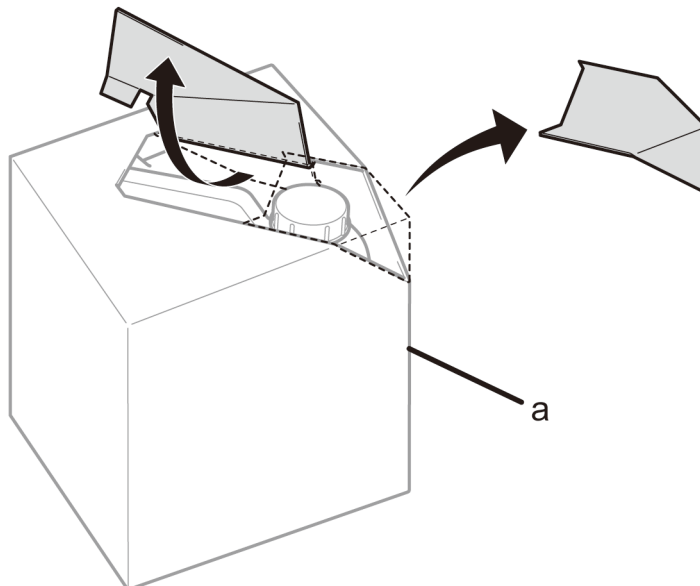
3倍（前処理剤：純水=1:2）（体積比）の希釈範囲内でお使いください。

希釈方法

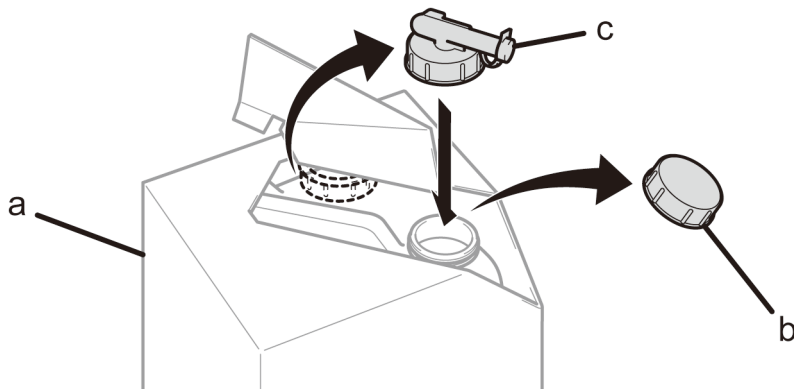
📖 参考

- 図は前処理剤（20kg）で説明しています。前処理剤（5kg）の場合は手順（4）以降を参照し、キャップを取り外して希釈用容器に注ぎ、純水で希釈してください。また、希釈割合は同様です。

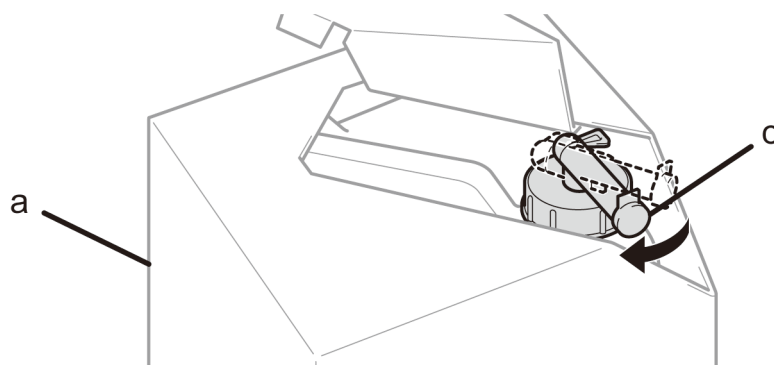
- 1 前処理剤（a）の初期梱包状態から、ミシン目に沿って段ボールを切り取り、開きます。



2 キャップ (b) を取り外し、コック (c) を取り付けます。



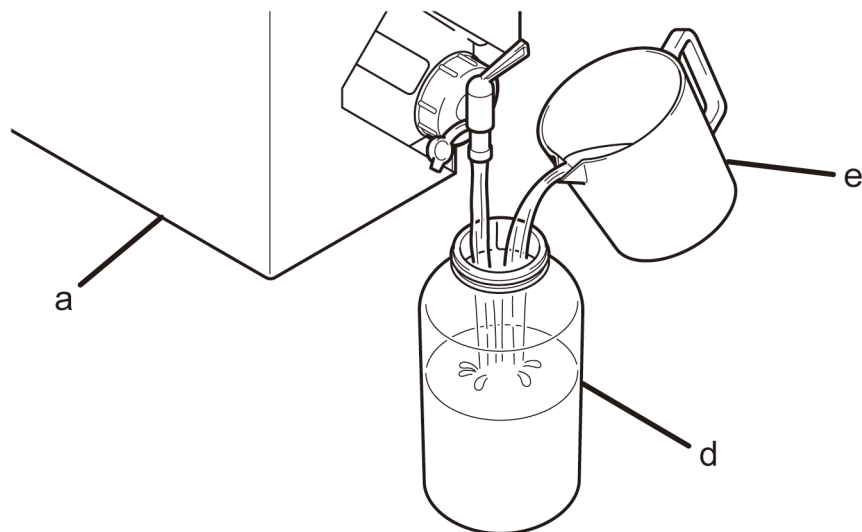
3 コック (c) の注ぎ口が、図の位置になるように調整します。



4 前処理剤を段ボールごと傾けて希釈用容器 (d) に注ぎ、純水 (e) で希釈します。

重要

- 3倍 (前処理剤：純水=1:2) (体積比) で希釈してください。
- 希釈用容器のふたを閉めて、濃度が均一になるように十分に攪拌してください。



5 前処理剤はコックを閉じてコック部分が上面になるようにして、段ボールごと保管してください。

6.3.3 前処理剤の塗布

前処理した部分に印刷されるよう、前処理剤は印刷範囲より広めにまた均一に塗布してください。

注意

- スプレー塗布などミストが発生する作業をする際は、十分な換気を行ってください。
- 作業をする際は、ビニール手袋、マスクおよび液体飛沫対応の保護めがね（またはゴーグル）を着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

重要

- Tシャツによっては、前処理剤の跡残りが目立つ場合があります。水で洗い流してください。
また、Tシャツによっては、前処理剤で変色してしまい、洗っても色が元に戻らない場合があります。
初めて印刷する場合は、目立たないところで試してから塗布してください。
- 電動スプレーで塗布する際は、プリンター本体からなるべく離れた場所で塗布してください。プリントヘッドの故障につながる可能性があります。

前処理剤塗布量の目安

プラテンサイズに合わせて塗布面積、塗布量を決めてください。下記の表と面積が異なる場合、面積比で塗布量を算出してください。

重要

- 生地の種類によっては以下の前処理剤塗布量で印刷品質を保証できないため、事前に十分に印刷テストを行い塗布量を調整することをお勧めします。
- 前処理剤の塗布量が少なすぎる場合、定着後の跡残りが目立ちにくくなりますが、白インクや白インク上のカラーの発色が悪くなります。
- 前処理剤の塗布量が多すぎる場合、前処理剤の跡が目立ったり、洗濯後に印刷面にヒビが入る、色落ちが起こりやすくなる恐れがあります。

| プラテンサイズ | 前処理剤塗布量 |
|--------------------|---------|
| 16×21 | 45 g |
| 16×18 | 39 g |
| 14×16 | 30 g |
| 10×12 | 16 g |
| 7×8 | 8 g |
| レター/A4 | 15 g |
| ポケットサイズ (10×10 cm) | 3 g |

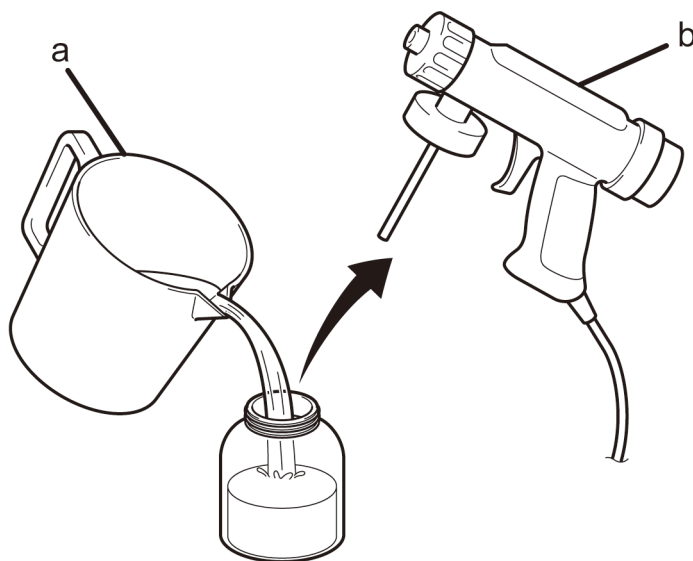
スプレー（市販品：電動式推奨）で塗布する場合

- 1 希釈した前処理剤（a）をスプレー（b）に充填します。



参考

- スプレーは、ミストが細かいもの（電動式を推奨）を使用してください。



- 2 Tシャツ (c) を、平らに置くか立てかけてスプレー (b) で均一に塗布します。

! 注意

- スプレー塗布などミストが発生する作業をする際は、十分な換気を行ってください。
- 作業をする際は、ビニール手袋、マスクおよび液体飛沫対応の保護めがね（またはゴーグル）を着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

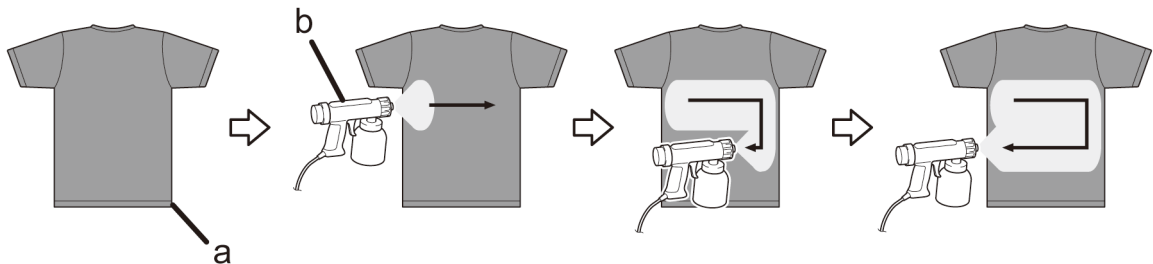
<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

重要

- 電動スプレーで塗布する際は、プリンター本体からなるべく離れた場所で塗布してください。プリントヘッドの故障につながる可能性があります。

参考

- Tシャツに中敷を入れると裏面（背面）に、前処理剤が染み込みません。使用中敷は、プレス前に外してください。
- 慣れないうちは、はかりで塗布量を量りながら行ってください。

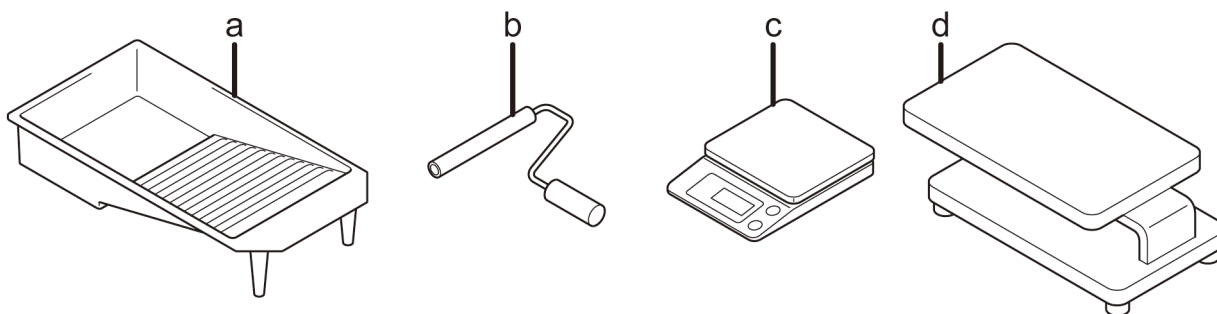


前処理ローラー（オプション部品）で塗布する場合

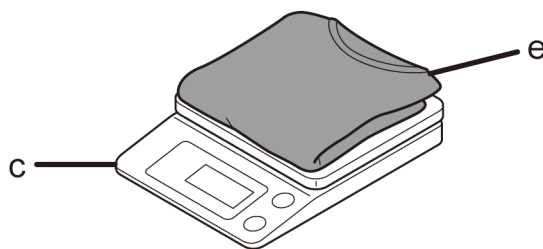
- 1 ポリプロピレンなどのトレイ (a)、ハンドル（ローラーの柄）(b)、塗布量を確認するためのはかり (c)、塗布台 (d) を準備してください。

参考

- 印刷エリアをカバーできる大きさの塗布台を使用すると、下に前処理剤が染みることもなく便利です。



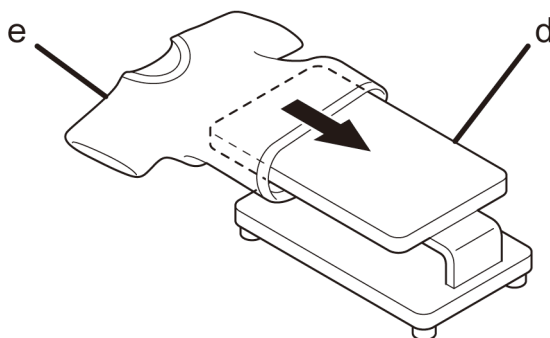
- 2 前処理剤をどの程度塗布したかが分かるように、塗布前のTシャツ (e) の重量を量っておきます。



- 3 印刷面を上にしたTシャツ (e) を、塗布台 (d) にかぶせます。

参考

- 塗布台がない場合、Tシャツの内側に板状のものを入れておくと裏面（背面）に、前処理剤が染み込みません。

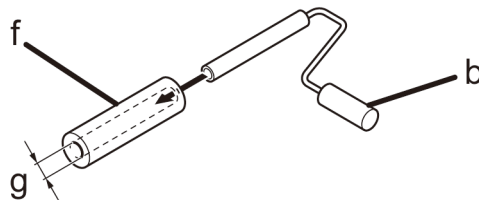


Chapter 6 基本の印刷

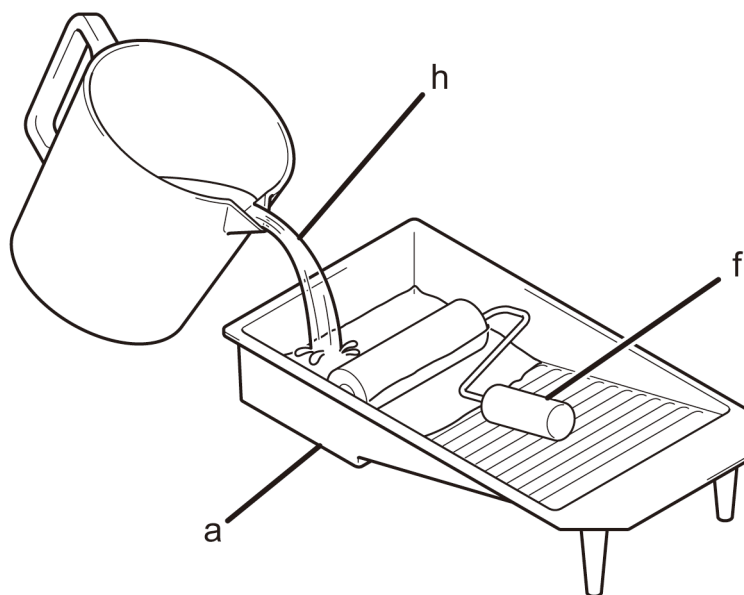
- 4 前処理ローラー (f) をハンドル (ローラーの柄) (b) に取り付けます。

参考

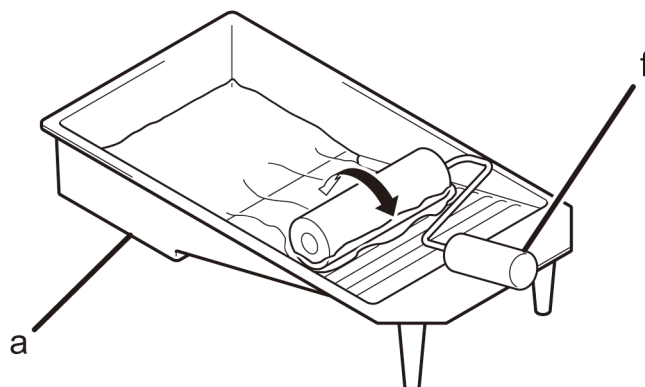
- 前処理ローラー内径21mm (g) に合う、市販のローラー付きハンドルを使用してください。



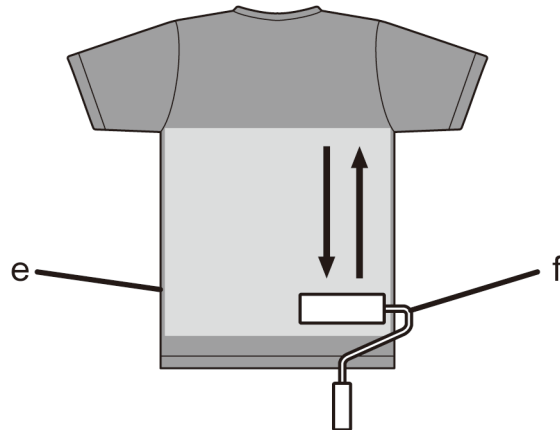
- 5 トレイ (a) に希釈した前処理剤 (h) を注ぎ、前処理ローラー (f) を浸して、染み込ませます。



- 6 前処理ローラー (f) を、トレイ (a) の端でよく絞って余分な前処理剤を落とします。



- 7 Tシャツ (e) 上で前処理ローラー (f) を縦に動かして、印刷範囲に均一に塗布します。

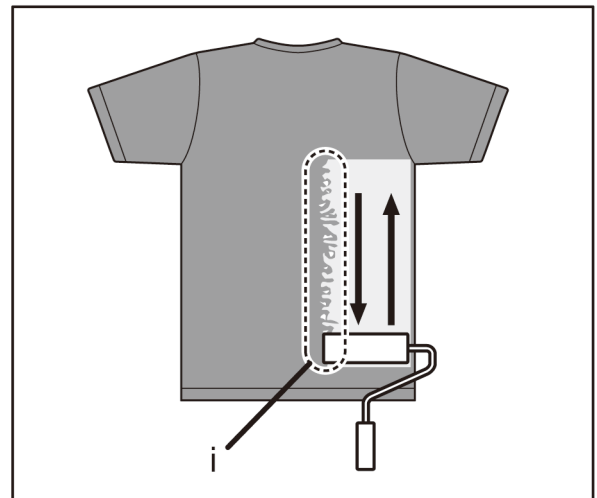
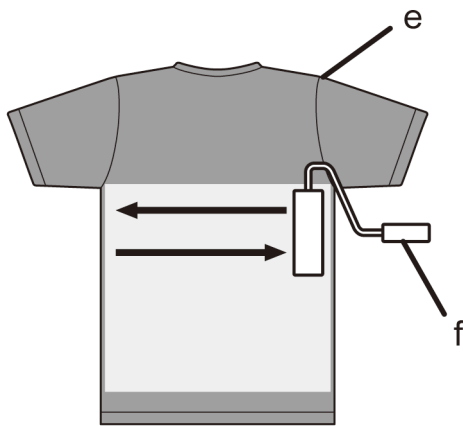


- 8 Tシャツ (e) 上で前処理ローラー (f) を横に動かして、印刷範囲に均一に塗布します。



参考

- 前処理ローラーの力の入れ加減によっては、塗りムラ (i) が出来ることがあります。前処理ローラーを重ねて動かして、均一に塗ってください。
- 塗り忘れ (隙間) や塗りムラがある場合は、前処理ローラーに再度前処理剤を染み込ませ、均一に塗ってください。

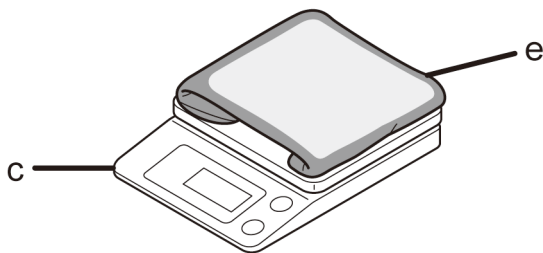


9 必要な量が塗布できたかを確認するために、Tシャツ (e) の重さを量ります。



参考

- 塗布量の目安 前処理剤の塗布
- 塗布量が少ない場合、白インクや白インク上のカラーの発色が悪くなります。
- 塗布量が多すぎる場合、定着後Tシャツが固くなったり、跡残りが目立ってしまう、洗濯堅牢性の低下などが起こる恐れがあります。



前処理ローラーのお手入れ

前処理ローラー (a) の表面に毛羽や糸ゴミ、ほこりなどが付着したまま使い続けると均一に塗れないことがあります。

歯ブラシなど (b) を寝かせて表面をなぞり、毛羽などをきれいに取りのぞきます。



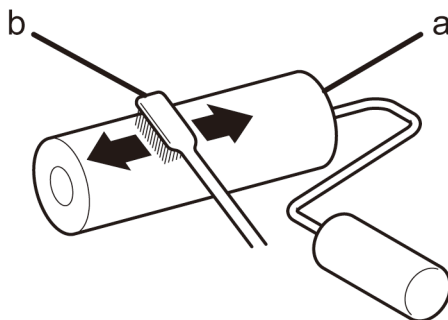
注意

- 作業をする際は、ビニール手袋、保護めがねを着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

お願い

- 前処理ローラー使用後は、ポリ袋などに密閉するなどして乾燥を避け、平らな場所に立てて保管してください。また2週間以上使用しない場合は、流水で十分に洗浄し、日陰で乾燥させてから再利用してください。



6.3.4 前処理剤の定着

注意

- ミストが発生するため、十分な換気を行ってください。
- 作業をする際は、ビニール手袋、マスクおよび液体飛沫対応の保護めがね（またはゴーグル）を着用してください。
- 前処理剤の取り扱いに関しては、弊社発行の製品安全シートをご確認ください。

<http://sds.brother.co.jp/sdsapp/index.html>

参考

- オープンや自然乾燥では、前処理剤の効果が得られないため、必ずヒートプレスを使用してください。オープンでは毛羽が寝ないため、白にムラが生じやすくなります。
- ヒートプレスにTシャツをセットする際は、Tシャツの表面が平らになるようセットし、プレスエリア全体に剥離シートを置いてプレスしてください。
- 前処理剤を定着させた部分は一度濡れると前処理剤の効果が低減したり、ムラが生じやすくなります。
- 前処理剤定着後、定着させた部分を手で触らないでください。
- 前処理剤定着後のTシャツには触れたり生地を重ね合わせたりしないでください。
- 前処理剤定着後は、多湿の場所に放置しないでください。
- 長時間放置したときは印刷直前にプレスし、乾かしてから印刷してください。

前処理剤定着条件の目安

下記の定着温度・時間はあくまでも目安であり、適切な条件はお使いのヒートプレス毎に異なります。必ず事前に温度や定着結果を確認してから行ってください。

参考

- 定着の際は、ヒートプレスの温度を確認してください。連続して定着すると温度が下がり前処理剤が正しく定着できない場合があります。この場合、白インクがTシャツ生地に染み込んでしまうため、白さが再現できません。
- 表面を平らにする圧力が必要です。お使いのヒートプレスにより定着条件は異なりますので、事前にインク定着結果を確認して圧力を調整してください。
- 35秒間プレスしても乾きが不十分なときは、前処理剤の乾き具合を見ながら時間を延ばしてください。
- 前処理剤の塗布量によって最適な定着条件は異なりますので、下記の数値は目安としてください。

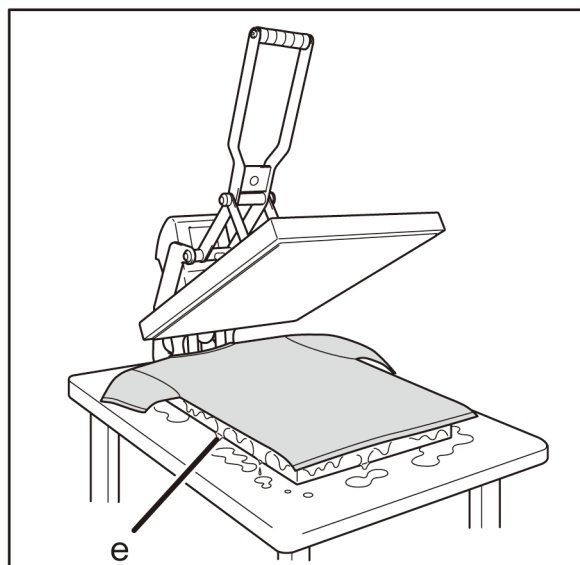
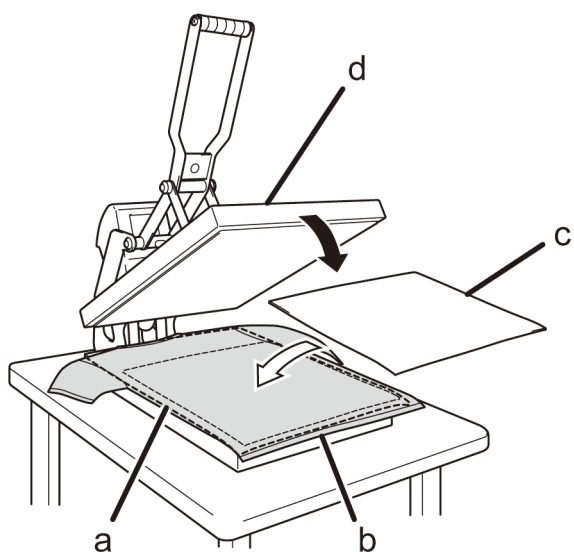
| 温度 | 時間 |
|---------------|------|
| 180°C (356°F) | 35 秒 |

- 1 シリコンフォーム (a)、Tシャツ (b) および剥離シート (c) をヒートプレス (d) にセットし、定着します。

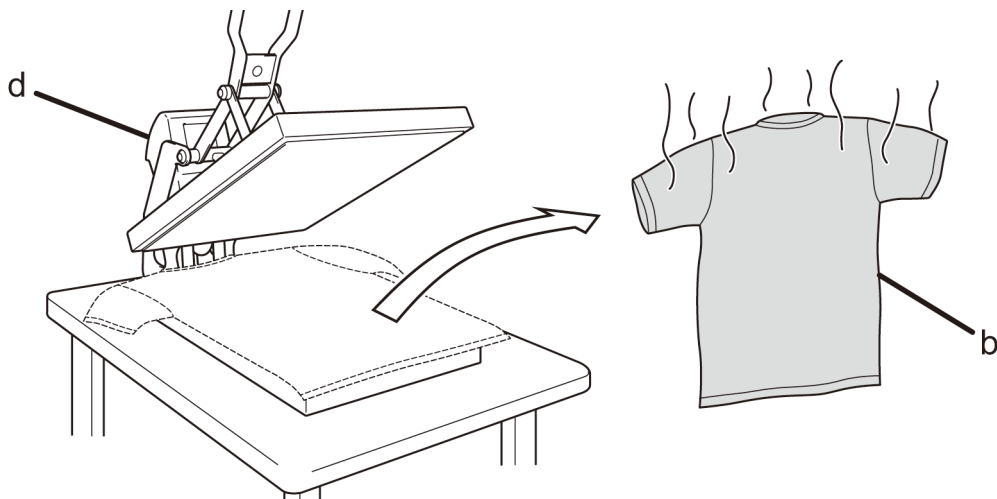


参考

- ヒートプレスの熱で前処理剤の水分を蒸発させるため、ヒートプレスの周辺は水滴 (e) が発生します。塗布面が濡れないように、作業スペースを清潔に保ってください。
- 剥離シートは、お使いのヒートプレスにより必要に応じて使用してください。



- 2 Tシャツ (b) をヒートプレス (d) から取り外し、粗熱を取り除きます。




6.4 プラテンの調整

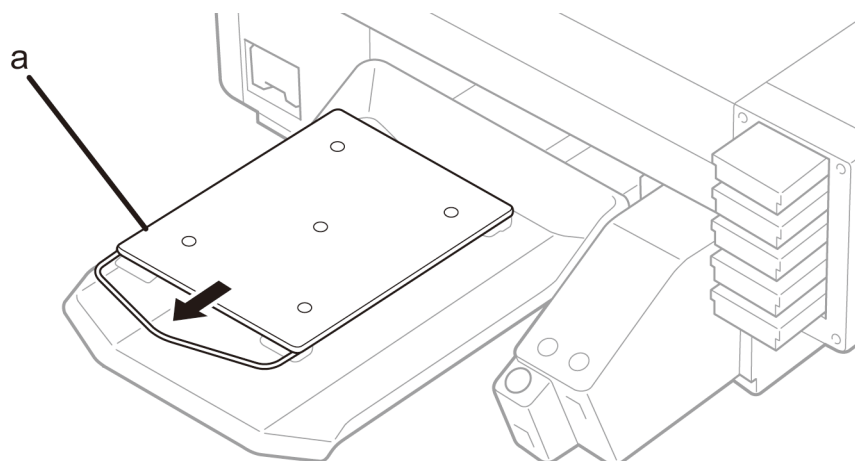
プラテンを印刷メディアに合わせて交換します。

参考

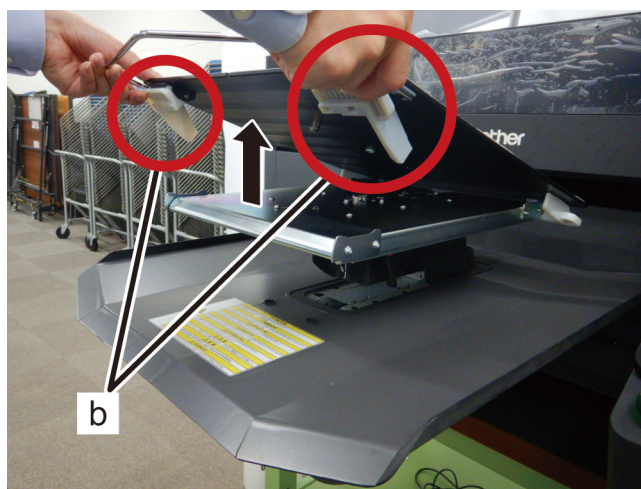
- 10×12 プラテンなど、オプションサイズのプラテンを使用する場合は、プリンタードライバーの設定メニューで「プラテンサイズ」が正しく選ばれていることを確認してください。
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[プラテンサイズを選択する \(p.103\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プラテンサイズを選択する \(p.124\)](#)

6.4.1 プラテンの交換

- 1 操作パネルの  を押し、プラテン (a) を本体手前側に向かって移動します。



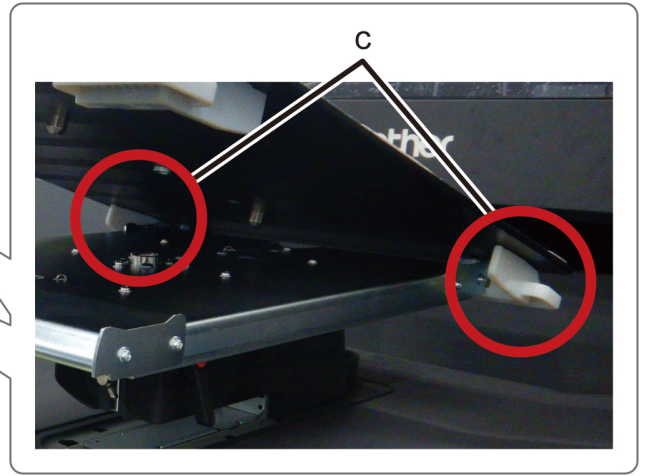
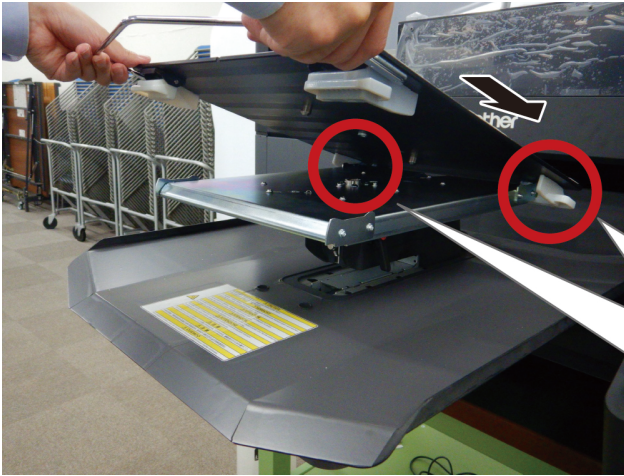
- 2 手前側 (b) の固定レバーを持ち、プラテン天板を上持ち上げます。



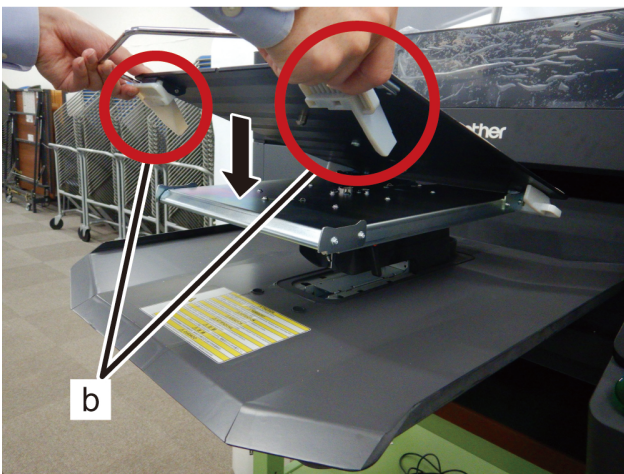
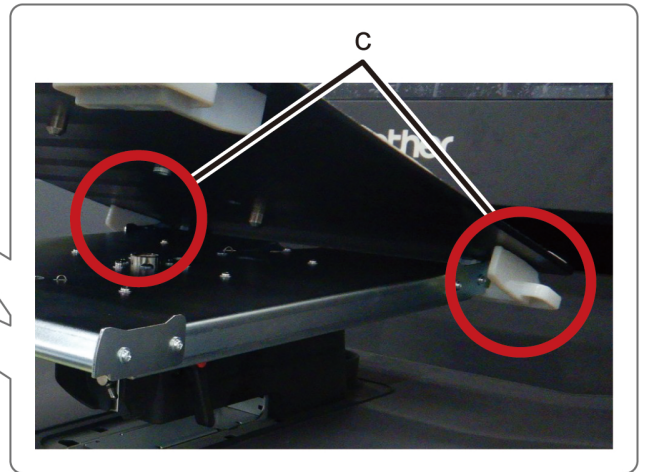
Chapter 6

基本の印刷

- 3 奥側にプラテン天板を押すことで、奥側 (c) のプラテン固定レバーを外し、プラテン天板を取り外します。




- 4 プラテン天板の奥側 (c) の固定レバーをプラテンベースの奥側に挿入し、手前側 (b) の固定レバーでプラテン天板をプラテンベースに固定します。

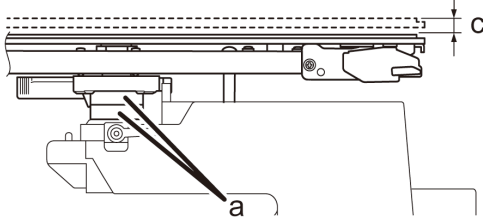
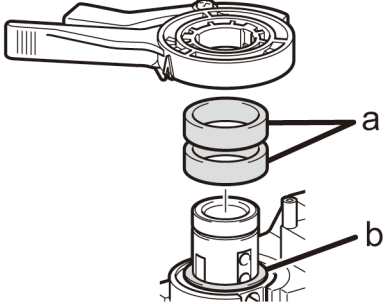
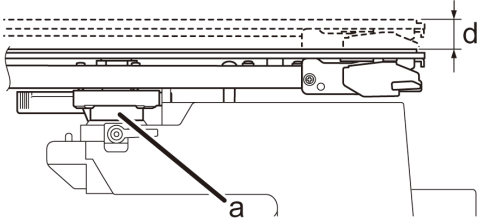
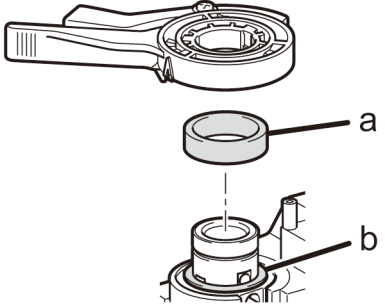
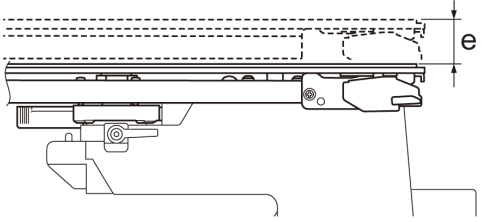
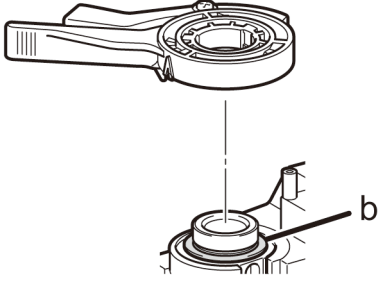


6.4.2 プラテン高さの調整

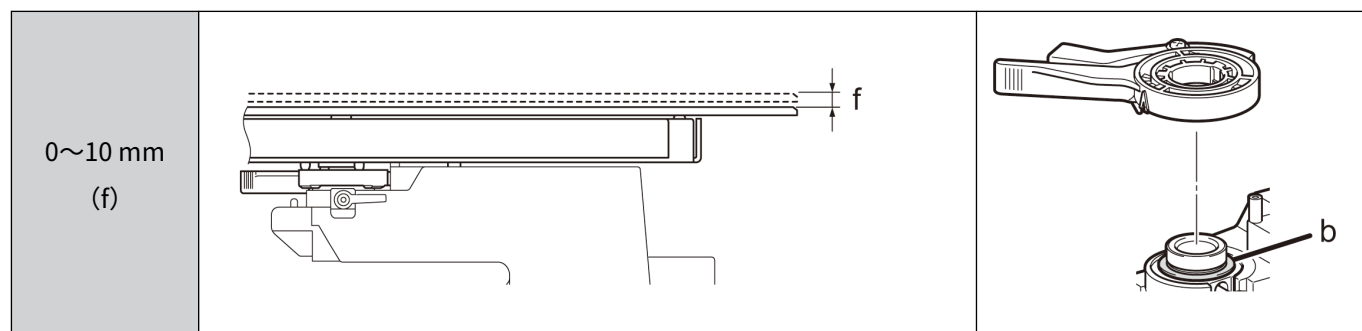
常に厚物に印刷する場合は、プラテン軸受け、カラー (a) を調整することでプラテン高さを最大30 mm下げることができます。

 参考

- プラテンの高さ調整範囲（標準部品でプラテン高さ調節レバーを0とするAの位置）は、下表を参照ください。
- スパースー (b) は高さが基準値になるようにそれぞれの機械にセットしてあります。スパースーの枚数を変えないでください。
- 16×21 プラテンを使用する場合は最下段のみの使用となります。カラーを外した状態で取り付けてください。また、16×21 プラテンの高さ調整は最大10 mmです。
- 高さ調整時は、プラテン高さ調節レバーのツメをプラテン軸受けの溝にはめてください。

| | | |
|-------------------------|---|--|
| <p>0~10 mm (c)</p> |  |  |
| <p>10~20 mm (d)</p> |  |  |
| <p>20~30 mm (e)</p> |  |  |

16×21 プラテンの場合



例として標準から最下段にする場合と、最下段から中段にする場合を説明します。

標準から最下段にする場合

- 1 プラテンを取り外します。
- 2 プラテン固定レバー (a)・プラテン高さ調節レバー (b)・カラー (c) を取り外します。

カラーの枚数と高さ調整範囲は以下のようになります。

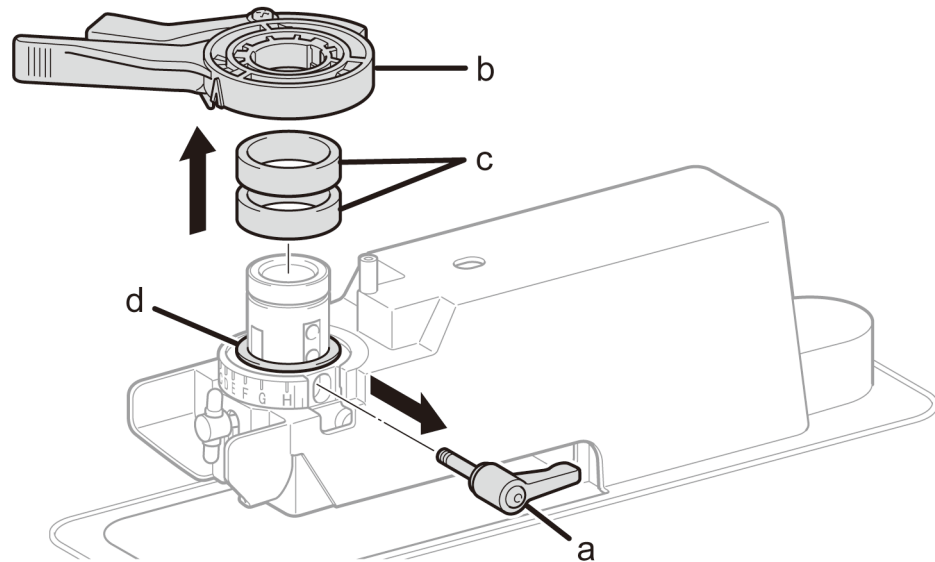
| 位置 | 高さ | カラー枚数 |
|---------|----------|-------|
| 最上段(標準) | 0-10 mm | 2枚 |
| 中段 | 10-20 mm | 1枚 |
| 最下段 | 20-30 mm | 無し |

16×21 プラテンの場合

| | | カラー枚数 |
|-----|---------|-------|
| 最下段 | 0-10 mm | 無し |

参考

- スペーサー (d) は高さが基準値になるようにそれぞれのプリンターにセットしています。スペーサーの枚数は変えないでください。

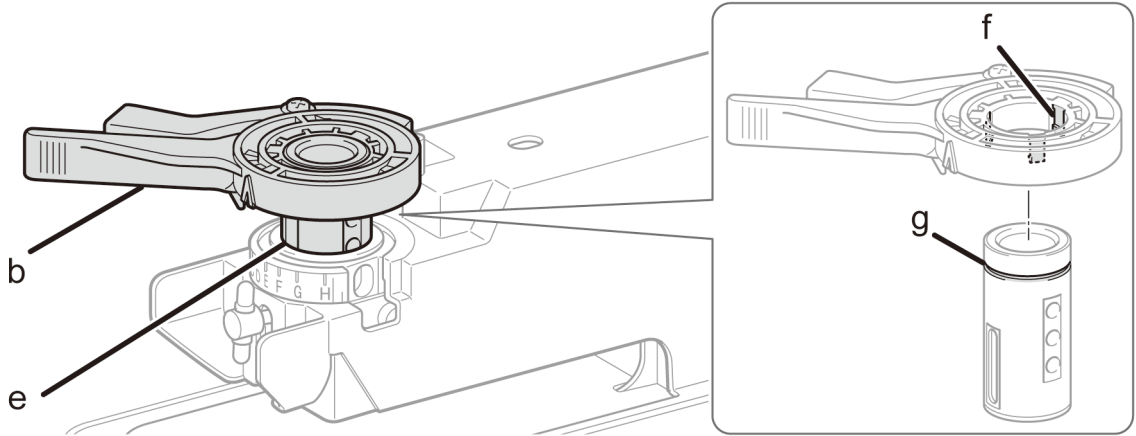


3 プラテン高さ調節レバー (b) をプラテン軸受け (e) に取り付けます。

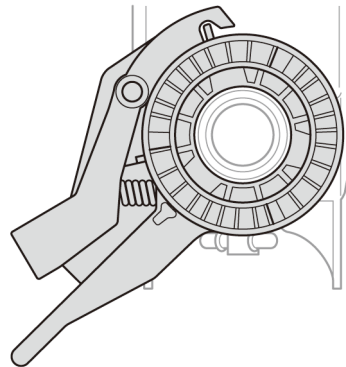


参考

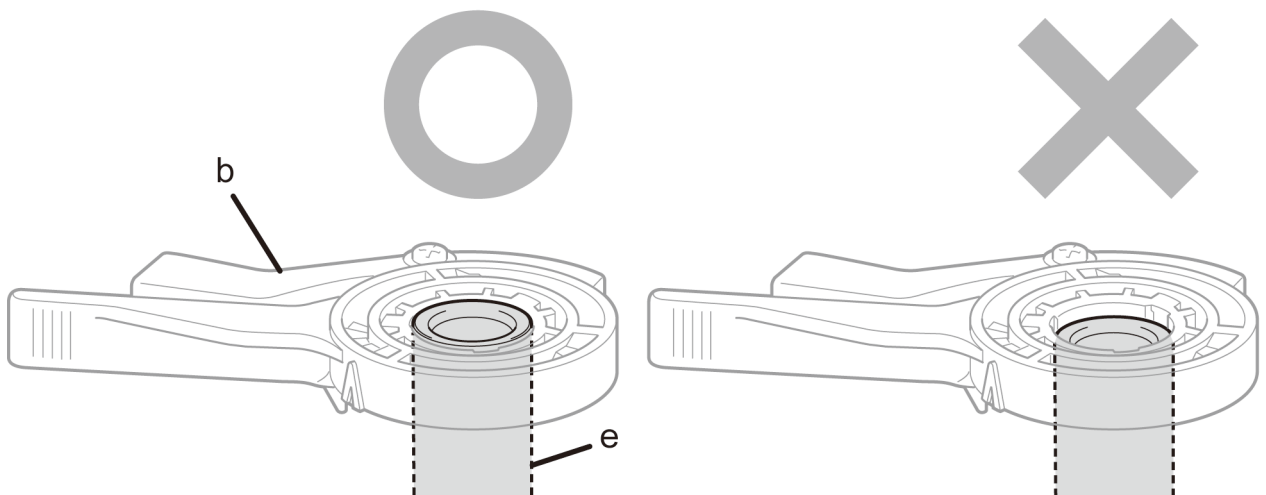
- 高さ調整時は、プラテン高さ調節レバーのツメ (f) をプラテン軸受けの溝 (g) にはめてください。



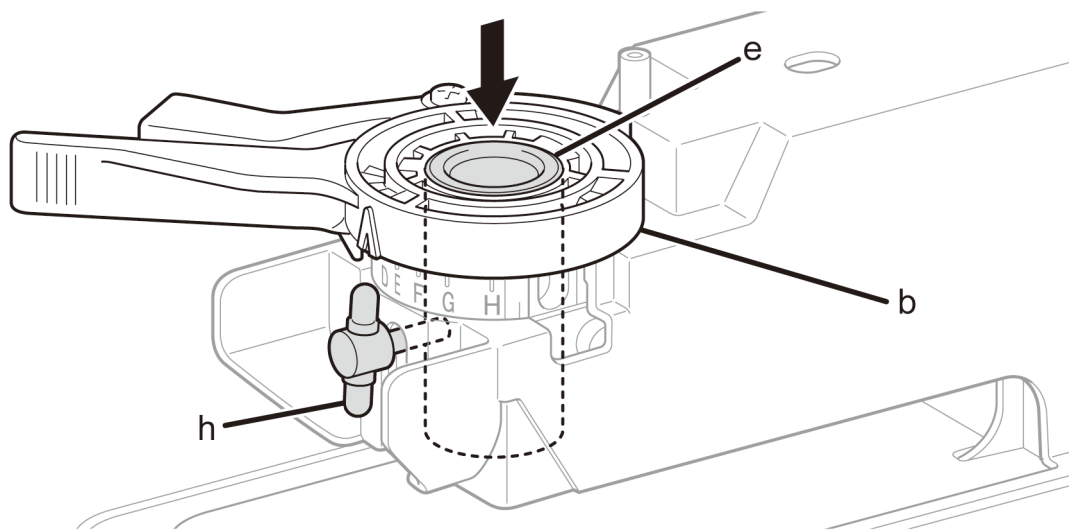
上面図



4 プラテン高さ調節レバーとプラテン軸受け (e) の端面位置が合っていることを確認します。



- 5 プラテン高さ調節レバー (b) を持ちながらノブ (h) を緩め、プラテン軸受け (e) と高さ調節レバーを下げます。

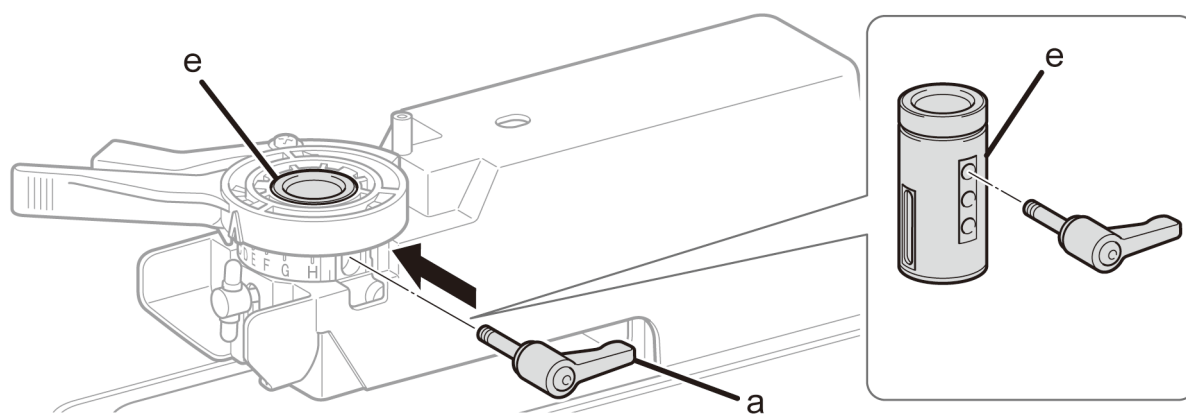


- 6 プラテン固定レバー (a) で仮止めします。

調整するプラテンの高さによって、カラーの枚数およびプラテン軸受け (e) のネジ穴位置が異なります。

 参考

- 最下段にする場合は、カラーを全て取り外してプラテン軸受け上側のネジ穴に仮止めします。
- 中段にする場合は、カラーを1枚取り付けてプラテン軸受け中央のネジ穴に仮止めします。
- 最上段にする場合は、カラーを2枚取り付けてプラテン軸受け下側のネジ穴に仮止めします。

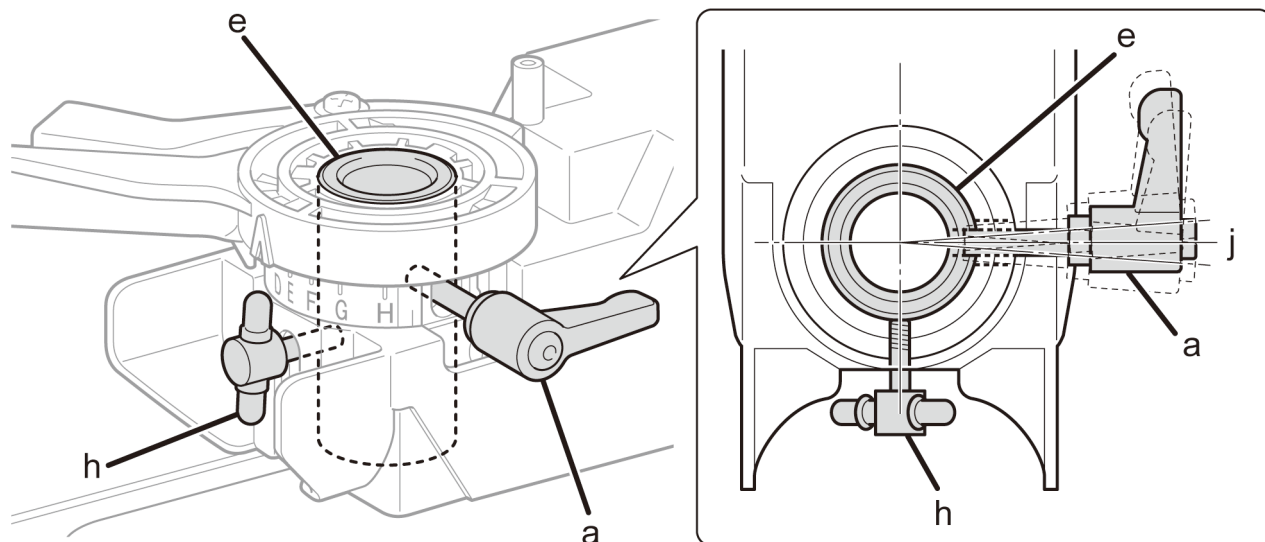


7 ノブ (h) を締め付けて、プラテン軸受け (e) を固定します。



参考

- プラテン固定レバー (a) の中心を、図の位置にあわせてプラテン軸受けを固定してください。(j)



8 使用するプラテンを挿入し、プラテン固定レバーを締め付けます。

最下段から中段にする場合

- 1 プラテンを取り外します。
- 2 プラテン固定レバー (a)・プラテン高さ調節レバー (b) を取り外します。

カラーの枚数と高さ調整範囲は以下のようになります。

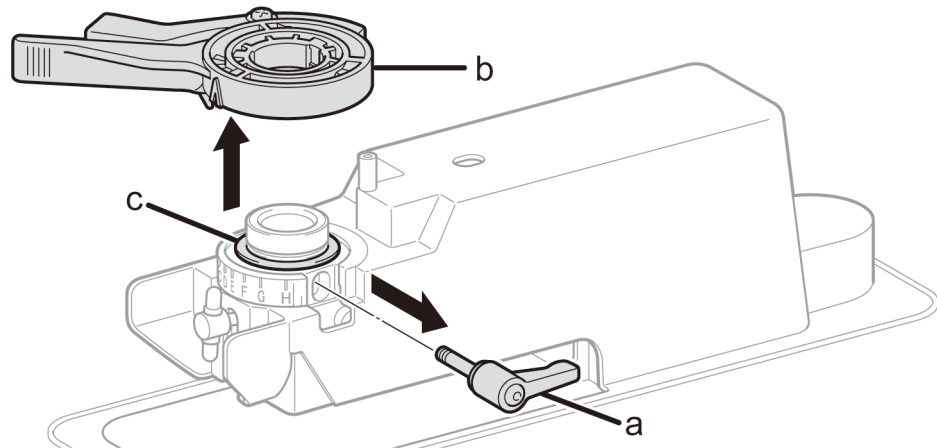
| 位置 | 高さ | カラー枚数 |
|---------|----------|-------|
| 最上段(標準) | 0-10 mm | 2枚 |
| 中段 | 10-20 mm | 1枚 |
| 最下段 | 20-30 mm | 無し |

16×21 プラテンの場合

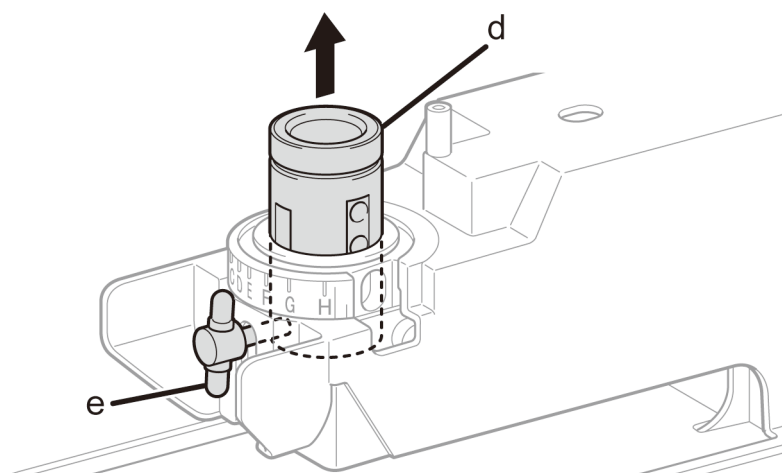
| 位置 | 高さ | カラー枚数 |
|-----|---------|-------|
| 最下段 | 0-10 mm | 無し |

参考

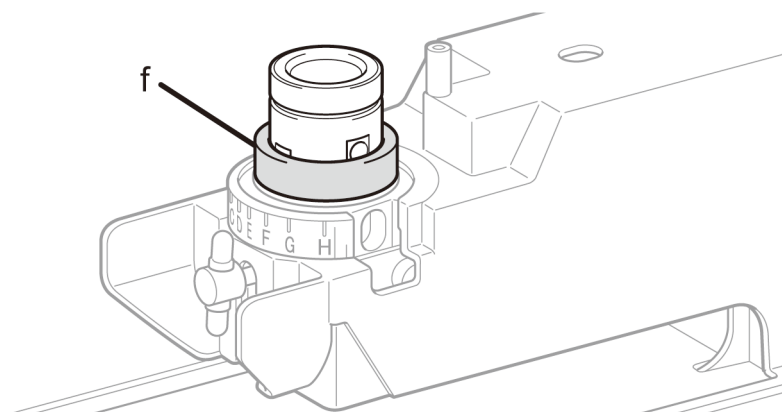
- スペーサー (c) は高さが基準値になるようにそれぞれのプリンターにセットしています。スペーサーの枚数は変えないでください。



- 3 プラテン軸受け (d) を持ちながらノブ (e) を緩め、上端まで持ち上げて再度ノブを締めます。



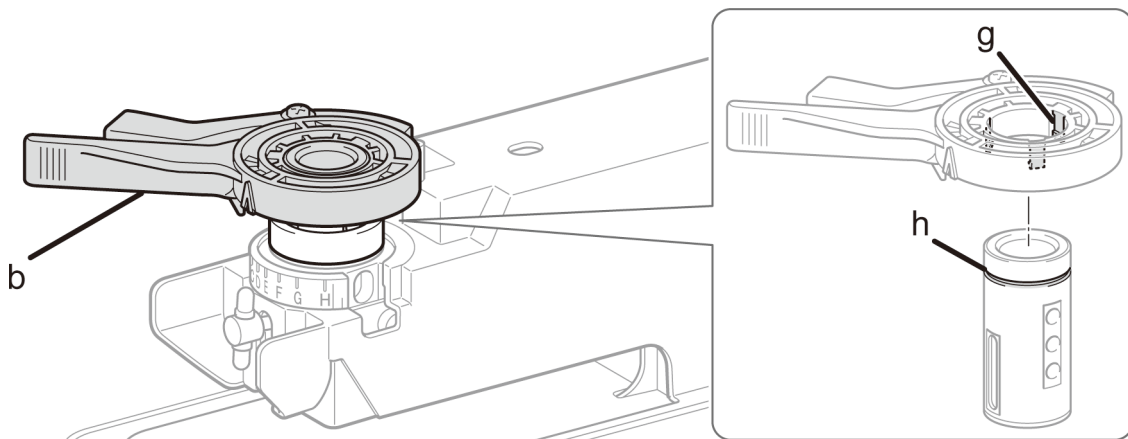
- 4 カラー (f) を取り付けます。



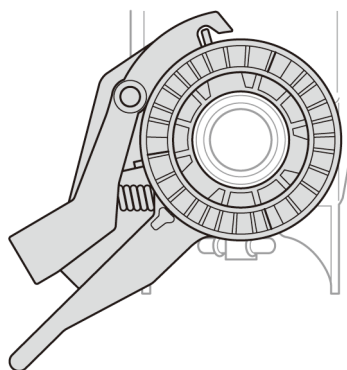
- 5 プラテン高さ調節レバー (b) をプラテン軸受けに取り付けます。

 参考

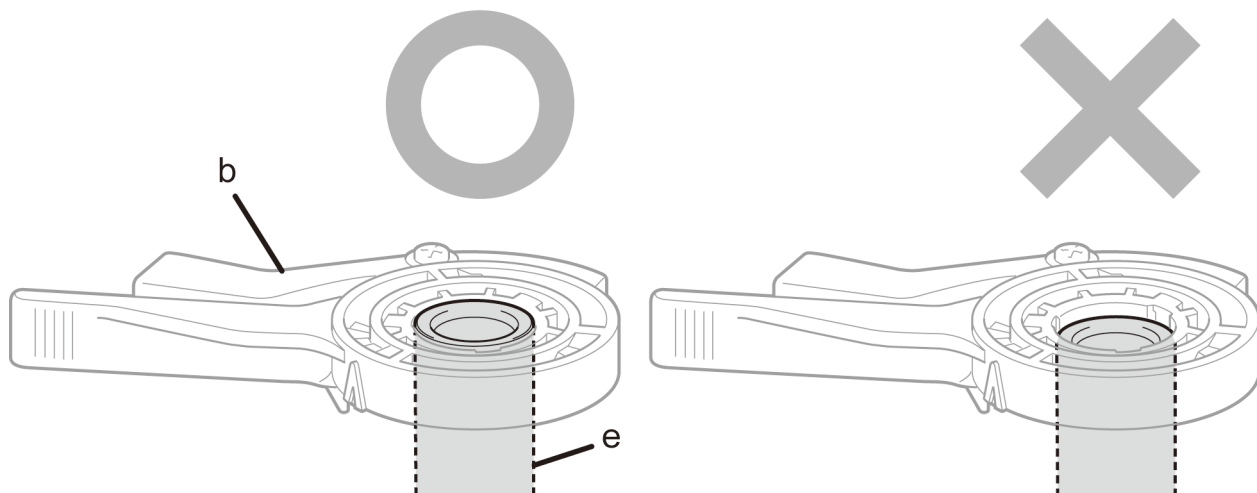
- 高さ調整時は、プラテン高さ調節レバーのツメ (g) をプラテン軸受けの溝 (h) にはめてください。



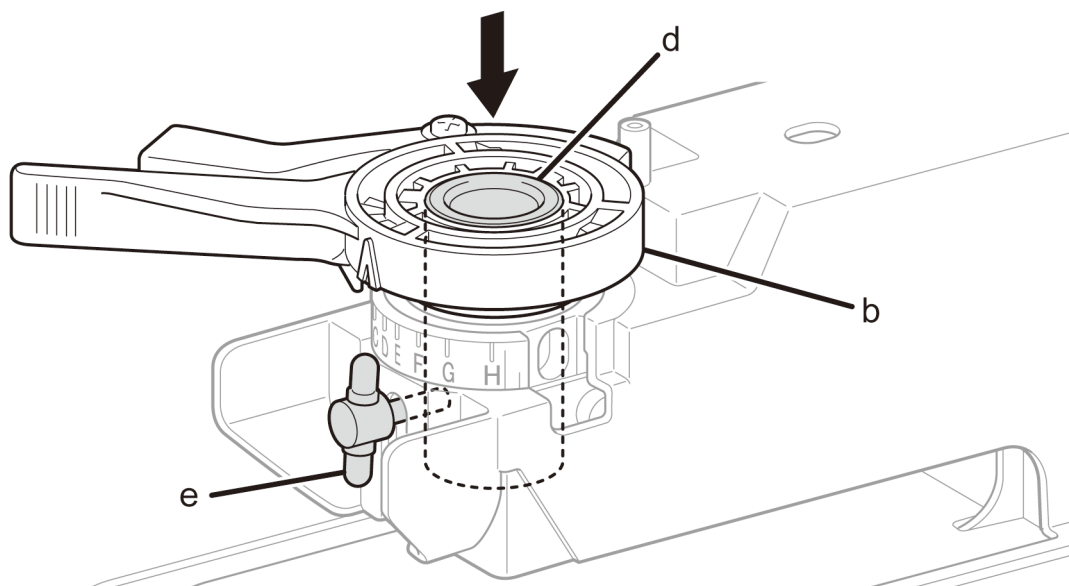
上面図



- 6 プラテン高さ調節レバー (b) とプラテン軸受け (d) の端面位置が合っていることを確認します。



- 7 プラテン高さ調節レバー (b) を持ちながらノブ (e) を緩め、プラテン軸受け (d) と高さ調節レバーを下げます。

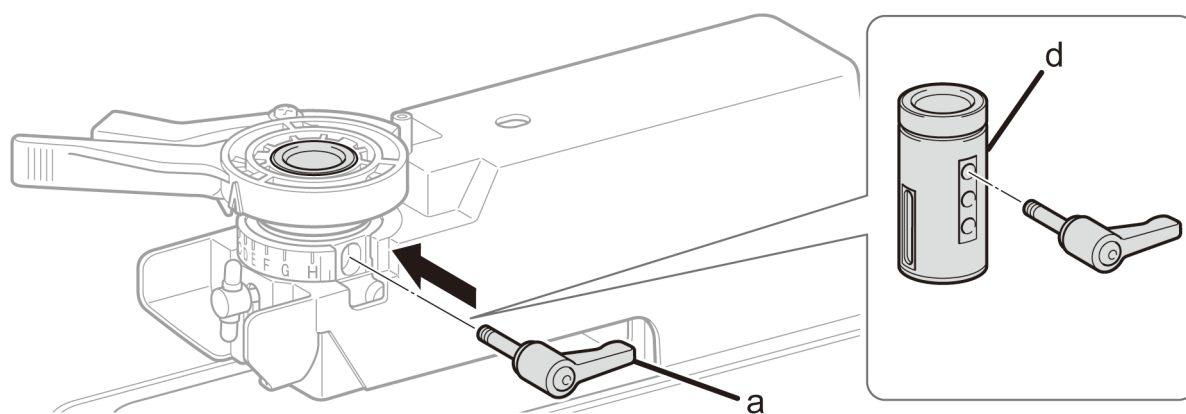


- 8 プラテン固定レバー (a) で仮止めします。

調整するプラテンの高さによって、カラーの枚数およびプラテン軸受け (d) のネジ穴位置が異なります。

 参考

- 最下段にする場合は、カラーを全て取り外してプラテン軸受け上側のネジ穴に仮止めします。
- 中段にする場合は、カラーを1枚取り付けてプラテン軸受け中央のネジ穴に仮止めします。
- 最上段にする場合は、カラーを2枚取り付けてプラテン軸受け下側のネジ穴に仮止めします。

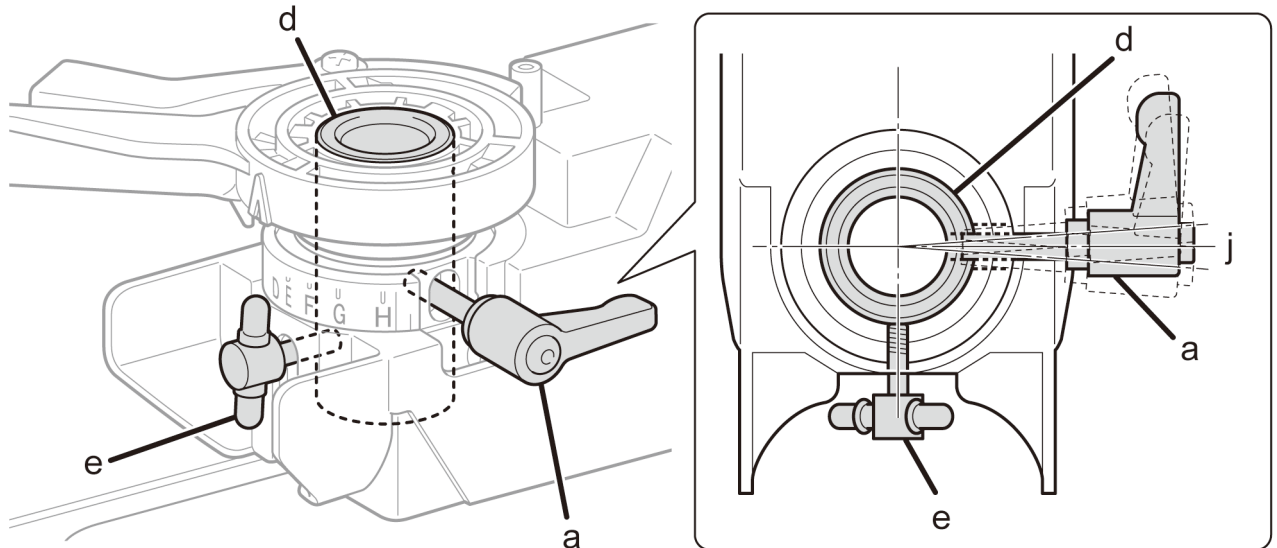


- 9 ノブ (e) を締め付けて、プラテン軸受け (d) を固定します。



参考

- プラテン固定レバー (a) の中心を、図の位置にあわせてプラテン軸受けを固定してください。(j)



- 10 使用するプラテンを挿入し、プラテン固定レバーを締め付けます。

6.5 印刷物の装着

印刷物を装着する際、最適な印刷画質を得るために、Tシャツその他印刷メディアの厚みに応じて、プラテンの高さを調整する必要があります。

注意


- 本機の前には十分な空間を取り、物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損したり、プラテンと物の間に手をはさみ、けがの原因となります。
- 動作中はプラテンから手を離してください。プラテンやTシャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがの原因となります。

重要

- プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因になります。

参考

- プラテン高さを印刷物に応じて適切な高さに調節してお使いください。プラテン高さ調節レバーで高さの調節ができます。目安として、障害物センサーに検出される限界の高さから一段階下げた高さに調節し、障害物センサーに検出されないことを確認してください。
プラテンの高さを下げすぎるとインクミストがプリンター内部に飛散し、印刷面を汚したり、印刷がぼやけたり、センサーや本体の故障原因となります。
- フィルム印刷の場合は、プラテン高さ調節レバーは「A-」程度です。
- ヘム（縁）や縫い目を避けるためにプラテンを低めにしなければならない場合は、片方向印刷を使用してください。
[印刷方向の設定 \(p.258\)](#)
- 印刷データ単位での片方向印刷は、プリンタードライバーからも指定できます。
[印刷方向を指定する \(p.121\)](#)
- 常に厚物に印刷する場合は、プラテン軸受け、カラーで調節し、プラテン高さを下げることができます。
[プラテン高さの調整 \(p.168\)](#)

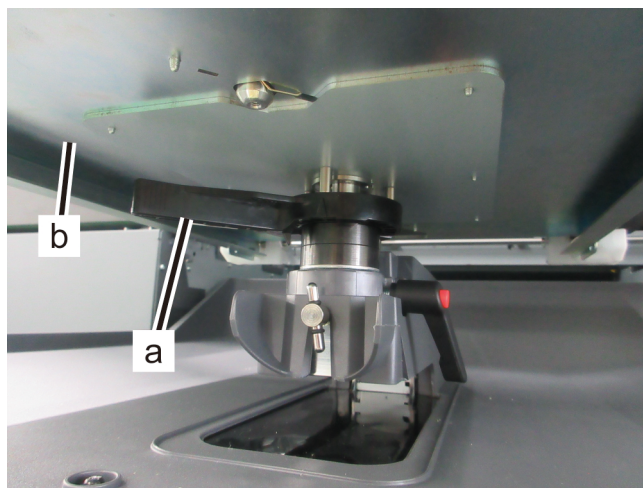
- 1 プラテンが手前に移動されていない場合は、操作パネルの  を押します。

- 2 プラテン高さ調節レバー (a) で高さを調整します。



参考

- Tシャツの場合はプラテン高さ調節レバーを「A」程度で、トレーナーのような厚手のものは「C」程度です。
- フィルムの場合はプラテン高さ調節レバーを「A-」程度です。
- プラテン (b) の高さを下げすぎると印刷品質が低下したり、インクミストによる本体の汚れなどに繋がります。



- 3 Tシャツやフィルムの印刷面を上にしてプラテンに装着します。

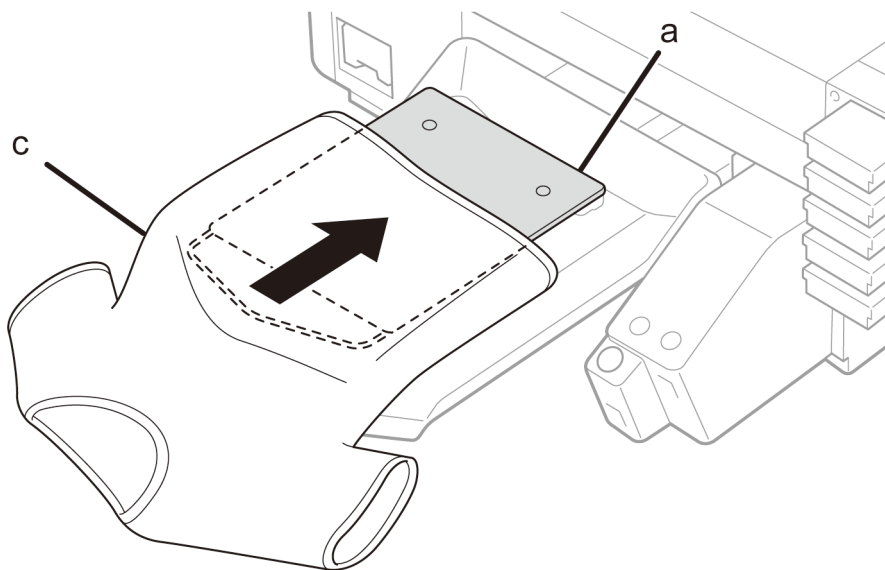
重要

- 16×21 プラテンを取り付けている場合は、プラテンを手前にスライドさせてからTシャツを装着してください。



参考

- 白または淡色のTシャツの位置合わせ用に、プラテンシートに印刷するグリッドが、スタートメニューの[すべてのプログラム]から「Brother GTX Maintenance」>「GTX Maintenance #」>「お役立つツール」の中にあります。
[プラテンシートにグリッド線を印刷する \(p.136\)](#)



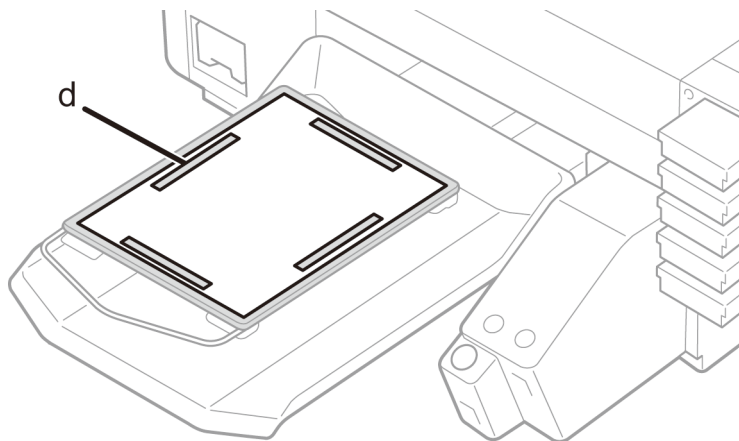
フィルム印刷の場合

重要

- ラバーマグネットでフィルムまたは紙を固定する際には下記の事に注意し、正しく使用してください。
誤った使用をした場合、印刷途中にプリントヘッドにラバーマグネットが付着し、印刷不良が起きる可能性があります。
- ラバーマグネットは当社純正品をご使用ください。市販品を使用した場合、プリントヘッドに付着する可能性が高まります。
- ラバーマグネットをプラテンからはみ出して使用、または切断して使用等しないでください。フィルムや紙が正しく固定されない可能性が高まります。
- ラバーマグネットを使用する時は、白側（非磁気面）が上になるようにフィルムまたは紙を固定してください。黒側（磁気面）が上になるように置いた場合、プリントヘッドに付着する可能性が高まります。
- ラバーマグネットを折り曲げたり、浮いた状態で使用しないでください。障害物として検知され、印字動作が中断する可能性が高まります。

 参考

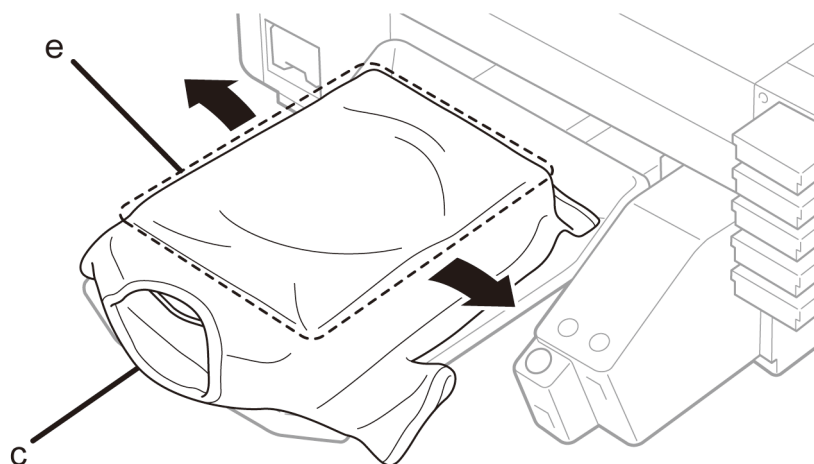
- フィルム印刷の場合は、印刷中にフィルムが動かないように各辺の中央付近（上下左右の4箇所）にラバーマグネット（d）を置いて固定してください。



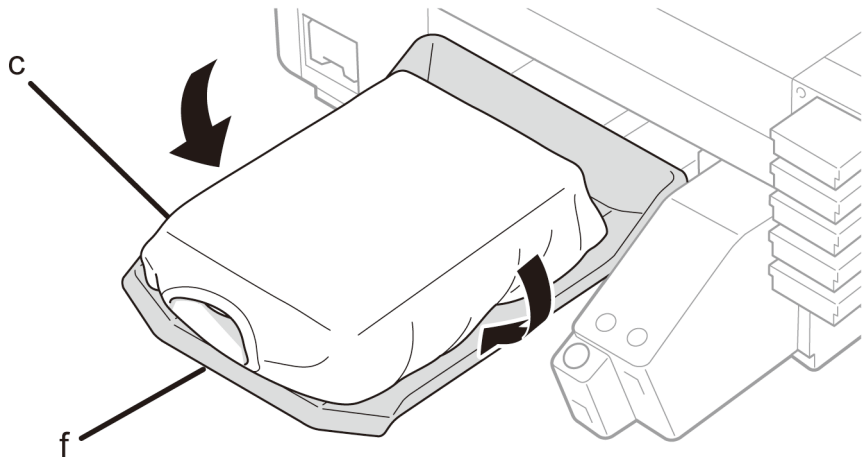
4 しわを伸ばし（e）、糸くずや埃を取り除きます。


 参考

- ヘム（縁）や首、アームホール、タック、裾などの縫い目は障害物センサーに検出されやすくなります。
- 両端の部分はしっかり平らにしないと印刷中に盛り上がりやすく、障害物センサーに検出されやすくなります。
- 前処理剤定着面に触れないように作業してください。
- 前処理剤を塗布したTシャツ（c）は、引っ張るのではなくプラテン布と馴染ませるよう平らにならしてください。
- Tシャツの表面が平らでない場合、障害物センサーに検出されます。
- Tシャツを引っ張って装着すると、白インクとカラーインクの吐出位置がずれて白インクがはみ出してしまう場合があります。特に薄い生地は、引っ張らないように注意してください。



- 5 袖や裾の溢れた部分は巻き込まないようにTシャツトレイ (f) に乗せます。




- 6 操作パネルの  を押して、プラテンを本体奥側に向けて移動します。
プラテンを実際に動かして、Tシャツの表面と障害物センサーとのギャップを印刷面全体で確認してください。



参考

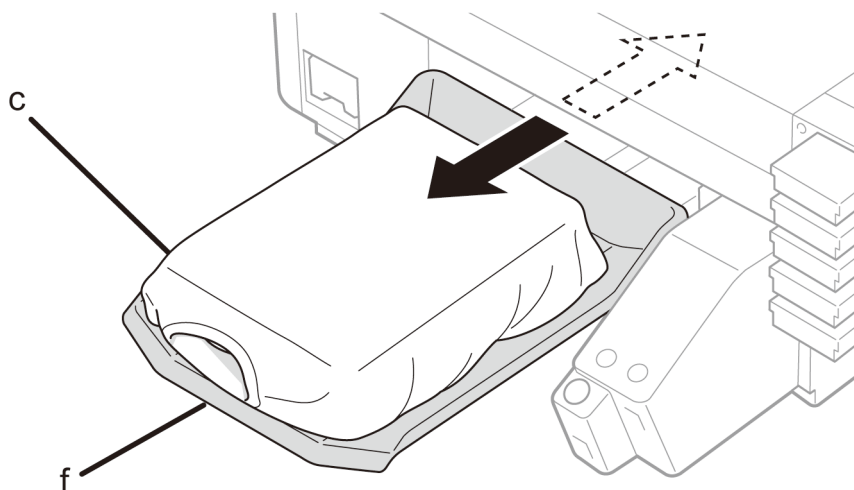
- ギャップが広すぎる場合は、プラテン高さ調節レバーで調整してください。
- 障害物センサーに検出される限界の高さから一段階下げた高さに調節し、障害物センサーに検出されないことを確認してください。
- プラテンの高さが高すぎると、印刷中にプリントヘッドに当たり、汚れや故障の原因になります。
- 16×21プラテンを取り付けている場合は、手動で奥にスライドさせて元の位置に戻してから、プラテンを本体奥側に向けて移動してください。

- 7 操作パネルの  を押して、プラテンを本体手前側に向けて移動します。



参考

- 適切な高さになるまで、高さ調整を繰り返してください。
- 高さが決まった後、印刷を開始します。印刷 (p.197)



6.6 印刷データの送信／読み込み

プリンターへの印刷データの読み込みは、以下の方法があります。

- USBケーブルまたはLANケーブルで接続したPCから印刷データを受信します。
- USBメモリーから印刷データを読み込みます。

詳細は以降の章を参照してください。

6.6.1 ARX3ファイルのプレビュー画面から印刷データを送信する

- 1 ARX3ファイルを開きます。



参考

- ARX3ファイルをダブルクリックする、またはスタートメニューから[すべてのプログラム]>「Brother GTX300 Tools」>「GTX300 File Viewer」を選択し、ARX3ファイルを選択して開きます。また、ARXPファイルも読み込むことができます。
- 白インクバージョンが「1」となっていることを確認してください。

- 2 ファイルの印刷条件とプレビューが表示されます。



参考

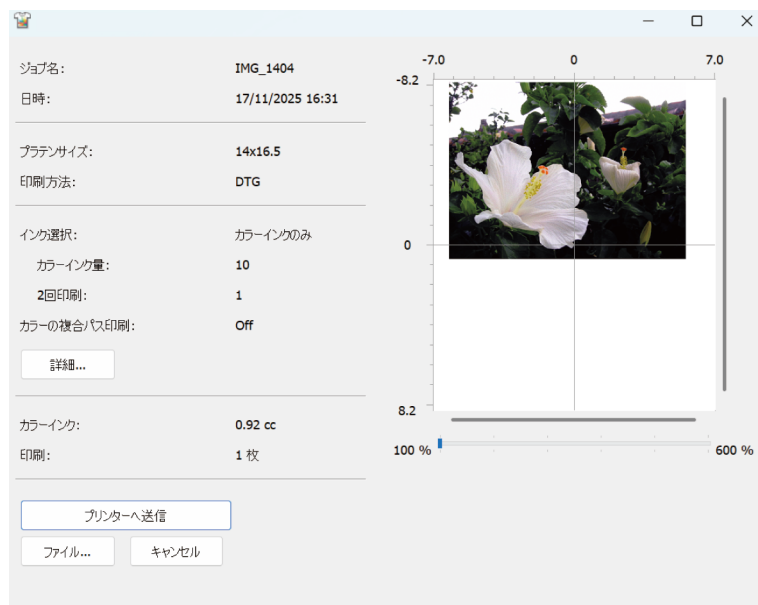
- インク選択で[カラー+白インク]または[白インクのみ]を選択している場合は、背景が「黒」または詳細設定で指定した「透明色」で表示されます。
- インク選択で[カラーインクのみ]を選択している場合は、背景が「白」で表示されます。
- 詳細ボタンを押すとプリンタードライバーの詳細設定画面で設定した項目が表示されます。
- ARX3ファイルのインク使用量は、印刷画像の印刷のみに使用するインク量です。
ARXPファイルのインク使用量は、印刷画像の印刷に加え、フラッシングやオートクリーニングに使用するインク量も含まれます（GTX proの表示です）。

Chapter 6 基本の印刷

- [カラー+白インク]または[白インクのみ]の場合

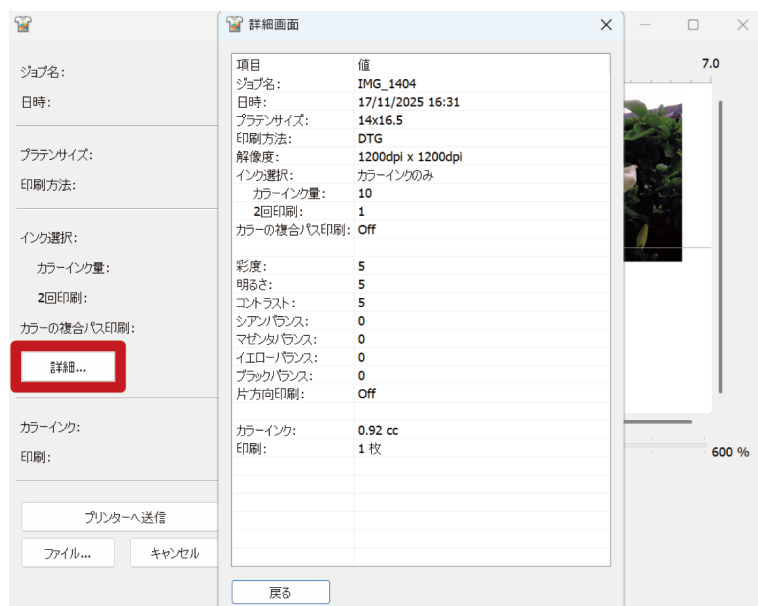


- [カラーインクのみ]の場合



Chapter 6 基本の印刷

－ [詳細画面]



Chapter 6 基本の印刷

- 3 インク選択で[カラー+白インク]または[白インクのみ]を選択している場合は、背景の色を変更して印刷のイメージをプレビューできます。[変更...]>[色の作成]を選択し、RGB値を入力します。

参考

- [白データ]にチェックを入れると、白インクデータのみのプレビューを表示します。



「例：茶色(R=128, G=64, B=64)のTシャツに印刷する場合のプレビュー画面」



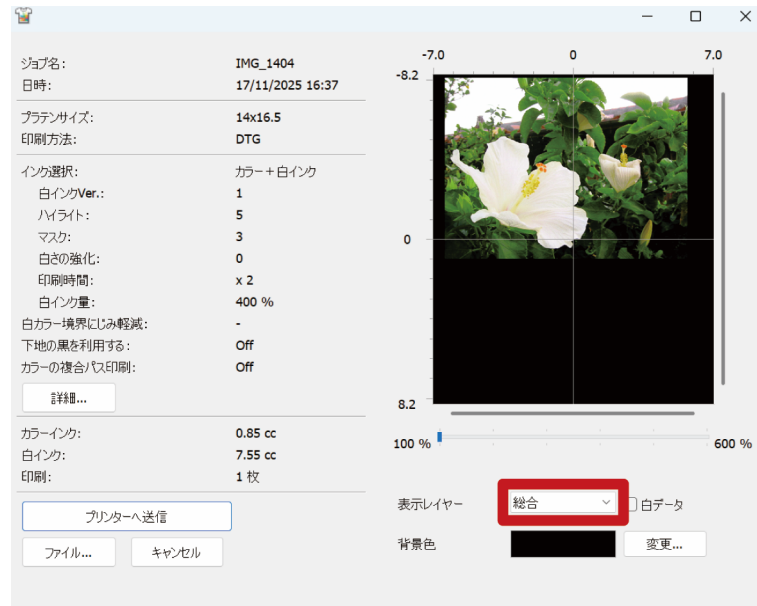
Chapter 6 基本の印刷

- 4 プラテンが複数回出入りして印刷するデータの場合は、表示レイヤーを選ぶことによってレイヤー毎の印刷データを確認できます。[表示レイヤー]から表示したいレイヤーを選択します。



参考

- [総合]と表示されたレイヤーは、最終印刷結果のプレビューを表示します。
- [白データ]にチェックを入れると、白インクデータのためのプレビューを表示します。



Chapter 6 基本の印刷

5 印刷条件とプレビューを確認して、[プリンターへ送信]をクリックします。

ARX3 ファイルがプリンターに送信されます。



参考

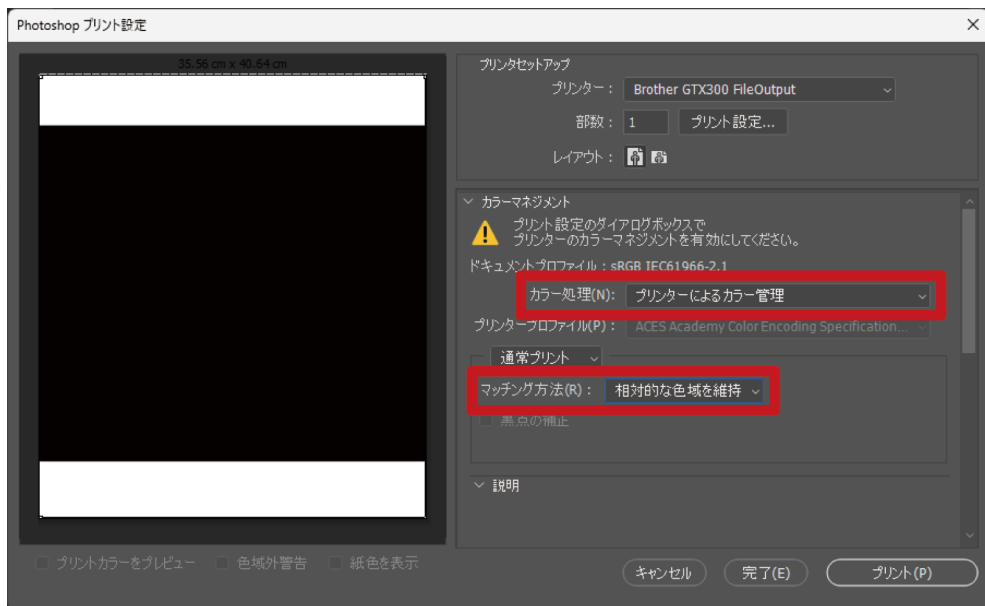
- PCとプリンターがUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続されていることを確認してください。
- 複数のGTX300プリンタードライバーがPCにインストールされている場合には、データを送信する1台を選択して[OK]をクリックしてください。



6.6.2 アプリケーションから印刷データを送信する

Adobe Photoshop

- 1 メニューバーから[ファイル]>[プリント]を選択します。PCの通常使うプリンターが「Brother GTX300」か「Brother GTX300 FileOutput」の場合は、レイアウトがプラテンサイズに設定されます。
- 2 下記のように設定します。
 - [カラー処理]: [プリンターによるカラー管理]
 - [マッチング方法]: [相対的な色域を維持]



- 3 [プリンター]で「Brother GTX300」を選択します。

参考

- [プリンター]を「Brother GTX300」に設定すると、印刷データがプリンターに送信されます。
[プリンター]を「Brother GTX300 FileOutput」に設定すると、印刷データがARX3ファイルで保存されます。

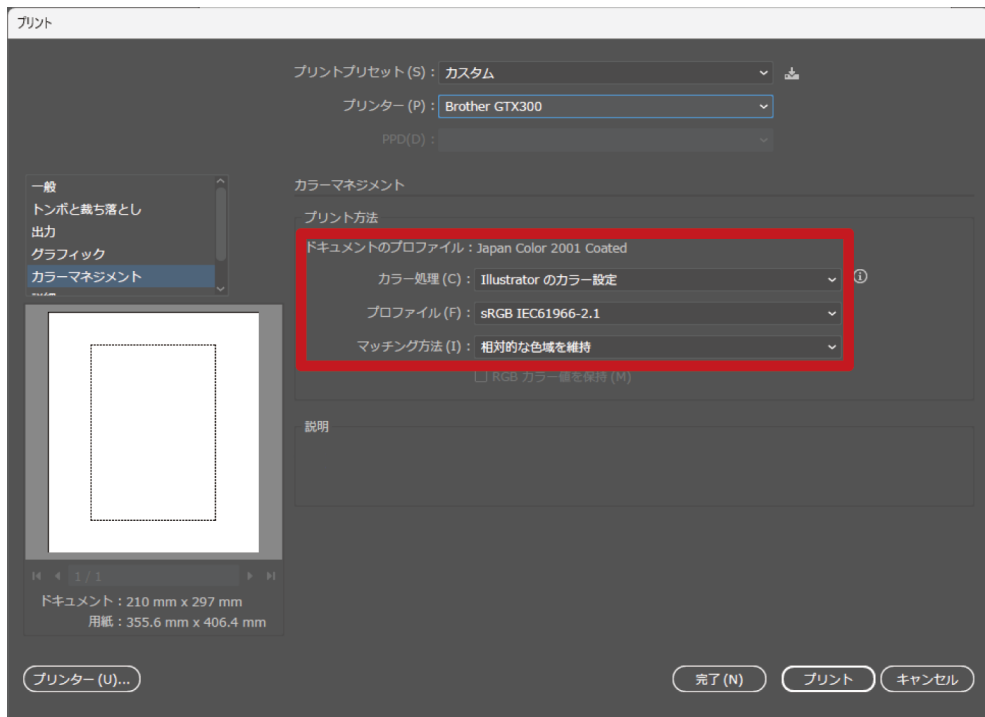
- 4 [プリント設定]でプリンタードライバーの設定を行い、[プリント]で印刷データを送信します。

参考

- プリンタードライバーの設定方法
 - 白インクを使用した印刷データの場合: [プリンタードライバーを設定する \(p.101\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合: [プリンタードライバーを設定する \(p.122\)](#)
- [プリント]をクリックしても、プリンターからの印刷は開始されません。プリンターのプリントボタンを押して印刷を開始します。

Adobe Illustrator

- 1 メニューバーから[ファイル]>[プリント]>[カラーマネージメント]を選択します。
- 2 下記のように設定します。
 - [ドキュメントのプロファイル]：[sRGB IEC61966-2.1]
 - [カラー処理]：[Illustratorのカラー設定]
 - [プロファイル]：[sRGB IEC61966-2.1]
 - [マッチング方法]：[相対的な色域を維持]



- 3 [プリンター]で「Brother GTX300」を選択します。

参考

- [プリンター]を「Brother GTX300」に設定すると、印刷データがプリンターに送信されます。
[プリンター]を「Brother GTX300 FileOutput」に設定すると、印刷データがARX3ファイルで保存されます。

- 4 [詳細設定]でプリンタードライバーの設定を行い、[プリント]で印刷データを送信します。

参考

- プリンタードライバーの設定方法
 - 白インクを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.101\)](#)
 - カラー・黒インクのみを使用した印刷データの場合：[プリンタードライバーを設定する \(p.122\)](#)
- [プリント]をクリックしても、プリンターからの印刷は開始されません。プリンターのプリントボタンを押して印刷を開始します。

6.6.3 USBメモリーから印刷データ（ARX3ファイル）を読み込み

- 1 操作パネル手前のUSBメモリー挿入口（a）に、USBメモリーを挿入します。

重要

- USBメモリーを無理な力で挿入しないでください。破損する恐れがあります。



参考

- USBメモリーは総容量が2 GB～32 GB以下で、FAT32でフォーマットされたものをご使用ください。パスワードロック機能などのセキュリティ機能付や32GBを超えるUSBメモリーは使用できません。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- USBメモリーは消耗品です。劣化したUSBメモリーは認識されない場合があります。
- USBメモリー型のSSD（ソリッドステートドライブ）やUASPデバイスは、本機では使用できません。
- USBメモリーから読み込めるデータは、ARX3形式とARXP形式のデータです。



- 2 メニューから[印刷データ読み込み]を選択します。



参考

- 液晶パネルにファイル情報が表示されます。



3 印刷するファイル名を選択します。



参考

- を選択すると に格納されているファイルを表示します。
- USBメモリー内のフォルダは、第3階層まで表示されます。第4階層以下に作成されたフォルダは表示されません。

📁 ファイルを選択してください

Sample Folder1

Sample Folder2

📁 ファイルを選択してください

Sample Data1.arxp

Sample Data2.arxp

Sample Data3.arxp

- 4 プレビュー画面の表示を確認して、[OK]を押します。

重要

- プリントボタンが点滅中はUSBメモリーに触れないでください。保存データが壊れる恐れがあります。



参考

- データのサイズによっては、読み込みに数分かかることがあります。
- USBメモリー内のファイルが読み込めない場合。 [こんなときは \(p.295\)](#)
- 同じフォルダ内に複数の印刷データがあるときは、◀/▶ボタンでプレビュー画面表示を切り替えることができます。
- プレビュー画面の方向を変更することができます。 [プレビュー表示設定 \(p.276\)](#)



プリントボタンの点滅が点灯になり、チャイム音が鳴ったら読み込み完了です。

6.7 印刷

6.7.1 一枚印刷する

1 印刷データを受信します。

受信中はプリントボタンが点滅し、受信が完了すると音が鳴りプリントボタンが点灯に変わります。

音には2種類あるので、装着したプラテンと印刷データのプラテンサイズが合っていることを確認してください。




参考

- 直前と同じプラテンサイズのデータを受信したとき：「ピンポーン」と音が鳴ります。
- 直前とは異なるプラテンサイズのデータを受信したとき：「ピンポンパンポン」と音が鳴ります。

2 液晶パネルに印刷したいデータが表示されていることを確認し、プリントボタンを押して印刷を開始します。印刷が完了するとプラテンが一番手前まで移動し、「ポーン」と音が鳴ります。



参考

- を押すと印刷がキャンセルされます。
- 部屋の温度が18°C未満の環境で白インクを使用して印刷する場合は、低温運転に切り替わることがあります。低温運転では、印刷時間および印刷開始前のメンテナンス時間が長くなる場合があります。必要に応じて低温運転の設定を変更してください。を参照してください。
- 高温低湿環境では、印刷終了後のメンテナンス時間が長くなる場合があります。温度・湿度の警告メッセージが表示されたら、印刷保証範囲に適合するように、速やかに温度・湿度の制御を実施してください。[装置 \(p.353\)](#)

6.7.2 複数枚印刷する

印刷データを保持して、複数枚の印刷ができます。




参考

- 電源を切ると保持されていたデータは消去されます。
- [プリンター設定]>[印刷設定]の[印刷データ自動消去]で[消去する]を選択している場合、指定した枚数の印刷が完了すると印刷データが消去されます。必要に応じて設定を変更してください。[印刷データの自動消去 \(p.264\)](#)

- 1 液晶パネルに印刷したいデータが表示されていることを確認し、プリントボタンを押して印刷を開始します。印刷が完了するとプラテンが一番手前まで移動し、「ポーン」と音が鳴ります。



参考

- を押すと印刷がキャンセルされます。
- 液晶パネルに印刷した枚数が表示されます。
- 部屋の温度が18°C未満の環境で白インクを使用して印刷する場合は、低温運転に切り替わることがあります。低温運転では、印刷時間および印刷開始前のメンテナンス時間が長くなる場合があります。必要に応じて低温運転の設定を変更してください。を参照してください。
- 高温低湿環境では、印刷終了後のメンテナンス時間が長くなる場合があります。温度・湿度の警告メッセージが表示されたら、印刷保証範囲に適合するように、速やかに温度・湿度の制御を実施してください。[装置 \(p.353\)](#)

- 2 プラテンの印刷メディア（Tシャツ）を付け替え、必要な枚数まで印刷を繰り返します。

6.7.3 受信履歴から印刷する

過去に受信した印刷データを印刷できます。



参考

- 保持できる印刷データは最大100個、計800MBで、古い印刷データから消去されます。
- 電源を切ると、保持されていたデータは消去されます。
- [プリンター設定]>[印刷設定]の[印刷データ自動消去]で[消去する]を選択している場合、[受信履歴]からの印刷機能は使用できません。必要に応じて設定を変更してください。[印刷データの自動消去 \(p.264\)](#)

- 1 メニューから[受信履歴]で印刷したいデータを選択します。




参考

- 印刷データは最新の受信データから順に表示されます。

- 2 液晶パネルに印刷したいデータが表示されていることを確認し、プリントボタンを押して印刷を開始します。印刷が完了するとプラテンが一番手前まで移動し、「ポーン」と音が鳴ります。



参考

- を押すと印刷がキャンセルされます。
- 部屋の温度が18°C未満の環境で白インクを使用して印刷する場合は、低温運転に切り替わることがあります。低温運転では、印刷時間および印刷開始前のメンテナンス時間が長くなる場合があります。必要に応じて低温運転の設定を変更してください。を参照してください。
- 高温低湿環境では、印刷終了後のメンテナンス時間が長くなる場合があります。温度・湿度の警告メッセージが表示されたら、印刷保証範囲に適合するように、速やかに温度・湿度の制御を実施してください。[装置 \(p.353\)](#)

6.7.4 プラテンの高さをチェックしてから印刷する

Tシャツのシワなどが障害物センサーに検出されてエラーにならないか、またプラテンの高さが低すぎないかを、印刷前にプラテンボタンで確認できます。

プラテンが手前に完全に出ている状態でプラテンボタンを押すと、プラテンがプリンター奥まで移動します。

このとき、プラテンの高さや障害物についてエラーが検出されなければ、プラテンを手前に戻すことなく、そのままプリントボタンを押して印刷を開始できます。



参考

- GTX proシリーズなど弊社の従来モデルのガーメントプリンターでは、プラテンがプリンターから完全に排出されている状態でのみプリントボタンを押すことができました。
GTX300では、この仕様が変更されています。

6.8 印刷予約

プリンターが待機状態でなくても、プリントボタンを押して印刷を予約できます。プリンターが印刷可能な状態になると、自動的に印刷が開始されます。

6.8.1 印刷予約ができるタイミング

印刷データ受信中、印刷後の後処理中、または白インク循環中でも、次の印刷のためにプリントボタンを押して印刷を予約できます。

たとえば、印刷が終わってTシャツを取り外し、新しいTシャツをプラテンにセットした後でも、プリンターが前の印刷の後処理を行っている場合などに、この機能をご利用ください。



参考

- 必ず、印刷済みのTシャツをプラテンから取り外し、新しいTシャツをセットしてからプリントボタンを押してください。
- メニュー操作中やエラー発生時は、プリントボタンで印刷予約を行うことはできません。

| 印刷予約可能なタイミング | 説明 |
|--------------|--|
| 印刷データの受信中 | USBケーブル／LANケーブルの通信によって、印刷データをプリンターが受信している間 |
| 印刷後の後処理中 | 印刷後にプラテンがアンロードされた後、かつワイプ・キャッピング・印刷後オートパーズなどの動作をしている間 |
| 白インク循環中 | 所定時間が経過する毎、または循環予約された時刻にプリンター本体内で白インク循環の動作をしている間 |

6.8.2 印刷が開始されるタイミング

印刷予約した後、印刷が開始されるタイミングは下記表のようになります。

| 印刷予約したタイミング | 印刷が開始されるタイミング |
|-------------|-------------------------------------|
| 印刷データの受信中 | 印刷データを完全に受信し終わったとき |
| 印刷後の後処理中 | ワイプ・キャッピング・印刷後オートパーズなどの後処理が全て終わったとき |
| 白インク循環中 | 白インク循環の動作が完了したとき |



参考

- 印刷予約した後、印刷が開始されるまでの間はプリントボタンが高速で点滅します。

6.8.3 印刷が開始されないケース

次のような場合には、印刷予約されていても印刷は開始されません。

- 印刷が開始されるタイミングで、何らかのエラーが発生しているとき。（例えば、前の印刷でインク切れになった場合。）
- 印刷が開始されるタイミングで、印刷対象のデータがプリンター上に存在していないとき。（例えば、[印刷データ自動消去]機能によって予約時に印刷中だったデータが消去された場合。[印刷データの自動消去 \(p.264\)](#)）

6.8.4 印刷予約のキャンセル

印刷予約してから印刷が開始されるまでの間にキャンセルボタンを押すと、印刷予約をキャンセルすることができます。

白インク循環中に印刷予約した場合にキャンセルボタンを押すと、白インク循環動作と印刷予約の両方がキャンセルされます。

6.9 プラテンからの取り外し

- 1 印刷媒体の肩の部分を持ち、少し上方向に引き抜きます。

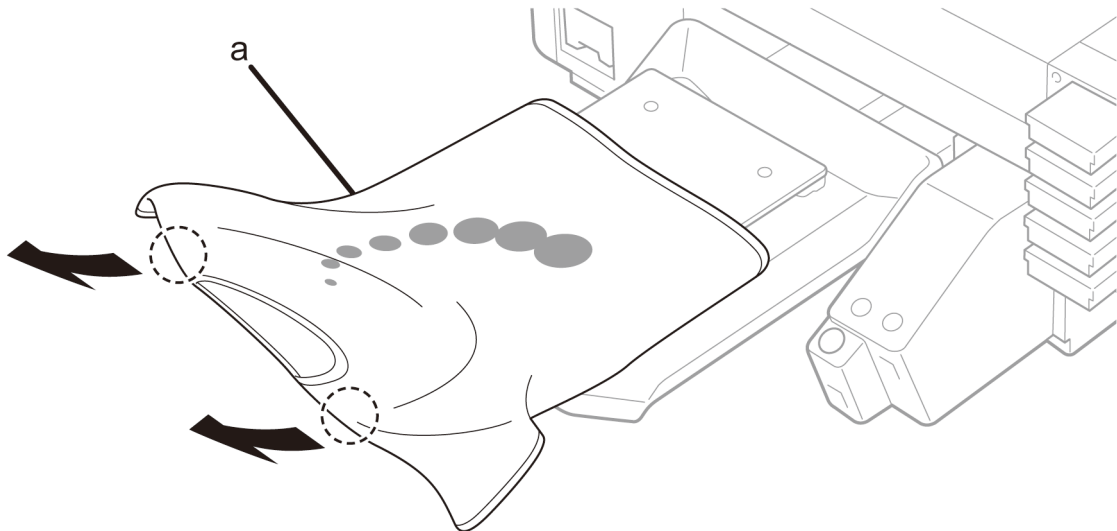
重要

- 印刷面はインクで濡れているので、触らないようにしてください。
- 手にインクがついた場合は、石鹼をつけて水洗いしてください。
- 布についてしまったインクはきれいに取れませんので、取り扱いには十分ご注意ください。



参考

- インクが定着されていないため、印刷面が触れないように、Tシャツ (a) やフィルムを取り扱ってください。



6.10 インクの定着

インクの定着にはヒートプレスやオープンを利用してください。

- ヒートプレス
温度と時間の管理がしやすく便利です。
- オープン
印刷枚数が多い場合には作業効率が改善されます。

注意

- 十分に換気できる環境でヒートプレスやオープンをお使いください。換気が不十分な場合は、マスクを着用してください。

参考

- 定着が不十分な場合、洗濯や摩擦による色落ちの可能性があります。
- ヒートプレスや剥離シートの定着面はきれいにしておいてください。
剥離シート側のよごれが印刷面につくことがあります。
- 印刷物は、白色や淡色の塩化ビニル系の合成皮革上でこすると色移りを起こすことがあります。
カラーインクのみ印刷面と白インクのみ印刷面を強くこすると、同様に色移りを起こすことがあります。
色移りを起こした場合、家庭用洗剤やアルコールをやわらかい布か歯ブラシにつけて汚れを落としてください。
- 前処理剤を塗布してからインクを定着させたTシャツには、前処理剤の成分が残ります。着用前に水洗いすることをお勧めします。

インクの定着条件の目安

下記の定着温度・時間はあくまでも目安であり、適切な条件はお使いのヒートプレスやオープン毎に異なります。必ず事前に温度や定着結果を確認してから行ってください。



参考

- ご使用のヒートプレスやオープンの種類によって最適な条件は異なりますので、定着条件は目安としてご利用ください。必ず事前に温度やインク定着結果を確認しながら条件の調整を行ってください。
- 印刷メディアによっては焦げやすいものもありますので、表面の状態をよくご確認ください。
特に前処理剤を塗布したものは焦げやすくなります。
- ヒートプレスの場合は、インク定着結果を確認しながら圧力を調整してください。
- 目安の時間を実施しても乾きが不十分なときは、インクの乾き具合を見ながら時間を延ばしてください。

| 機器 | 温度 | 時間 |
|--------|----------------------|----------|
| ヒートプレス | 180°C (356°F) | 35秒 |
| オープン | 表面温度160°C (320°F) *1 | 3分30秒~5分 |

*1：温度が高くなりすぎるとTシャツが変色することがあるので、温度管理にはご注意ください。

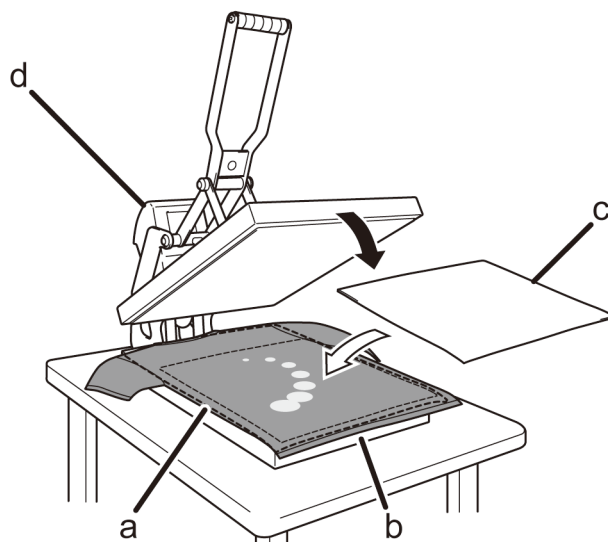
6.10.1 ヒートプレスによるインクの定着

- 1 シリコンフォーム (a)、Tシャツ (b) および剥離シート (c) をヒートプレス (d) にセットし、インクを定着させます。



参考

- インク定着条件の目安 [インクの定着 \(p.204\)](#)
- お手持ちのヒートプレスの取扱説明書を参照してください。
- インク定着時に剥離シートとしてシリコンペーパーを使うとマット調に、フッ素樹脂シートを使うと光沢調に仕上がる傾向があります。用途に合わせて使い分けてください。



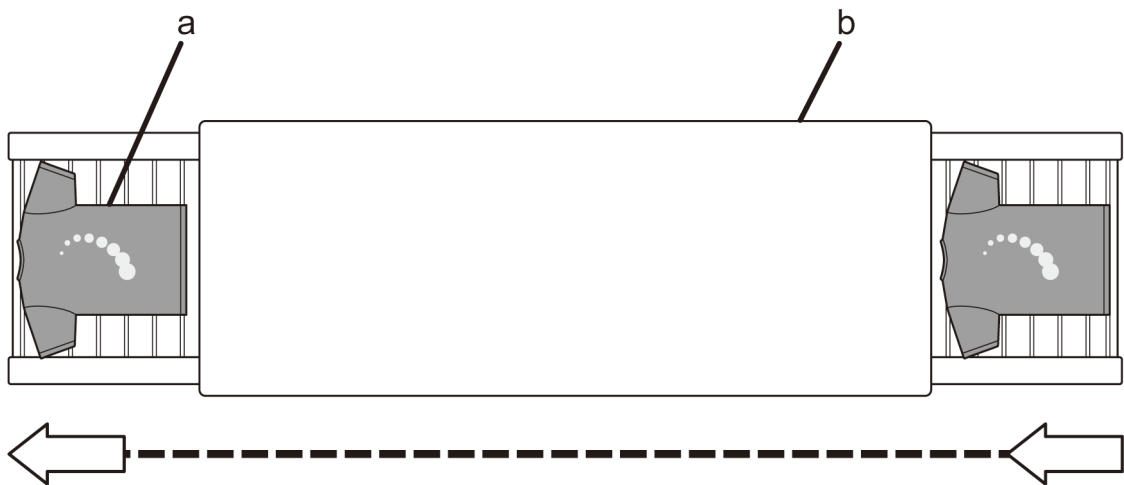
6.10.2 コンベア式オーブンによるインクの定着

1 Tシャツ (a) をコンベア式オーブン (b) でインクを定着させます。



参考

- インク定着条件の目安 [インクの定着 \(p.204\)](#)
- コンベア式オーブンは、庫内温度および実際のインク定着結果をご確認ください。
- お手持ちのコンベア式オーブンの取扱説明書を参照してください。



6.11 パウダーの定着

パウダーを塗布し、加熱、硬化させることで転写フィルムの糊の役割を果たします。

パウダーの定着にはオープンを利用してください。

- オープン
印刷枚数が多い場合には作業効率が改善されます。

注意

- 十分に換気できる環境でオープンをお使いください。換気が不十分な場合は、マスクを着用してください。

- 1 パウダーを大きめの容器などに入れ、スコップなどでフィルムにパウダーを乗せフィルム全体に行きわたらせませます。
- 2 余分なパウダーをフィルムから落とします。
この際、落とした余分なパウダーは再利用できます。
- 3 パウダーを塗布したフィルムをオープンに入る大きさにカットします。
- 4 フィルムをオープンにセットし、パウダーを定着させます。

参考

- 必ずお手持ちのオープンの取扱説明書を参照してください。

パウダーの定着条件の目安

下記の定着温度・時間はあくまでも目安であり、適切な条件はお使いのオープン毎に異なります。必ず事前に温度や定着結果を確認してから行ってください。

参考

- ご使用のオープンの種類によって最適な条件は異なりますので、定着条件は目安としてご利用ください。必ず事前に温度や定着結果を確認しながら条件の調整を行ってください。
- フィルムによっては焦げやすいものもありますので、表面の状態をよくご確認ください。

| 温度 | 時間 |
|-------|------|
| 160°C | 300秒 |

6.12 印刷物へ転写

パウダーの定着 (p.208) で作成した転写フィルムをTシャツなどへ転写します。

Tシャツなどへの転写はヒートプレスを利用してください。

- ヒートプレス
温度と時間の管理がしやすく便利です。

注意

- 十分に換気できる環境でヒートプレスをお使いください。換気が不十分な場合は、マスクを着用してください。

参考

- 転写が不十分な場合、洗濯や摩擦による色落ちの可能性があります。
- ヒートプレスや剥離シートの定着面はきれいにしておいてください。剥離シート側のよごれが印刷面につくことがあります。

転写条件の目安

下記の転写温度・時間はあくまでも目安であり、適切な条件はお使いのヒートプレス毎に異なります。必ず事前に温度や転写結果を確認してから行ってください。

参考

- ご使用のヒートプレスの種類によって最適な条件は異なりますので、転写条件は目安としてご利用ください。必ず事前に温度や転写結果を確認しながら条件の調整を行ってください。
- 印刷メディアによっては焦げやすいものもありますので、表面の状態をよくご確認ください。
- 転写結果を確認しながら圧力を調整してください。
- 目安の時間を実施しても乾きが不十分なときは、インクの乾き具合を見ながら時間を延ばしてください。

| 温度 | 時間 |
|-------|-----------------|
| 150°C | 20秒 (+追加プレス20秒) |

- 1 Tシャツ、転写フィルムおよび剥離シートをヒートプレスにセットし、インクを転写させます。

参考

- 必ずお手持ちのヒートプレスの取扱説明書を参照してください。

- 2 ヒートプレスから取外し、転写フィルムを剥がします。

- 3 必要に応じて、Tシャツおよび剥離シートをヒートプレスにセットし、追加プレスします。

剥離シートを使用することで、フィルムをTシャツにしっかりと転写することができ、よりTシャツに馴染んだ仕上がりになります。


Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

作業前に巻頭の安全にお使いいただくために (p.8)をよくお読みください。

7.1 定期的に行うこと

7.1.1 インクパウチの交換

操作パネルの画面のインク残量計に、が表示されたら、インクパウチを交換してください。

重要

- インクの補充はできません。インクパウチを分解しないでください。インクパウチはプリンターを長くお使いいただくため、プリンター本体の性能を活かすため、弊社指定のインクパウチを使用することをお勧めします。
- 印刷中やヘッドクリーニング中などの動作中にインクパウチを交換しないでください。プリンターの故障の原因になります。



参考

- インクパウチを使用途中の状態ですら交換した場合、インク残量計が正しく表示されないことがあります。
- インクパウチには少量のインクが残ります。これは、プリンターの保護ならびに印刷品質を保つために必要です。ご了承ください。



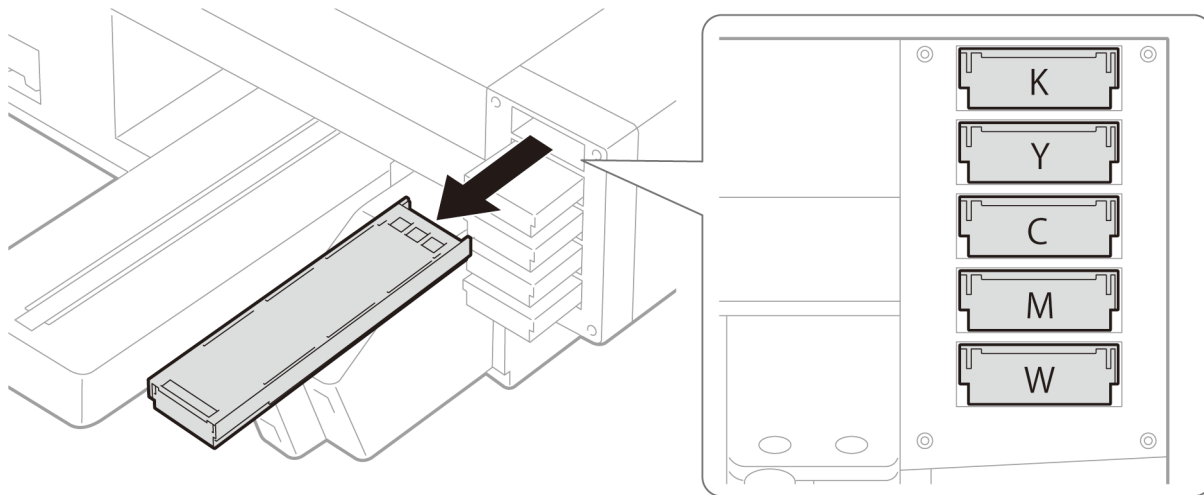
Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 1 表示されたカートリッジをプリンターから抜き取ります。

重要

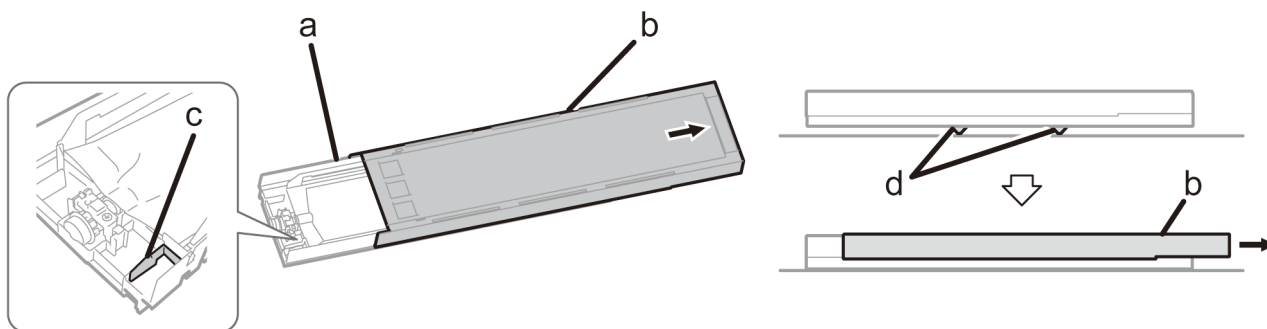
- カートリッジの底がインクで汚れている場合があります。定期的に清掃してください。



- 2 カートリッジ (a) のふた (b) を開けます。

重要

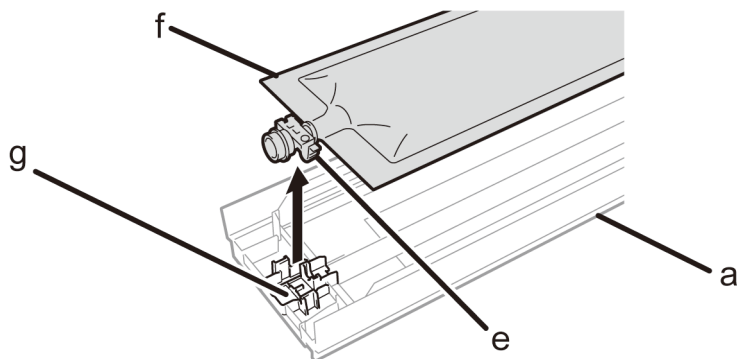
- ふたを開ける際に (c) 部には触れないでください。破損する恐れがあります。
- 平らなところに置いてカートリッジ下側のツメ (d) を押し込み、ふたを開けてください。



- 3 インクパウチ先端部のツメ (e) をつまんで、無くなったインクパウチ (f) をカートリッジ (a) から取り出します。

重要

- カートリッジ先端に付着したインクをウエス (毛羽の無い布など) で除去してください。また、定期的に清掃してください。

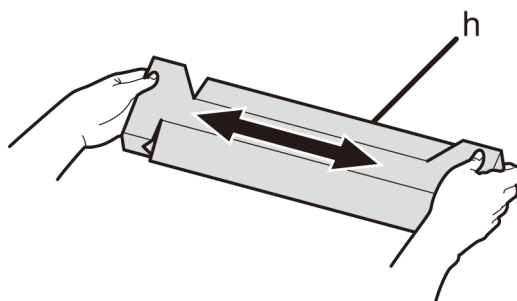


- 4 新しいインクパウチを梱包箱から取り出します。

白インクパウチ (h) の場合は裏100回・表100回ずつ左右に振って白インクを撹拌します。

お願い

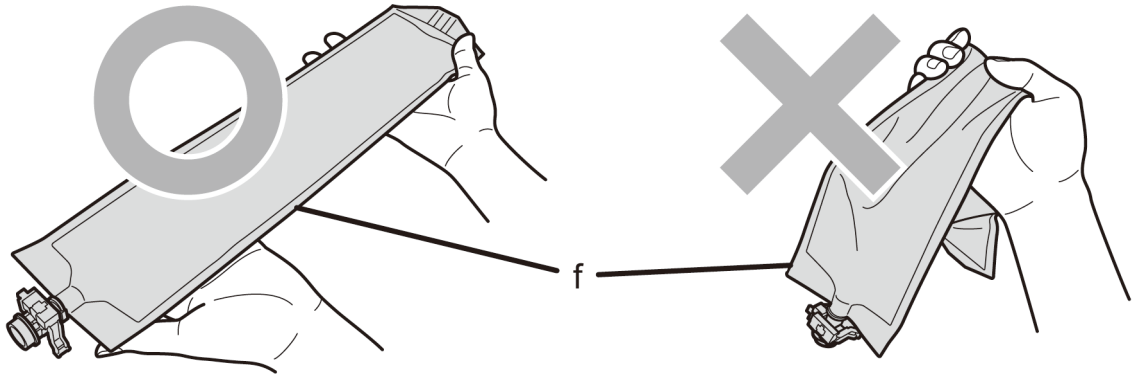
- 内箱に入れた状態で振ってください。



5 新しいインクパウチ (f) を内箱から取り出します。

重要

- インクパウチを鋭利な物の近くに置かないでください。穴があき、インクが漏れる恐れがあります。
- インクパウチは慎重に取り扱ってください。折り曲げたり、鋭利な物に引っ掛けたり、落としたりすると破れる恐れがあります。



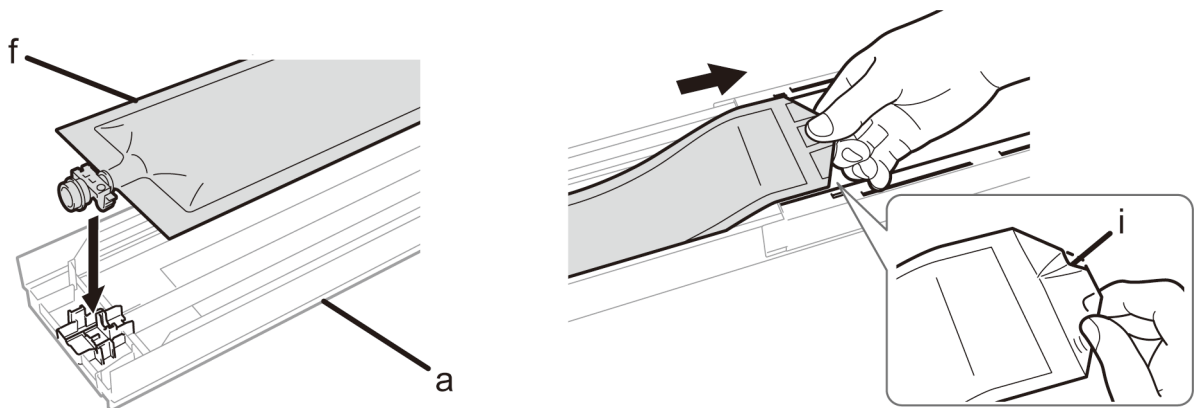
6 新しいインクパウチ (f) をカートリッジ (a) にセットします。

インクパウチの先端をカチッと音が鳴るまで押し込みます。

カートリッジのふたの溝に沿うようにインクパウチをまっすぐにし、手で引っ張りながら取り付けます。

お願い

- インクパウチの端が折れ曲がったり著しく波打っているときは、手でまっすぐに伸ばしてください。(i)



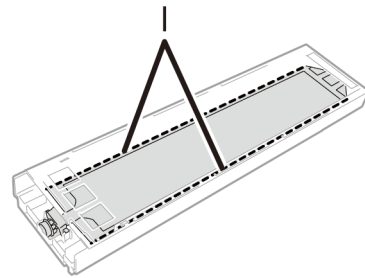
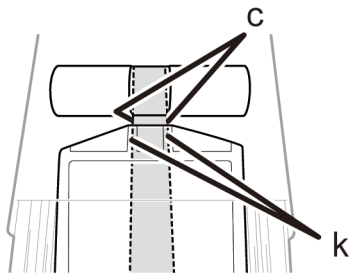
7 インクパウチを正しい位置にセットします。

注意

- ・ カートリッジの (c) の部分には触れないでください。手を切る恐れがあります。

参考

- ・ イラストの (k) (l) の2箇所がまっすぐになっているか確認してください。



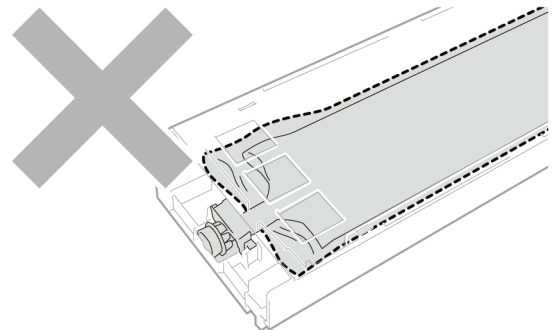
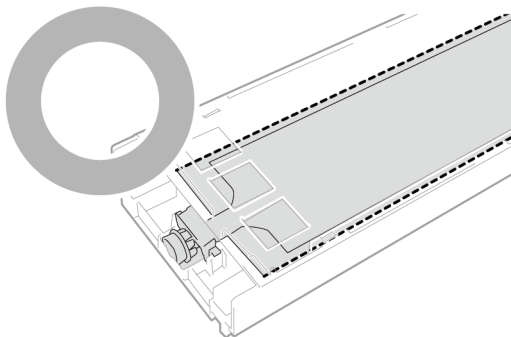
8 ふたを閉じて、カートリッジをプリンターにセットします。

重要

- ・ カートリッジのセット位置を間違えないようにしてください。間違った色を挿入するとプリントヘッドへの悪影響の恐れがあります。間違った色のカートリッジを挿入した場合には正しい位置にセットしてください。インクパウチ内または印刷物に混色がある場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- ・ カートリッジのセット時、巻き取り促進のためにインクパウチを下向きにして振らないでください。シワが発生して、インクパウチの巻き取りが正しく行われません。

お願い

- ・ 交換で出た廃棄物は法令に従い処理してください。



7.1.2 洗浄液の補充

操作パネル画面またはワーニング画面にメッセージが表示されたら、洗浄液を補充してください。

⚠ 注意

- 作業をする際は、ビニール手袋、保護めがねを着用してください。

📖 参考

- 洗浄液タンクの洗浄液量を確認して、少ない場合にも補充を行ってください。



- 1 洗浄液タンクをプリンターの前面から引き出します。

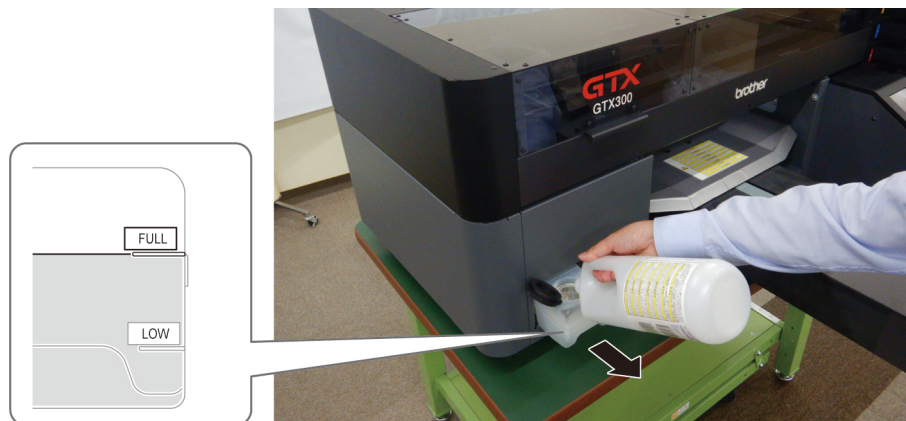
Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- ふたを開けて、洗浄液を「FULL」の線まで補充します。

重要

- 「FULL」の線を超えないようにしてください。

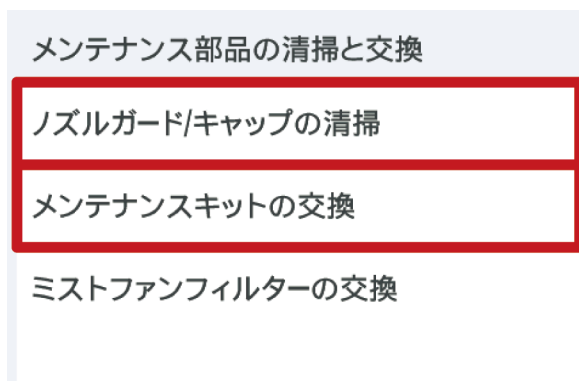


- ふたを閉じて、洗浄液タンクをプリンターの内部にゆっくり戻します。

7.1.3 メンテナンス部品の清掃と交換

メンテナンス部品を個別で選び、清掃や交換をします。

- 1 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 2 [ノズルガード/キャップの清掃]または[メンテナンスキットの交換]を選択します。



- 3 清掃、交換を行ってください。



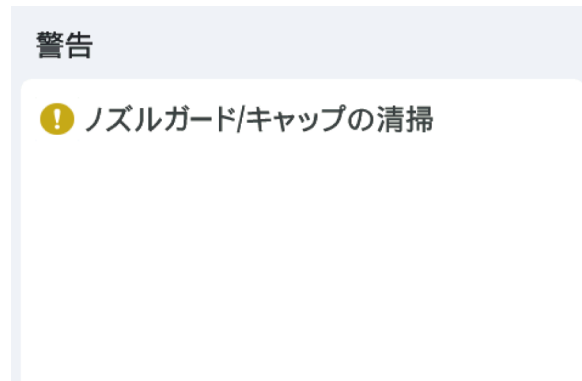
参考

- ノズルガード、吸引キャップの清掃は、同時に行ってください。
- 清掃、交換方法は各メンテナンス部品の項目を参照してください。
 - [ノズルガード、吸引キャップの清掃 \(p.218\)](#)
 - [ワイパーの交換 \(p.226\)](#)
 - [フラッシングフォームの交換 \(p.234\)](#)
 - [ミストファンフィルターの交換 \(p.237\)](#)

7.1.4 ノズルガード、吸引キャップの清掃

ワーニング画面にメッセージが表示されたら、清掃を行ってください。

メンテナンスが不十分な場合には印刷中に廃インクで印刷物が汚れたり、不吐出により画質が悪化することがあります。



- 1 同梱品のクリーンスティックR・クリーンスティックT・洗浄カップ・手袋および洗浄液を用意します。
- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 3 [ノズルガード/キャップの清掃]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。



参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 4 本体カバー (a) を開け、ノズルガード (b)、吸引キャップ (c) を清掃します。

クリーンスティックにはクリーンスティックTとクリーンスティックRがあり、清掃する場所により使い分けて使用してください。

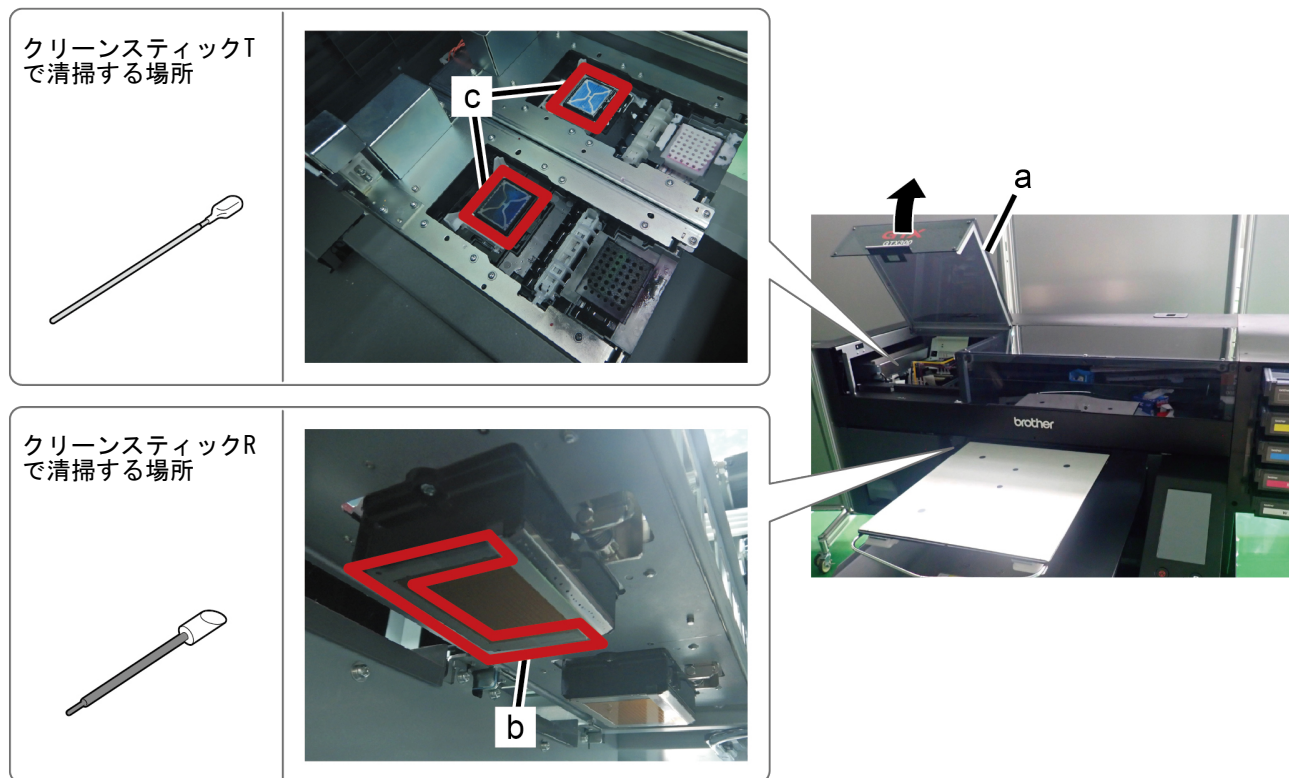
重要

- プリントヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は一度本体カバーを閉じた後、再度[ノズルガード/キャップの清掃]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。



参考

- 清掃の方法は以降の説明を参照してください。



- 5 清掃が終わったら、本体カバーを閉じます。

6 [OK]を押します。

お願い

- ・ 清掃で出た廃棄物は法令に従い処理してください。

参考

- ・ インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。
- ・ 洗浄カップは再使用するので、きれいな洗浄液ですすいで保管してください。

ノズルガードとキャップの清掃は、白側とカラー側で別々に作業を行ってください。
清掃方法は各項目を参照してください。

白側の清掃

- 1 新しいクリーンスティックRと洗浄液を用意してください。
- 2 白側ノズルガード部と樹脂部の清掃を行います。
ノズルガードの清掃（クリーンスティックRを使用）(p.222)
- 3 新しいクリーンスティックTと洗浄液を用意してください。
- 4 白側吸引キャップ部の清掃を行います。
吸引キャップの清掃（クリーンスティックTを使用）(p.224)

カラー側の清掃

- 1 新しいクリーンスティックRと洗浄液を用意してください。
- 2 カラー側ノズルガード部と樹脂部の清掃を行います。
ノズルガードの清掃（クリーンスティックRを使用）(p.222)
- 3 新しいクリーンスティックTと洗浄液を用意してください。
- 4 カラー側吸引キャップ部の清掃を行います。
吸引キャップの清掃（クリーンスティックTを使用）(p.224)

ノズルガードの清掃（クリーンスティックRを使用）

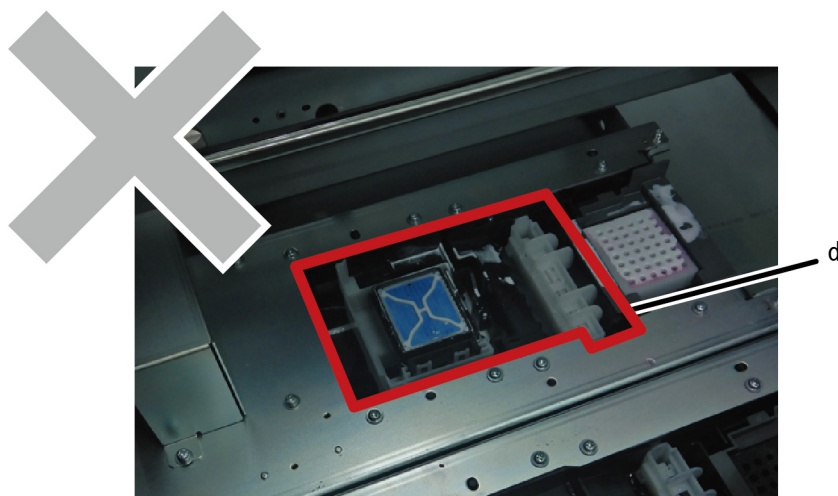
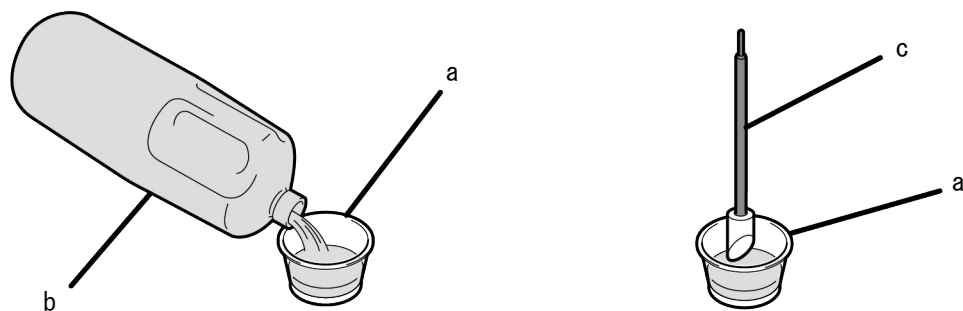
- 1 洗浄カップ (a) に洗浄液 (b) を適量注ぎます。
- 2 新しいクリーンスティックR (c) に洗浄液を含ませます。

重要

- 清掃を始める際は、新品のクリーンスティックRを使用してください。
- クリーンスティックRの先端は手で触れないでください。皮脂がワイパーに付着すると、不具合の原因となる恐れがあります。
- 他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがあるので使わないでください。
- 洗浄カップに入れた洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。
- メンテナンスユニット内 (d) に洗浄液を流さないでください。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



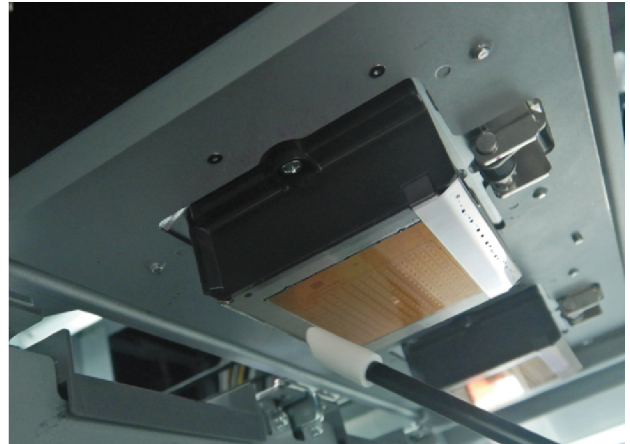
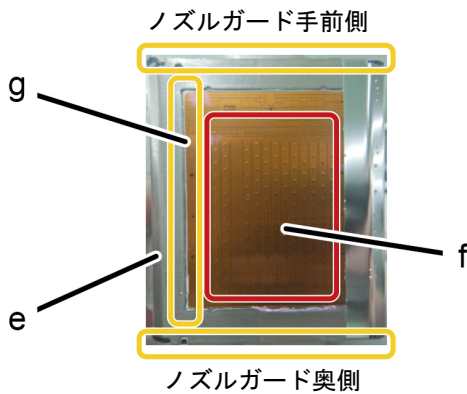
Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

3 プリントヘッドのノズル面 (f) とノズルガード (e) の間 (g) を拭きます。

重要

- ノズル面の赤枠内には触らないようにしてください。
- 清掃には、クリーンスティックR以外のものは使用しないでください。
- 強く擦らないようにしてください。



清掃状態

| 清掃前 | 清掃後 |
|-----|-----|
| | |

重要

- クリーンスティックRは白インク用とカラーインク用で必ず分けて使用してください。



参考

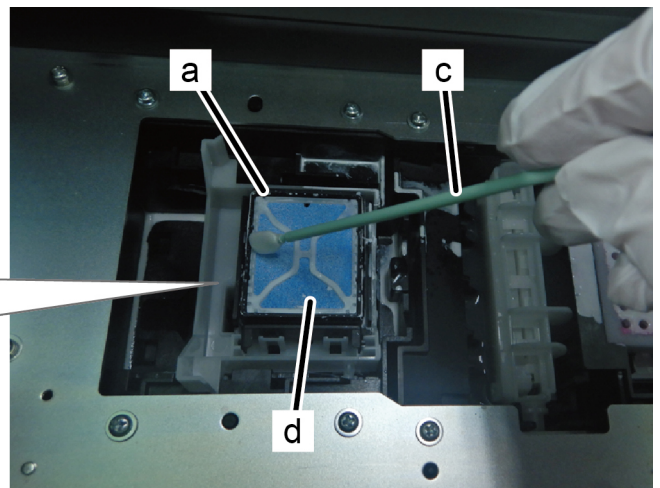
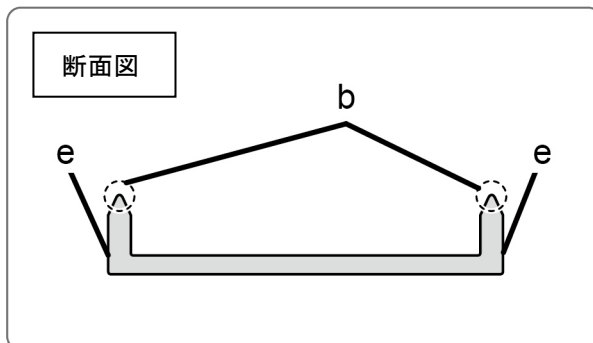
- 黒い樹脂部分には白インクが残る場合がありますが、写真の程度であれば問題ありません。ノズルガードおよびノズル面にはみ出した白インクを拭き取ってください。

吸引キャップの清掃（クリーンスティックTを使用）

- 1 吸引キャップのゴム部（a）とリップ部（b）をクリーンスティックT（c）先端の側面部で平行に拭きます。

重要

- 吸引キャップのリップ部分をクリーンスティックTを使って清掃してください。固化したインクが残っているとプリントヘッドが乾燥し、不吐出の原因になります。
- 吸引キャップのスポンジ（d）には触れないでください。スポンジが外れる恐れがあります。
- クリーンスティックTの先端は手で触れないでください。皮脂が吸引キャップなどに付着すると、不具合の原因となる恐れがあります。
- カラーインク用と白インク用は必ず分けて使用してください。
- インクの固まりが浮き上がってきたらクリーンスティックTで除去し、ピンセット等、鋭利なものは使用しないでください。鋭利なものを使用すると吸引キャップを傷つけ、気密性が低下し不吐出の原因となる恐れがあります。
- ゴム部をつままないようにしてください。傷が付くと気密性が低下し、ヘッドの不吐出の原因となる恐れがあります。
- 吸引キャップの外側（e）は清掃する必要はありません。



- 2 クリーンスティックTをクリーンスティックRに替えて、洗浄カップをすすぎ、カラー側ヘッドのノズルガードの清掃を行います。

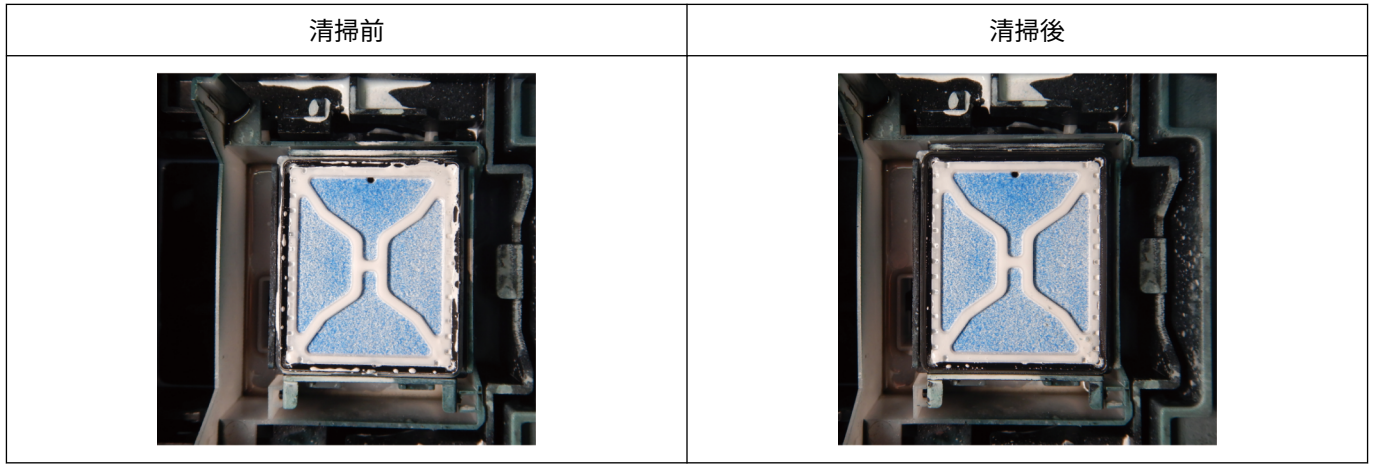
重要

- クリーンスティックTは白インク用とカラーインク用で必ず分けて使用してください。
- 使用したクリーンスティックTは廃棄し、再使用は避けてください。
- カラー側の清掃後、洗浄カップは純水できれいにすすぎ、十分乾燥させ、埃等が入らないように保管してください。

Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

清掃状態



7.1.5 ワイパーの交換

操作パネル画面またはワーニング画面にメッセージが表示されたら、ワイパーを交換してください。



- 1 同梱品の手袋およびワイパーを用意します。
- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 3 [メンテナンスキットの交換]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。



参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 4 画面に従って本体カバーを開け、交換作業を実施します。

重要

- プリントヘッドのインク乾きを防止するため15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は一旦、ワイパーを装着し、本体カバーを閉じた後、再度[メンテナンスキットの交換]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

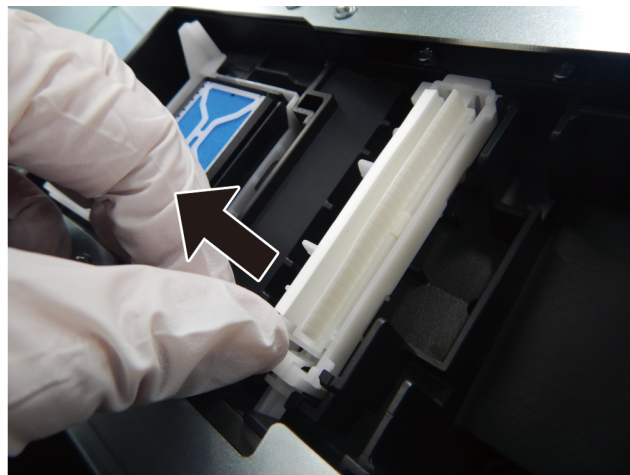
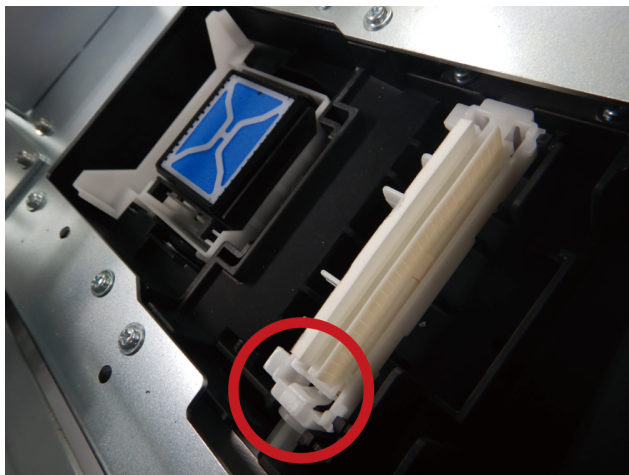
Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

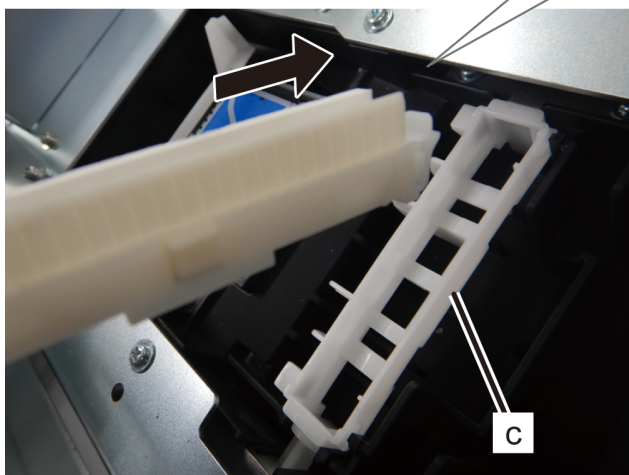
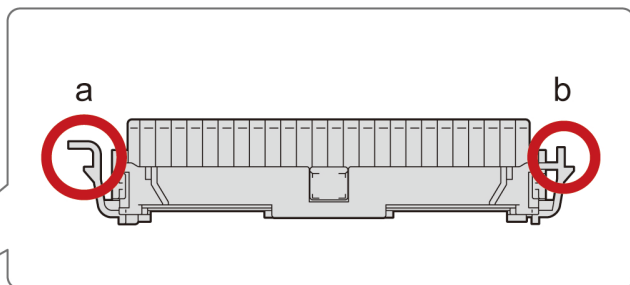
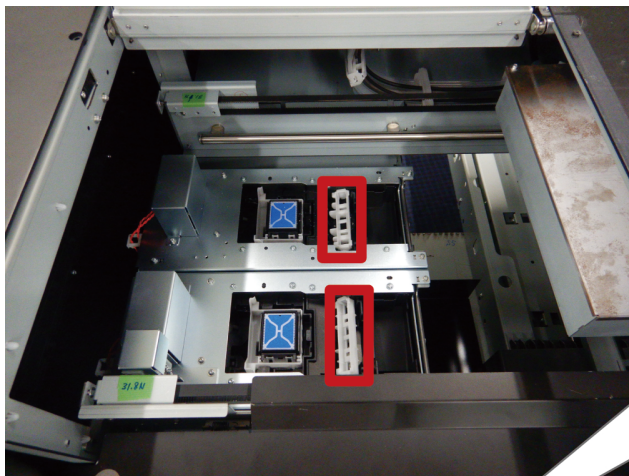
- 5 フック手前側を上押しするようにして、ワイパーをメンテナンスユニットから取り外します。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



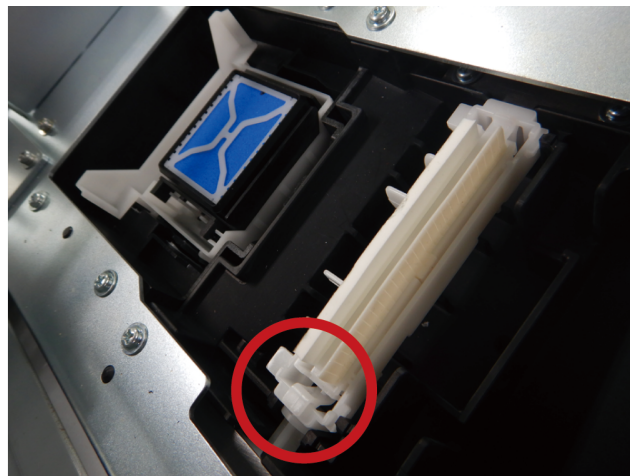
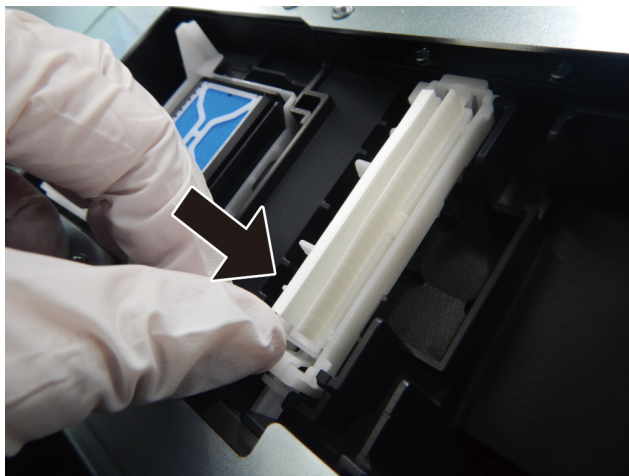
- 6 フック手前側 (a) を持ち、フック奥側 (b) をワイパーホルダ (c) に向けて差し込み、フック奥側をワイパーホルダに引っ掛けます。



Chapter 7

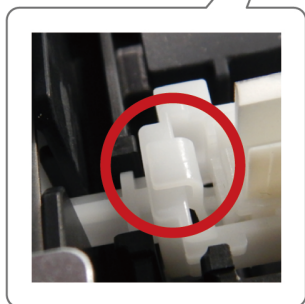
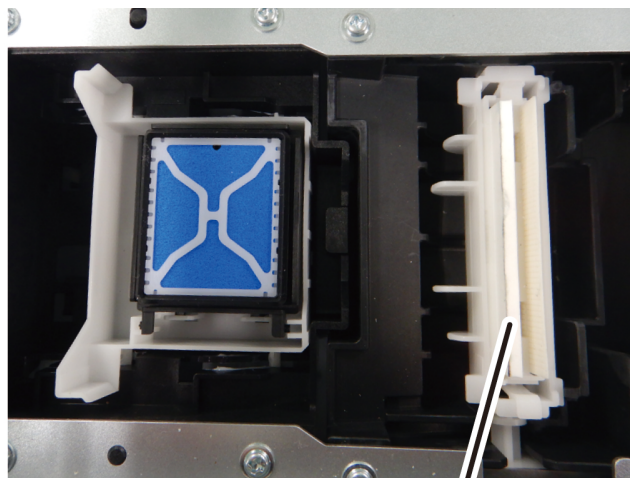
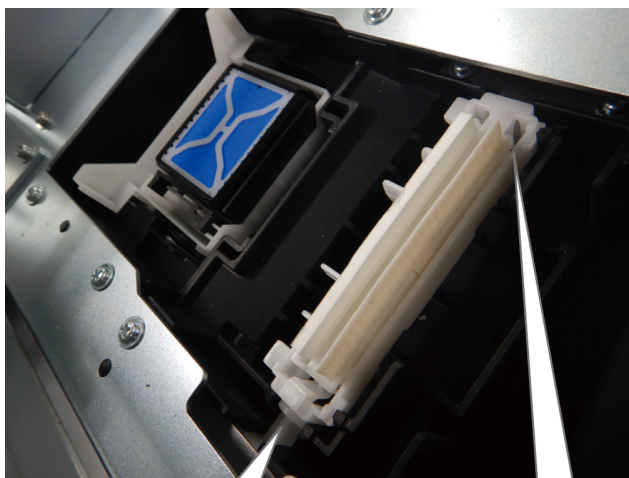
印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 7 引っ掛けたフック奥側を起点に回転させるようにフック手前側を降ろし、ワイパーホルダに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



重要

- ワイパーの取り付け方向（スポンジ（d）がキャップ側にあること）を間違えていないか確認してください。
- フック奥側とフック手前側がワイパーホルダにしっかりとハマっていることを確認してください。



- 8 本体カバーを閉じます。

9 [OK]を押します。

お願い

- 交換で出た廃棄物は法令に従い処理してください。



参考

- インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

7.1.6 キャップチップ、キャップフォームの交換

操作パネル画面またはワーニング画面にメッセージが表示されたら、キャップチップ、キャップフォームを交換してください。



- 1 同梱品の手袋およびキャップチップ、キャップフォームを用意します。
- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 3 [メンテナンスキットの交換]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。



参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 4 画面に従って本体カバーを開け、交換作業を実施します。

重要

- プリントヘッドのインク乾きを防止するため15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は一旦、キャップチップ、キャップフォームを装着し、本体カバーを閉じた後、再度[メンテナンスキットの交換]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

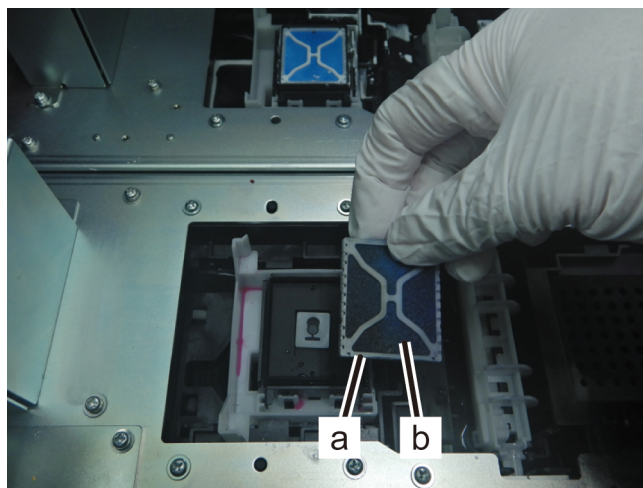
Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

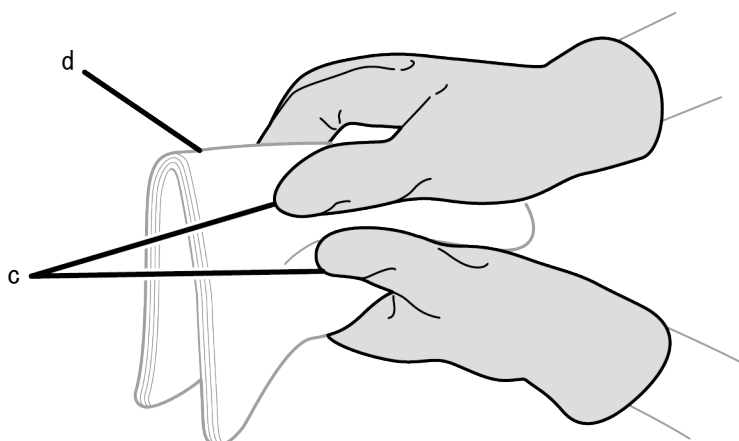
- 5 メンテナンスユニットからキャップチップ (a)、キャップフォーム (b) を外します。

重要

- ピンセットなど鋭利なものは使用せず、必ず手でキャップチップ、キャップフォームを外してください。



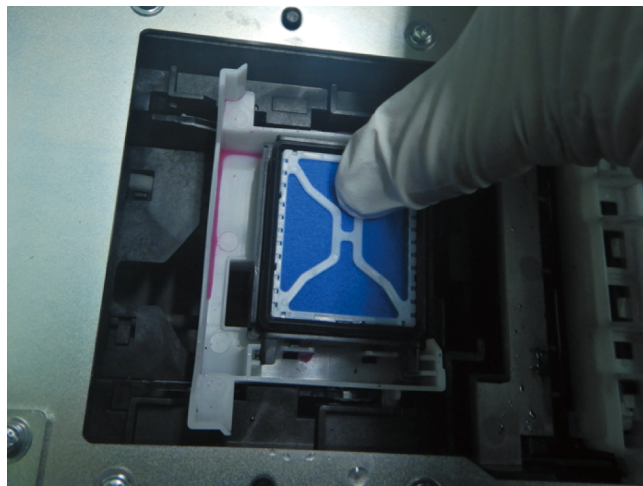
- 6 手袋 (c) をウエス (d) で拭きます。



Chapter 7

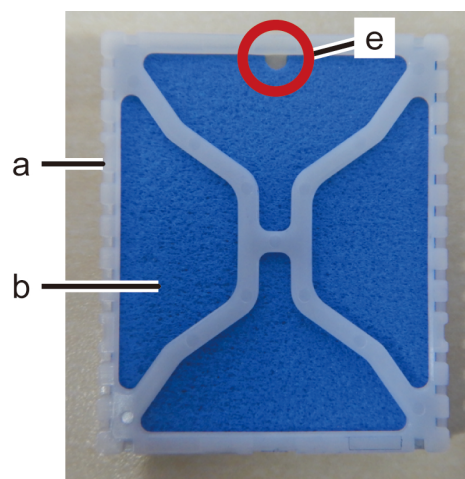
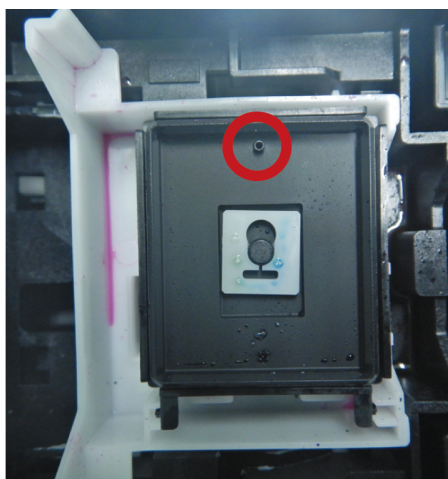
印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

7 新しいキャップチップ、キャップフォームを組み付けます。



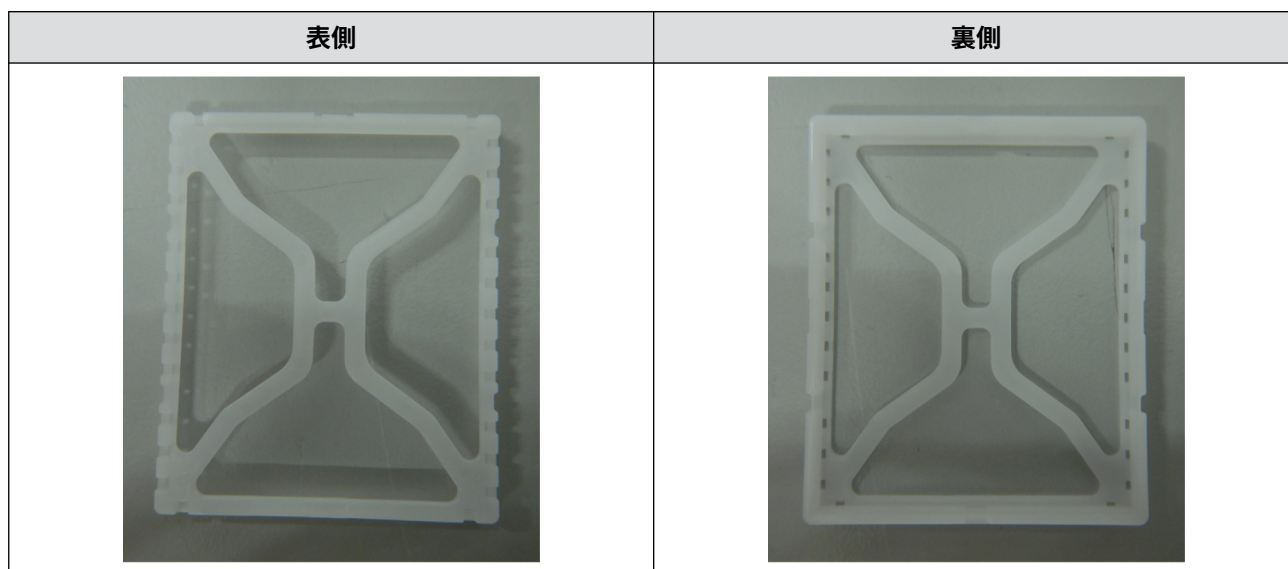
重要

- キャップフォームの穴 (e) をキャップゴムの本体奥側にある突起に合わせて組み付けてください。
- キャップフォーム (b) の向きが逆にならないように注意してください。
- キャップチップ (a) には表裏があるので、表裏が逆にならないように注意してください。
- キャップチップとキャップフォームを組み付けた状態でも表裏が逆にならないように注意をしてください。



Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために



8 本体カバーを閉じます。

9 [OK]を押します。

お願い

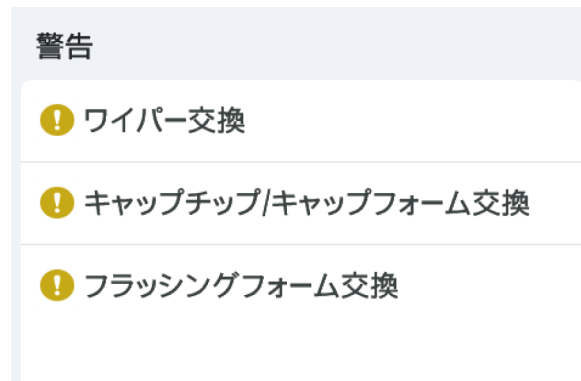
- 交換で出た廃棄物は法令に従い処理してください。

参考

- インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

7.1.7 フラッシングフォームの交換

操作パネル画面またはワーニング画面にメッセージが表示されたら、フラッシングフォームを交換してください。



- 1 同梱品の手袋およびフラッシングフォームを用意します。

参考

- ・ クリーンスティックRは使用済みの汚れた物を使用しても構いません。

- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。

- 3 [メンテナンスキットの交換]を選択します。

重要

- ・ 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。

参考

- ・ [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 4 画面に従って本体カバーを開け、交換作業を実施します。

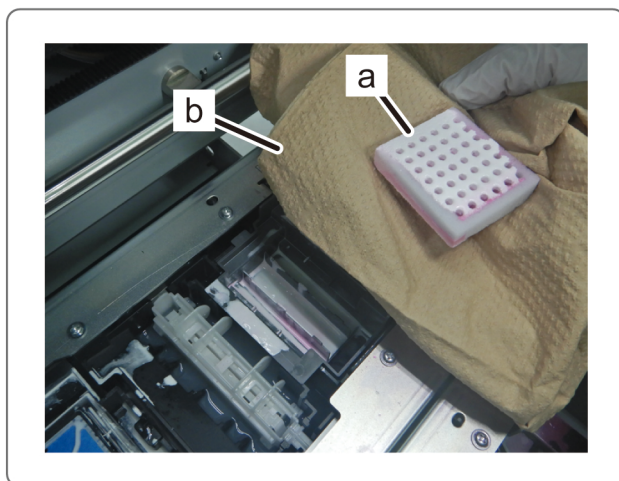
5 フラッシングフォーム (a) をメンテナンスユニットから取り外します。

重要

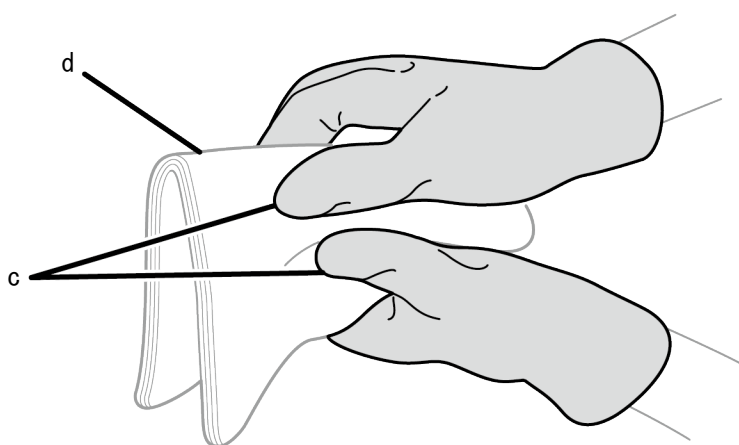
- プリントヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は一旦、フラッシング受けを装着し、本体カバーを閉じた後、再度[メンテナンスキットの交換]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。
- フラッシング受けは、メンテナンスユニットから外さずにフラッシングフォームを取り外してください。
- フラッシングフォームの穴からインクが垂れます。取り外した後は、底面にウエス (b) を当ててください。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



6 手袋 (c) をウエス (d) で拭きます。



Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 7 新しいフラッシングフォーム (a) をフラッシング受け (e) に組み付けます。

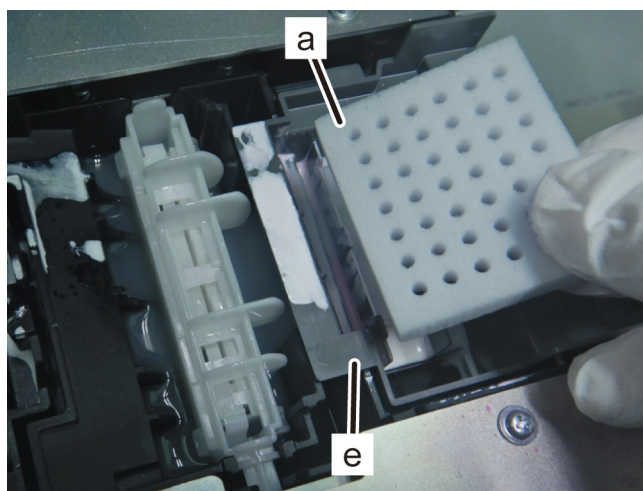
重要

- 組み付け後、フラッシング受けの縁より上にフラッシングフォームがはみ出していないことを確認してください。はみ出しているとノズルと干渉して不吐出の原因となる恐れがあります。



参考

- フラッシング受けを清掃する必要はありません。



- 8 本体カバーを閉じます。

- 9 [OK]を押します。

お願い

- 交換で出た廃棄物は法令に従い処理してください。



参考

- インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

7.1.8 ミストファンフィルターの交換

ワーニング画面にメッセージが表示されたら、ミストファンフィルターを交換してください。



- 1 同梱品の手袋およびミストファンフィルターを用意します。
- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 3 [ミストファンフィルターの交換]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。



参考

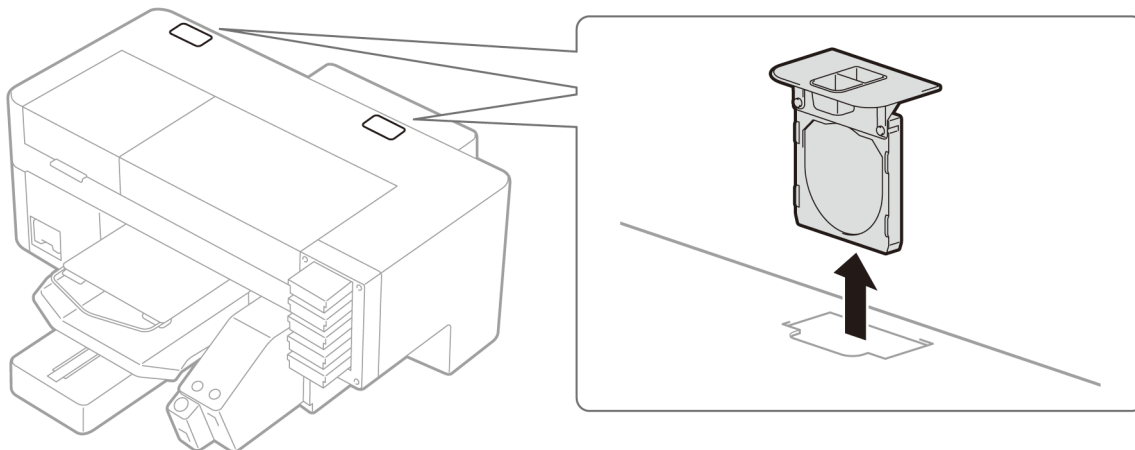
- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 4 電源を切ります。

5 ミストファンフィルターを本体から取り外します。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



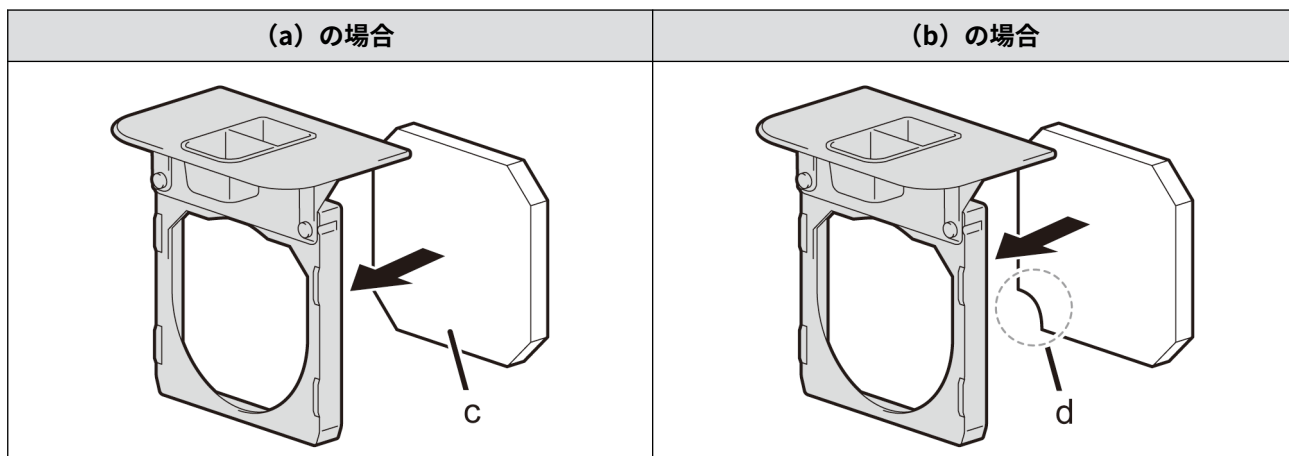
6 新しいミストファンフィルターを枠に組み付けます。

参考

- ミストファンフィルターは2種類あります。
手元にある適合するミストファンフィルターを取り付けてください。

重要

- (a) の場合：目が粗い方 (c) が機器内部側へ向くように組み付けてください。
(b) の場合：4隅の中で形状が異なる部分 (d) が、図の通りの位置になるように組み付けてください。



7 組み付けたミストファンフィルターを本体に取り付けます。

8 電源を入れます。

お願い

- 交換で出た廃棄物は法令に従い処理してください。

参考

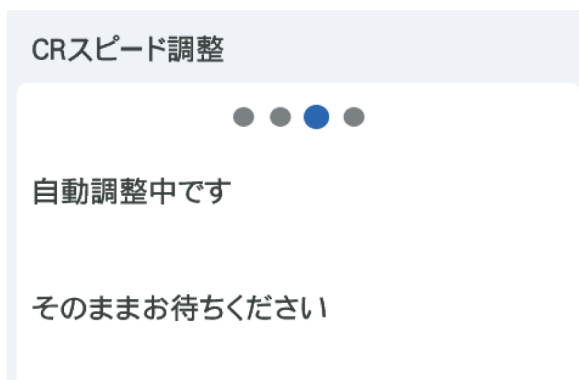
- インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。

7.2 必要なときに行うこと

7.2.1 キャリッジスピードの調整

操作パネルの画面に[キャリッジを調整してください]エラーが表示された際に、キャリッジスピードの調整を行います。キャリッジシャフトの掃除やプリントヘッドの交換をした後は必ず実施してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[CRスピード調整]選択します。
- 2 [開始する]または[開始する (清掃後/セットアップ)]のいずれかを選択します。
 - [開始する]：ヘッド交換後またはエラーメッセージが表示されたとき、直ちにキャリッジシャフトなどプリンター内部を清掃することができない場合
 - [開始する (清掃後/セットアップ)]：キャリッジシャフトを掃除したときキャリッジの動作が終了して、ポーンと音が鳴るまでお待ちください。キャリッジスピードの調整には、およそ3分かかります。



7.2.2 ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認）

ノズルチェックパターンを印刷すると、印刷品質の確認ができます。

印刷を開始する前は必ず実施し、印刷結果を確認することをお勧めします。

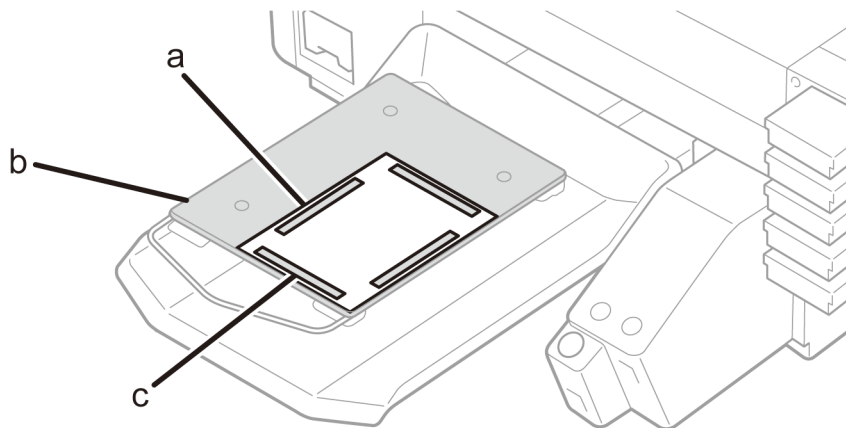
参考

- ノズルチェックパターンの下部には、シリアル番号・ファームウェアのバージョン・印刷時の日付と時刻が印刷されます。
メンテナンスツールの「時刻合わせ」を実施していない場合、日時は世界協定時で印刷され、末尾に（UTC）と印刷されます。「時刻合わせ」を実施することによって、お使いの環境に応じた日時を印刷することができます。[ノズルチェックパターンに表示する時刻の設定 \(p.78\)](#)

- 1 プラテン14×16.54を取り付け、高さを「A-」の位置にします。
[プラテンの交換 \(p.166\)](#)および[プラテン高さの調整 \(p.168\)](#)
- 2 A4かレターサイズの白い紙 (a) を図のように、プラテン (b) の右手前の角に合わせて置きます。
紙が浮くときは、ラバーマグネット (c) で各辺の中央付近（上下左右の4箇所）を固定します。
Tシャツを使用しても構いません。ただし、プラテン高さを「A」の位置にしてください。

参考

- 白側のノズルチェックパターンを印刷するときは、前処理済みの黒または濃色の布帛か黒い紙または透明のシート（OHPシートなど）に印刷してください。ただし、布帛に印刷する場合はプラテン高さを「A」の位置にしてください。



- 3 メニューから[テスト印刷]>[ノズルチェック カラー]を選択し、[OK]を押します。
印刷が始まります。
- 4 カラー側の印刷が完了したら、白側用の紙に付け替えます。

Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 5 メニューから[テスト印刷]>[ノズルチェック 白]を選択し、[OK]を押します。
印刷が始まります。



参考

- カラーインクモードの場合は、白のノズルチェックは不要です。

- 6 両方のノズルの印刷結果を判定し、不吐出があるときは該当するプリントヘッドのヘッドクリーニングを実施します。[ヘッドクリーニング \(p.245\)](#)

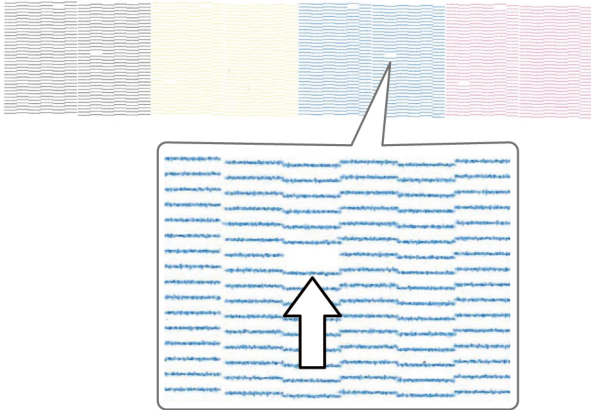
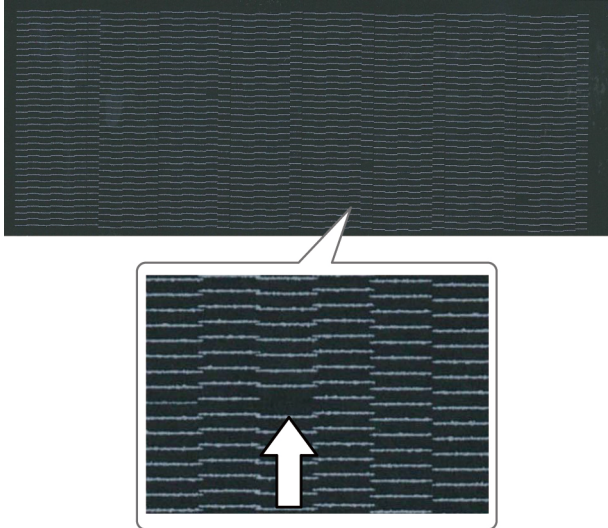
重要

- 印刷結果の線が途切れている場合、不吐出があります。該当するプリントヘッドのヘッドクリーニングを実施してください。
- 白側の印刷結果の線が薄い場合でも、白インクは同じ位置に複数のノズルで吐出するため、品質に影響を与えません。



参考

- ノズルチェックパターンの下部には、以下の内容が印刷されます。
 - シリアル番号
 - ファームウェアのバージョン
 - 印刷時の日付
 - 時刻
 - 温度
 - 湿度
 - 印刷枚数

| カラー側 | 白側 |
|--|---|
| <p>下記写真の矢印部分で不吐出が発生しています。 例：</p>  | <p>下記写真の矢印部分で不吐出が発生しています。 例：</p>  |

7.2.3 エアー抜きクリーニング

プリントヘッドやチューブ内に空気が混入してインクの不吐出が改善されない場合に、チューブ内エアー抜きを行ってください。

- 1 メニューから[メンテナンス]>[エアー抜きクリーニング]を選択します。
- 2 エアー抜きを行いたい色を選択します。



参考

- 白ヘッドの場合は番号を選択してください。[プリントヘッドの交換 \(p.317\)](#)



- 3 画面の注意文に従って操作パネルの、[OK]を押します。
チューブ内のエアー抜きが実行されます。

7.2.4 ヘッドクリーニング

本機は前回のオートクリーニングから36枚印刷すること、または前回の白インク印刷から1時間以上経過した後の白インク印刷開始前にオートクリーニングを行います。



- オートクリーニングの頻度および開始時期は変更できます。[オートクリーニングの設定 \(p.266\)](#)

印刷物にかすれや抜けがあるときは、ヘッドクリーニングを行うことで解決できることがあります。

メニューからヘッドクリーニングの種類を選択して実施する

- 1 メニューから[ヘッドクリーニング]を選択します。



- 2 [ノーマルクリーニング]、[パワフルクリーニング]、[スーパークリーニング]、[フラッシング]から選択します。



参考

- ・ クリーニング内容は各ステップの指示に従って選択してください。 [不吐出ノズルを回復させるためには \(p.306\)](#)

ヘッドクリーニング

ノーマルクリーニング

パワフルクリーニング

スーパークリーニング

フラッシング

- 3 [カラー]、[白]、[すべてのヘッド]から選択します。



参考

- ・ 不吐出ノズルの状態で、実施するカラーを決めてください。 [ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認） \(p.241\)](#)

ノーマルクリーニング

カラー

白

すべてのヘッド

- 4 選択したヘッドで指定したヘッドクリーニングが実施されます。



参考

- ・ クリーニング動作は途中でキャンセルできません。
- ・ 終了後は待機画面に戻ります。

7.2.5 白インク循環

白さが足りないときは、白インク循環で解決できることがあります。

- 1 メニューから[メンテナンス]>[白インク循環]を選択します。

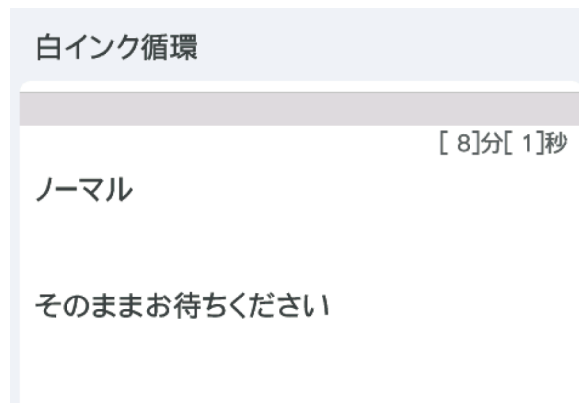
重要

- 電源が切られていると必要なメンテナンスが実行されないため、プリンターが故障する恐れがありますので電源は切らないでください。



参考

- 周囲の気温などに応じて、白インク循環が完了するまでの時間は都度変化します。通常は7分半、最長で15分ほどです。6時間毎に自動的に白インク循環が行われますが、24時間毎に通常の3倍の白インク循環が行われます。
- 電源が長時間切られていた後に立ち上げた場合、最長で40分間ほどかかります。



7.2.6 キャリッジプレートの清掃

キャリッジプレートにインクが付着して汚れたときに清掃を行います。



参考

- 一度使用したクリーンスティックRを使用しても問題ありません。

- 1 同梱品のクリーンスティックR・洗浄カップ・手袋および洗浄液を用意します。
- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択します。
- 3 [ノズルガード/キャップの清掃]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。

お願い

- 画面の指示と本書の指示が異なります。本書の指示に従って清掃を行ってください。



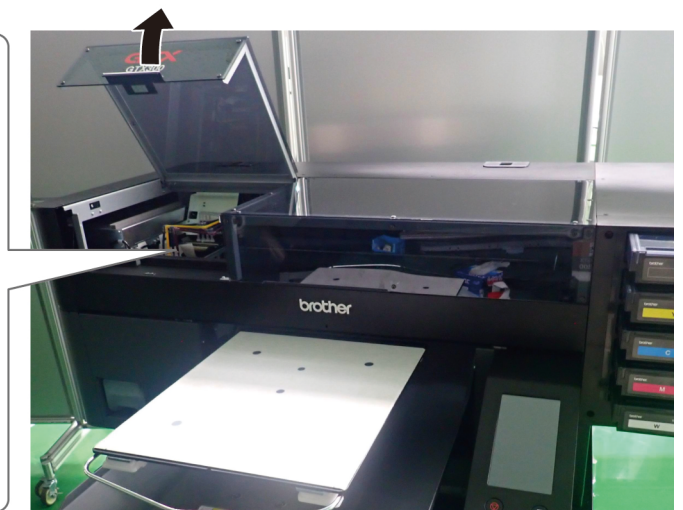
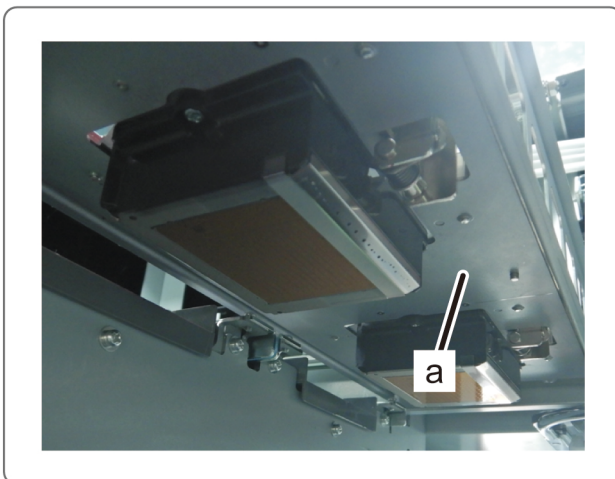
参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 4 本体カバーを開け、キャリッジプレート (a) を清掃します。

重要

- プリントヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は一度本体カバーを閉じた後、再度[メンテナンス部品の清掃と交換]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。



Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 5 洗浄カップ (b) に洗浄液 (c) を適量注ぎます。
- 6 新しいクリーンスティックR (d) に洗浄液を含ませます。

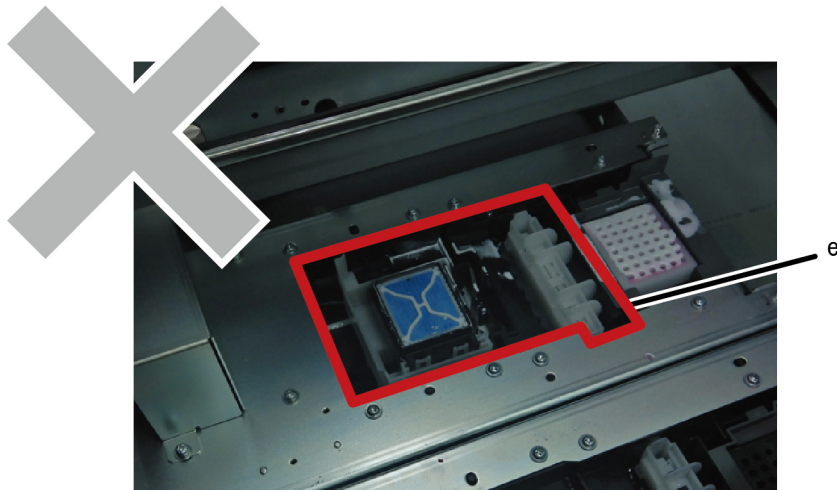
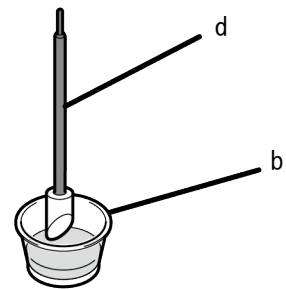
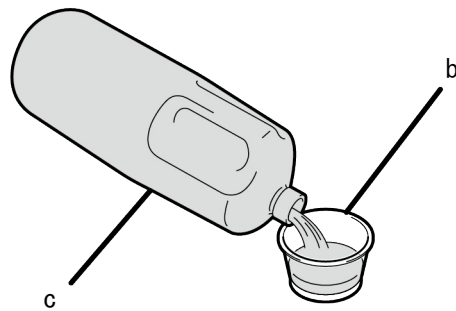


参考

- 一度使用したクリーンスティックRを使用する場合は、キャリッジプレートの清掃以外に使用しないでください。
- クリーンスティックRの先端は手で触れないでください。皮脂がヘッドノズルに付着すると、不具合の原因となる恐れがあります。
- 他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがあるので使わないでください。
- 洗浄カップに入れた洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。
- メンテナンスユニット内 (e) に洗浄液を流さないでください。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



Chapter 7

印刷品質を保つために／製品を長くご使用いただくために

- 7 クリーンスティックR (f) でキャリッジプレートを拭きます。

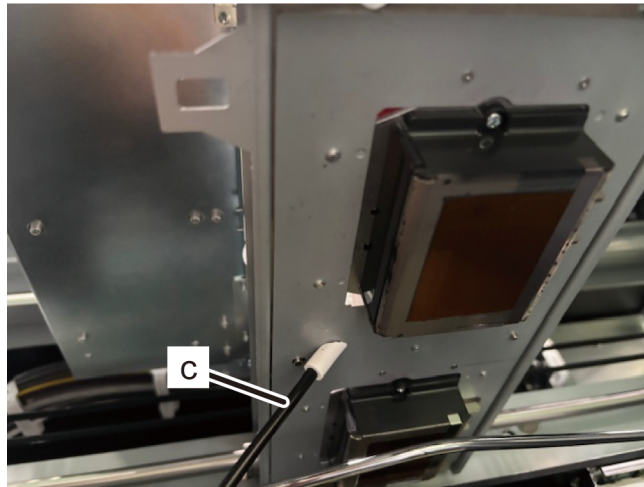
重要

- ・ ノズル面に触らないようにしてください。



参考

- ・ 清掃しやすい位置までキャリッジを手で動かしてください。



- 8 清掃が終わったら、本体カバーを閉じます。

- 9 [OK]を押します。

お願い

- ・ 清掃で出た廃棄物は法令に従い処理してください。



参考

- ・ インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。
- ・ 洗浄カップは再使用するので、純水できれいにすすぎ、十分乾燥させ、埃等が入らないように保管してください。

7.2.7 廃インクの処理

廃インクの処理については、[廃インクの確認・処理 \(p.144\)](#)を参照してください。

7.3 長期間使用しない場合

長期間本機を使用しない場合は、使用しない期間や状況に応じて対応してください。

重要

- 電源は切らないでください。プリンターが故障する恐れがあります。
- 通電を維持できない場合は、事前に販売店へご連絡ください。

お願い

- エラーが出ていた場合は、画面の指示に従ってください。
- 2週間以上使用しない場合、ノズルガードとキャップの清掃を行ってください。[ノズルガード、吸引キャップの清掃 \(p.218\)](#)

7.3.1 長期間使用しない場合：2週間以内

以下のメンテナンスを行うことで、通常通り使用できます。

- 1 廃インクタンクの廃インク量を確認し、1/2 程度以上溜まっている場合は溜まった廃インクを捨てます。
[廃インクの確認・処理 \(p.144\)](#)
- 2 洗浄液タンクの洗浄液量を確認して、少ないときは補充を行います。
[洗浄液の確認・補充 \(p.145\)](#)
- 3 操作パネルの画面に白インクカートリッジ攪拌メッセージが表示されたら、白インクの攪拌を行います。
[白インクの毎日の攪拌 \(p.146\)](#)
- 4 必要に応じて、ノズルチェックパターンの印刷を実施してください。
[ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認） \(p.241\)](#)

7.3.2 長期間使用しない場合：2週間以上

2週間ごとに以下のメンテナンスを行ってください。

- 1 廃インクタンクの廃インク量を確認し、1/2 程度以上溜まっている場合は溜まった廃インクを捨てます。
[廃インクの確認・処理 \(p.144\)](#)
- 2 洗浄液タンクの洗浄液量を確認して、少ないときは補充を行います。
[洗浄液の確認・補充 \(p.145\)](#)
- 3 操作パネルの画面に白インクカートリッジ攪拌メッセージが表示されたら、白インクの攪拌を行います。
[白インクの毎日の攪拌 \(p.146\)](#)
- 4 ノズルチェックパターンの印刷を実施し、印刷結果を確認してください。
[ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認） \(p.241\)](#)
- 5 不吐出があった場合、ヘッドクリーニングを実施し、再度ノズルチェックパターンを印刷して結果を確認してください。
[ヘッドクリーニング \(p.245\)](#)

Chapter 8

その他の設定

必要に応じて設定および調整を行ってください。

設定画面の階層について

| メニュー | 設定画面 | 内容 | |
|------------|----------------|---------------------|----------------|
| [プリンター設定] | [印刷設定] | [印刷方向] | [自動] |
| | | | [常に双方向] |
| | | | [常に片方向] |
| | | [印刷中の障害物センサー検知] | [印刷開始時のみ確認する] |
| | | | [印刷中も確認する] |
| | | [プラテン下げすぎセンサー検知] | [有効] |
| | | | [無効] |
| | | [低温下限印刷モード設定 (DTF)] | [印刷停止] |
| | | | [最高画質 (デフォルト)] |
| | | | [高画質] |
| | | | [無効] |
| | | [低温印刷モード設定] | [最高画質] |
| | | | [高画質 (デフォルト)] |
| | | | [無効] |
| | [高温印刷モード設定] | [高画質 (デフォルト)] | |
| | | [無効] | |
| | [印刷データ自動消去] | [消去しない] | |
| | | [消去する] | |
| | [カートリッジ脱着チェック] | [チェックする] | |
| | | [チェックしない] | |
| | | [CRスピード調整] | |
| | [クリーニング設定] | [オートクリーニング枚数間隔] | |
| | | [オートクリーニング開始時期] | [印刷前に実行] |
| | | | [印刷後に実行] |
| [ワイプ頻度] | | [標準] | |
| | | [多め] | |
| [フラッシング間隔] | | [40 スキャン毎] | |
| | | [22 スキャン毎 (標準)] | |
| | | [6 スキャン毎] | |
| [フラッシング量] | | [標準] | |
| | | [多め] | |

| メニュー | 設定画面 | 内容 | |
|-----------------|---------------|------------------|--------------|
| [プリンター設定] | [表示設定] | [パネル背景モード] | [ライト] |
| | | | [ダーク] |
| | | [バックライト] | [明るい] |
| | | | [やや暗い] |
| | | | [暗い] |
| | | [自動画面消去時間] | [自動消去しない] |
| | | | [5分] |
| | | | [10分] |
| | | | [15分] |
| | | [メニュータイムアウト時間] | [30分] |
| | | | [1分] |
| | | | [3分] |
| | | [温度表示単位] | [華氏 [°F]] |
| | | | [摂氏 [°C]] |
| | | [プレビュー表示の向き] | [上向きに表示] |
| | | | [下向きに表示] |
| | | [ファイル名表示選択] | [ファイル名を優先表示] |
| | [ジョブネームを優先表示] | | |
| | [日付の書式] | [日/月/年] | |
| | | [月-日-年] | |
| | | [年-月-日] | |
| | [スピーカー音量調節] | 0~7 | |
| | [IPアドレス設定] | [USBメモリーのフォーマット] | |
| [自動取得する] | | | |
| [ネットワークフィルタリング] | [手動設定する] | | |
| | [有効] | | |
| | [無効] | | |

| メニュー | 設定画面 | 内容 | |
|----------------|----------------|---------------|--------------|
| [プリンター設定] | [ショートカットボタン設定] | [ショートカット 1] | [ノーマルクリーニング] |
| | | | [印刷データ読み込み] |
| | | | [白インク循環] |
| | | | [循環スケジュール確認] |
| | | | [消耗品の使用状況] |
| | | | [インク消費期限] |
| | | | [テスト印刷] |
| | | [ショートカット 2] | [ノーマルクリーニング] |
| | | | [印刷データ読み込み] |
| | | | [白インク循環] |
| | | | [循環スケジュール確認] |
| | | | [消耗品の使用状況] |
| | | | [インク消費期限] |
| | | | [テスト印刷] |
| [プリンター稼働情報の表示] | | [消耗品の使用状況] | |
| | | [インク消費期限] | |
| | | [累積印刷枚数] | |
| | | [カートリッジ脱着履歴] | |
| | | [循環スケジュール確認] | |
| | | [温度と湿度] | |
| [通信設定の確認] | | [IPアドレス] | |
| | | [サブネットマスク] | |
| | | [デフォルトゲートウェイ] | |
| | | [ホスト名] | |
| | | [MACアドレス] | |

Chapter 8

その他の設定

| メニュー | 設定画面 | 内容 |
|-----------|---------------------|----|
| [言語設定] | [English] | |
| | [Español] | |
| | [Français] | |
| | [Deutsch] | |
| | [Italiano] | |
| | [Türkçe] | |
| | [Русский] | |
| | [韓国語(Korean)] | |
| | [中文] | |
| | [Português(Brasil)] | |
| | [日本語] | |
| [バージョン情報] | [ファームバージョン] | |
| | [データ情報] | |
| | [シリアル番号] | |
| | [ヘッド情報] | |
| | [オープンソースライセンス] | |
| | [プロフェッショナルメニュー] | |

8.1 印刷方向の設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[印刷方向]を選択します。
- 2 プリントヘッドの印刷方向を選択し、[OK]を押します。

参考

- 印刷方向はプリンタードライバー側よりもプリンター側の設定が優先されます。
- 設定内容は次に設定が変更されるまで保持されます。



8.2 プラテン障害物センサーの設定

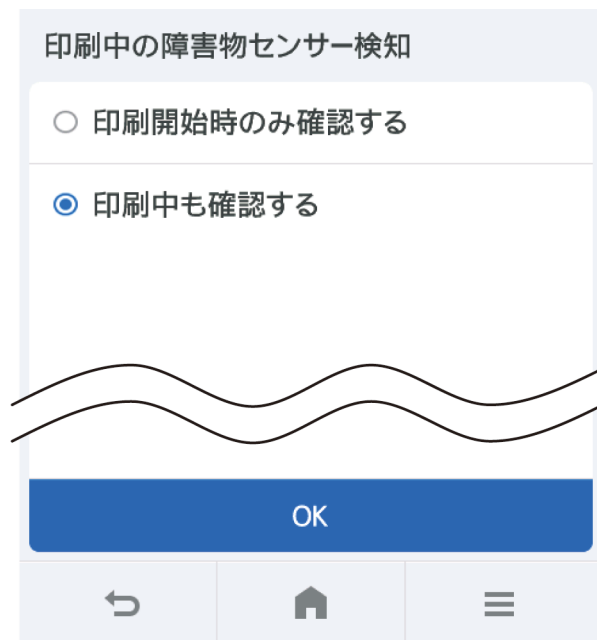
障害物センサーによる検出を、[印刷開始時のみ確認する]もしくは[印刷中も確認する]を選択します。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[印刷中の障害物センサー検知]を選択します。
- 2 障害物センサーの設定を選択し、[OK]を押します。



参考

- メニュー選択時は現在の設定値が表示されます。
- 障害物センサーは、印刷メディア上のシワや異物を検出し、プリントヘッドとの接触を事前に防いだり、接触が続くのを最短に抑えるためのものです。
- プリントヘッドがシワや異物と接触すると、不吐出や故障の原因となる恐れがあります。
- 障害物センサーが異物を検出した場合は、印刷動作やプラテン動作が直ちに中止されます。
- [印刷開始時のみ確認する]を選択した場合は、プラテンが手前から奥方向へ動いている間のみ、障害物センサーによる検出を行います。
- [印刷中も確認する]を選択した場合は、プリントボタンを押してから印刷が終わるまでの間、障害物センサーによる検出を行います。



8.3 プラテン下げすぎセンサーの設定

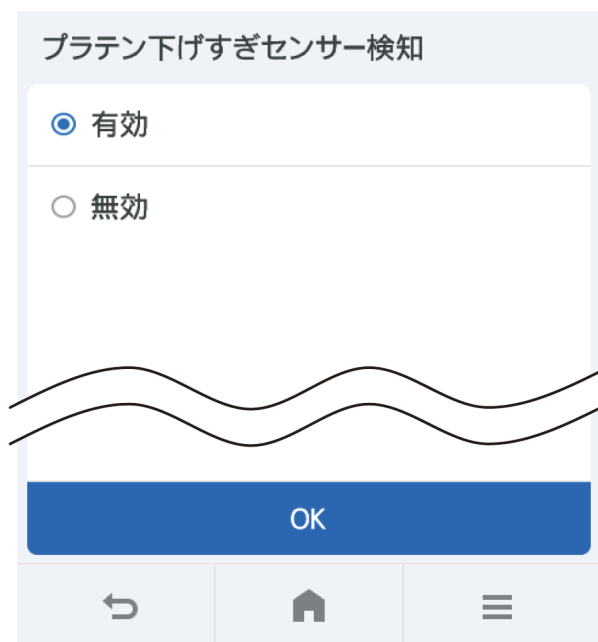
プラテンを下げすぎて印刷メディアとの距離があるときにセンサーで検出します。

この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[プラテン下げすぎセンサー検知]を選択します。
- 2 プラテン下げすぎセンサーの機能を選択し、[OK]を押します。

参考

- プラテン下げすぎセンサーはプラテンが奥まで入った時点で下げすぎを判断します。
- プラテンを下げすぎとセンサーが検知した場合は、印刷動作やプラテン動作が中止されます。



8.4 低温下限印刷モードの設定 (DTF)

液晶パネルの温度アイコンが赤色の警告表示の場合に、印刷不良を防ぐために低温下限印刷へ自動的に切り替わります。この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。**デフォルトでは[最高画質 (デフォルト)]に設定されています。**低温下限印刷が、[高画質]の場合、低温下限時でも印刷ができますが、印刷品質に影響が出ることがあります。

[高画質]より[最高画質 (デフォルト)]のほうが低温下限時において、品質劣化が起きにくくなりますが、印刷時間はより長くなります。

低温下限印刷を[無効]にする場合、印刷速度は低下しませんが、印刷品質に影響が出ることがあります。

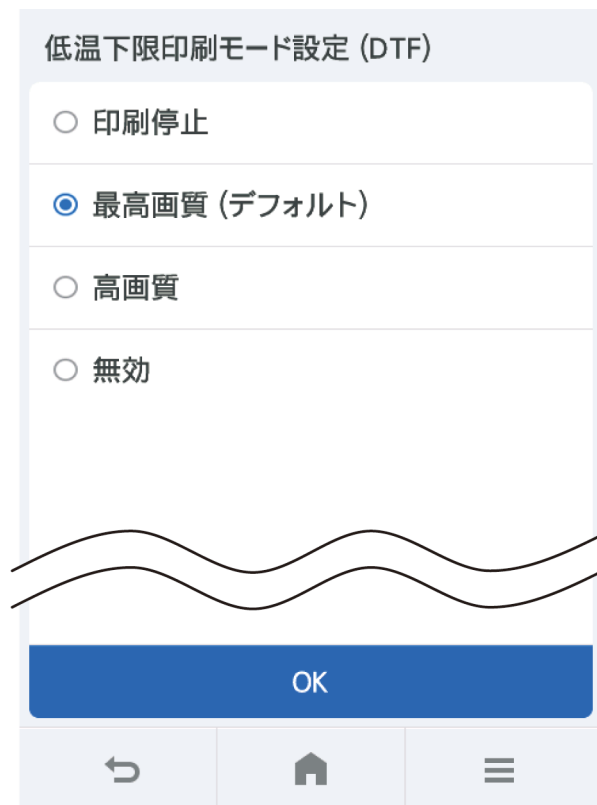
通常は[最高画質 (デフォルト)]に設定してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[低温下限印刷モード設定 (DTF)]を選択し、[OK]を押します。
- 2 低温下限時の印刷モード設定を選択し、[OK]を押します。



参考

- [高画質]を選択すると、印刷品質に影響が出ることがあります。[無効]を選択すると印刷速度は低下しませんが、印刷品質により影響が出ることがあります。



8.5 低温印刷モードの設定

液晶パネルの温度アイコンが黄色の警告表示で、警告画面で[気温が低すぎます]と表示された場合に、印刷品質を確保するための低温印刷へ自動的に切り替わります。この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

デフォルトでは[高画質 (デフォルト)]に設定されています。[最高画質]または[高画質 (デフォルト)]の場合、低温時に自動で低温印刷に切り替わり、印刷時間が長くなります。

[高画質 (デフォルト)]より[最高画質]のほうが低温時において、より高画質になりますが、印刷時間はより長くなります。

低温印刷を[無効]にした場合、印刷時間は増加しませんが、吐出不良が発生する場合があります。

通常は[高画質 (デフォルト)]に設定してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[低温印刷モード設定]を選択し、[OK]を押します。
- 2 低温時の印刷モード設定を選択し、[OK]を押します。



参考

- [無効]を選択すると、広いエリアを印刷する場合白インクの吐出が不安定になる場合があります。



8.6 高温印刷モードの設定

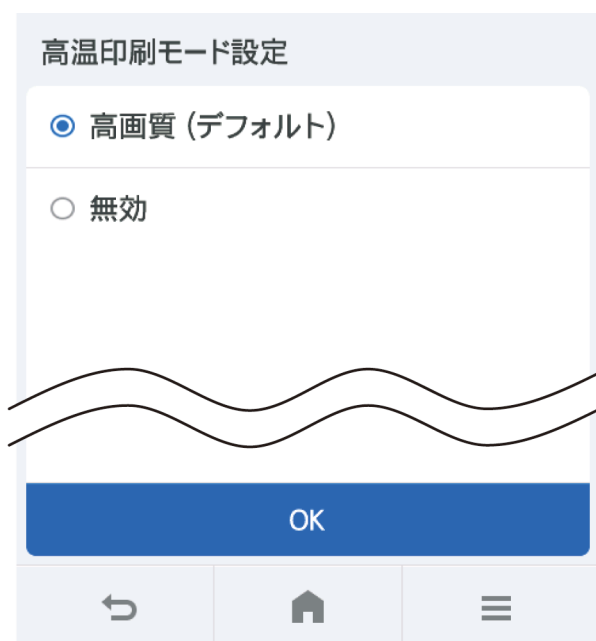
液晶パネルの温度アイコンが黄色の警告表示で、警告画面で[気温が高すぎます]と表示された場合に、印刷品質を確保するための高温印刷へ自動的に切り替わります。この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

デフォルトでは[高画質 (デフォルト)]に設定されています。高温印刷では印刷品質を確保するため、印刷時間が長くなります。

[無効]にすると、印刷時間は増加しませんが、高温時に横筋(バンディング)が発生する場合があります。

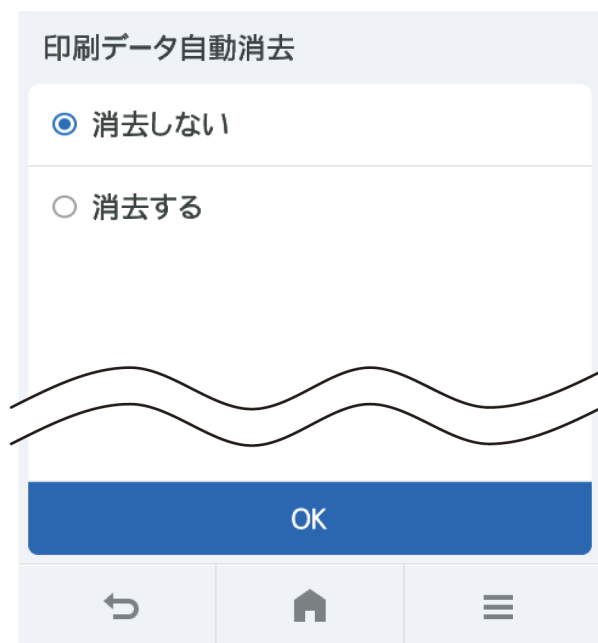
通常は[高画質 (デフォルト)]に設定してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[高温印刷モード設定]を選択し、[OK]を押します。
- 2 高温時の印刷モード設定を選択し、[OK]を押します。



8.7 印刷データの自動消去

- 1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[印刷データ自動消去]を選択します。
- 2 印刷データ自動消去の機能を選択し、[OK]を押します。



8.8 カートリッジ脱着チェック

白インクカートリッジの攪拌忘れや攪拌不足を防ぐためのチェック機能です。

この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。

白インクの攪拌メッセージが表示された場合、白インクカートリッジを攪拌してください。[白インクの毎日の攪拌 \(p.146\)](#)

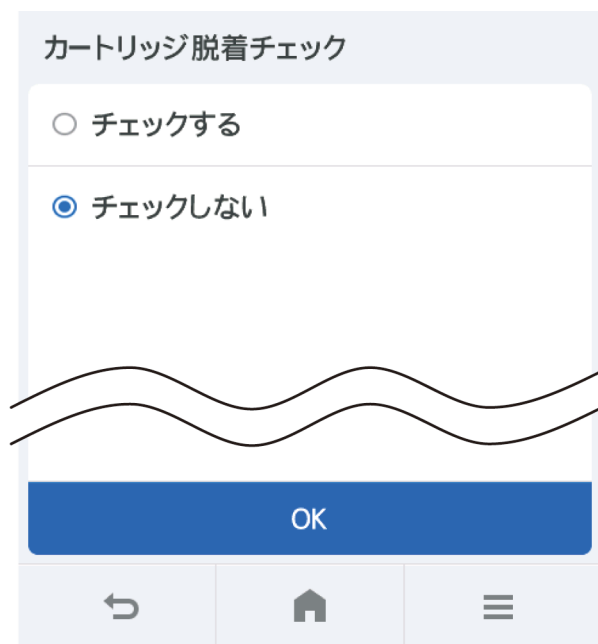


参考

- 攪拌作業は約60～120秒ほどかかります。
- 白インクの攪拌メッセージが表示されているとき、実際に各カートリッジが抜かれた時間が60秒未満の場合、[OK]を押しても次の画面へ移行できません。

1 メニューから[プリンター設定]>[印刷設定]>[カートリッジ脱着チェック]を選択します。

2 [チェックする]、[チェックしない]のどちらかを選択し、[OK]を押します。



8.9 オートクリーニングの設定

オートクリーニング枚数間隔

本体保護および印刷品質を安定させるために指定した枚数毎に自動でヘッドクリーニングをする、オートクリーニングを行う枚数を設定します。連続印刷時に印刷品質が低下する場合、オートクリーニング枚数設定を減らしてください。初期設定は36枚毎になっています。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[クリーニング設定]>[オートクリーニング枚数間隔]を選択します。
- 2 印刷枚数を1~36枚の間で設定し、[OK]を押します。



参考

- 湿度が低いと印刷品質が落ちやすくなります。
- オートクリーニングの回数が増えると、ワイパー、キャップチップ/キャップフォーム、フラッシングフォームの交換時期も早まります。

オートクリーニング枚数間隔

[OK]で確定します

36

1-36

| | | |
|-----|---|-----|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |
| -/+ | 0 | ✕ |
| | | ◀ ▶ |

OK

↶ 🏠 ≡

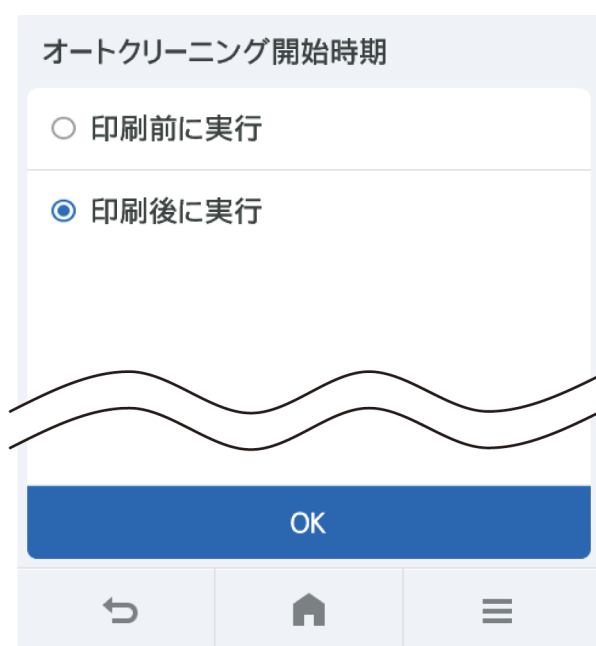
オートクリーニング開始時期

オートクリーニングを実施するタイミングを設定します。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[クリーニング設定]>[オートクリーニング開始時期]を選択します。
- 2 オートクリーニングを実施するタイミングを選択し、[OK]を押します。

参考

- [印刷後に実行]を選択していても、使用状態によっては印刷前にオートクリーニングが実施されることがあります。



8.10 ワイプ頻度の設定

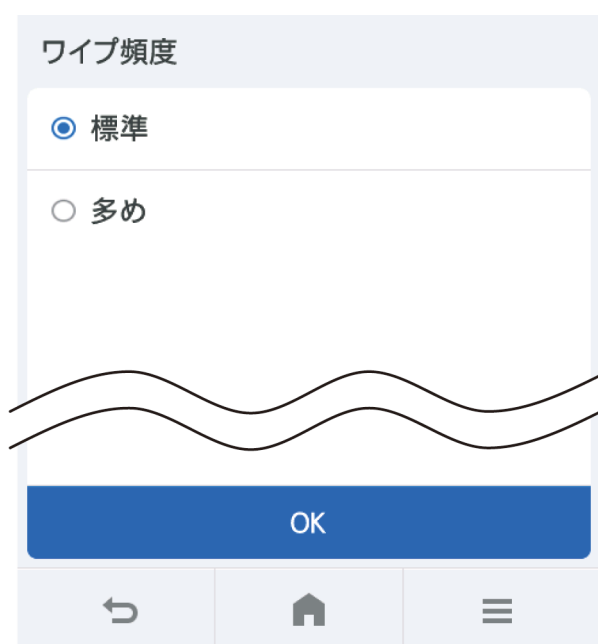
印刷途中から白の印刷品質が落ちるときに実行してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[クリーニング設定]>[ワイプ頻度]を選択します。
- 2 印刷途中に実行するワイプ頻度を選択し、[OK]を押します。



参考

- 温度が低いと印刷途中から印刷品質が落ちやすくなります。
- ワイプ頻度を多くすると印刷品質が向上しますが、印刷にかかる時間が長くなります。



8.11 フラッシング間隔の設定

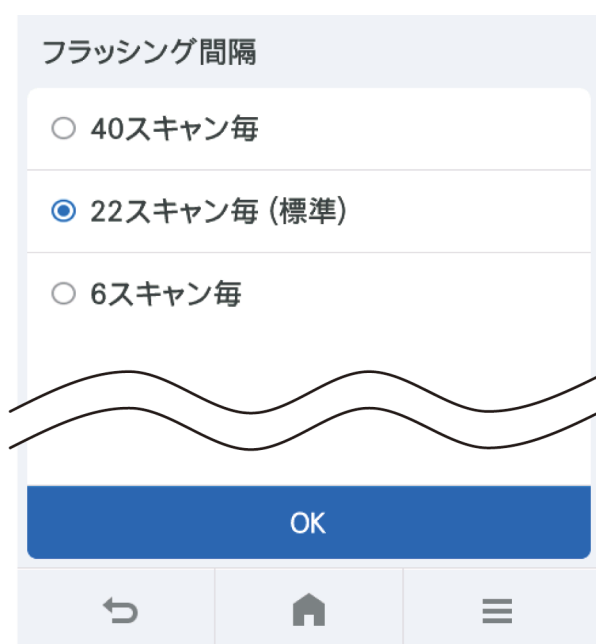
印刷途中から印刷品質が落ちるときに実行してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[クリーニング設定]>[フラッシング間隔]を選択します。
- 2 フラッシングが起動するまでのキャリッジの走査回数を選択し、[OK]を押します。



参考

- 湿度が低いと印刷途中から印刷品質が落ちやすくなります。
- フラッシング間隔を短くすると印刷品質が向上しますが、インク消費量が増え、印刷にかかる時間も長くなります。



8.12 フラッシング量の設定

印刷開始時に印刷品質が落ちるときに実行してください。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[クリーニング設定]>[フラッシング量]を選択します。
- 2 印刷開始前のフラッシング動作中にヘッドから吐出するインク量を選択し、[OK]を押します。

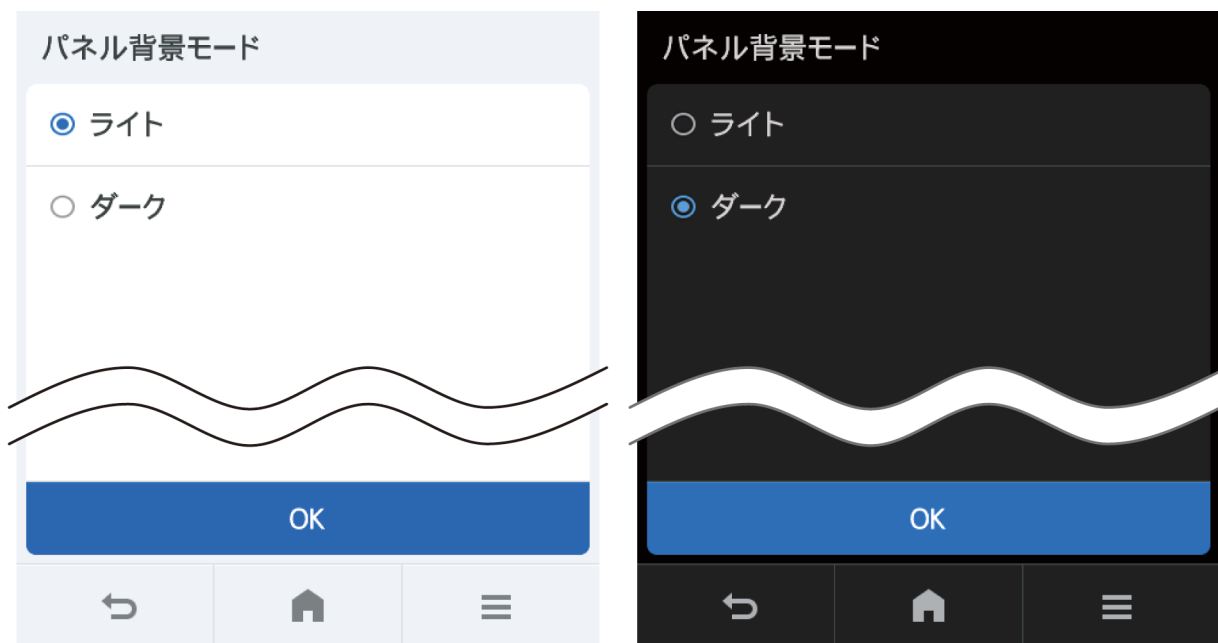


- 湿度が低いと印刷開始時の印刷品質が落ちやすくなります。
- フラッシング量を増やすと印刷品質が向上しますが、インク消費量が増えます。



8.13 パネル背景モードの設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[パネル背景モード]を選択します。
- 2 パネル背景モードを選択し、[OK]を押します。

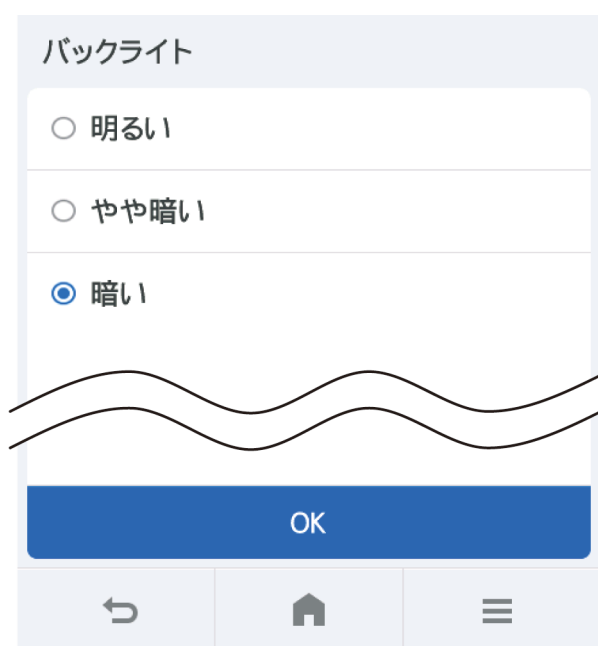


8.14 画面バックライトの調整

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[バックライト]を選択します。
- 2 液晶パネルの明るさを選択し、[OK]を押します。

参考

- メニュー選択時は選択中の明るさで画面が表示されます。



8.15 自動画面消去時間の設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[自動画面消去時間]を選択します。
- 2 液晶パネルおよびプリントボタンの消灯までの時間を選択し、[OK]を押します。

参考

- メニュー選択時は現在の設定値が表示されます。

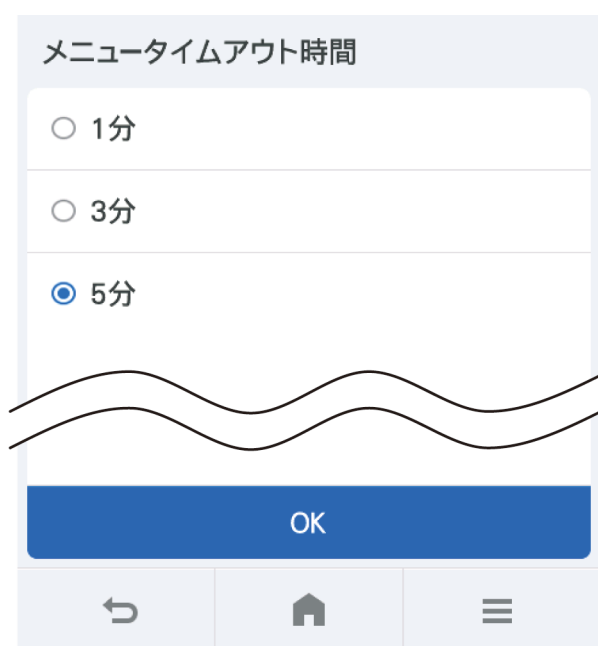


8.16 メニュータイムアウト時間の設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[メニュータイムアウト時間]を選択します。
- 2 表示画面から待機画面に戻るまでの時間を選択し、[OK]を押します。

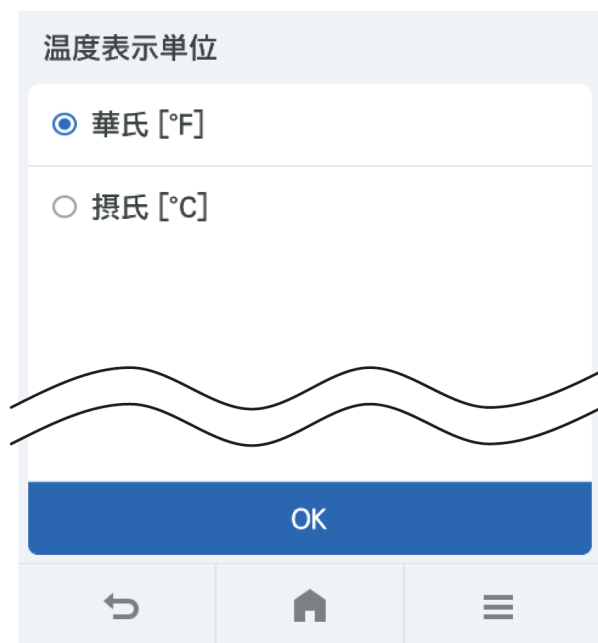
参考

- メニュー選択時は現在の設定値が表示されます。



8.17 温度表示の設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[温度表示単位]を選択します。
- 2 液晶パネルに表示する環境温度の単位を選択し、[OK]を押します。



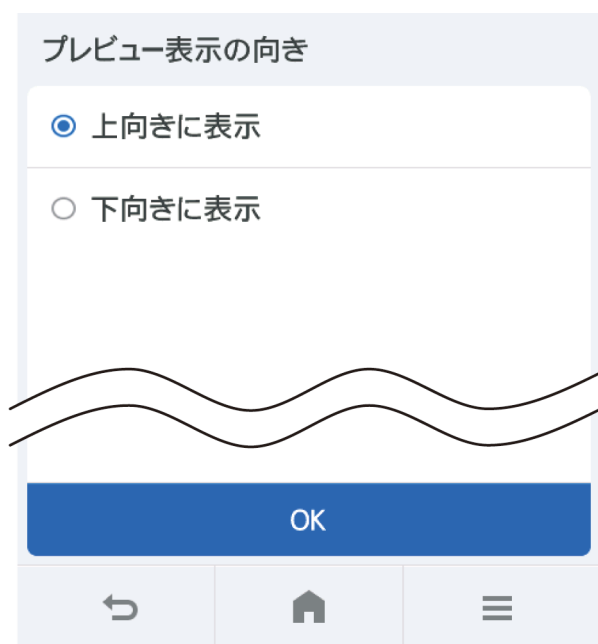
8.18 プレビュー表示設定

プレビュー画像の表示方向を設定します。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[プレビュー表示の向き]を選択します。
- 2 表示方向を選択し、[OK]を押します。



- メニュー選択時は現在の設定値が表示されます。



8.19 ファイル名表示設定

印刷データのファイル表示名を設定します。

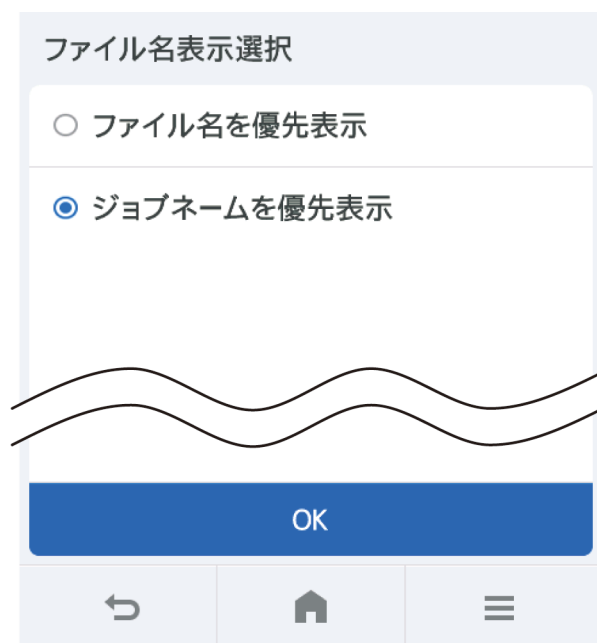
設定した表示名は、待機画面・受信履歴の選択画面・USBメモリからの読み込み画面に反映されます。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[ファイル名表示選択]を選択します。
- 2 表示方法を選択し、[OK]を押します。



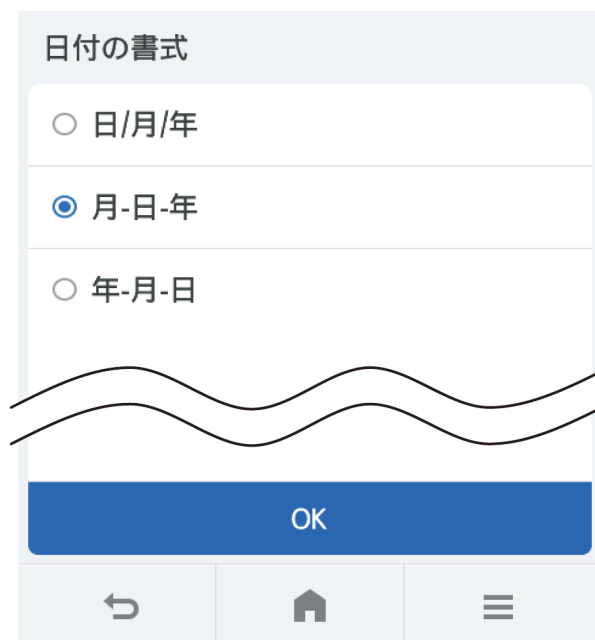
参考

- ジョブネームは画像編集アプリケーションが自動で設定します。



8.20 日付フォーマットの設定

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[日付の書式]を選択します。
- 2 表示方法を選択し、[OK]を押します。

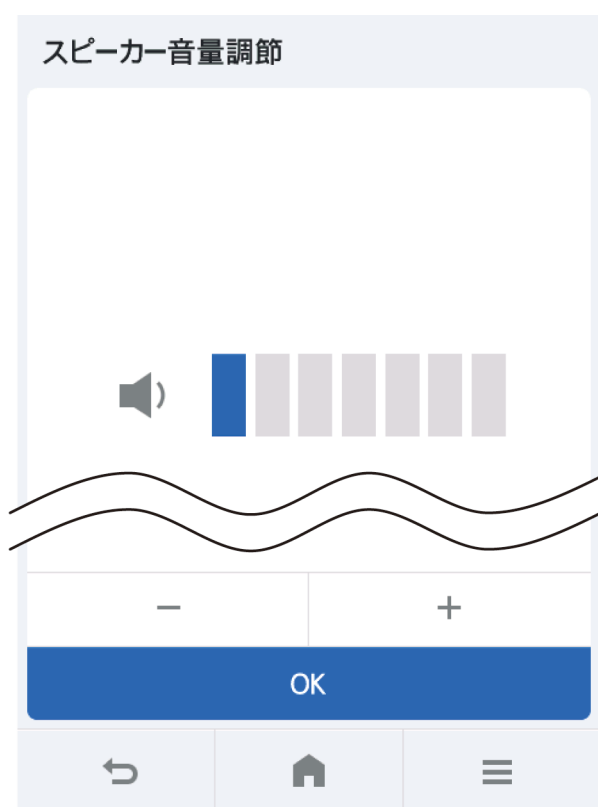


8.21 スピーカー音量の調節

- 1 メニューから[プリンター設定]>[表示設定]>[スピーカー音量調節]を選択します。
- 2 スピーカーのボリュームを音量0~7の8段階で調節し、[OK]を押します。

参考

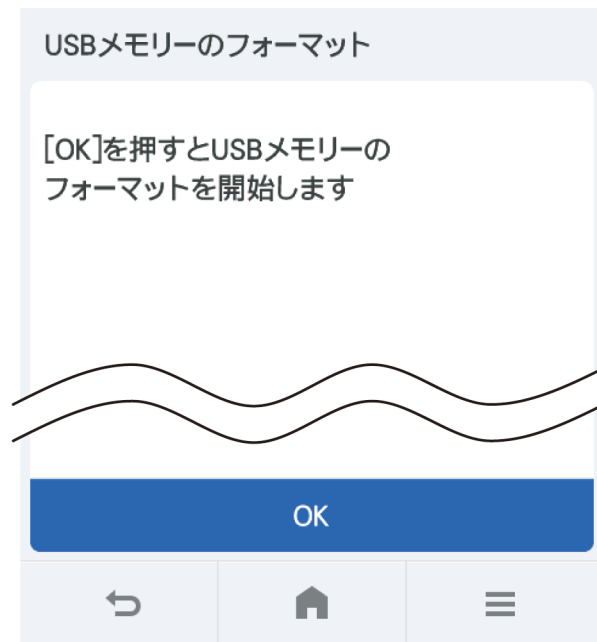
- 音量を確認しながら、ボリュームの調節ができます。



8.22 USBメモリーのフォーマット

USBメモリーをFAT32でフォーマットします。

- 1 USBメモリーを挿入し、[プリンター設定]>[表示設定]>[USBメモリーのフォーマット]を選択します。
- 2 [OK]を押すとUSBメモリのフォーマットを開始します。



注意

- フォーマットを行うとUSBメモリー内のデータは削除されます。
必要なデータは保管してから実施してください。

8.23 IPアドレス設定

[IPアドレス設定]で手動設定・自動取得を選択し、手動設定する場合は[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を設定します。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[IPアドレス設定]を選択します。
- 2 [手動設定する]、[自動取得する]のいずれかを選択します。



参考

- [自動取得する]を選択した場合は、自動取得後に待機画面へ戻ります。



- 3 手動設定する場合、タッチパネルによって数値を設定します。

- 4 [OK]を押すと値が確定し、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]の順に画面が移行します。



参考

- 画面は一例です。

IPアドレス設定

IPアドレス

[OK]でサブネットマスク画面へ

192.168.100.188

| | | |
|---|---|-----|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |
| | 0 | ⓧ |
| | | ◀ ▶ |

OK

⏪ 🏠 ☰

IPアドレス設定

サブネットマスク

[OK]でゲートウェイ画面へ

000.000.000.000

IPアドレス設定

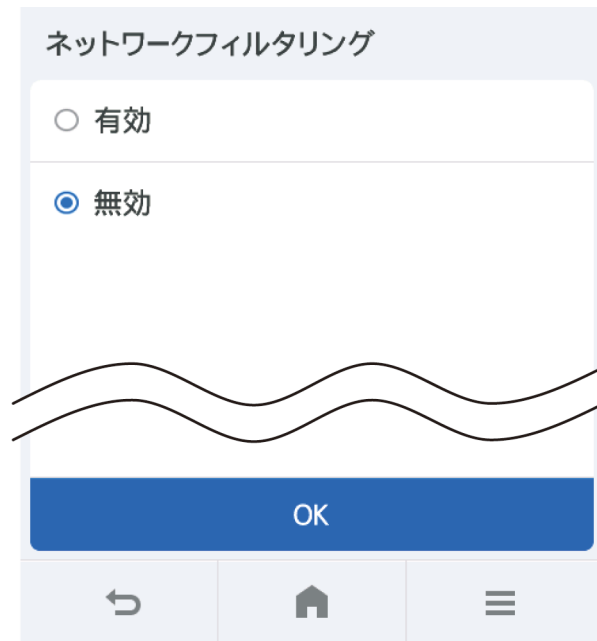
デフォルト
ゲートウェイ

000.000.000.000

8.24 ネットワークフィルタリングの設定

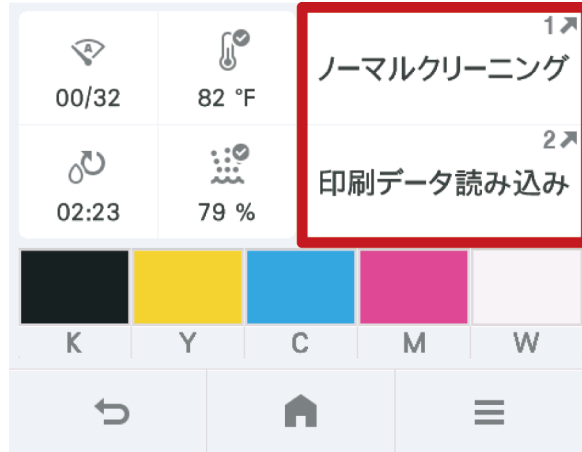
LANのセキュリティを高めるための機能です。この機能を有効にするか、無効にするかを設定します。[有効]に設定すると、特定のPCからのみアクセスを許可します。標準では[無効]に設定されています。

- 1 メニューから[プリンター設定]>[ネットワークフィルタリング]を選択します。
- 2 [有効]、[無効]のどちらかを選択し、[OK]を押します。



8.25 ショートカットボタンの設定

操作パネル上のショートカットボタン1、2を押したときの動作を設定することができます。



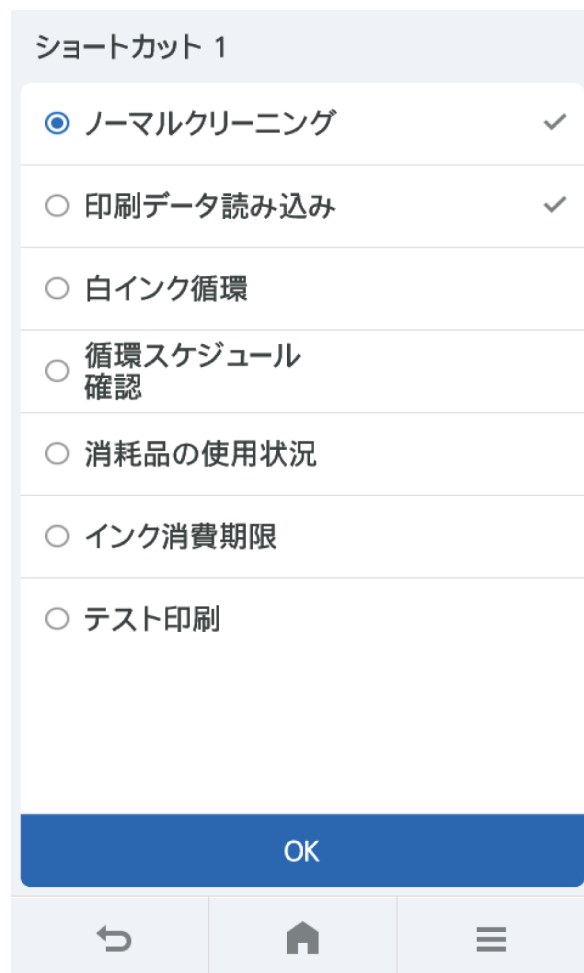
- 1 メニューから[プリンター設定]>[ショートカットボタン設定]を選択します。
- 2 [ショートカット 1]または[ショートカット 2]を選択します。

| ショートカットボタン設定 | |
|--------------|------------|
| ショートカット 1 | ノーマルクリーニング |
| ショートカット 2 | 印刷データ読み込み |

3 設定する機能を選択し、[OK]を押します。

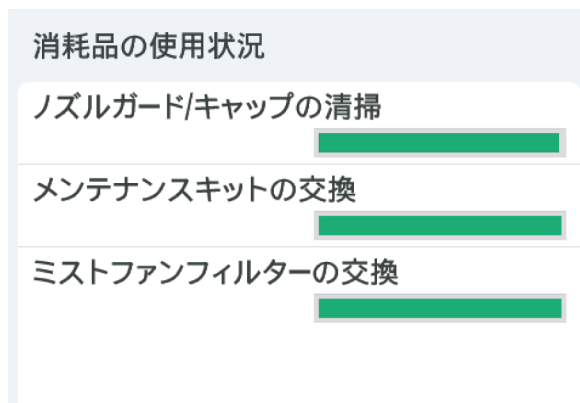
参考

- メニュー選択時は現在の設定値が表示されます。
- [ノーマルクリーニング]を選択した場合は、ノーマルクリーニングのヘッド選択メニューへ移行します。
- [印刷データ読み込み]を選択した場合は、印刷データ読み込みのファイル選択画面へ移行します。
- [白インク循環]を選択した場合は、白インク循環を開始します。
- [循環スケジュール確認]を選択した場合は、循環スケジュール確認画面へ移行します。
- [消耗品の使用状況]を選択した場合は、消耗品の使用状況確認画面へ移行します。
- [テスト印刷]を選択した場合は、テスト印刷のインク選択画面へ移行します。



8.26 消耗品の使用状況の表示

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[消耗品の使用状況]を選択します。
- 2 各消耗品の使用状況が表示されます。



8.27 インク消費期限の表示

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[インク消費期限]を選択します。
- 2 インク消費期限が表示されます。

インク消費期限

| | |
|--------|-------|
| ● ブラック | ----- |
| ● イエロー | ----- |
| ● シアン | ----- |
| ● マゼンタ | ----- |
| ○ 白 | ----- |

8.28 累積印刷枚数の表示

累計の印刷枚数を表示します。

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[累積印刷枚数]を選択します。
- 2 累計の印刷枚数が表示されます。



参考

- 印刷に成功した枚数のみをカウントし、キャンセルした枚数は含みません。
- テスト印刷などの印刷動作を含むものはすべてカウントされます。
- 画面は一例です。
- 累積印刷枚数のカウントはリセットできません。

| 累積印刷枚数 | |
|--------|-----|
| 印刷枚数 | 267 |

8.29 カートリッジ脱着履歴

白インクカートリッジが60秒以上、抜かれていたときの履歴を表示します。

攪拌作業などを定期的に行っているかどうか確認できます。

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[カートリッジ脱着履歴]を選択します。
- 2 白インクカートリッジの脱着履歴が表示され、スクロールで過去の脱着履歴を見ることができます。

| カートリッジ脱着履歴 (UTC) | | |
|------------------|-------|-------|
| 03-11 | 02:01 | 0 Sec |
| 04-02 | 10:42 | 0 Sec |
| 04-25 | 19:22 | 0 Sec |
| 05-19 | 04:03 | 0 Sec |
| 06-11 | 12:43 | 0 Sec |

8.30 循環スケジュール確認

白インク循環の実施時間を確認することができます。

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[循環スケジュール確認]を選択します。
- 2 循環する時刻を表示します。



参考

- メンテナンスツールで白インク循環予約時間の設定をしていない場合は、循環時刻は表示されません。
- ホーム画面からも確認することができます。

| 循環スケジュール確認 | |
|------------|--------------|
| 現在時刻 | 16:15 |
| 1 | 01:00 |
| 2 | 04:00 |
| 3 | 07:00 (Long) |
| 4 | 10:00 |
| 5 | 13:00 |
| 6 | 16:00 |
| 7 | 19:00 |
| 8 | 22:00 |

8.31 温度湿度情報の表示

環境温度と湿度を表示します。

- 1 メニューから[プリンター稼働情報の表示]>[温度と湿度]を選択します。
- 2 環境温度と湿度を表示します。



参考

- 温度表示の単位は温度表示設定で設定します。
- 画面は一例です。

| 温度と湿度 | |
|---------|----|
| 温度 [°C] | 28 |
| 湿度 [%] | 79 |

8.32 通信設定の確認

[通信設定の確認]で[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[ホスト名]、[MACアドレス]を表示します。

- 1 メニューから[通信設定の確認]を選択します。
- 2 [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[ホスト名]、[MACアドレス]が表示されます。



参考

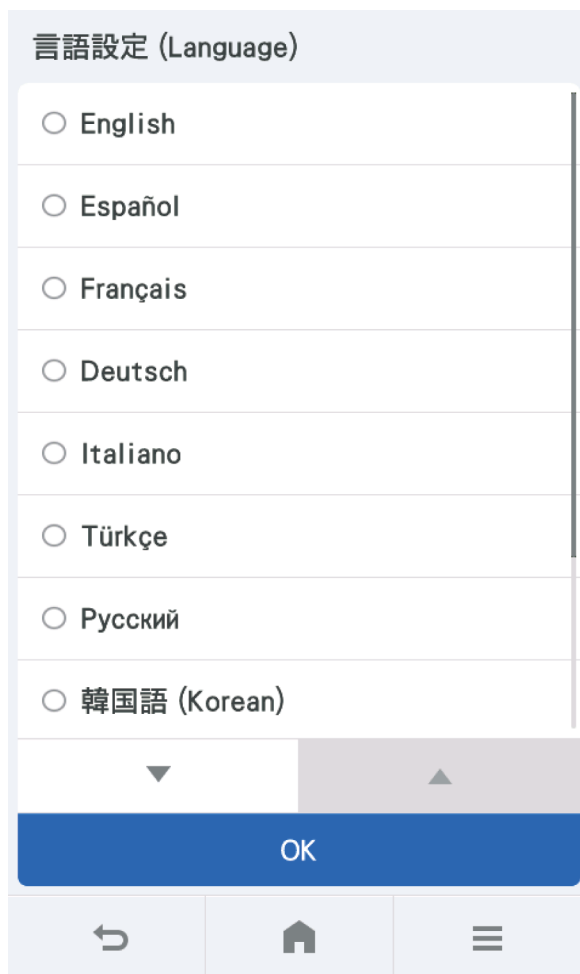
- 画面は一例です。

| 通信設定の確認 | |
|-------------|-------------------|
| IPアドレス | 192.168.100.188 |
| サブネットマスク | 255.255.255.000 |
| デフォルトゲートウェイ | 000.000.000.000 |
| ホスト名 | GTX300-fd8130 |
| MACアドレス | 01:1B:A9:FD:B1:40 |

8.33 言語設定

液晶パネルに表示する文字の言語を選択します。

- 1 メニューから[言語設定]を選択します。
- 2 [言語設定]から設定したい言語を選択し、[OK]で決定します。
- 3 メッセージに従い、電源を入れ直します。



8.34 バージョン表示

ファームウェアのバージョン情報[ファームバージョン]、[データ情報]、[シリアル番号]、[ヘッド情報]、[オープンソースライセンス]、[プロフェッショナルメニュー]を表示します。

- 1 メニューから[バージョン情報]を選択します。
- 2 [ファームバージョン]、[データ情報]、[シリアル番号]、[ヘッド情報]、[オープンソースライセンス]のいずれかを選択します。



- 3 選択した画面が表示されます。



参考

- [プロフェッショナルメニュー]はサービスマンが調整などで使用する画面です。

8.34.1 ファームウェアのアップデート

新しいファームウェアがリリースされたときはファームウェアのアップデートをしてください。



参考

- 新しいファームウェアのリリース情報はブラザー工業株式会社のホームページで確認してください。

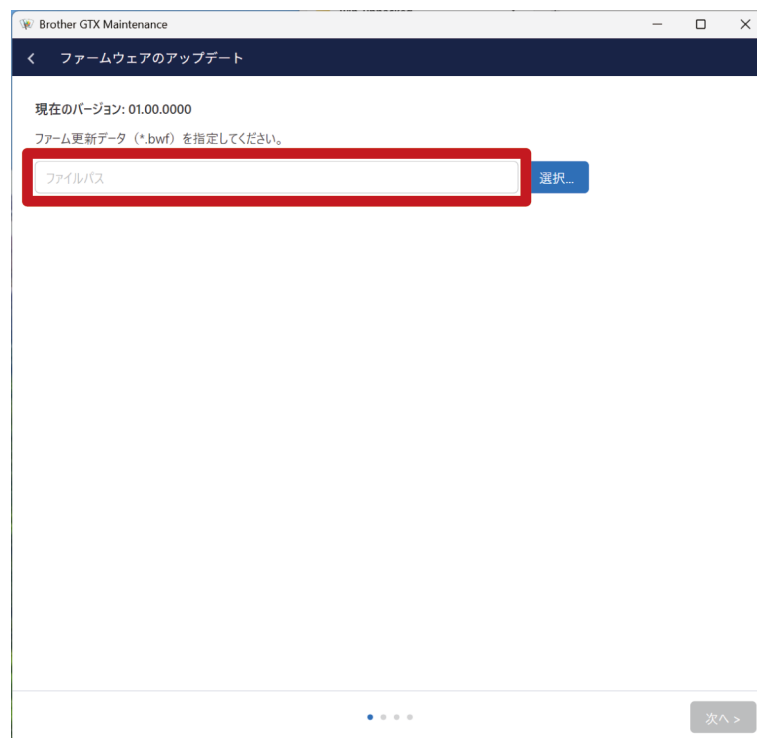
- 1 ファームウェアの更新データをブラザー工業株式会社のホームページからダウンロードします。
- 2 スタートメニューから「Brother GTX Maintenance Tools」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 3 起動した「GTX Maintenance」内の「ファームウェアのアップデート」を選択します。
- 4 ファーム更新データ (.bwf) を指定します。



- 5 PCとプリンターをUSB 2.0ケーブルまたはLANケーブルで接続し、画面の手順に従ってファームウェアをアップデートします。

Chapter 9

トラブルシューティング

作業前に巻頭の安全にお使いいただくために (p.8) をよくお読みください。

9.1 こんなときは

以下の内容を参照して、トラブルを解決してください。

PCから印刷データが送信できない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-----------------------------|--|------------------------------------|
| 違うプリンターを選んでいませんか？ | 印刷メニューでプリンター名を確認してください。 | - |
| USBまたはLANは接続されていますか？ | USB 2.0ケーブルまたはLANケーブル（カテゴリ5e以上）の接続を確認してください。 | - |
| 仕様外のPCやOSを使っていませんか？ | PCの動作環境を確認してください。 | ソフトウェア (p.354) |
| 仕様外のUSB 2.0ケーブルを使っていませんか？ | 仕様に合うUSB 2.0ケーブルを使用してください。 | 他にご用意いただくもの (p.22) |
| プリンターとPCの間にノイズが発生していませんか？ | USB 2.0ケーブル／LANケーブルを一旦抜き、5秒後に再度接続してください。もし問題が解決されないときはプリンターの電源を一旦切り、5秒後に再起動してください。 | - |
| PCが正常に動作していますか？ | PCを再起動してください。 | - |
| PCに他のUSBデバイスがつながっていませんか？ | 他のUSBデバイスを取り外し、PCを再起動したのち、プリンターの動作確認を行ってください。 | - |
| USBケーブル／LANケーブルが不調ではありませんか？ | 別のケーブルをご使用ください。 | - |

プリントボタンを押しても印刷が開始されない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---|---------------------------------------|----------------------------------|
| 印刷予約中（ボタンが高速で点滅）になっていませんか？ | 印刷可能状態になり次第、自動的に印刷開始されます。しばらくお待ちください。 | - |
| エラーが表示されていませんか？ | エラーの原因を取り除き、再度、印刷を行ってください。 | エラーメッセージ (p.331) |
| メニュー画面に入っている、またはメニューからメンテナンス動作を実行中ではありませんか？ | メニューから抜けてください。またはメンテナンス動作終了までお待ちください。 | - |
| 自動ヘッドクリーニング中ではありませんか？ | ヘッドクリーニングが終わるまでお待ちください。 | - |
| 白インク循環中ではありませんか？ | 白インク循環が終わるまでお待ちください。 | - |

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---|--|--|
| 室温が使用条件に合っていますか？ | PCの動作環境を確認して、室温を調整してください。 | 装置 (p.353) |
| プリンターがデータを受信していない、または受信（プリントボタンが点灯状態ではない）ではありませんか？ | 印刷データをプリンターに送信してください。または印刷データの受信が完了するまでお待ちください。 | - |
| プリントヘッドが高温になりメッセージ[カラーヘッド温度上昇]または[Wヘッド温度上昇]が表示されていませんか？ | プリントヘッドのフラットケーブルが正しく装着されておらず、プリントヘッド温度が上昇している可能性があります。 電源を切り、フラットケーブルの接続を確認して、温度が下がるまでお待ちください。 | - |
| 室温が使用条件にあっていますか？ | 動作環境を確認して、プリンター付近の温度を調整してください。 Tシャツ印刷の場合とフィルム印刷の場合で、印刷可能な温度が異なります。印刷しようとしているデータが、Tシャツ印刷の場合のものであるのか、フィルム印刷の場合のものであるのか確認してください。 | 装置 (p.353) 低温下限印刷モードの設定 (DTF) (p.261) |

プリンターの電源が入らない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------|--------------------|-----|
| 電源コードはつながっていますか？ | 電源コードの接続を確認してください。 | - |

プリンター起動直後にエラーが発生する

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-----------------|--|------------------|
| エラーが表示されていませんか？ | エラー内容を確認し、プリンターを再起動してください。エラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 | エラーメッセージ (p.331) |

USBメモリー内の印刷データが読めない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-----------------------------|---|-----|
| USBメモリーは正しく挿入されていますか？ | USBメモリーを確実に挿入してください。 | - |
| ファイルがARPまたはAR3ファイルではありませんか？ | GT-541/GT-782/GT-3の印刷データは印刷できません。印刷データを作り直してください。 | - |

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------|---|-----|
| USBメモリーの仕様は条件に合っていますか？ | メディア容量2GB～32GBで、FAT32でフォーマットされたものをご使用ください。パスワードロック機能などのセキュリティ機能付や32GBを超えたUSBメモリーは使用できません。 | - |
| USBメモリーが壊れていませんか？ | PC等で動作を確認してください。別のUSBメモリをお試しください。 | - |

片方向印刷・双方向印刷できない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|----------------------------------|--|---------------------------------|
| プリンタードライバーの設定とプリンターの設定は一致していますか？ | プリンターの設定が優先されます。プリンタードライバーの値が有効となるのは、プリンターの設定が[自動]の場合のみです。 | 印刷方向の設定 (p.258) |

インクパウチのインク切れが検知できない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|--|---|------------------------------------|
| インクパウチが正しくセットされていますか？ | インクパウチがインクカートリッジのケース側面に触れていると、正しく検知できない可能性があります。インクパウチを正しくセットしなおしてください。 | インクパウチの交換 (p.210) |
| 白インクの攪拌後、インクカートリッジのふたを開け、インクパウチを正しい位置にセットしていますか？ | 白インクカートリッジのふたを開けて、正しくインクパウチを巻き取りなおしてください。攪拌によって巻き取った部分にインクが流れ込み、正しく巻き取りができていない可能性があります。 | 白インクの毎日の攪拌 (p.146) |

インクパウチを交換してもインク残量表示に×が表示される

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|--------------------------|--|-----|
| 間違った色のインクパウチをセットしていませんか？ | インクパウチを正しい位置にセットしてください。インクパウチ内または印刷物に混色がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 | - |

インクパウチの残量表示が実際と異なる

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|----------------------------|--|-----|
| インクパウチを使用途中の状態です交換していませんか？ | インクが多く残っている使用途中のインクパウチを一度プリンターから抜き取り、その後別のインクパウチをセットしたり、再び元の使用途中のインクパウチをセットした場合、実際の残量とは異なる表示がされることがあります。そのまま使用し、ある程度残量が減ると、正常な残量が表示されます。 | - |

9.2 印刷品質問題を解決する

以下の内容を参照して、トラブルを解決してください。

印刷が薄い

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---|--|--------------------------|
| 画像編集アプリケーションの設定が不適切であるか、画像がCMYKモードではありませんか？ | 画像を編集してください。 | その他のアプリケーションを使用する (p.88) |
| 印刷条件が不適切であるか、画像データが彩度不足ではありませんか？ | [画質設定]で適切な彩度やコントラストを調整してください。 | 画質を設定する (p.119) |
| カートリッジ内のインクはありますか？ | 新しいインクパウチに交換してください。 | インクパウチの交換 (p.210) |
| ノズルに不吐出がありませんか？ | メニューから[ヘッドクリーニング]を実行してください。 改善されない場合は、参照先の手順に従ってください。 | 不吐出ノズルを回復させるためには (p.306) |
| ヘッド交換後の初期設定を行いましたか？ | ヘッド交換後の初期設定を行ってください。 | ヘッド交換後の初期設定 (p.73) |
| [低温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | [低温印刷モード設定]を[高画質 (デフォルト)]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |

印刷物に横筋（バンディング）が見える

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------|---|--|
| ノズルに不吐出がありませんか？ | メニューから[ヘッドクリーニング]を実行してください。 改善されない場合は、参照先の手順に従ってください。 | 不吐出ノズルを回復させるためには (p.306) |
| 吸水性の高い印刷メディアへ印刷していますか？ | プリントヘッドの印刷方向を[常に片方向]に設定してください。 また、カラーの複合パス印刷も組み合わせてください。 | 印刷方向の設定 (p.258) 複合パス印刷にするかを設定する (p.115) |
| プラテンの高さが低すぎませんか？ | プラテン高さを印刷物に応じて適切な高さに調節してお使いください。 プラテン高さ調整レバーで高さの調節できます。 目安として、障害物センサーに検出される限界の高さから一段階下げた高さに調節し、障害物センサーに検出されないことを確認してください。 | 印刷物の装着 (p.179) |

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------------|--|--------------------|
| 吐出タイミングは合っていますか？ | 吐出タイミング調節をやり直してください。ヘッドを交換したり、プラテンを交換した場合、またはプラテン高さを変更した場合に設定値が合っていない可能性があります。 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| プラテン送りは合っていますか？ | プラテン送りの調節を行ってください。ヘッドを交換したり、プラテンを交換した場合に設定値が合っていない可能性があります。 | プラテン送りの調整 (p.76) |
| 印刷データの[白高速印刷]がONで作成されていませんか？ | 白高速印刷のチェックを外して印刷データを作成してください。 | 白インクを設定する (p.110) |
| 低温ではありませんか？ | ワイブ頻度の設定を変更してください。 | ワイブ頻度の設定 (p.268) |
| [低温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | [低温印刷モード設定]を[高画質 (デフォルト)]に変更してください。 それでも改善されない場合は[最高画質]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |
| [高温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | [高温印刷モード設定]を[高画質 (デフォルト)]に変更してください。 | 高温印刷モードの設定 (p.263) |

にじみがある ([カラーインクのみ]で印刷した場合)

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-------------------------|---|-------------------|
| 印刷メディアに対してインク量が多すぎませんか？ | インクボリュームを印刷してにじみを確認し、[インク量:]の最適な設定値を選択してください。 | インク量を調整する (p.137) |

にじみがある ([カラー+白インク]で印刷した場合)

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------------------|---|--|
| [白インク設定:]の[ハイライト:]の設定値が大きすぎませんか？ | ハイライトチェックパターンを印刷してにじみを確認し、[ハイライト:]の最適な設定値を選択してください。 | ハイライトチェックパターン/ マスクチェックパターンの印刷 (p.138) 白インクを設定する (p.110) |
| | [白/カラーの個別印刷]や[カラーの複合パス印刷]のチェックボックスをONにすると、白インクの上にカラーインクが乗るまでの時間が延びるため、にじみにくくなります。ハイライトを下げずに、にじみをなくしたい場合にお試してください。 | 白インクを設定する (p.116) 複合パス印刷にするかを設定する (p.115) |
| [白インクの設定]の[にじみ軽減]のチェックが外れていませんか？ | [白インクの設定]の[にじみ軽減]にチェックを入れてください。 | 白インクを設定する (p.116) |
| [低温下限印刷モード設定 (DTF)]が[無効]になっていませんか？ | 部屋の温度を15°C以上に調整してください。 室内温度の調整が難しい場合は、[低温下限印刷モード設定 (DTF)]を、[高画質]または[最高画質 (デフォルト)]に変更してください。 | 低温下限印刷モードの設定 (DTF) (p.261) |

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|----------------------------|--|--------------------|
| [低温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | 部屋の温度を19°C以上に調整してください。 室内温度の調整が難しい場合は、[低温印刷モード設定]を[高画質（デフォルト）]または[最高画質]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |

印刷データがないところにインクが付く（インク染み、横筋など）

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|--|---|---|
| ワイパーやヘッドキャップからあふれた廃インクでプリントヘッド周りが汚れていませんか？ | ヘッド回りと吸引キャップを掃除してください。 さらに、新しいワイパーに交換してください。 | ノズルガード、吸引キャップの清掃 (p.218) ワイパーの交換 (p.226) |
| ノズル面に糸くずが付いていませんか？ | ノズルガードの掃除をしてください。 | ノズルガード、吸引キャップの清掃 (p.218) |
| キャリッジプレートが汚れていませんか？ | キャリッジプレートの掃除をしてください。 | キャリッジプレートの清掃 (p.248) |
| プリントヘッドがTシャツに擦っていませんか？ | Tシャツ表面を平らにし、必要ならプラテンの高さを調節してください。 | 印刷物の装着 (p.179) |
| フラッシングフォームが汚れていませんか？ | 新しいフラッシングフォームに交換してください。 | フラッシングフォームの交換 (p.234) |
| プラテンシートが汚れていませんか？ | プラテンシート交換については販売店に問い合わせしてください。 | - |
| プリントヘッドを固定しているキャリッジに付着したインクが垂れていませんか？ | キャリッジプレートを清掃し、付着したインクを取り除いてください。 | キャリッジプレートの清掃 (p.248) |

画像の端がぼやけている、文字や直線が二重になる、粒状感がひどい

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------|---|-------------------|
| プラテンの高さが低すぎませんか？ | プラテン高さを印刷物に応じて適切な高さに調節してお使いください。 プラテン高さ調整レバーで高さの調節できます。目安として、障害物センサーに検出される限界の高さから一段階下げた高さに調節し、障害物センサーに検出されないことを確認してください。 | プラテン高さの調整 (p.168) |
| 吐出タイミングは合っていますか？ | 吐出タイミング調節をやり直してください。ヘッドを交換したり、プラテンを交換した場合、またはプラテン高さを変更した場合に設定値が合っていない可能性があります。 | 吐出タイミング調整 (p.75) |
| プラテン固定レバー、ノブが緩んでいませんか？ | プラテン固定レバー、ノブを締め直してください。 | プラテン高さの調整 (p.168) |

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-------------------------|--|-----|
| プリンター設定画面で画像を拡大していませんか？ | 解像度の低い画像をプリンター設定画面で拡大すると、印刷したときに画像がぼけたり、角ぼったりする場合があります。柄データは画像編集アプリケーション上で拡大して、画像の粗さを確認してください。 | - |

薄い色がだんだん印刷できなくなった

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---------------------------------------|--|---|
| 比較的気温が高く非常に乾燥しており、ノズル面が乾燥しがちではありませんか？ | フラッシング頻度を増やしてください。また、フラッシング量を増やしてください。 | フラッシング間隔の設定 (p.269) フラッシング量の設定 (p.270) |

白がムラになる

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---|--|------------------------------------|
| 前処理剤の塗布にムラがありませんか？ | 前処理剤を推奨の塗布量で均一に塗布してください。 | 前処理剤の塗布 (p.157) |
| 前処理剤による前処理ローラーの硬度変化や変形がありませんか？ (前処理ローラーをお使いの場合) | 前処理ローラー使用後は、ポリ袋等に密閉するなどして乾燥を避け、平らな場所に立てて保管してください。 また、2週間以上使用しない場合は流水で十分に洗浄し、日陰で乾燥させてください。 | - |
| 前処理剤の定着後に水分が付着していませんか？ | 前処理剤を定着した後に水分が付かないようにしてください。 | 前処理剤の定着 (p.164) |
| 前処理ローラーの表面に毛羽、糸ゴミ、ほこり等が付着していませんか？ (前処理ローラーをお使いの場合) | 前処理ローラーの表面をきれいにしてください。 | 前処理剤の塗布 (p.157) |
| 前処理剤の希釈後に攪拌はしましたか？ | 前処理剤を十分に攪拌してください。 | 前処理剤の希釈 (p.155) |
| [低温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | [低温印刷モード設定]を[高画質 (デフォルト)]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |
| 前処理剤の定着が不十分ではありませんか？ | ヒートプレスの実温度や定着時の圧力などを確認してください。 ヒートプレスの下ゴテ (メディアを置く部分) を熱源で常に暖めておく場合もあります。 | 前処理剤の定着 (p.164) |

白さが足りない

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|----------------------------------|--|---|
| 前処理剤の塗布量が不十分ではありませんか？ | 正しい塗布量の前処理剤を塗布してください。 | 前処理剤の塗布 (p.157) |
| 前処理剤の定着が不十分ではありませんか？ | ヒートプレスの実温度や定着時の圧力などを確認してください。 | 前処理剤の定着 (p.164) |
| ノズルに不吐出がありませんか？ | メニューから[ヘッドクリーニング]を実行してください。 改善されない場合は、参照先の手順に従ってください。 | 不吐出ノズルを回復させるためには (p.306) |
| 白インクの循環が不十分ではありませんか？ | メニューから[メンテナンス]>[白インク循環]を実行してください。 それでも回復しない場合は、メニューから[メンテナンス]>[エア抜きクリーニング]で指定の白インクを選択し、流路内のエア抜きクリーニングを実施してください。 [白インク循環]した後、[エア抜きクリーニング]を実施することは、GTXproの[白さ回復]の機能に相当します。 | - |
| 白インクの攪拌が不十分ではありませんか？ | 白インクがインクパウチの底に溜まっている場合は100回に限らず、十分に攪拌されるまで振ってください。 また、インクの残量が残り15 cm程度になったら、ふたを開けてインクパウチの巻き取り部分を少し戻した状態で振ってください。 | - |
| [低温印刷モード設定]が[無効]になっていませんか？ | [低温印刷モード設定]を[高画質 (デフォルト)]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |
| 前処理剤の希釈率を間違えていませんか？ | 正しく前処理剤を希釈してください。 | 前処理剤の希釈 (p.155) |
| [白インク設定:]の[ハイライト:]の設定値が小さすぎませんか？ | ハイライトチェックパターンを印刷してにじみを確認し、[ハイライト:]の最適な設定値を選択してください。 | ハイライトチェックパターン／マスクチェックパターンの印刷 (p.138) 白インクを設定する (p.110) |

光沢が目立つ

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|--|---|-----|
| インク定着に使用する剥離シートにテフロン加工されたものを使用していませんか？ | 光沢を減らすために、インク定着時にシリコン加工の剥離シートを使用してください。 | - |

毛羽が目立つ

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|--------------------------------|--|-----|
| 印刷直前の印刷メディア（Tシャツ）に触れていませんか？ | プラテン上で印刷メディア（Tシャツ）を平らにするなど、印刷直前にメディアに触りすぎると毛羽が目立ちやすくなる場合があります。前処理定着した後は、極力表面を触らないようにしてください。 | - |
| 前処理剤の定着から印刷まで時間が長くかかっていませんか？ | 前処理剤の定着を行った印刷メディア（Tシャツ）をそのまま放置しておくと、メディアが吸湿し毛羽が目立ちやすくなる場合があります。前処理定着後はできるだけ早く印刷するようにしてください。 | - |
| 前処理剤の定着の際、ヒートプレスの上ゴテが汚れていませんか？ | 上ゴテが汚れていると、ヒートプレス完了時に印刷メディア（Tシャツ）の表面を荒らし、毛羽が目立つ場合があります。布などでヒートプレスの上ゴテを掃除してください。 それでも改善しない場合は、前処理剤の定着時に剥離シートを使用することで解決する場合があります。 | - |
| インク定着時に乾燥ムラがありませんか？ | インク定着時に、ヒートプレスの下ゴテ（メディアを置く部分）と印刷メディア（Tシャツ）の間にシリコンフォームを入れることで解決する場合があります。 | - |

[カラー+白インク]で印刷した場合、下地の白インクがはみ出す

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-------------------------|--|--------------------|
| [白とカラーの位置合わせ]がずれていませんか？ | 生地の厚みが変わったり、プラテンの高さが変わった場合、白インクとカラーインクの印刷位置がずれることがあります。実際に印刷する生地ですら、プラテンの高さを調整してから、白とカラーの位置合わせを実施してください。 | 白とカラーの位置合わせ (p.77) |
| 濡れると伸縮しやすい生地ではありませんか？ | 白インクで濡れた生地が伸びて、白インクとカラーインクの印刷位置がずれることがあります。 [白インクの削り幅:]を増やすことで、下地の白インクがはみ出しにくくなります。 | 白インクを設定する (p.116) |

インク定着後、印刷面が割れる

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------|--------------------------------------|-----|
| インク定着前に印刷面を折り曲げていませんか？ | インク定着が終わるまでは、できるだけ印刷面を触らないようにしてください。 | - |

プリンター本体の左側面の下がインクで汚れている

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-----------------------------|---------------------------|-----|
| メンテナンスユニットの廃液チューブが外れていませんか？ | お買い上げの販売店にご連絡ください。 | - |
| 廃液チューブが閉塞し、廃液が逆流していませんか？ | 廃液チューブの折れを直し、詰まりを取ってください。 | - |

洗浄液タンクから洗浄液が漏れる

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|------------------------|---|---------------------------------|
| プリンター本体が傾いて設置されていませんか？ | プリンター本体を水平にしてください。 改善しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 | プリンターの設置 (p.36) |

印刷時間が長くなった

| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|---------------------------------|---|--|
| フィルム印刷で、気温が19°C未満の環境で印刷していませんか？ | 部屋の温度を19°C以上に調整してください。調整が難しい場合は、[低温印刷モード設定]を[無効]に変更してください。 部屋の温度が15°C未満の場合は、[低温下限印刷モード設定 (DTF)]も[無効]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) 低温下限印刷モードの設定 (DTF) (p.261) |
| Tシャツ印刷で、気温が15°C未満の環境で印刷していませんか？ | 部屋の温度を15°C以上に調整してください。調整が難しい場合は、[低温印刷モード設定]を[無効]に変更してください。 | 低温印刷モードの設定 (p.262) |
| 高温低湿環境で印刷していませんか？ | 部屋の温度を30°C以下に下げてください。 部屋の湿度を35%以上に上げてください。 調整が難しい場合は、[高温印刷モード設定]を[無効]にしてください。 | 高温印刷モードの設定 (p.263) |
| ワイブ頻度が[多め]に設定されていませんか？ | ワイブ頻度を[標準]に変更してください。 | - |

フィルム転写後、Tシャツが白色化する

下記写真のように、転写後一定時間経過した後に印刷が白くなる。



| 原因 | 解決方法 | 参照先 |
|-------------------------|---|---------------------------------|
| パウダーの定着温度が低すぎませんか？ | パウダーの定着温度を 160°C にしてください。 | パウダーの定着 (p.208) |
| パウダーの定着時間が短すぎませんか？ | パウダーの定着時間を 300 秒にしてください。 | パウダーの定着 (p.208) |
| フィルム転写のインク定着温度が低すぎませんか？ | フィルム転写のインク定着温度を 150°C にしてください。 | 印刷物へ転写 (p.209) |
| フィルム転写のインク定着時間が短すぎませんか？ | フィルム転写のインク定着時間を 20 秒+追加プレス 20 秒にしてください。 | 印刷物へ転写 (p.209) |

9.2.1 不吐出ノズルを回復させるためには

ノズルの不吐出が発生した場合は以下の確認を行ってください。

| 確認事項 | 説明 | 対策 | 参照 |
|-----------------------------|--|-----------------|--|
| 吸引キャップのリップ部が汚れていませんか？ | 吸引キャップのリップ部が汚れていると、プリントヘッドと密着できずにインクの吸引が出来なくなる場合があります。 | 吸引キャップの掃除 | ノズルガード、吸引キャップの清掃 (p.218) |
| ノズルガード部分にインクがたまっていますか？ | ノズルガードとノズルの間が汚れていると吸引キャップがプリントヘッドと密着できずに、インクの吸引ができなくなる場合があります。 | ノズルガードの清掃 | ノズルガード、吸引キャップの清掃 (p.218) |
| ノズル面まわりにインクの堆積はありませんか？ | ノズル面のまわりが汚れていると、ノズル面をきれいにワイプできずに不吐出になる場合があります。または、ノズルと吸引キャップの密着性が悪くなりインクの吸引ができなくなる場合があります。 | ノズル面まわりの清掃 | ノズル面まわりの清掃 (p.311) |
| ワイパーが汚れていませんか？ | ワイパー洗浄液がワイパー洗浄槽に十分満たされていないと、ワイパーが汚れ、ノズル面をきれいにワイプできない場合があります。 | ワイパー洗浄液の導入 | メニューから、[メンテナンス]>[ワイパー洗浄槽の操作]>[ワイパー洗浄液の継ぎ足し]を選択 |
| ワイパー洗浄液が汚れていませんか？ | ワイパー洗浄液が汚れていると、ワイパーが十分に洗浄されず、ノズル面をきれいにワイプできない場合があります。 | ワイパー洗浄液の入れ替え | メニューから、[メンテナンス]>[ワイパー洗浄槽の操作]>[ワイパー洗浄液の初期導入]を選択 |
| ワイパーに傷や変形がありませんか？ | ワイパーに傷や変形があると、ノズル面をきれいにワイプできない場合があります。 | ワイパーの交換 | ワイパーの交換 (p.226) |
| フラッシングフォームが正しく装着されていますか？ | フラッシングフォームが浮きなく正しく装着されていないと、ノズル面とフラッシングフォームが接触し、不吐出になる場合があります。 | フラッシングフォームの取り付け | フラッシングフォームの交換 (p.234) |
| フラッシングフォーム上にインクが堆積していませんか？ | フラッシングフォームの上にインクが堆積すると、堆積したインクがノズル面に接触し不吐出になる場合があります。 | フラッシングフォームの交換 | フラッシングフォームの交換 (p.234) |
| 廃液チューブが途中で折れていませんか？ | 廃液チューブが折れると、廃液が流れないため、ヘッドクリーニングでインクが吸引できません。 | 廃液チューブの確認 | 廃インクの確認・処理 (p.144) |
| 廃液チューブの先端が廃液タンクの底に着いていませんか？ | 廃液チューブ先端が接液していると、廃液がスムーズに流れず、ヘッドクリーニングでインクが吸引できません。 | 廃液チューブの確認 | 廃インクの確認・処理 (p.144) |
| ヘッドにチューブが正しくつながっていますか？ | ヘッドとチューブの接合部が緩んでいると、ヘッドクリーニングの際ヘッドに空気が混入し、不吐出になる場合があります。 | ヘッドとチューブ接合部の確認 | プリントヘッドの交換 (p.317) |

| 確認事項 | 説明 | 対策 | 参照 |
|-----------------------------|---|----------------|--|
| チューブ内はインクで満たされていますか？ | チューブ内に空気が大量に入っていると、ヘッドに空気が混入し、不吐出になる可能性があります。 | チューブ内のインクの空気抜き | メニューから、[メンテナンス]>[エア抜きのクリーニング]で該当の流路を選択 |
| インクパウチは正しくカートリッジに設置されていますか？ | インクパウチが正しく取り付けられていないと、カートリッジによる巻き取りが不十分になり、ヘッドに十分なインクを供給できなくなります。 | インクパウチの取り付け | インクパウチの交換 (p.210) |

上記の該当項目について対策を実施後、ヘッドクリーニングを行い、不吐出ノズルが回復したことを確認してください。回復していない場合は、ステップ1~5に従って不吐出ノズルを回復してください。

ステップ1：ノズルチェックパターンを印刷

- 1 ノズルチェックパターンの印刷（1回目）を実施します。ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認）(p.241)
- 2 ノズルチェックパターンの印刷（1回目）の結果を確認し、以下の作業を行ってください。ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認）(p.241)



参考

- 白側の印刷結果の線がうすい場合でも、白インクは同じ位置に複数のノズルで吐出するためインク量が多く、1ノズルあたりの不吐出の悪影響が大きくありません。うすい線がある状態でも、問題なく印刷できます。

| 不吐出ノズルの有無 | 実施事項 |
|-----------|--|
| 不吐出のノズルなし | ノズルチェックパターンの印刷では不吐出がないが、印刷した際に多量の不吐出が発生するときは、販売店へ連絡してください。 |
| 不吐出のノズルあり | ステップ2に進んでください。 |

ステップ2：ヘッドクリーニングを実施

- 1 ノーマルクリーニングを実施します。ヘッドクリーニング (p.245)
- 2 ノズルチェックパターンの印刷（2回目）を実施します。
- 3 ノズルチェックパターンの印刷（2回目）の結果を確認し、以下の作業を行ってください。

| 不吐出ノズルの有無 | 実施事項 |
|-----------------|---|
| 不吐出のノズルなし | 終了 |
| 不吐出のノズル10本未満の場合 | 再度ノーマルクリーニングを実施します。その後、(4)に進んでください。 |
| 不吐出のノズル10本以上の場合 | パワフルクリーニングを実施します。その後、(4)に進んでください。 |
| 不吐出のノズルが半分以上の場合 | インクの再導入を実施します。インクの再導入 (p.327) その後、(4)に進んでください。 |

- 4 ノズルチェックパターンの印刷（3回目）を実施します。
- 5 ノズルチェックパターンの印刷（3回目）の結果を確認し、以下の作業を行ってください。

| 不吐出ノズルの有無 | 実施事項 |
|-----------|----------------|
| 不吐出のノズルなし | 終了 |
| 不吐出のノズルあり | ステップ3に進んでください。 |

ステップ3：ノズルの不吐出を確認

- 1 ノズルチェックパターンの印刷（1～3回目）の不吐出のノズル位置を比較し、以下の作業を行ってください。

| 不吐出のノズル位置の比較 | 実施事項 |
|--------------|--|
| いつも同じノズルが不吐出 | スーパークリーニング→ノズルチェックパターンの印刷を3回続けて実施します。 |
| 異なったノズルが不吐出 | 30分程度放置し、ノーマルクリーニング→ノズルチェックパターンの印刷を3回続けて実施します。 |

- 2 ノズルチェックパターンの印刷の結果を確認し、以下の作業を行ってください。

| 不吐出のノズルの有無 | 実施事項 |
|------------|----------------|
| 不吐出のノズルなし | 終了 |
| 不吐出のノズルあり | ステップ4に進んでください。 |

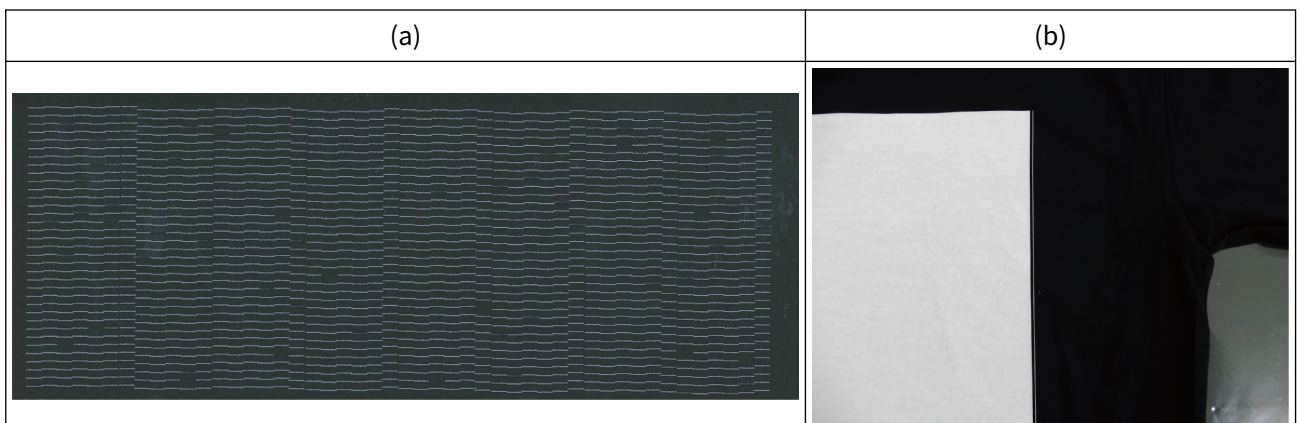
ステップ4：ノズル面の掃除

- 1 ヘッドのノズル面を掃除します。[ヘッドノズルの清掃 \(p.314\)](#)
- 2 ノズルチェックパターンの印刷を実施します。
- 3 ノズルチェックパターンの印刷の結果を確認し、以下の作業を行ってください。

| 不吐出ノズルの有無 | 実施事項 |
|-----------|----------------|
| 不吐出のノズルなし | 終了 |
| 不吐出のノズルあり | ステップ5に進んでください。 |

重要

- 白側のノズルに多少の不吐出があった場合でも、白インクは同じ位置に複数のノズルで吐出するためインク量が多く、1ノズルあたりの不吐出の悪影響が大きくありません。下記 (a) のような不吐出がある状態でも、下記 (b) のように問題なく印刷できます。
- ノズル面の清掃はノズル面に傷をつけるリスクを伴うため、不必要な清掃は避け、その他の手段を試した最終手段として実施してください。



ステップ5：ヘッド交換

- 1 プリントヘッドの交換を実施してください。[プリントヘッドの交換 \(p.317\)](#)

9.2.2 ノズル面まわりの清掃

- 1 同梱品のクリーンスティックR・洗浄カップ・手袋および洗浄液を用意します。

重要

- 清掃を始める際は、新品のクリーンスティックRを使用してください。
- クリーンスティックRの先端は手で触れないでください。皮脂がヘッドノズルに付着すると、不具合の原因となる恐れがあります。

- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]>[ノズルガード/キャップの清掃]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。
- プrintヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は本体カバーを閉じた後、再度[ノズルガード/キャップの清掃]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。



参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 3 本体カバーを開けます。

- 4 洗浄カップ (a) に洗浄液 (b) を適量注ぎます。

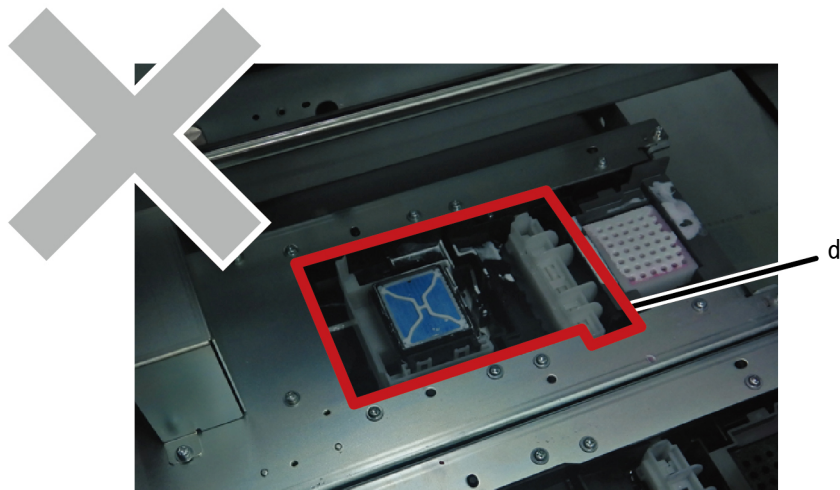
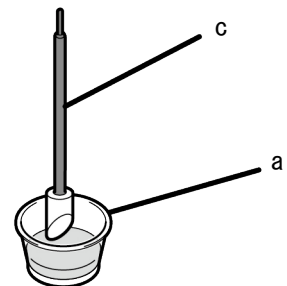
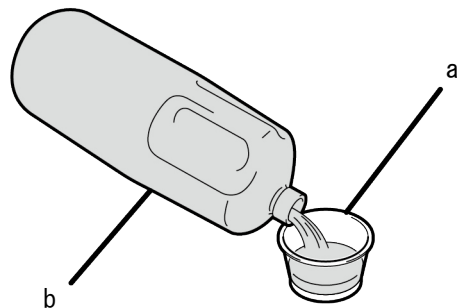
5 クリーンスティックR (c) に洗浄液を含ませます。

重要

- カラーヘッド用と白ヘッド用ではクリーンスティックRを替えて作業してください。
- 他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがあるので使わないでください。
- 洗浄カップに入れた洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。
- メンテナンスユニット内 (d) に洗浄液を流さないでください。

お願い

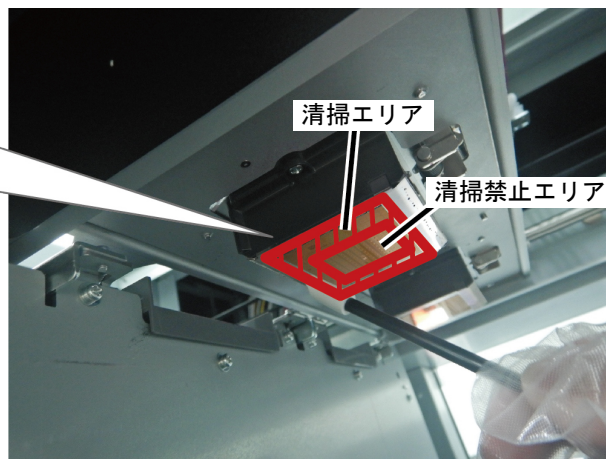
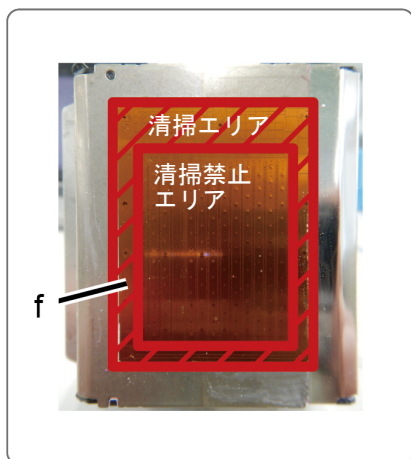
- 付属の手袋をはめて作業してください。



- 6 クリーンスティックRで、プリントヘッドのノズル面の周辺 (f) を掃除します。
 清掃しやすい位置までキャリッジを手で動かしてください。

重要

- ・ クリーンスティックRをノズル面（清掃禁止エリア）に当てないようにしてください。
- ・ 使用したクリーンスティックRは廃棄し、再使用は避けてください。



- 7 本体カバーを閉じて、[OK]を押します。

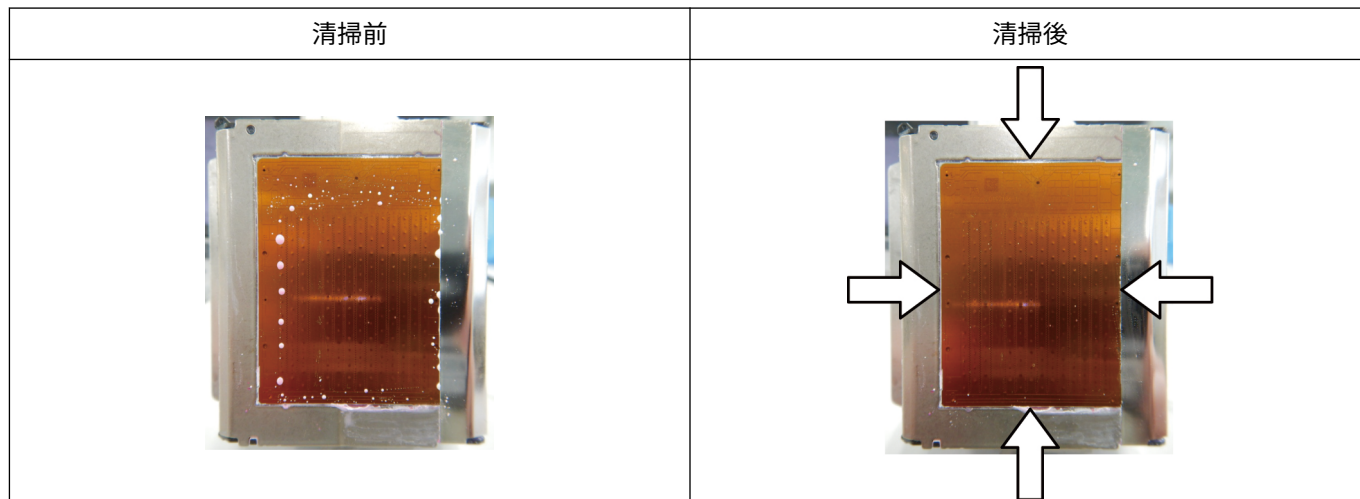
お願い

- ・ 清掃で出た廃棄物は法令に従い処理してください。

参考

- ・ インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。
- ・ 洗浄カップは再使用するので、純水できれいにすすぎ、十分乾燥させ、埃等が入らないように保管してください。

清掃状態



9.2.3 ヘッドノズルの清掃

ヘッドクリーニングを実施してもインクの不吐出が改善されない場合には、ヘッドノズルの清掃を行います。

重要

- ノズルガードを清掃してから、ヘッドノズルの清掃を行ってください。[ノズルガード、吸引キャップの清掃 \(p.218\)](#)

- 1 同梱品のクリーンスティックR・洗浄カップ・手袋および洗浄液を用意します。

重要

- 清掃を始める際は、新品のクリーンスティックRを使用してください。
- クリーンスティックRの先端は手で触れないでください。皮脂がヘッドノズルに付着すると、不具合の原因となる恐れがあります。

- 2 メニューから[メンテナンス]>[メンテナンス部品の清掃と交換]>[ノズルガード/キャップの清掃]を選択します。

重要

- 操作パネルまたはワーニング画面にその他のエラーやメッセージが表示されている場合は、メッセージに従って問題を解決したあとに清掃を行ってください。
- プリントヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で作業を終えてください。
- 15分を超える場合は本体カバーを閉じた後、再度[ノズルガード/キャップの清掃]を選択し、作業を再開してください。インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。



参考

- [OK]を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 3 本体カバーを開けます。
- 4 洗浄カップ (a) に洗浄液 (b) を適量注ぎます。

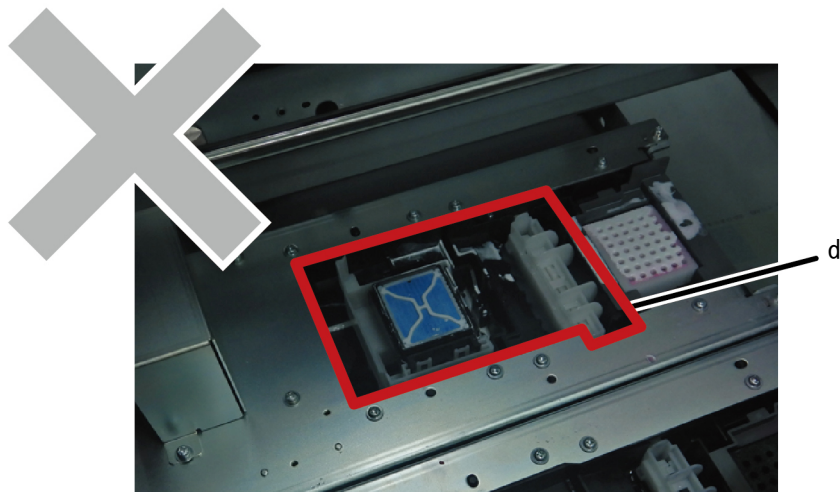
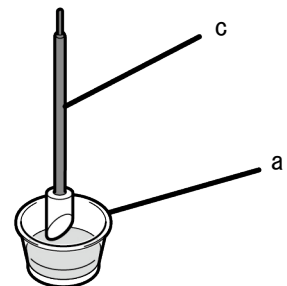
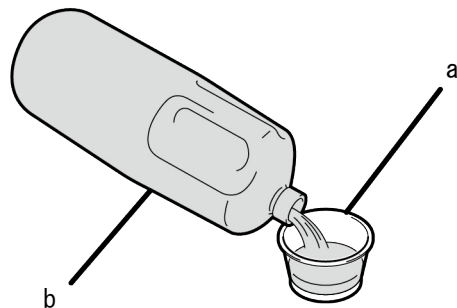
5 クリーンスティックR (c) に洗浄液を含ませます。

重要

- カラーヘッド用と白ヘッド用ではクリーンスティックRを替えて作業してください。
- 他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがあるので使わないでください。
- 洗浄カップに入れた洗浄液は、洗浄液ボトルに戻さないでください。
- メンテナンスユニット内 (d) に洗浄液を流さないでください。

お願い

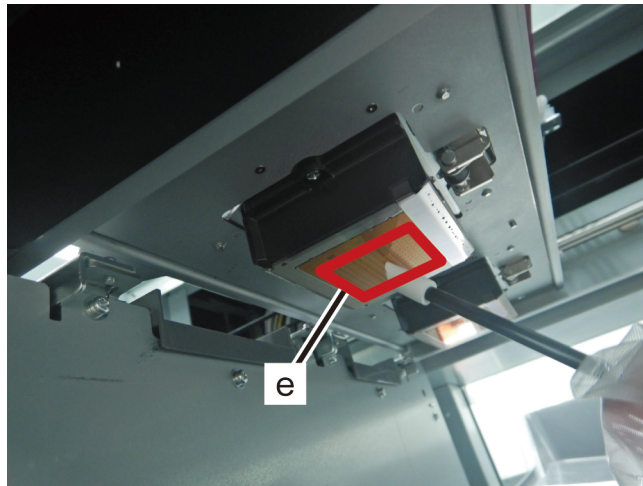
- 付属の手袋をはめて作業してください。



- 6 クリーンスティックRで、プリントヘッドのノズル面（e）を掃除します。
清掃しやすい位置までキャリッジを手で動かしてください。

重要

- クリーンスティックRの角部をノズル面に当てないようにしてください。
- ノズル面は強くこすらないでください。
- 使用したクリーンスティックRは廃棄し、再使用は避けてください。



- 7 本体カバーを閉じて、[OK]を押します。

お願い

- 清掃で出た廃棄物は法令に従い処理してください。

 **参考**

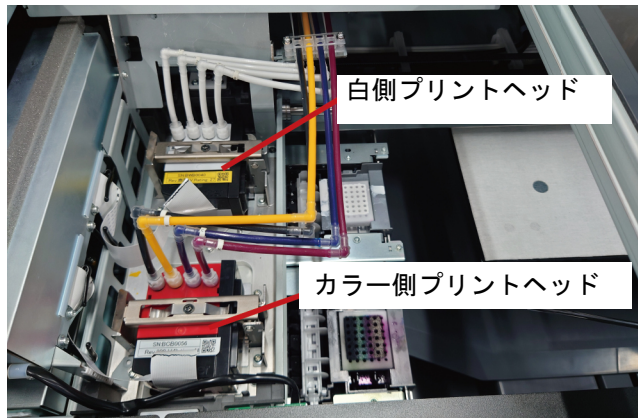
- インク乾きを防止するためのヘッドクリーニングが実施されます。
- 洗浄カップは再使用するので、きれいな洗浄液ですすいで保管してください。

9.2.4 プリントヘッドの交換

ヘッドノズルの清掃を実施してもインクの不吐出が改善されない場合には、プリントヘッドを交換します。

参考

- 白側のプリントヘッドの交換手順を記載しています。カラー側も同様の手順です。
- カラー側のプリントヘッドと白側のプリントヘッドは異なります。
プリントヘッドのカバーの色（カラー側：赤、白側：白）を確認し、交換してください。



- プリントヘッドの交換後はインク導入が必要です。インク量が少ない場合は、新しいインクパウチを用意してください。

- 1 メニューから[メンテナンス]>[ヘッド交換]で該当のヘッドを選択し、画面の指示に従って[OK]を押します。

参考

- [OK] を押すとプラテンが動き出します。プラテンの周りには物を置かないでください。

- 2 メッセージに従って、電源を切ります。

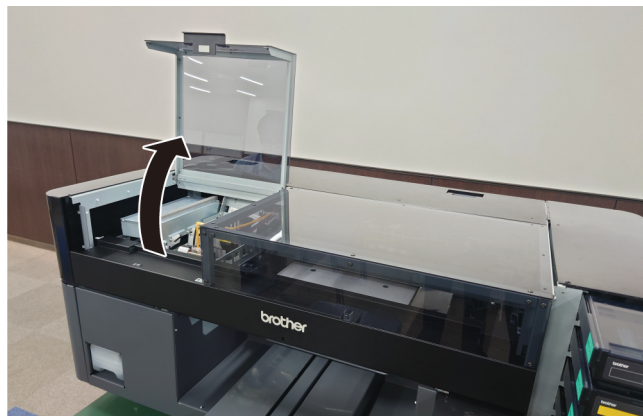
重要

- 本体カバーを開いても自動で電源OFFになりません。必ず電源を切ってから交換作業を行ってください。
- プリントヘッドのインク乾きを防止するために15分以内で交換作業を終えてください。

Chapter 9

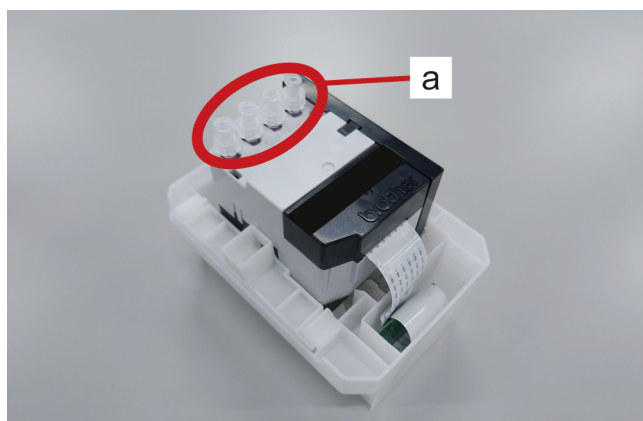
トラブルシューティング

- 3 本体カバーを開けます。



- 4 新しいプリントヘッドの上ケースを外します。

- 5 新しいプリントヘッドからプラグ (4箇所) (a) を外します。



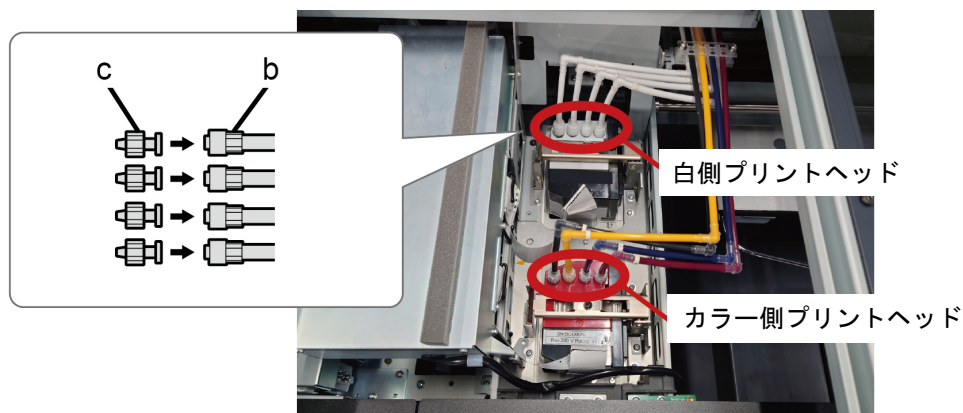
- 6 交換するプリントヘッドからチューブ (b) を抜き、インクが垂れないように新しいプリントヘッドから外したプラグ (4箇所) (c) でチューブに蓋をします。

重要

- チューブからのインク垂れに注意してください。インクが垂れた場合は、垂れたインクを拭き取ってください。
- 交換対象ではないプリントヘッドのチューブと間違えないように注意してください。

お願い

- 付属の手袋をはめて作業してください。



- 7 キャリッジ基板のカバーを固定しているねじ (2箇所) を緩めて、カバーを持ち上げてから手前に引いて外します。

重要

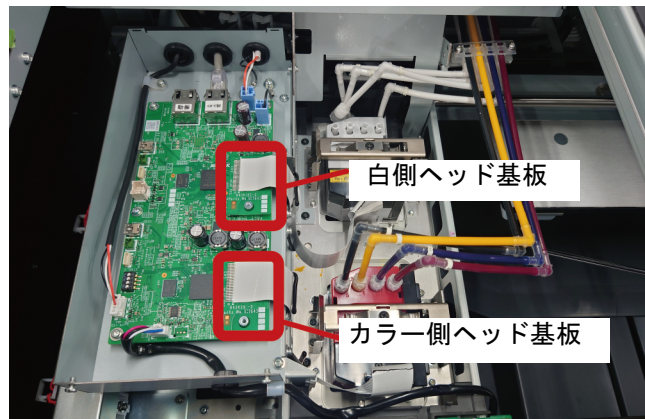
- ねじを緩めすぎて外さないように注意してください。



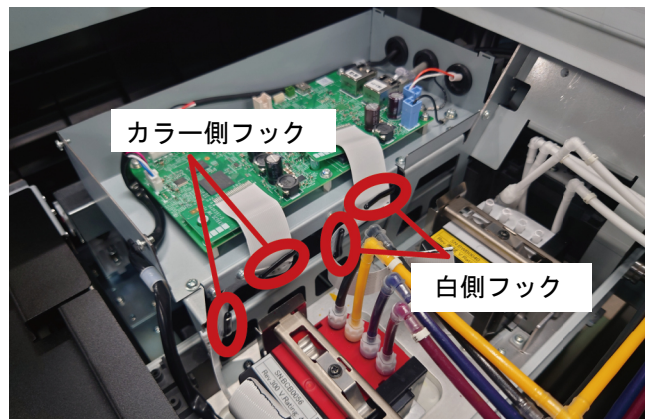
- 8 交換するプリントヘッドのヘッド基板を外します。

! 注意

- 他の基板に当たらないように注意をしてください。



- 9 フック (2箇所) を開いて、フラットケーブルを外します。



10 プリントヘッドのロックを外し、プリントヘッドを取り外します。

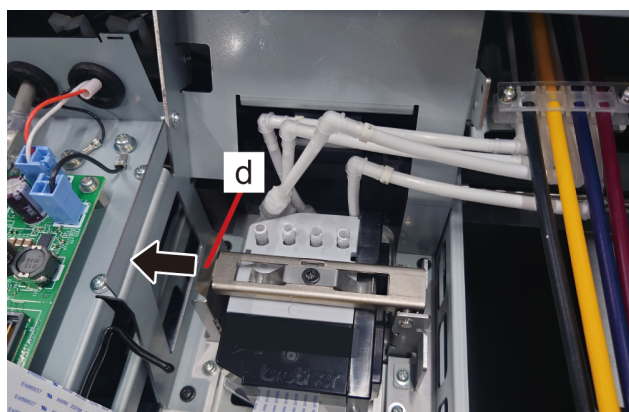
重要

- プリントヘッドを取り外す際、キャリッジプレートにインクが垂れないように注意してください。インクが垂れた場合は、垂れたインクを拭き取ってください。



参考

- 矢印の方向にプレート (d) を押し、ロックを外れます。



- 11 ケースのロック部 (e) を手前に引いてロックを解除し、新しいプリントヘッド (f) をケース (g) から取り外します。

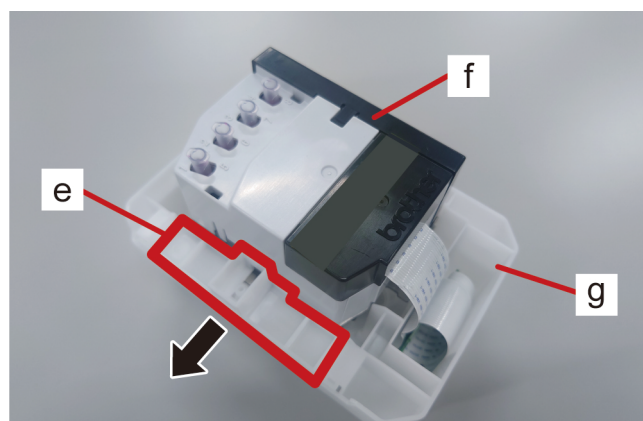
重要

- プリントヘッドを取り外す際、ヘッド下面のノズル面に触らないように注意してください。印刷不良の原因になります。



参考

- ロック部のロックを解除する際、固くて取り外しにくい場合があります。固い場合は、両手で取り外してください。



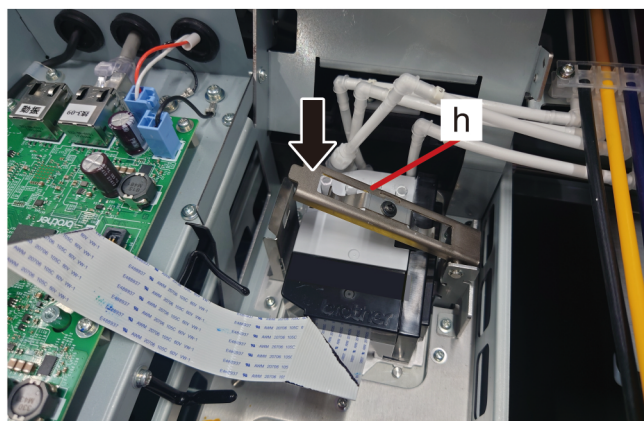
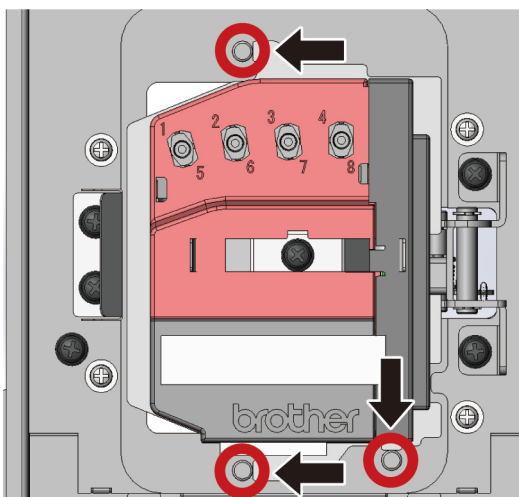
12 新しいプリントヘッドをキャリッジに取り付けます。

重要

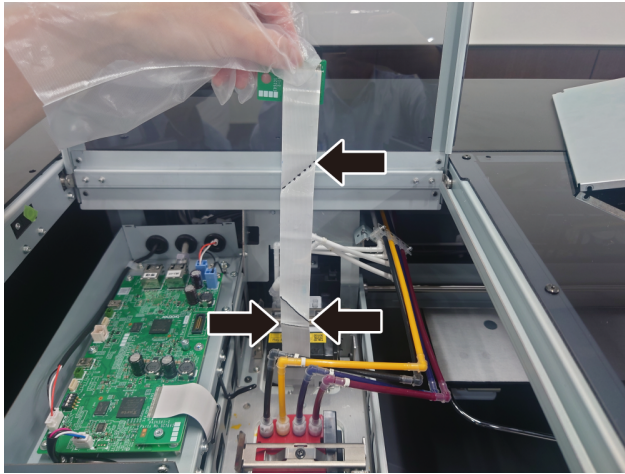
- キャリッジを動かさないように注意してください。
- ヘッドノズル面が板金等に当たらないように挿入してください。
- チューブを巻き込まないように注意してください。
- プrintヘッドの金属板とキャリッジの間にフラットケーブルを挟み込まないように注意してください。
- プrintヘッドの金属板とキャリッジの間に異物を挟み込まないように注意してください。
- プrintヘッドの金属板が位置決め部に乗り上げないように注意してください。
- プrintヘッドがキャリッジから浮いた状態にならないように注意してください。
- 他のヘッドのロックに触れて外れないように注意してください。



13 新しいプリントヘッドを矢印の方向に動かして、位置決めピン（3箇所）に当たった状態でロックバー（h）を押し込み、ロックします。



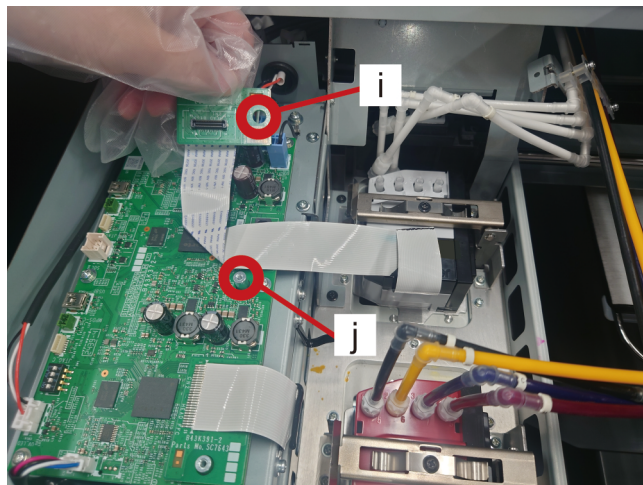
- 14 フラットケーブルの線（破線：谷折り、実線：山折り）を目印に折り目をつけます。



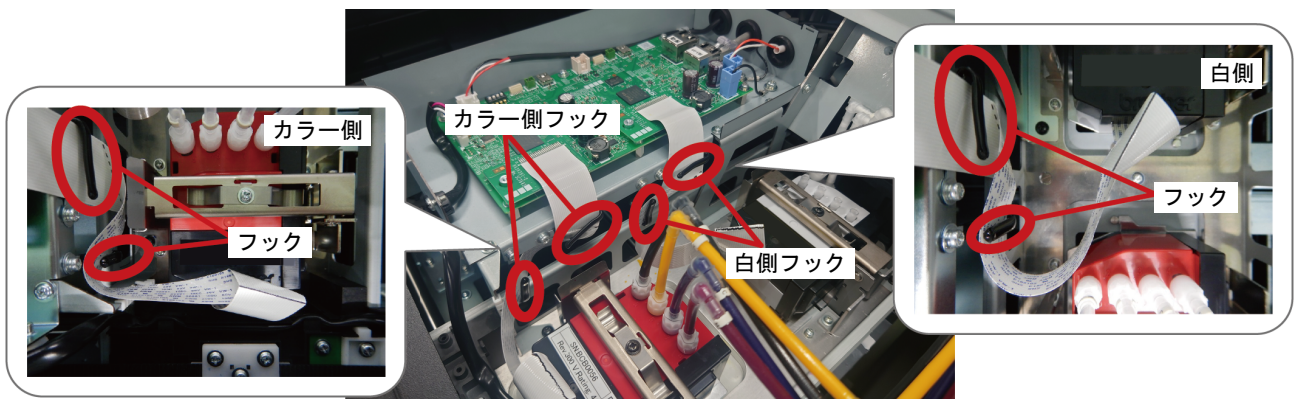
- 15 ヘッド基板の穴 (i) をキャリッジ基板上的位置決めピン (j) に合わせて接続します。

重要

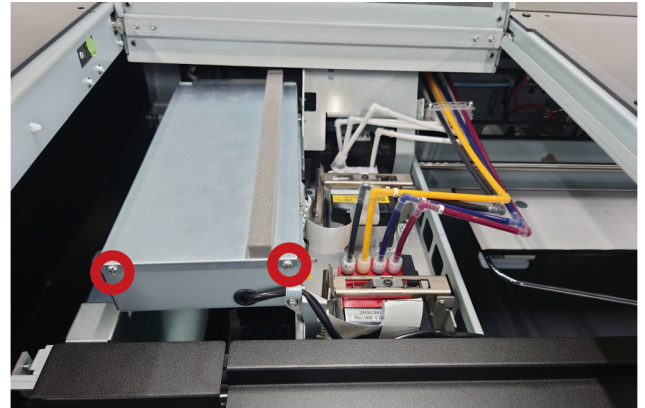
- 接続後、ヘッド基板が傾いていないか確認してください。



- 16 フラットケーブルをキャリッジ上のフック（2箇所）に挟み込みます。



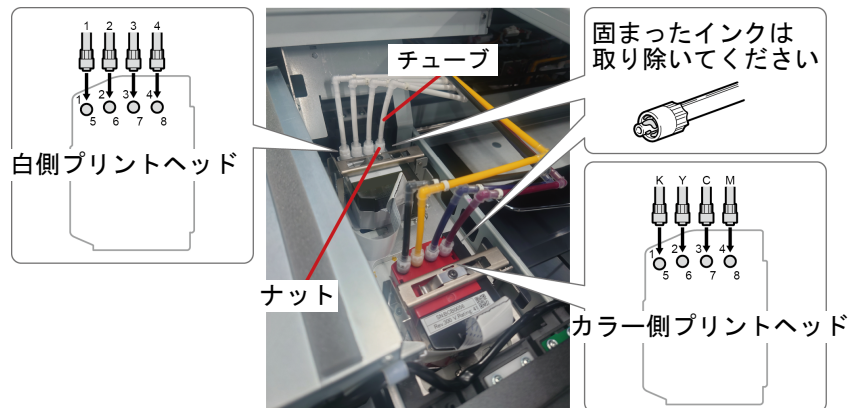
- 17 キャリッジ基板のカバーを元に戻し、ねじ（2箇所）を締めます。



- 18 チューブからプラグ（4箇所）を外し、新しいプリントヘッドにチューブをつなぎます。

重要

- プリントヘッドの刻印とチューブの番号を確認し、位置を間違えないように接続してください。接続を間違えると、循環時にキャップからインクが漏れる恐れがあります。



- 19 ナットをしっかりと止まるまで回して、チューブをプリントヘッドに固定します。

- 20 本体カバーを閉じて、電源を入れます。

- 21 メニューから[メンテナンス]>[ヘッド交換後インク導入]で該当のヘッドを選択し、画面の指示に従って [OK] を押します。

プリントヘッド交換後インク導入が実行されます。

参考

- 終了後は待機画面に戻ります。
- 他のプリントヘッドも同様の手順で交換を行ってください。
- インクパウチの残量が少ないとヘッド交換後インク導入が開始できません。新しいインクパウチを用意し、画面の表示に従ってインクパウチを交換後、再度開始してください。
- 終了後は待機画面に戻ります。

- 22 キャリッジスピードを調整してください。
[キャリッジスピードの調整 \(p.240\)](#)
- 23 ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。
[ノズルチェックパターンの印刷（プリントヘッドの確認） \(p.241\)](#)
- 24 ヘッド交換後の初期設定を行ってください。
[ヘッド交換後の初期設定 \(p.73\)](#)
- 25 プリントヘッドの吐出タイミングを調整してください。
[吐出タイミング調整 \(p.75\)](#)
- 26 ブラテン送りの調整を行ってください。
[ブラテン送りの調整 \(p.76\)](#)
- 27 白とカラーのヘッド位置合わせを行ってください。
[白とカラーの位置合わせ \(p.77\)](#)



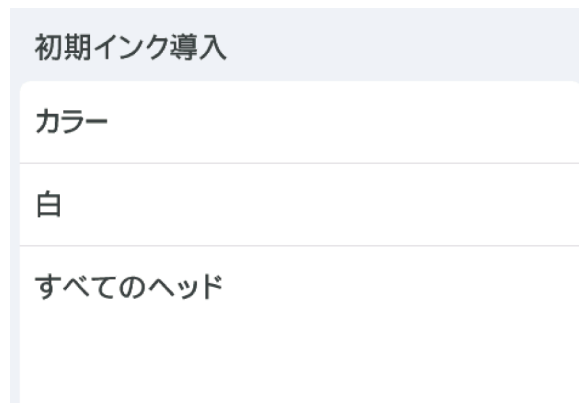
参考

- カラーインクモードの場合は、白とカラーのヘッド位置合わせは不要です。

9.2.5 インクの再導入

プリントヘッドやチューブ内に空気が混入してインクの不吐出が改善されない場合に、インクの再導入を行います。

- 1 メニューから[メンテナンス]>[初期インク導入]を選択します。
- 2 [カラー]、[白]、[すべてのヘッド]から選択します。



- 3 画面の注意文に従ってパネルを操作します。

初期インク導入が実行されます。



参考

- 終了までの目安時間は、[白]の場合20分、[カラー]の場合15分ほどかかりますが、温度環境やプリンターの状態によって前後します。終了時は待機画面に戻ります。

9.3 プロフェッショナルメニューについて

トラブルシューティングに関連する一部の機能は、「プロフェッショナルメニュー」として搭載されています。販売店から指示があった場合のみ、本メニューをご使用ください。

「プロフェッショナルメニュー」はパスワードで保護されています。メニュー選択後、以下のパスワードを入力してください。

パスワード：promenu

プロフェッショナルメニュー一覧

「プロフェッショナルメニュー」には、以下の機能が含まれています。各機能の詳細については、それぞれの項目をご参照ください。

| メニュー |
|-----------|
| キャップ洗浄 |
| プリンター輸送準備 |
| 詳細バージョン情報 |

9.3.1 キャップ洗浄

選択されたキャップ内を洗浄液で満たします。

販売店からの指示があった場合にご使用ください。

- 1 プロフェッショナルメニューから[キャップ洗浄]を選択します。
- 2 洗浄液で満たすキャップを選択し、[OK]を押します。

重要

- ・ カラー側はキャップ内を洗浄液で満たしたまま放置すると、混色の原因になります。注意してください。

9.3.2 プリンター輸送準備

プリンターを移動・輸送する際はBrother販売店までご連絡ください。

9.3.3 詳細バージョン情報

パネル基板のハードウェアやBIOSのバージョン等が表示されます。

通常はこのメニューを使用する必要はありません。

プリンターの操作パネルや液晶ディスプレイに不具合があった場合は、サービス担当者から詳細バージョン情報メニューの確認を求められることがあります。その際には、このメニューで表示される内容をサービス担当者へお伝えください。

9.4 ログファイルの取得

プリンターに不具合があった場合には、サービス担当者からログファイルの取得を求められることがあります。プリンターのログデータをファイルに保存してください。

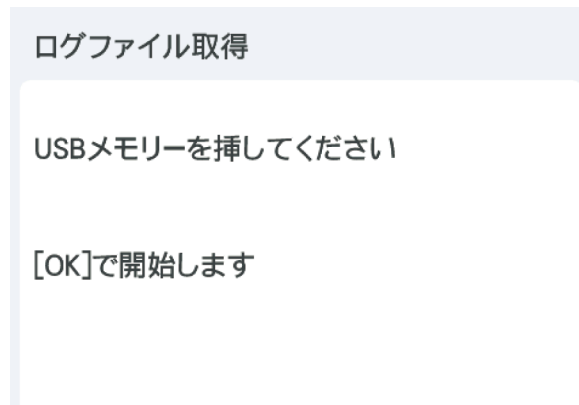


参考

- プリンターを自動的に識別するファイル名（拡張子.log）ができます。

USBメモリーでログファイルを取り出す

- 1 USBメモリーをUSBメモリー挿入口に差し込みます。
- 2 メニューから[ログファイル取得]を選択します。



- 3 プリントボタンの点滅が消え、ポーンと音が鳴るとログデータの書き込みは終了です。

重要

- プリントボタンが点滅している間は、USBメモリーをプリンターから抜かないでください。USBメモリーが破損し、内部のデータが読めなくなる恐れがあります。

- 4 USBメモリーに保存されたログファイルを取り出し、サービス担当者へ送付してください。

USB/LAN接続でログファイルを取り出す

- 1 スタートメニューから「Brother GTX Maintenance Tools」の「GTX Maintenance #」を選択します。



参考

- 「GTX Maintenance #」の「#」はバージョン番号になります。アプリのアップデートを行うと、バージョン番号が変更されます。

- 2 起動した「GTX Maintenance」内の[ログの取得]を選択します。



- 3 画面に表示される指示に従って実行してください。

Chapter 10

エラーメッセージ

エラーメッセージ

GTX 300のエラーメッセージ一覧です。エラーメッセージは液晶パネルに表示されます。

解決方法に従って、対処してください。

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--|---|--|
| 0001 | [I failed in initialization. Turn OFF and ON] | 電源オン時にメイン基板とパネル基板が通信接続できなかった (言語設定に関わらず、英語で表示されます) | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0011 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板とキャリッジ基板のカラーヘッド用ハードウェアが通信接続できなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0013 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板とキャリッジ基板の白ヘッド用ハードウェアが通信接続できなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0021 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板とインク供給基板が通信接続できなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0022 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板とメンテナンス基板が通信接続できなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0042 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板内部で通信ができなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0043 | [エラーが発生しました] | 電源オン時にメイン基板内部で通信ができなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0111 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板とキャリッジ基板（カラーヘッド部）との通信エラーが発生した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|-------------------|--------------------------------------|--|
| 0113 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板とキャリッジ基板（白ヘッド部）との通信エラーが発生した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0121 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板とインク供給基板との通信エラーが発生した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0122 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板とメンテナンス基板との通信エラーが発生した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0141 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板とパネル基板との通信エラーが発生した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0142 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板内部で通信ができなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 0143 | [エラーが発生しました] | 稼働中にメイン基板内部で通信ができなかった | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1000 | [洗浄液残り少、補充してください] | 洗浄液切れ間近 | 洗浄液タンクに洗浄液を補充してください。 |
| 1001 | [洗浄液切れ、補充してください] | 洗浄液切れ | 洗浄液タンクに洗浄液を補充してください。 |
| 1031 | [カラーヘッド温度上昇] | カラーヘッドの温度が上昇している | 温度が下がるまでお待ちください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1033 | [Wヘッド温度上昇] | 白ヘッドの温度が上昇している | 温度が下がるまでお待ちください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1060 | [気温が低すぎます] | 気温が印刷保証範囲よりも低すぎる | 部屋の温度を上げてください。 |
| 1061 | [気温が高すぎます] | 気温が印刷保証範囲よりも高すぎる | 部屋の温度を下げてください。 |

Chapter 10

エラーメッセージ

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------------------|------------------------------|---|
| 1064 | [湿度が低すぎます] | 湿度が印刷保証範囲よりも低すぎる | 部屋の湿度を上げてください。 |
| 1065 | [湿度が高すぎます] | 湿度が印刷保証範囲よりも高すぎる | 部屋の湿度を下げてください。 プリンター内の部品が結露する可能性があります。 |
| 1070 | [バッテリーの交換時期] | メイン基板の電池の交換時期 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1080 | [RTCがセットされていません] | 内部時計が未設定 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1085 | [RTCがセットされていません] | 内部時計が未設定 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1090 | [ノズルガード/キャップの清掃] | ノズルガードとキャップの清掃が必要 | [ノズルガード/キャップの清掃]メニューを選択して、清掃を行ってください。 |
| 1091 | [ノズルガード/キャップの清掃] | ノズルガードとキャップの清掃が必要 | [ノズルガード/キャップの清掃]メニューを選択して、清掃を行ってください。 |
| 1202 | [白インクカートリッジを抜いて攪拌してください] | 白インクの沈降防止のため、パウチの攪拌が必要 | 白インクカートリッジを抜き、カートリッジごと白インクを十分に攪拌してください。 |
| 1300 | [キャップチップ/キャップフォーム交換] | キャップチップとキャップフォームの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1301 | [キャップチップ/キャップフォーム交換] | キャップチップとキャップフォームの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1340 | [ワイパー交換] | ワイパーの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1341 | [ワイパー交換] | ワイパーの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1401 | [フィルター交換後インク未導入] | ブラックのフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1402 | [フィルター交換後インク未導入] | イエローのフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1403 | [フィルター交換後インク未導入] | シアンのフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1404 | [フィルター交換後インク未導入] | マゼンタのフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1405 | [フィルター交換後インク未導入] | W1のフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|---|---------------------------------|--|
| 1406 | [フィルター交換後インク未導入] | W2のフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1407 | [フィルター交換後インク未導入] | W3のフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1408 | [フィルター交換後インク未導入] | W4のフィルター交換をしましたので、インク導入が必要 | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1500 | [ミストファンフィルター交換] | ミストファンフィルターの交換が必要 | [ミストファンフィルターの交換]メニューを選択して、部品を交換してください。 左右のファンを両方とも交換してください。 |
| 1600 | [フラッシングフォーム交換] | フラッシングフォームの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1601 | [フラッシングフォーム交換] | フラッシングフォームの交換が必要 | [メンテナンスキットの交換]メニューを選択して、メンテナンスキットに含まれる該当の部品を交換してください。 |
| 1801 | [ヘッド交換後インク未導入 (カラー)] | カラーヘッドを交換したため、ヘッド交換後インク導入の実施が必要 | [ヘッド交換後インク導入]メニューを選択して、カラーヘッドのインク導入を実施してください。 |
| 1803 | [ヘッド交換後インク未導入 (白)] | 白ヘッドを交換したため、ヘッド交換後インク導入の実施が必要 | [ヘッド交換後インク導入]メニューを選択して、白ヘッドのインク導入を実施してください。 |
| 1901 | [初期インク導入してください] | 初期インク導入が未実施 | [初期インク導入]メニューを選択して、初期インク導入を実施してください。 |
| 1902 | [初期導入して下さい (KYCM)] | カラーヘッドの初期インク導入が未実施 | [初期インク導入]メニューを選択して、カラーの初期インク導入を実施してください。 |
| 1903 | [初期導入して下さい (W)] | 白ヘッドの初期インク導入が未実施 | [初期インク導入]メニューを選択して、白の初期インク導入を実施してください。 |
| 1922 | [5万枚テクニカル保守点検の時期です サービスマンに連絡してください] | 5万枚定期保守点検が必要な時期 | 表示されたメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1924 | [10万枚テクニカル保守点検の時期です サービスマンに連絡してください] | 10万枚定期保守点検が必要な時期 | 表示されたメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 1925 | [15万枚テクニカル保守点検の時期です サービスマンに連絡してください] | 15万枚定期保守点検が必要な時期 | 表示されたメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|---|-----------------------|---|
| 1926 | [20万枚テクニカル保守点検の時期です サービスマンに連絡してください] | 20万枚定期保守点検が必要な時期 | 表示されたメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 2000 | [カートリッジなし ブラック] | ブラックのカートリッジがない | ブラックのカートリッジを挿入してください。 |
| 2001 | [カートリッジなし マゼンタ] | マゼンタのカートリッジがない | マゼンタのカートリッジを挿入してください。 |
| 2002 | [カートリッジなし シアン] | シアンのカートリッジがない | シアンのカートリッジを挿入してください。 |
| 2003 | [カートリッジなし イエロー] | イエローのカートリッジがない | イエローのカートリッジを挿入してください。 |
| 2004 | [カートリッジなし 白] | 白のカートリッジがない | 白のカートリッジを挿入してください。 |
| 2020 | [インク切れ ブラック] | ブラックインクの残量がない | ブラックインクを交換してください。 |
| 2021 | [インク切れ マゼンタ] | マゼンタインクの残量がない | マゼンタインクを交換してください。 |
| 2022 | [インク切れ シアン] | シアンインクの残量がない | シアンインクを交換してください。 |
| 2023 | [インク切れ イエロー] | イエローインクの残量がない | イエローインクを交換してください。 |
| 2024 | [インク切れ 白] | 白インクの残量がない | 白インクを交換してください。 |
| 2030 | [ICチップ異常 ブラック] | ブラックのインクパウチが正しく認識できない | カートリッジの位置の挿し間違い、パウチの色の取り付け間違いがないか確認してください。 カートリッジがプリンタにしっかり奥まで挿入されている確認してください。 インクパウチがカートリッジに正しくセットされているか確認してください。 インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。 |
| 2031 | [ICチップ異常 マゼンタ] | マゼンタのインクパウチが正しく認識できない | カートリッジの位置の挿し間違い、パウチの色の取り付け間違いがないか確認してください。 カートリッジがプリンタにしっかり奥まで挿入されている確認してください。 インクパウチがカートリッジに正しくセットされているか確認してください。 インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|---------------|-------------------------------|--|
| 2032 | [ICチップ異常シアン] | シアンのインクパウチが正しく認識できない | <p>カートリッジの位置の挿し間違い、パウチの色の取り付け間違いがないか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり奥まで挿入されている確認してください。</p> <p>インクパウチがカートリッジに正しくセットされているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> |
| 2033 | [ICチップ異常イエロー] | イエローのインクパウチが正しく認識できない | <p>カートリッジの位置の挿し間違い、パウチの色の取り付け間違いがないか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり奥まで挿入されている確認してください。</p> <p>インクパウチがカートリッジに正しくセットされているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> |
| 2034 | [ICチップ異常白] | 白のインクパウチが正しく認識できない | <p>カートリッジの位置の挿し間違い、パウチの色の取り付け間違いがないか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり奥まで挿入されている確認してください。</p> <p>インクパウチがカートリッジに正しくセットされているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> |
| 2050 | [気温が低すぎます] | 気温が動作保証範囲よりも低すぎる | <p>部屋の温度を上げてください。</p> <p>Tシャツに印刷する場合（DTG）と、フィルムに印刷する場合（DTF）とで、印刷可能な温度環境が異なります。</p> |
| 2051 | [気温が高すぎます] | 気温が動作保証範囲よりも高すぎる | <p>部屋の温度を下げてください。</p> <p>Tシャツに印刷する場合（DTG）と、フィルムに印刷する場合（DTF）とで、印刷可能な温度環境が異なります。</p> |
| 2070 | [プラテン上に障害物あり] | 障害物センサーが、プラテンや印刷メディアの上に障害物を検知 | <p>プラテン上に障害物が乗っていないか確認してください。</p> <p>Tシャツにシワができないよう、表面を平らにしてください。</p> <p>プラテンの高さと印刷メディアの厚さが合っているか確認してください。</p> |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------------------|---------------------------------------|--|
| 2071 | [印刷中に障害物検知しました] | 印刷の途中で障害物センサーが、プラテンや印刷メディアの上に障害物を検知 | テスト印刷を行って、ヘッドの吐出に異常がないか確認してください。 吐出に異常がある場合は、直ちにヘッドクリーニングなどを行って、回復させてください。 |
| 2072 | [プラテンが低すぎます 調整してください] | 印刷開始時に、プラテンの高さが低すぎることを検出 | メディアの印刷面とプリントヘッドの間のギャップが広がります。 プラテンの高さを上げるなどして、調節してください。 |
| 2100 | [USBメモリーがありません] | USBメモリーが挿入されていない | USBメモリーを挿し直してください。USBメモリをしっかりと奥まで挿してください。 USBメモリーを挿入して数秒待ってから、パネル操作をしてください。 解決しない場合は、USBメモリーのフォーマット形式を確認してください。 USBメモリーは消耗品であるため、古くなったり、衝撃を与えたりすると、正しく動作しなくなる場合があります。 |
| 2101 | [空き容量が不足しています] | USBメモリーの空き容量が足りないため、書き込みができない | PCでUSBメモリーの空き容量を確認してください。 空き容量が十分あるUSBメモリーを挿入してください。 |
| 2102 | [USBメモリーがありません] | USBメモリーが認識できない | USBメモリーを挿し直してください。USBメモリをしっかりと奥まで挿してください。 USBメモリーを挿入して数秒待ってから、パネル操作をしてください。 解決しない場合は、USBメモリーのフォーマット形式を確認してください。 USBメモリーは消耗品であるため、古くなったり、衝撃を与えたりすると、正しく動作しなくなる場合があります。 |
| 2105 | [ファイルがありません] | USBメモリー内に対象のファイルがない | USBメモリーをPCに接続して、中身を確認してください。 |
| 2110 | [受信履歴が1件もありません] | 電源投入後以降の受信履歴が1件もない | [OK]を押してエラーを解除してください。 |
| 2120 | [印刷データ自動消去が有効です] | 印刷データ自動消去を有効に設定しているため、受信履歴メニューは使用できない | [OK]を押してエラーを解除してください。 受信履歴を使用する際は、印刷データ自動消去モードを無効にしてください。 |
| 2240 | [インク消費期限切れ ブラック] | インク消費期限切れ ブラック | インクパウチの消費期限が切れています。 期限切れのインクを使用したことによる不具合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|----------------------|--------------------|--|
| 2241 | [インク消費期限切れ マゼンタ] | インク消費期限切れ マゼンタ | インクパウチの消費期限が切れています。 期限切れのインクを使用したことによる不具合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。 |
| 2242 | [インク消費期限切れ シアン] | インク消費期限切れ シアン | インクパウチの消費期限が切れています。 期限切れのインクを使用したことによる不具合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。 |
| 2243 | [インク消費期限切れ イエロー] | インク消費期限切れ イエロー | インクパウチの消費期限が切れています。 期限切れのインクを使用したことによる不具合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。 |
| 2244 | [インク消費期限切れ ホワイト] | インク消費期限切れ ホワイト | インクパウチの消費期限が切れています。 期限切れのインクを使用したことによる不具合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。 |
| 2250 | [まもなくインク消費期限切れ ブラック] | まもなくインク消費期限切れ ブラック | まもなくインクパウチの消費期限が切れます。 |
| 2251 | [まもなくインク消費期限切れ マゼンタ] | まもなくインク消費期限切れ マゼンタ | まもなくインクパウチの消費期限が切れます。 |
| 2252 | [まもなくインク消費期限切れ シアン] | まもなくインク消費期限切れ シアン | まもなくインクパウチの消費期限が切れます。 |
| 2253 | [まもなくインク消費期限切れ イエロー] | まもなくインク消費期限切れ イエロー | まもなくインクパウチの消費期限が切れます。 |
| 2254 | [まもなくインク消費期限切れ ホワイト] | まもなくインク消費期限切れ ホワイト | まもなくインクパウチの消費期限が切れます。 |
| 2300 | [特殊作業モード] | サービスマンによる作業中 | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 2347 | [前面カバーオープン] | 本体カバーが開いている | 本体カバーを閉めてください。 |
| 3000 | [PCとの通信エラー] | PCからのデータ受信が中断された | PCとプリンターの接続を確認し、印刷データを再送してください。うまくいかない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 「データ受信中にケーブルが抜かれた場合」や、「データ受信中にPC上でキャンセル操作が行われた場合」や、「印刷データ送出中にアプリケーションが終了された場合」にも発生することがあります。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|-------------|-----------------------|--|
| 3001 | [PCとの通信エラー] | PCへのデータ送信が中断された | PCとプリンターの接続を確認し、印刷データを再送してください。うまくいかない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 「データ受信中にケーブルが抜かれた場合」や、「データ受信中にPC上でキャンセル操作が行われた場合」や、「印刷データ送出中にアプリケーションが終了された場合」にも発生することがあります。 |
| 3002 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | PCのプリンタードライバーと本体のファームウェアを、共に最新版へアップデートしてください。 PCとプリンターの接続を確認し、印刷データを再送してください。うまくいかない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 |
| 3003 | [PCデータエラー] | サポートしていないデータをPCから受信した | PCのプリンタードライバーと本体のファームウェアを、共に最新版へアップデートしてください。 |
| 3004 | [PCデータエラー] | PCとプリンタ間の通信エラー | PCのプリンタードライバーと本体のファームウェアを、共に最新版へアップデートしてください。 PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。解決しない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 |
| 3005 | [PCデータエラー] | PCとプリンタ間の通信エラー | PCのプリンタードライバーと本体のファームウェアを、共に最新版へアップデートしてください。 PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。解決しない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 |
| 3010 | [PCデータエラー] | PCとプリンタ間の通信エラー | PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。解決しない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 3013 | [PCデータエラー] | PCとプリンタ間の通信エラー | PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。解決しない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 3014 | [PCデータエラー] | PCとプリンタ間の通信エラー | PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。解決しない場合は、PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|------------------|---------------------------|--|
| 3015 | [これ以上の受信はできません] | 印刷中に、PCから多量の印刷データが送信された | 印刷中にPCから送信する多量の印刷データを送信しなかったか、確認してください。 |
| 3400 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | PCならびにプリンターを再起動して、もう一度操作してください。 印刷データを作成した際に使用したプリンタドライバと、プリンター本体の、機種とバージョンが合っていることをご確認ください。 もう一度印刷データを作り直してください。 |
| 3401 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | PCならびにプリンターを再起動して、もう一度操作してください。 印刷データを作成した際に使用したプリンタドライバと、プリンター本体の、機種とバージョンが合っていることをご確認ください。 もう一度印刷データを作り直してください。 |
| 3402 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | PCならびにプリンターを再起動して、もう一度操作してください。 印刷データを作成した際に使用したプリンタドライバと、プリンター本体の、機種とバージョンが合っていることをご確認ください。 もう一度印刷データを作り直してください。 |
| 3407 | [空の印刷データです] | PCから、画像が含まれていない印刷データを受信した | 印刷データファイルを「GTX300 File Viewer」で確認してください。 例えば、Photoshopのプリントプレビュー機能等で、アプリケーションの印刷範囲や用紙サイズを確認してください。 |
| 3408 | [未対応データ（容量オーバー）] | PCから異常なデータを受信した | 印刷データを作成した際に使用したプリンタドライバと、プリンター本体の、機種とバージョンが合っていることをご確認ください。 エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 3410 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | 印刷データファイルを「GTX300 File Viewer」で確認してください。 PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。 PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|-----------------|-----------------------|--|
| 3411 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | 印刷データファイルを「GTX300 File Viewer」で確認してください。 PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。 PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 3412 | [PCデータエラー] | PCから異常なデータを受信した | 印刷データファイルを「GTX300 File Viewer」で確認してください。 PCとプリンターの接続を確認し、作業をやり直してください。 PCならびにプリンターを再起動してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4100 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリ内のファイルにアクセスできない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4101 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリ内にファイルを作成できない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4103 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリ内のファイルにアクセスできない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4104 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリ内のファイルを読み込めない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|-----------------|--------------------------|--|
| 4105 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリにファイルを書き込みできない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4106 | [不正なフォーマットです] | USBメモリ内のファイルにアクセスできない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4108 | [USBメモリアクセスエラー] | USBメモリ内のファイルを読み込みできない | USBメモリーの中身をご確認ください。 USBメモリーを一旦抜いて、しっかり奥まで挿し込んでから操作をやり直してください。 解決しない場合は、プリンターを再起動して、操作をやり直してみてください。 別のUSBメモリーを使用してご確認ください。 |
| 4200 | [エラーが発生しました] | 液晶ディスプレイへの表示用データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4201 | [エラーが発生しました] | 液晶ディスプレイへの表示用データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4202 | [エラーが発生しました] | 液晶ディスプレイへの表示用データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4400 | [テスト印刷データエラー] | 内蔵しているテスト印刷データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|---------------|------------------------|--|
| 4401 | [テスト印刷データエラー] | 内蔵しているテスト印刷データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4402 | [テスト印刷データエラー] | 内蔵しているテスト印刷データの異常を検出した | ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4500 | [エラーが発生しました] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 ネットワークの設定をネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 4501 | [IPアドレス設定エラー] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 メンテナンスツールで正しいIPアドレス、サブネットマスク値を設定し直してください。 |
| 4502 | [エラーが発生しました] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 ネットワークの設定をネットワーク管理者にご確認ください。 |
| 4503 | [エラーが発生しました] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 メンテナンスツールで正しいデフォルトゲートウェイのアドレスを設定し直してください。 |
| 4504 | [IPアドレス設定エラー] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 メンテナンスツールで正しいIPアドレス、サブネットマスク値を設定し直してください。 |
| 4505 | [エラーが発生しました] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 4510 | [エラーが発生しました] | ネットワークに関する設定に失敗した | [OK]を押してエラーを解除してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5010 | [PCデータエラー] | 印刷中の印刷データに異常を検出した | [OK]を押してエラーを解除してください。 PCで印刷データを作成し直し、プリンターへ読み込んで印刷してみてください。 |
| 5020 | [エラーが発生しました] | キャリッジの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5021 | [エラーが発生しました] | ヘッドの動作中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|--------------------------|--|
| 5022 | [エラーが発生しました] | ヘッドの動作中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5080 | [エラーが発生しました] | メンテナンスユニットの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5081 | [エラーが発生しました] | メンテナンスユニットの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5094 | [エラーが発生しました] | プラテンのロード中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5095 | [エラーが発生しました] | プラテンのアンロード中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5096 | [エラーが発生しました] | 印刷時のプラテン動作中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5501 | [エラーが発生しました] | ブラックのサブタンクの制御において異常を検出した | <p>インクパウチが正しく巻き取られているかを確認してください。巻き取られていない場合は、カートリッジのフタを開けて、直してください。</p> <p>パウチのインクが空になっている場合は、新しいパウチを装着してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5502 | [エラーが発生しました] | マゼンタのサブタンクの制御において異常を検出した | <p>インクパウチが正しく巻き取られているかを確認してください。巻き取られていない場合は、カートリッジのフタを開けて、直してください。</p> <p>パウチのインクが空になっている場合は、新しいパウチを装着してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5503 | [エラーが発生しました] | シヤンのサブタンクの制御において異常を検出した | <p>インクパウチが正しく巻き取られているかを確認してください。巻き取られていない場合は、カートリッジのフタを開けて、直してください。</p> <p>パウチのインクが空になっている場合は、新しいパウチを装着してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5504 | [エラーが発生しました] | イエローのサブタンクの制御において異常を検出した | <p>インクパウチが正しく巻き取られているかを確認してください。巻き取られていない場合は、カートリッジのフタを開けて、直してください。</p> <p>パウチのインクが空になっている場合は、新しいパウチを装着してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|--------------------------|--|
| 5521 | [エラーが発生しました] | ブラックのサブタンクの制御において異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5522 | [エラーが発生しました] | マゼンタのサブタンクの制御において異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5523 | [エラーが発生しました] | シアンのサブタンクの制御において異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5524 | [エラーが発生しました] | イエローのサブタンクの制御において異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5600 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | <p>カートリッジにパウチが正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり挿入されているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5601 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | <p>カートリッジにパウチが正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり挿入されているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5602 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | <p>カートリッジにパウチが正しく取り付けられているか確認してください。</p> <p>カートリッジがプリンタにしっかり挿入されているか確認してください。</p> <p>インクパウチの奥側の金属の接点部分が、インクなどで汚れていないか確認してください。</p> <p>プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。</p> |
| 5605 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5606 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5607 | [エラーが発生しました] | インクカートリッジの制御中に異常を検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|-----------------------------|---|
| 5801 | [エラーが発生しました] | プリンタ内部の基板間の通信で異常を検出した | プリンターの近くに強いノイズの発生源がないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5802 | [エラーが発生しました] | プリンタ内部の基板間の通信で異常を検出した | プリンターの近くに強いノイズの発生源がないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5803 | [エラーが発生しました] | プリンタ内部の基板間の通信で異常を検出した | プリンターの近くに強いノイズの発生源がないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 5804 | [エラーが発生しました] | プリンタ内部の基板間の通信で異常を検出した | プリンターの近くに強いノイズの発生源がないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6004 | [エラーが発生しました] | プラテン障害物センサーの異常を検出した | プラテン上に物が置かれていないかご確認ください。 障害物センサーを何かが覆ってないかご確認ください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6005 | [エラーが発生しました] | プラテン下げすぎセンサーの異常を検出した | プラテン上に物が置かれていないかご確認ください。 障害物センサーを何かが覆ってないかご確認ください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6006 | [エラーが発生しました] | プラテン用のモーターが異常停止した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6007 | [エラーが発生しました] | プラテンを入れ出しする機構のチェック中に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6010 | [エラーが発生しました] | メイン基板上のEEPROMの書き込み時に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------------|-------------------------------|---|
| 6011 | [エラーが発生しました] | メイン基板上のフラッシュROMの書き込み時に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6012 | [エラーが発生しました] | メイン基板上のフラッシュROMの書き込み時に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6015 | [エラーが発生しました] | パネル基板上のフラッシュROMの書き込み時に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6016 | [有効なリストアダプタがありません] | パネル基板上のフラッシュROMの読み込み時に異常を検出した | プリンター付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6019 | [エラーが発生しました] | メイン基板上のメモリの書き込み時に異常を検出した | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6021 | [バッテリー切れ] | メイン基板上の電池が切れてる | エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6031 | [エラーが発生しました] | 起動時に、プラテンボタンの異常を検出 | 操作パネルのボタンが押された状態になっていないか確認してください。 |
| 6033 | [エラーが発生しました] | 起動時に、キャンセルボタンの異常を検出 | 操作パネルのボタンが押された状態になっていないか確認してください。 |
| 6044 | [エラーが発生しました] | 起動時に、タッチパネルの異常を検出 | 起動時にタッチパネルのチェックを行いますので、物を載せたり、触れないようにしてください。 パネルがインクや水で濡れていたり、汚れている場合は、プリンターの電源をOFFしてから、拭き取ってください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6046 | [エラーが発生しました] | メイン基板とパネル基板のファームウェアには互換性がない | プリンターを再起動してファームウェアのアップデートをやり直してください。その際に、ファーム更新データファイルが当機種向けのものであるか、確認してください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6102 | [エラーが発生しました] | キャリッジが異常停止した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------------------------|-----------------------|--|
| 6103 | [エラーが発生しました] | ヘッドのキャップロックに失敗した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6104 | [エラーが発生しました] | キャリッジが動かない | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6106 | [エラーが発生しました] | キャリッジがフレームに衝突した可能性がある | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6107 | [エラーが発生しました] | キャリッジが異常停止した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6108 | [エラーが発生しました] | キャリッジが異常停止した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6109 | [エラーが発生しました] | 印刷範囲内で異常停止 | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6110 | [エラーが発生しました] | ヘッドを待機位置から動かさせない | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6111 | [エラーが発生しました] | ヘッドがキャップに乗り上げられない | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6130 | [エラーが発生しました キャリッジを調整してください] | キャリッジ速度の異常低下を検出した | キャリッジスピードの調整 (p.240) を参照し、[CRスピード調整]を実施してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6131 | [エラーが発生しました キャリッジを調整してください] | キャリッジ速度の異常超過を検出した | キャリッジスピードの調整 (p.240) を参照し、[CRスピード調整]を実施してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6132 | [エラーが発生しました キャリッジを調整してください] | キャリッジ停止調整エラー | キャリッジスピードの調整 (p.240) を参照し、[CRスピード調整]を実施してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|----------------------------|---|
| 6133 | [エラーが発生しました] | キャリッジ停止調整エラー リバース方向 | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6134 | [エラーが発生しました] | キャリッジ停止調整エラー フォワード方向 | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6151 | [エラーが発生しました] | キャリッジ制御を行うハードウェアとの通信で異常がある | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6221 | [エラーが発生しました] | カラーヘッドの温度に異常を検出 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6223 | [エラーが発生しました] | 白ヘッドの温度に異常を検出 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6231 | [エラーが発生しました] | カラーヘッドの電圧に異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6233 | [エラーが発生しました] | 白ヘッドの電圧に異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6241 | [エラーが発生しました] | カラーヘッドのFFC接続に異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6243 | [エラーが発生しました] | 白ヘッドのFFC接続に異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|-----------------------------|--|
| 6251 | [エラーが発生しました] | カラーヘッドのファンに異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6253 | [エラーが発生しました] | 白ヘッドのファンに異常を検知 | ヘッドのケーブルが外れていないか確認してください。 プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6502 | [エラーが発生しました] | メイン基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしている bfw ファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターと PC を再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6503 | [エラーが発生しました] | キャリッジ基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしている bfw ファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターと PC を再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6504 | [エラーが発生しました] | メイン基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしている bfw ファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターと PC を再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6505 | [エラーが発生しました] | パネル基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしている bfw ファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターと PC を再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|--|--|
| 6506 | [エラーが発生しました] | メイン基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしているbwfファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターとPCを再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6507 | [エラーが発生しました] | メイン基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしているbwfファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターとPCを再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6508 | [エラーが発生しました] | メイン基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしているbwfファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターとPCを再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 6509 | [エラーが発生しました] | インク供給基板またはメンテナンス基板のファームウェアの更新中に異常を検出した | 更新しようとしているbwfファイルに間違いがないか確認してください。 プリンターとPCを再起動して、操作をやり直してください。 問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 7000 | [エラーが発生しました] | ソフトウェアが内部エラーを検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 7012 | [エラーが発生しました] | ソフトウェアが内部エラーを検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 7013 | [エラーが発生しました] | ソフトウェアが内部エラーを検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 7015 | [エラーが発生しました] | ソフトウェアが内部エラーを検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

Chapter 10

エラーメッセージ

| エラーコード | パネルメッセージ | 説明 | 解決方法 |
|--------|--------------|-------------------|--|
| 7020 | [エラーが発生しました] | ソフトウェアが内部エラーを検出した | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| 8450 | [エラーが発生しました] | インク供給基板との通信で応答がない | プリンターを再起動しても問題が解決しない場合は、エラーコードとメッセージの内容を控えて、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |

上記以外のエラーコードが表示された場合や、解決方法に従っても改善されない場合には、お買い上げの販売店へご相談ください。

Chapter 11

仕様

11.1 装置

| | | | | |
|--------------------|-----------|---|-----------|-------------------------------------|
| モデル | | GTX300NC | | |
| 印刷方式 | | ピエゾインクジェット方式 | | |
| ヘッド | 個数 | 2個 | | |
| 解像度 | 最大 | 1200dpi×1200dpi | | |
| インク | 種類 | 水性顔料インク | | |
| | 色数 | CMYKW5色 | | |
| 給材方式 | | プラテン搬送方式 | | |
| 対応メディア (サイズ/厚み) | サイズ | 355.6 mm×420.1 mm (標準プラテン) | | |
| | 厚み | Tシャツ印刷の場合 | ～30 mm | |
| | | フィルム印刷の場合 | ～0.12 mm | |
| 印刷可能領域 | 最大 | 406.4 mm×533.4 mm | | |
| インターフェイス | | 100BASE-TX/1000BASE-T (LANポート)、SuperSpeed USB3.0 (USBメモリ用)、Hi-Speed USB2.0 (PC接続用) | | |
| 外形寸法 | | 1295 mm × 1465 mm × 583 mm (プラテン収容時) | | |
| 重量 | | 125 kg (背面カバー、標準付属プラテンを含む) | | |
| 設置条件 動作環境 | 電源 | 単相100V-240V (電源電圧変動±10%以下)、50/60Hz | | |
| | 消費電力 | 動作時：1.8 A以下 | | |
| | 温湿度 環境 | 印刷推奨 環境 | Tシャツ印刷の場合 | 温度：18～30°C 湿度：35～85% (結露なきこと) |
| | | | フィルム印刷の場合 | 温度：19～30°C 湿度：35～65% (結露なきこと) |
| | | 動作可能 環境 | Tシャツ印刷の場合 | 温度：10～35°C 湿度：20～85% (結露なきこと) |
| | | | フィルム印刷の場合 | 温度：10～35°C 湿度：20～65% (結露なきこと) |
| | | <p>Tシャツ印刷の場合</p> <p>湿度 (%)</p> <p>■ 印刷推奨環境 ■ 動作可能環境 ■ 保管環境</p> <p>温度 (°C)</p> | | |

| | | | | |
|------|-----------|--|-----------------------------------|---------------|
| | | 保管環境 | 温度：0～40℃ 湿度：20～85% (結露なきこと) | フィルム印刷の場合 |
| 印刷方向 | 双方向、片方向 | | | |
| 定着条件 | Tシャツ印刷の場合 | コンベヤーオープン：160℃で3.5分、またはヒートプレス：180℃で35秒。 ※定着までの時間と温度は定着機によって異なります。 | | |
| | フィルム印刷の場合 | パウダー定着：コンベヤーオープン：160℃で5分 転写：ヒートプレス：150℃で20秒（+追加プレス20秒） ※定着までの時間と温度は定着機によって異なります。 | | |
| 前処理 | Tシャツ印刷の場合 | 白インクを使って印刷する場合は前処理が必要です。 印刷前にローラーまたは前処理機で塗布後、必ずヒートプレスで乾かしてください。 | | |

11.2 ソフトウェア

| | |
|---------------------|--|
| OS | Windows 11 (64bit)、macOS Sonoma (14.0)、macOS Sequoia (15.0) ※macOSはIntel/M1/M2 共に対応 |
| 最低動作環境 | 2GHz以上のCPU 8GB以上のRAM フィルム印刷の場合、16GB以上のRAM推奨 |
| ディスプレイ解像度 | SXGA (1280×1024) 以上 |
| 出力 | プリンタドライバー、GTX Graphics Lab |
| 高度な画像編集のためのアプリケーション | Adobe® Photoshop CC、Adobe® Illustrator CC |

11.3 インク、洗浄液、前処理剤

11.3.1 インク

| | | |
|---------|--|--|
| 名称 | ブラック／マゼンタ／シアン／イエローインクパウチ | |
| 有効期限 | パウチパックに記載された期限（常温で保管時） | |
| 保管温度 | 0～40℃ | |
| 保管時の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避けて保管してください。 ・子供の手が届かないところに保管してください。 ・火気、熱源及び酸化物質を避けて保管してください。 | |
| 容量 | 350ml／700ml | |
| 梱包時外形寸法 | 1個入り | 518 mm（幅）×133 mm（奥行）×48 mm（高さ）（350ml／700ml共通） |
| | 12個入り | 538 mm（幅）×290 mm（奥行）×378 mm（高さ）（350ml／700ml共通） |

| | | |
|---------|--|---------------------------------|
| 名称 | 白インクパウチ | |
| 有効期限 | パウチパックに記載された期限（常温で保管時） | |
| 保管温度 | 0～40℃ | |
| 保管時の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避けて保管してください。 ・子供の手が届かないところに保管してください。 ・火気、熱源及び酸化物質を避けて保管してください。 | |
| 容量 | 700ml | |
| 梱包時外形寸法 | 2個入り | 518 mm（幅）×133 mm（奥行）×87 mm（高さ） |
| | 12個入り | 538 mm（幅）×290 mm（奥行）×295 mm（高さ） |

11.3.2 洗浄液

| | | |
|---------|---|---------------------------------|
| 名称 | 洗浄液 | |
| 有効期限 | 容器に記載された期限（常温で保管時） | |
| 保管温度 | 0～40℃ | |
| 保管時の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避けて保管してください。 ・子供の手が届かないところに保管してください。 ・火気、熱源及び酸化物質を避けて保管してください。 ・容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵してください。 | |
| 容量 | 1.8 L、5 L | |
| 梱包時外形寸法 | 1.8 L（6個入り） | 486 mm（幅）×346 mm（奥行）×360 mm（高さ） |
| | 5 L（4個入り） | 406 mm（幅）×406 mm（奥行）×407 mm（高さ） |

11.3.3 前処理剤

| | | |
|---------|--|--|
| 名称 | 前処理剤 | |
| 有効期限 | 外箱に記載された期限（常温で保管時） | |
| 保管温度 | 0～40℃ | |
| 保管時の注意 | <ul style="list-style-type: none">・ 直射日光を避けて保管してください。・ 子供の手が届かないところに保管してください。・ 火気、熱源及び酸化物質を避けて保管してください。・ 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵してください。 | |
| 容量 | 20 kg、5 kg | |
| 梱包時外形寸法 | 1個入り | 265 mm（幅）×265 mm（奥行）×400 mm（高さ）（20 kg） |
| | 4個入り | 456 mm（幅）×320 mm（奥行）×318 mm（高さ）（5 kg） |

11.4 消耗品、オプション品、交換部品

消耗品、オプション品、交換部品について

- ・ 消耗品/交換部品：製品を最適な状態で使用いただくために、お客様自身でご用意いただく部品
- ・ オプション品：お客さまの使用状況に応じて注文していただく部品

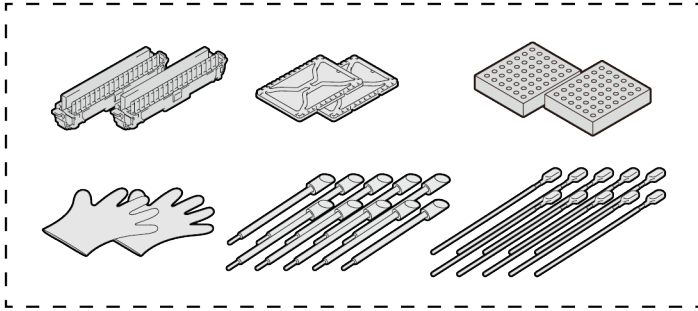
| 消耗品/交換部品 | | コード No. |
|-------------------------|--------|-------------|
| ブラックインクパウチ | 350 ml | GC30K01-350 |
| | 700 ml | GC30K01-700 |
| マゼンタインクパウチ | 350 ml | GC30M01-350 |
| | 700 ml | GC30M01-700 |
| シアンインクパウチ | 350 ml | GC30C01-350 |
| | 700 ml | GC30C01-700 |
| イエローインクパウチ | 350 ml | GC30Y01-350 |
| | 700 ml | GC30Y01-700 |
| 白インクパウチ | 700 ml | GC30W01-700 |
| 洗浄液 | 1.8 L | GC30E01-02K |
| | 5 L | GC30E01-05L |
| 前処理剤 | 5 kg | GCX-4P05 |
| | 20 kg | GCX-4P20 |
| メンテナンスキット A300 <内容物> | | |
| クリーンスティック R | 10本 | SD4117 |
| クリーンスティック T | 10本 | |
| ワイパー | 2個 | |
| フラッシングフォーム | 2個 | |
| キャップチップ/キャップフォーム | 2個 | |
| 手袋 | 2個 | |
| フラッシングフォーム | 2個組 | |
| クリーンスティック R | 50本組 | SB7008 |
| クリーンスティック T | 50本組 | SC0032 |
| ワイパー | 2個 | SD0138 |
| キャップチップ/キャップフォーム | 2個 | SD0139 |
| ミストファンフィルター | 2個組 | SB7007 |
| グリース | 1個 | SB3229 |
| 洗浄カップ | 1個 | SB6925 |

Chapter 11

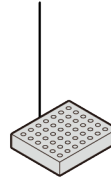
仕様

| オプション品 | コード No. |
|-------------------------------------|---------|
| ラージプラテンX (16"×18"/406×457 mm) | SB6994 |
| プラテンシート 16×18 | SB6995 |
| アダルトプラテンX (14"×16"/356×406 mm) | SB6996 |
| プラテンシート 14×16 | SB6997 |
| ユースプラテンX (10"×12"/254×305 mm) | SB6998 |
| プラテンシート 10×12 | SB6999 |
| ベビープラテンX (7"×8"/178×203 mm) | SB7001 |
| プラテンシート 7×8 | SB7002 |
| ワイドプラテン (16"×21"/406×533 mm) | SD4110 |
| レギュラープラテン (14"×16.5"/355×420 mm) | SD4112 |
| 前処理ローラー | SB1290 |
| ラバーマグネット (4組) | SD0621 |
| ボトルクミ (廃インクタンク) | SB2582 |

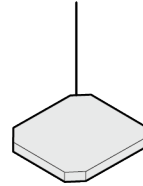
メンテナンスキットA300



フラッシングフォーム



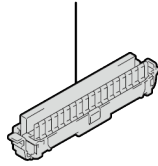
ミストファンフィルター



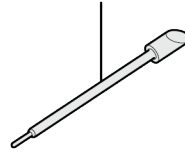
前処理剤



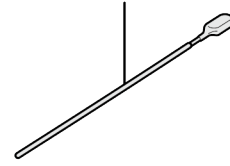
ワイパー



クリーンスティックR



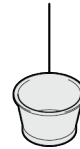
クリーンスティックT



グリース



洗浄カップ



Open Source Licensing Remarks

This product uses one or more of the following open software, depending on the features which each product has.

gSOAP / SNMP Software from West Hawk / OpenSSL / Lua This software is used in all our products.

MIT Kerberos This software is used in the product which supports the Kerberos Authentication.

Cyrus SASL / OpenLDAP This software is used in the product which supports LDAP.

expat/ LibTIFF/ libjpeg/ libpng This software is used in the product which supports RSS Reader, XPS emulation for Direct Print feature, or PDF creation module.

libstrophe/json-c This software is used in the product which supports Google Cloud Print.

Open SSH This software is used in the product which supports Secure Scan FTP.

Open NFC / linux_libnfc-nci This software is used in the product which supports NFC.

USB Host Driver (in FreeBSD) This software is used in the product which supports Direct Print / Scan to USB.

mDNSResponder This software is used in the product which supports mDNS.

wpa_supplicant and hostapd This software is used in the product which supports Wireless LAN or IEEE802.1X.

T-Kernel This software is used in the product as Operating System.

The following is the full text.

Part of the software embedded in this product is gSOAP software.

Portions created by gSOAP are Copyright (C) 2001 2004 Robert A. van Engelen, Genivia Inc. All Rights Reserved.

THE SOFTWARE IN THIS PRODUCT WAS IN PART PROVIDED BY GENIVIA INC AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANYWAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notices appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

This product includes SNMP software from WestHawk Ltd.

Copyright (C) 2000, 2001, 2002 by Westhawk Ltd

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notices appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

MIT Kerberos statements

MIT Kerberos license copyright Version 1.6.3

Copyright (C) 1985-2007 by the Massachusetts Institute of Technology. All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (C) 1998 by the FundsXpress, INC. All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of FundsXpress. not

be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. FundsXpress makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright 1993, 1995 by OpenVision Technologies, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of OpenVision not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. OpenVision makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

OPENVISION DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL OPENVISION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright 2000 by Zero-Knowledge Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Zero-Knowledge Systems, Inc. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Zero-Knowledge Systems, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2006 Red Hat, Inc.

Portions copyright (c) 2006 Massachusetts Institute of Technology All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Red Hat, Inc., nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 1995,1996,2003,2004 by Sun Microsystems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Sun Microsystems not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Sun Microsystems makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

SUN MICROSYSTEMS DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL SUN MICROSYSTEMS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

COPYRIGHT (C) 2006-2007

THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF MICHIGAN ALL RIGHTS RESERVED.

Permission is granted to use, copy, create derivative works and redistribute this software and such derivative works for any purpose, so long as the name of The University of Michigan is not used in any advertising or publicity pertaining to the use of distribution of this software without specific, written prior authorization. If the above copyright notice or any other identification of the University of Michigan is included in any copy of any portion of this software, then the disclaimer below must also be included.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED AS IS, WITHOUT REPRESENTATION FROM THE UNIVERSITY OF MICHIGAN AS TO ITS FITNESS FOR ANY PURPOSE, AND WITHOUT WARRANTY BY THE UNIVERSITY OF MICHIGAN OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF MICHIGAN SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES, INCLUDING SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WITH RESPECT TO ANY CLAIM ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OF THE SOFTWARE, EVEN IF IT HAS BEEN OR IS HEREAFTER ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Copyright (c) 2002 Naval Research Laboratory (NRL/CCS)

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any notices thereof.

NRL ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION AND DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

Copyright (c) 1994 CyberSAFE Corporation

Copyright (c) 1993 Open Computing Security Group

Cyrus SASL statements

The Cyrus SASL License

Copyright (c) 1998-2003 Carnegie Mellon University. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For permission or any other legal details, please contact.

Office of Technology Transfer
Carnegie Mellon University
5000 Forbes Avenue
Pittsburgh, PA 15213-3890

(412) 268-4387, fax: (412) 268-7395
tech-transfer@andrew.cmu.edu

4. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (<http://www.cmu.edu/computing/>)."

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO HIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

OpenSSL statements

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2019 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact opensslcore@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this

distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

OpenLDAP Statements

This product includes software developed by the OpenLDAP Project.

Unless otherwise expressly stated herein, The OpenLDAP Public License Version 2.8 shall be applied to individual files.

Copyright 1998-2007 The OpenLDAP Foundation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

A copy of this license is available in the file LICENSE in the top-level directory of the distribution or, alternatively, at <http://www.OpenLDAP.org/license.html>.

Portions Copyright 1999 Lars Uffmann.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

Portions Copyright (c) 1990, 1993-1996 Regents of the University of Michigan. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that this notice is preserved and that due credit is given to the University of Michigan at Ann Arbor. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Portions Copyright (c) 1999, 2000 Novell, Inc. All Rights Reserved.

THIS WORK IS SUBJECT TO U.S. AND INTERNATIONAL COPYRIGHT LAWS AND TREATIES. USE, MODIFICATION, AND REDISTRIBUTION OF THIS WORK IS SUBJECT TO VERSION 2.0.1 OF THE OPENLDAP PUBLIC LICENSE, A COPY OF WHICH IS AVAILABLE AT [HTTP://WWW.OPENLDAP.ORG/LICENSE.HTML](http://www.OPENLDAP.ORG/LICENSE.HTML) OR IN THE FILE "LICENSE" IN THE TOP-LEVEL DIRECTORY OF THE DISTRIBUTION. ANY USE OR EXPLOITATION OF THIS WORK OTHER THAN AS AUTHORIZED IN VERSION 2.0.1 OF THE OPENLDAP PUBLIC LICENSE, OR OTHER PRIOR WRITTEN CONSENT FROM NOVELL, COULD SUBJECT THE PERPETRATOR TO CRIMINAL AND CIVIL LIABILITY.

Portions Copyright (c) The Internet Society (1997).

See RFC 2251 for full legal notices.

The OpenLDAP Public License Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices.
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR

BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation. Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved.

Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

A number of files contained in OpenLDAP Software contain a statement:

USE, MODIFICATION, AND REDISTRIBUTION OF THIS WORK IS SUBJECT TO VERSION 2.0.1 OF THE OPENLDAP PUBLIC LICENSE, A COPY OF WHICH IS AVAILABLE AT [HTTP://WWW.OPENLDAP.ORG/LICENSE.HTML](http://www.openldap.org/license.html) OR IN THE FILE "LICENSE" IN THE TOP-LEVEL DIRECTORY OF THE DISTRIBUTION.

The following is a verbatim copy of version 2.0.1 of the OpenLDAP Public License referenced in the above statement.

=====
The OpenLDAP Public License

Version 2.0.1, 21 December 1999
Copyright 1999, The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved.

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain copyright statements and notices. Redistributions must also contain a copy of this document.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "OpenLDAP" must not be used to endorse or promote products derived from this Software without prior written permission of the OpenLDAP Foundation. For written permission, please contact foundation@openldap.org.
4. Products derived from this Software may not be called "OpenLDAP" nor may "OpenLDAP" appear in their names without prior written permission of the OpenLDAP Foundation. OpenLDAP is a trademark of the OpenLDAP Foundation.
5. Due credit should be given to the OpenLDAP Project (<http://www.openldap.org/>).

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====
RFC 2251 Full Copyright Statement

Copyright (c) The Internet Society (1997). All Rights Reserved.

This document and translations of it may be copied and furnished to others, and derivative works that comment on or otherwise explain it or assist in its implementation may be prepared, copied, published and distributed, in whole or in part, without restriction of any kind, provided that the above copyright notice and this paragraph are included on all such copies and derivative works. However, this document itself may not be modified in any way, such as by removing the copyright notice or references to the Internet Society or other Internet organizations, except as needed for the purpose of developing Internet standards in which case the procedures for copyrights defined in the Internet Standards process must be followed, or as required to translate it into languages other than English.

The limited permissions granted above are perpetual and will not be revoked by the Internet Society or its successors or assigns.

This document and the information contained herein is provided on an "AS IS" basis and THE INTERNET SOCIETY AND THE INTERNET ENGINEERING TASK FORCE DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

=====
expat

Copyright (C) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (C) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

=====
Libtiff Copyright and License

Use and Copyright

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

=====
libjpeg

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

=====
libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.6.2, April 25, 2013, are Copyright (c) 2004, 2006-2012 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngrow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
April 25, 2013

```
=====
libstrophe

Copyright (c) 2005-2009 Collecta, Inc.
```

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

```
=====
json-c

Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd
```

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

```
=====
Open SSH

This file is part of the OpenSSH software.
```

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

```
1)
* Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland
* All rights reserved
*
* As far as I am concerned, the code I have written for this software
* can be used freely for any purpose. Any derived versions of this
* software must be clearly marked as such, and if the derived work is
* incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be
* called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".
```

```
[Tatu continues]
* However, I am not implying to give any licenses to any patents or
* copyrights held by third parties, and the software includes parts that
* are not under my direct control. As far as I know, all included
* source code is used in accordance with the relevant license agreements
* and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most
* restrictive); see below for details.
```

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licensed software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "http://www.cs.hut.fi/crypto".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself. I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS

TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

4) The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers and Paulo Barreto is in the public domain and distributed with the following license:

```
* @version 3.0 (December 2000)
*
* Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)
*
* @author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
* @author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
* @author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>
*
* This code is hereby placed in the public domain.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS "AS IS" AND ANY EXPRESS
* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT
* OF
* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
* OR
* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY
* OF LIABILITY,
* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE
* OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
* EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
```

5) One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

```
* Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995
* The Regents of the University of California. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS
* "AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR
* CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY
* WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
```

6) Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl
Theo de Raadt
Niels Provos

Dug Song
Aaron Campbell
Damien Miller
Kevin Steves
Daniel Kouril
Wesley Griffin
Per Allansson
Nils Nordman
Simon Wilkinson

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR
* IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED.
* IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
* BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS
* OF USE,
* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON
* ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE
* OF
* THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

\$OpenBSD: LICENSE,v 1.19 2004/08/30 09:18:08 markus Exp \$

Open NFC

Copyright (c) 2007-2010 Inside Secure, All Rights Reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file
except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License
is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the
License.

linux_libnfc-nci

The original Work has been changed by NXP Semiconductors.

Copyright (C) 2015 NXP Semiconductors

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file
except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License
is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the
License.

Lua

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software
and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction,
including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense,
and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to
do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or
substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS
OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY
CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,
TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE
SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

USB Host Driver (in FreeBSD)

Copyright (c) 1992-2013 The FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted
provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS
BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

mDNSResponder

Copyright (c) 2002-2013 Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file
except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License
is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or
implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the
License.

wpa_supplicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2014, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause
removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more
instructions.

This package may include either wpa_supplicant, hostapd, or both. See README file
respective subdirectories (wpa_supplicant/README or hostapd/README) for more details.

Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the
programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplicant or hostapd) and creating
build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted
provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior
written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT
OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE
OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

T-Kernel

This Product uses the Source Code of T-Kernel under T-License 2.0 granted by the T-Engine
Forum (www.tengine.org)

製品に関するお問い合わせ

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または下記「商用・大判プリンター専用コールダイヤル」までお問い合わせください。

ブラザー販売株式会社

ご利用時間 受付時間：平日（月曜日～金曜日）9:00～12:00・13:00～17:30

休業日：土曜日、日曜日、祝日および当社指定休日

住所 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1

TEL 0570-074-116（商用・大判プリンター専用コールダイヤル）

ブラザー工業株式会社

URL <https://www.brother.co.jp/>

住所 〒448-0803 刈谷市野田町北地蔵山1番地5

製品改良のため、本書の内容の一部がお買い上げの製品と異なる場合がありますのでご了承ください。